



SQL Anywhere 10 エラー・メッセージ

改訂 2007 年 3 月

著作権と商標

Copyright (c) 2007 iAnywhere Solutions, Inc. Portions copyright (c) 2007 Sybase, Inc. All rights reserved.

iAnywhere Solutions, Inc. は Sybase, Inc. の関連会社です。

iAnywhere は、(1) すべてのコピーにこの情報またはマニュアル内のその他の著作権と商標の表示を含める、(2) マニュアルの偽装表示をしない、(3) マニュアルに変更を加えないことが遵守されるかぎり、このマニュアルをご自身の情報収集、教育、その他の非営利の目的で使用することを許可します。このマニュアルまたはその一部を、iAnywhere の書面による事前の許可なく発行または配布することは禁じられています。

このマニュアルは、iAnywhere が何らかの行動を行う、または行わない責任を表明するものではありません。このマニュアルは、iAnywhere の判断で予告なく内容が変更される場合があります。iAnywhere との間に書面による合意がないかぎり、このマニュアルは「現状のまま」提供されるものであり、その使用または記載内容の誤りに対して iAnywhere は一切の責任を負いません。

iAnywhere (R)、Sybase (R)、<http://www.iAnywhere.com/trademarks> に示す商標は Sybase, Inc. またはその関連会社の商標です。(R) は米国での登録商標を示します。

Java および Java 関連のすべての商標は、米国またはその他の国での Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

このマニュアルに記載されているその他の会社名と製品名は各社の商標である場合があります。

目次

はじめに	v
SQL Anywhere のマニュアル	vi
表記の規則	ix
詳細情報の検索／フィードバックの提供	xiii
データベース・エラー・メッセージ	1
データベース・エラー・メッセージの概要	2
エラー・メッセージ (SQL Anywhere の SQLCODE 順)	3
エラー・メッセージ (SQLSTATE 順)	41
エラー・メッセージ (Sybase エラー・コード順)	74
五十音順のエラー・メッセージ・リスト	122
Mobile Link サーバのエラー・メッセージ	493
Mobile Link サーバのエラー・メッセージ (エラー・コード順)	494
五十音順のエラー・メッセージ・リスト	507
Mobile Link サーバの警告メッセージ	585
Mobile Link 同期サーバの警告メッセージの概要	586
Mobile Link サーバの警告メッセージ (コード順)	587
五十音順の警告メッセージ・リスト	591
Mobile Link 通信エラー・メッセージ	615
Mobile Link 通信エラー・メッセージの概要	616
通信エラー・メッセージ (コード順)	617
通信エラー・メッセージ (定数順)	623
五十音順のエラー・メッセージ・リスト	632
SQL プリプロセッサ・エラー・メッセージ	673
SQL プリプロセッサ・エラー・メッセージ (メッセージ値順)	674

五十音順のエラー・メッセージ・リスト	677
索引	693

はじめに

このマニュアルの内容

このマニュアルでは、SQL Anywhere エラー・メッセージの完全なリストを、その診断情報とともに説明します。

対象読者

このマニュアルは、SQL Anywhere のすべてのユーザを対象としています。他のマニュアルと一緒に使用するよう構成されています。

SQL Anywhere のマニュアル

このマニュアルは、SQL Anywhere のマニュアル・セットの一部です。この項では、マニュアル・セットに含まれる各マニュアルと使用法について説明します。

SQL Anywhere のマニュアル

SQL Anywhere の完全なマニュアルは、各マニュアルをまとめたオンライン形式とマニュアル別の PDF ファイルで提供されます。いずれの形式のマニュアルも、同じ情報が含まれ、次のマニュアルから構成されます。

- ◆ 『SQL Anywhere 10 - 紹介』 このマニュアルでは、データの管理および交換機能を提供する包括的なパッケージである SQL Anywhere 10 について説明します。SQL Anywhere を使用すると、サーバ環境、デスクトップ環境、モバイル環境、リモート・オフィス環境に適したデータベース・ベースのアプリケーションを迅速に開発できるようになります。
- ◆ 『SQL Anywhere 10 - 変更点とアップグレード』 このマニュアルでは、SQL Anywhere 10 とそれ以前のバージョンに含まれる新機能について説明します。
- ◆ 『SQL Anywhere サーバ - データベース管理』 このマニュアルでは、SQL Anywhere データベースの実行、管理、設定について説明します。管理ユーティリティとオプションのほか、データベース接続、データベース・サーバ、データベース・ファイル、バックアップ・プロシージャ、セキュリティ、高可用性、Replication Server を使用したレプリケーションについて説明します。
- ◆ 『SQL Anywhere サーバ - SQL の使用法』 このマニュアルでは、データベースの設計と作成の方法、データのインポート・エクスポート・変更の方法、データの検索方法、ストアド・プロシージャとトリガの構築方法について説明します。
- ◆ 『SQL Anywhere サーバ - SQL リファレンス』 このマニュアルは、SQL Anywhere で使用する SQL 言語の完全なリファレンスです。また、SQL Anywhere のシステム・ビューとシステム・プロシージャについても説明しています。
- ◆ 『SQL Anywhere サーバ - プログラミング』 このマニュアルでは、C、C++、Java プログラミング言語、Visual Studio .NET を使用してデータベース・アプリケーションを構築、配備する方法について説明します。Visual Basic や PowerBuilder などのツールのユーザは、それらのツールのプログラミング・インタフェースを使用できます。
- ◆ 『SQL Anywhere 10 - エラー・メッセージ』 このマニュアルでは、SQL Anywhere エラー・メッセージの完全なリストを、その診断情報とともに説明します。
- ◆ 『Mobile Link - クイック・スタート』 このマニュアルでは、セッションベースのリレーショナル・データベース同期システムである Mobile Link について説明します。Mobile Link テクノロジーは、双方向レプリケーションを可能にし、モバイル・コンピューティング環境に非常に適しています。
- ◆ 『Mobile Link - サーバ管理』 このマニュアルでは、Mobile Link アプリケーションを設定して管理する方法について説明します。

- ◆ 『**Mobile Link - クライアント管理**』 このマニュアルでは、Mobile Link クライアントを設定、構成、同期する方法について説明します。Mobile Link クライアントには、SQL Anywhere または Ultra Light のいずれかのデータベースを使用できます。
- ◆ 『**Mobile Link - サーバ起動同期**』 このマニュアルでは、Mobile Link のサーバによって開始される同期について説明します。サーバによって開始される同期とは、統合データベースから同期またはその他のリモート・アクションの開始を可能にする Mobile Link の機能です。
- ◆ 『**QAnywhere**』 このマニュアルでは QAnywhere について説明します。QAnywhere は、従来のデスクトップ・クライアントやラップトップ・クライアント用のメッセージング・プラットフォームであるほか、モバイル・クライアントや無線クライアント用のメッセージング・プラットフォームでもあります。
- ◆ 『**SQL Remote**』 このマニュアルでは、モバイル・コンピューティング用の SQL Remote データ・レプリケーション・システムについて説明します。このシステムによって、SQL Anywhere の統合データベースと複数の SQL Anywhere リモート・データベースの間で、電子メールやファイル転送などの間接的リンクを使用したデータ共有が可能になります。
- ◆ 『**SQL Anywhere 10 - コンテキスト別ヘルプ**』 このマニュアルには、[接続] ダイアログ、クエリ・エディタ、Mobile Link モニタ、SQL Anywhere コンソール・ユーティリティ、インデックス・コンサルタント、Interactive SQL のコンテキスト別のヘルプが収録されています。
- ◆ 『**Ultra Light - データベース管理とリファレンス**』 このマニュアルでは、小型デバイス用 Ultra Light データベース・システムの概要を説明します。
- ◆ 『**Ultra Light - AppForge プログラミング**』 このマニュアルでは、Ultra Light for AppForge について説明します。Ultra Light for AppForge を使用すると、Palm OS、Symbian OS、または Windows CE を搭載しているハンドヘルド、モバイル、または埋め込みデバイスに対してデータベース・アプリケーションを開発、配備できます。
- ◆ 『**Ultra Light - .NET プログラミング**』 このマニュアルでは、Ultra Light.NET について説明します。Ultra Light.NET を使用すると、PC、ハンドヘルド、モバイル、埋め込みデバイスのデータベース・アプリケーションを開発し、これらのデバイスに配備できます。
- ◆ 『**Ultra Light - M-Business Anywhere プログラミング**』 このマニュアルは、Ultra Light for M-Business Anywhere について説明します。Ultra Light for M-Business Anywhere を使用すると、Palm OS、Windows CE、または Windows XP を搭載しているハンドヘルド、モバイル、または埋め込みデバイスに対して Web ベースのデータベース・アプリケーションを開発、配備できます。
- ◆ 『**Ultra Light - C/C++ プログラミング**』 このマニュアルでは、Ultra Light C および Ultra Light C++ のプログラミング・インタフェースについて説明します。Ultra Light を使用すると、ハンドヘルド、モバイル、埋め込みデバイスに対してデータベース・アプリケーションを開発、配備できます。

マニュアルの形式

SQL Anywhere のマニュアルは、次の形式で提供されています。

- ◆ **オンライン・マニュアル** オンライン・マニュアルには、SQL Anywhere の完全なマニュアルがあり、SQL Anywhere ツールに関する印刷マニュアルとコンテキスト別のヘルプの両方が含

まれています。オンライン・マニュアルは、製品のメンテナンス・リリースごとに更新されます。これは、最新の情報を含む最も完全なマニュアルです。

Windows オペレーティング・システムでオンライン・マニュアルにアクセスするには、[スタート]-[プログラム]-[SQL Anywhere 10]-[オンライン・マニュアル]を選択します。オンライン・マニュアルをナビゲートするには、左ウィンドウ枠で HTML ヘルプの目次、索引、検索機能を使用し、右ウィンドウ枠でリンク情報とメニューを使用します。

UNIX オペレーティング・システムでオンライン・マニュアルにアクセスするには、SQL Anywhere のインストール・ディレクトリまたはインストール CD に保存されている HTML マニュアルを参照してください。

- ◆ **PDF ファイル** SQL Anywhere の完全なマニュアル・セットは、Adobe Reader で表示できる Adobe Portable Document Format (pdf) 形式のファイルとして提供されています。

Windows では、PDF 形式のマニュアルはオンライン・マニュアルの各ページ上部にある PDF のリンクから、または Windows の [スタート] メニュー ([スタート]-[プログラム]-[SQL Anywhere 10]-[オンライン・マニュアル - PDF フォーマット]) からアクセスできます。

UNIX では、PDF 形式のマニュアルはインストール CD にあります。

表記の規則

この項では、このマニュアルで使用されている書体およびグラフィック表現の規則について説明します。

SQL 構文の表記規則

SQL 構文の表記には、次の規則が適用されます。

- ◆ **キーワード** SQL キーワードはすべて次の例に示す ALTER TABLE のように大文字で表記します。

ALTER TABLE [*owner*.]*table-name*

- ◆ **プレースホルダ** 適切な識別子または式で置き換えられる項目は、次の例に示す *owner* や *table-name* のように表記します。

ALTER TABLE [*owner*.]*table-name*

- ◆ **繰り返し項目** 繰り返し項目のリストは、次の例に示す *column-constraint* のように、リストの要素の後ろに省略記号 (ピリオド 3 つ …) を付けて表します。

ADD column-definition [*column-constraint*, …]

複数の要素を指定できます。複数の要素を指定する場合は、各要素間をカンマで区切る必要があります。

- ◆ **オプション部分** 文のオプション部分は角カッコで囲みます。

RELEASE SAVEPOINT [*savepoint-name*]

この例では、角カッコで囲まれた *savepoint-name* がオプション部分です。角カッコは入力しないでください。

- ◆ **オプション** 項目リストから 1 つだけ選択する場合や、何も選択しなくてもよい場合は、項目間を縦線で区切り、リスト全体を角カッコで囲みます。

[**ASC | DESC**]

この例では、ASC と DESC のどちらか 1 つを選択しても、選択しなくてもかまいません。角カッコは入力しないでください。

- ◆ **選択肢** オプションの中の 1 つを必ず選択しなければならない場合は、選択肢を中カッコで囲み、縦棒で区切ります。

[**QUOTES { ON | OFF }**]

QUOTES オプションを使用する場合は、ON または OFF のどちらかを選択する必要があります。角カッコと中カッコは入力しないでください。

オペレーティング・システムの表記規則

- ◆ **Windows** デスクトップおよびラップトップ・コンピュータ用の Microsoft Windows オペレーティング・システムのファミリのことです。Windows ファミリには Windows Vista や Windows XP も含まれます。
- ◆ **Windows CE** Microsoft Windows CE モジュラ・オペレーティング・システムに基づいて構築されたプラットフォームです。Windows Mobile や Windows Embedded CE などのプラットフォームが含まれます。

Windows Mobile は Windows CE 上に構築されています。これにより、Windows のユーザ・インタフェースや、Word や Excel といったアプリケーションの小規模バージョンなどの追加機能が実現されています。Windows Mobile は、モバイル・デバイスで最も広く使用されています。

SQL Anywhere の制限事項や相違点は、基盤となっているオペレーティング・システム (Windows CE) に由来しており、使用しているプラットフォーム (Windows Mobile など) に依存していることはほとんどありません。

- ◆ **UNIX** 特に記述がないかぎり、UNIX は Linux プラットフォームと UNIX プラットフォームの両方のことです。

ファイルの命名規則

マニュアルでは、パス名やファイル名などのオペレーティング・システムに依存するタスクと機能を表すときは、通常 Windows の表記規則が使用されます。ほとんどの場合、他のオペレーティング・システムで使用される構文に簡単に変換できます。

- ◆ **ディレクトリ名とパス名** マニュアルでは、ドライブを示すコロンや、ディレクトリの区切り文字として使用する円記号など、Windows の表記規則を使用して、ディレクトリ・パスのリストを示します。次に例を示します。

MobiLink¥**redirector**

UNIX、Linux、Mac OS X では、代わりにスラッシュを使用してください。次に例を示します。

MobiLink/redirector

SQL Anywhere がマルチプラットフォーム環境で使用されている場合、プラットフォーム間でのパス名の違いに注意する必要があります。

- ◆ **実行ファイル** マニュアルでは、実行ファイルの名前は、Windows の表記規則が使用され、拡張子 *.exe* が付きます。UNIX、Linux、Mac OS X では、実行ファイルの名前には拡張子は付きません。NetWare では、実行ファイルの名前には、拡張子 *.nlm* が付きます。

たとえば、Windows では、ネットワーク・データベース・サーバは *dbsrv10.exe* です。UNIX、Linux、Mac OS X では、*dbsrv10* になります。NetWare では、*dbsrv10.nlm* になります。

- ◆ **install-dir** インストール・プロセスでは、SQL Anywhere をインストールするロケーションを選択できます。マニュアルでは、このロケーションは *install-dir* という表記で示されます。

インストールが完了すると、環境変数 SQLANY10 によって SQL Anywhere コンポーネントがあるインストール・ディレクトリのロケーション (*install-dir*) が指定されます。SQLANYSH10 は、SQL Anywhere が他の Sybase アプリケーションと共有しているコンポーネントがあるディレクトリのロケーションを指定します。

オペレーティング・システム別の *install-dir* のデフォルト・ロケーションの詳細については、「SQLANY10 環境変数」『SQL Anywhere サーバ-データベース管理』を参照してください。

- ◆ **samples-dir** インストール・プロセスでは、SQL Anywhere に含まれるサンプルをインストールするロケーションを選択できます。マニュアルでは、このロケーションは *samples-dir* という表記で示されます。

インストールが完了すると、環境変数 SQLANYSAMP10 によってサンプルがあるディレクトリのロケーション (*samples-dir*) が指定されます。Windows の [スタート] メニューから、[プログラム]-[SQL Anywhere 10]-[サンプル・アプリケーションおよびプロジェクト] を選択すると、このディレクトリで [Windows エクスプローラ] ウィンドウが表示されます。

オペレーティング・システム別の *samples-dir* のデフォルト・ロケーションの詳細については、「サンプル・ディレクトリ」『SQL Anywhere サーバ-データベース管理』を参照してください。

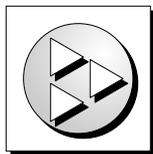
- ◆ **環境変数** マニュアルでは、環境変数設定が引用されます。Windows では、環境変数を参照するのに、構文 *%envvar%* が使用されます。UNIX、Linux、Mac OS X では、環境変数を参照するのに、構文 *\$envvar* または *\${envvar}* が使用されます。

UNIX、Linux、Mac OS X 環境変数は、*.cshrc* や *.tcshrc* などのシェルとログイン・スタートアップ・ファイルに格納されます。

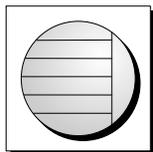
グラフィック・アイコン

このマニュアルでは、次のアイコンを使用します。

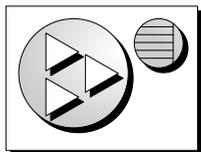
- ◆ クライアント・アプリケーション



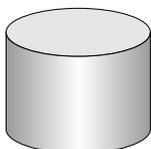
- ◆ SQL Anywhere などのデータベース・サーバ



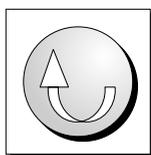
- ◆ Ultra Light アプリケーション



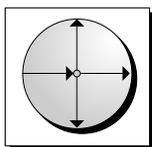
- ◆ データベース。高度な図では、データベースとデータベースを管理するデータ・サーバの両方をこのアイコンで表します。



- ◆ レプリケーションまたは同期のミドルウェア。ソフトウェアのこれらの部分は、データベース間のデータ共有を支援します。たとえば、Mobile Link サーバ、SQL Remote Message Agent などが挙げられます。



- ◆ Sybase Replication Server



- ◆ プログラミング・インタフェース



詳細情報の検索／フィードバックの提供

詳細情報の検索

詳しい情報やリソース (コード交換など) については、iAnywhere Developer Network (<http://www.iAnywhere.com/developer/>) を参照してください。

ご質問がある場合や支援が必要な場合は、次に示す Sybase iAnywhere ニュースグループのいずれかにメッセージをお寄せください。

ニュースグループにメッセージをお送りいただく際には、ご使用の SQL Anywhere バージョンのビルド番号を明記し、現在発生している問題について詳しくお知らせくださいますようお願いいたします。バージョン情報は、コマンド・プロンプトで **dbeng10 -v** と入力して確認できます。

ニュースグループは、ニュース・サーバ forums.sybase.com にあります (ニュースグループにおけるサービスは英語でのみの提供となります)。以下のニュースグループがあります。

- ◆ [sybase.public.sqlanywhere.general](#)
- ◆ [sybase.public.sqlanywhere.linux](#)
- ◆ [sybase.public.sqlanywhere.mobilink](#)
- ◆ [sybase.public.sqlanywhere.product_futures_discussion](#)
- ◆ [sybase.public.sqlanywhere.replication](#)
- ◆ [sybase.public.sqlanywhere.ultralite](#)
- ◆ [iAnywhere.public.sqlanywhere.qanywhere](#)

ニュースグループに関するお断り

iAnywhere Solutions は、ニュースグループ上に解決策、情報、または意見を提供する義務を負うものではありません。また、システム・オペレータ以外のスタッフにこのサービスを監視させて、操作状況や可用性を保証する義務もありません。

iAnywhere のテクニカル・アドバイザーとその他のスタッフは、時間のある場合にかぎりニュースグループでの支援を行います。こうした支援は基本的にボランティアで行われるため、解決策や情報を定期的に提供できるとはかぎりません。支援できるかどうかは、スタッフの仕事量に左右されます。

フィードバック

このマニュアルに関するご意見、ご提案、フィードバックをお寄せください。

マニュアルに関するご意見、ご提案は、SQL Anywhere ドキュメンテーション・チームの iasdoc@iAnywhere.com 宛てに電子メールでお寄せください。このアドレスに送信された電子メールに返信はいたしません。お寄せいただいたご意見、ご提案は必ず読ませていただきます。

マニュアルまたはソフトウェアについてのフィードバックは、上記のニュースグループを通してお寄せいただいてもかまいません。

第 1 章

データベース・エラー・メッセージ

目次

データベース・エラー・メッセージの概要	2
エラー・メッセージ (SQL Anywhere の SQLCODE 順)	3
エラー・メッセージ (SQLSTATE 順)	41
エラー・メッセージ (Sybase エラー・コード順)	74
五十音順のエラー・メッセージ・リスト	122

データベース・エラー・メッセージの概要

多くのエラー・メッセージには、%1、%2などの文字が含まれています。これらは、パラメータに置き換えられてエラー・メッセージに表示されます。

各エラーには SQLCODE という数値エラー・コードがあります。負数のコードはエラー、正数のコードは警告を示します。SQLCODE が 0 の場合、操作が成功したことを示します。

エラー・メッセージ (SQL Anywhere の SQLCODE 順)

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-1149	「データベース '%1' はこのプラットフォームでは起動できません。 http://iAnywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_cant_change_platform.html を参照してください。」 273 ページ
-1147	「データベース '%1' はこのプラットフォームでは起動できません。 http://iAnywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_corruption_warning.html を参照してください。」 274 ページ
-1143	「暗号化が有効になっていません。」 382 ページ
-1141	「データベース ¥"%1¥" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。」 ページ
-1140	「データベース ¥"%1¥" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。」 ページ
-1139	「リモート・データ・サービス機能はこのプラットフォームではサポートされていません。」 372 ページ
-1138	「ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。」 353 ページ
-1134	「実体化ビュー '%1' でトリガを作成できません。」 428 ページ
-1133	「ビュー '%1' のトリガ・タイプが無効です。」 336 ページ
-1132	「テーブル '%1' の最大ロー・サイズを超過します。」 299 ページ
-1131	「属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。」 448 ページ
-1130	「'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。」 147 ページ
-1129	「'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。」 146 ページ
-1128	「繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。」 395 ページ
-1127	「INSTEAD OF トリガのあるビューで位置付け更新しようとした。」 171 ページ
-1126	「テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガがあるため、操作に失敗しました。」 309 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-1125	「ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガと WITH CHECK OPTION が競合しています。」 336 ページ
-1124	「dbicu ライブラリとサーバのバージョンが一致しません。」 162 ページ
-1123	「MIME タイプ '%1' が不正です。」 181 ページ
-1122	「最大パラメータ数 '%1' を超えました。」 407 ページ
-1121	「要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。」 492 ページ
-1120	「DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。」 160 ページ
-1119	「'%1' プロパティはサポートされなくなりました。」 144 ページ
-1118	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。」 444 ページ
-1117	「ローがデータベースのページ・サイズを超えているため、ローを格納できません。」 375 ページ
-1116	「照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。」 435 ページ
-1115	「テーブル '%1' には、ROWID() 関数への無効な参照が含まれています。」 293 ページ
-1114	「SOAP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」 193 ページ
-1113	「関連名 '%1' は、ROWID() 関数では使用できません。」 447 ページ
-1112	「データベース '%1' に対して指定したファイルシステム・ボリュームが見つかりません。」 272 ページ
-1111	「同期の情報が指定されていません。」 458 ページ
-1110	「同期処理に戻ることができませんでした。」 460 ページ
-1109	「このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません。」 244 ページ
-1108	「デバイス上のファイルシステムにアクセスできません。」 311 ページ
-1107	「BLOB への参照が多すぎます。」 156 ページ
-1106	「パブリケーション・マスクに指定されているパブリケーションが多すぎます。」 334 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-1105	「指定されたパブリケーション・マスクが不正です。」 421 ページ
-1104	「データベースのユーザが多すぎます。」 288 ページ
-1103	「部分ダウンロードが見つかりませんでした。」 474 ページ
-1102	「ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません。」 270 ページ
-1101	「カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません。」 234 ページ
-1100	「操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません。」 446 ページ
-1099	「Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。」 199 ページ
-1098	「トレース接続はすでにアクティブになっています。」 324 ページ
-1097	「ATTACH TRACING は、トレース・データベースに接続できませんでした。」 153 ページ
-1096	「指定した HTTP ヘッダは不正です。」 423 ページ
-1095	「指定した HTTP ヘッダに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています。」 422 ページ
-1094	「HTTP ヘッダ '%1' は予約されてるため変更できません。」 168 ページ
-1093	「文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。」 480 ページ
-1092	「呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。」 400 ページ
-1091	「制約 '%1' の違反です: テーブル '%2' の値が無効です。」 436 ページ
-1090	「ファンクション '%1' に無効なパラメータ '%2' ('%3') があります。」 340 ページ
-1089	「共有テンポラリ・テーブルに対して無効なコミット・アクションです。」 394 ページ
-1088	「ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。」 153 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-1087	「トレースを再表示できません: ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります。」 323 ページ
-1086	「書き込みアクセスが拒否されました。」 434 ページ
-1085	「重複キー・カラム (%1)」 433 ページ
-1084	「機能 '%1' の使用は許可されません。」 392 ページ
-1083	「トレースを再表示できません: ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。」 323 ページ
-1082	「トレースを再表示できません: sa_diagnostic_tracing_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。」 322 ページ
-1081	「トレースを再表示できません: 少なくとも 1 つの有効化されているトレース・レベルを指定する必要があります。」 324 ページ
-1080	「ユーザ '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。」 358 ページ
-1079	「バックアップはデータベース・ファイル '%1' を開けません。」 332 ページ
-1078	「計算カラムの依存に循環があります。」 396 ページ
-1077	「実体化されたビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。」 426 ページ
-1076	「dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません。」 161 ページ
-1075	「文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。」 480 ページ
-1074	「ログイン・モード '%1' は、login_mode 設定で許可されていません。」 378 ページ
-1073	「'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。」 139 ページ
-1072	「'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セット・エンコードではありません。」 139 ページ
-1071	「FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません。」 165 ページ
-1070	「Kerberos ログインはサポートされていません。」 180 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-1069	「Kerberos ログインが失敗しました。」 180 ページ
-1068	「デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。」 312 ページ
-1066	「ファイル・システム・エラー: '%1'」 340 ページ
-1065	「スナップショット・アイソレーションを非スナップショット・トランザクションで使用しようとしてしました。」 263 ページ
-1064	「スナップショット・トランザクションで更新の競合が発生しました。」 264 ページ
-1063	「データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み取り専用モードを使用できません。」 271 ページ
-1062	「スナップショット中は文を使用できません。」 265 ページ
-1061	「スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました。」 264 ページ
-1060	「パブリケーション・タイプで操作が競合しています。」 333 ページ
-1057	「Backup 句 '%1' が '%2' と競合します」 154 ページ
-1054	「スナップショット・アイソレーションが無効または保留になっています。」 263 ページ
-1053	「'%1' は '%2' に対して無効な値です。」 138 ページ
-1052	「実体化されたビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」 426 ページ
-1051	「実体化されたビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」 427 ページ
-1050	「要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。」 490 ページ
-1047	「このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません。」 245 ページ
-1046	「不正なカラム定義: %1」 470 ページ
-1045	「無効なバックアップ・パラメータ値です。」 487 ページ
-1044	「無効なパスワード: %1」 487 ページ
-1043	「タイムアウトになったため、要求が中断されました。」 269 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-1042	「ローカル・テンポラリ」として宣言されたテーブルにコメントを追加できません。」 149 ページ
-1041	「実体化ビュー '%1' が見つかりません。」 427 ページ
-1040	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。」 337 ページ
-1039	「ミラー・サーバに接続できません。サーバ名 '%1' を使用してプライマリ・サーバを探してください。」 354 ページ
-1038	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。」 337 ページ
-1037	「オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。」 222 ページ
-1036	「DBN/DBF パラメータが、この代替サーバ名のデータベースと一致しません。」 163 ページ
-1035	「ミラーリングされたデータベースで LOAD TABLE は許可されていません。」 355 ページ
-1034	「プロシージャ・タイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。」 349 ページ
-1033	「データベース・サーバを起動することができません。サーバに致命的なエラーが発生しました。」 279 ページ
-1032	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- 自動更新可能な実体化ビューの定義が次の構成体を使用しない可能性があります: '%2'」 137 ページ
-1031	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- 実体化ビューの定義が次の構成体を使用しない可能性があります: '%2'」 137 ページ
-1030	「安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません。」 380 ページ
-1029	「実体化ビューのサポートは、このデータベースでは利用できません。」 428 ページ
-1028	「接続試行の BACKUP には、コミットされていないトランザクションがあります。」 442 ページ
-1027	「サービス・タイプでは 'USING' 属性が許可されません。」 254 ページ
-1026	「USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。」 204 ページ
-1025	「サービスで重複した属性 '%1' です。」 254 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-1024	「USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。」 204 ページ
-1023	「サービスの属性 '%1' の値がありません。」 255 ページ
-1022	「サービスの属性 '%1' の値が無効です。」 255 ページ
-1021	「無効なバックアップ操作」 488 ページ
-1020	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いからです。」 416 ページ
-1019	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはデータベース・ファイルがログ・ファイルよりも後に使用されているからです。」 417 ページ
-1018	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないからです。」 416 ページ
-1017	「指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクション・ログ・ファイルが見つかりません」 414 ページ
-1016	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログ・ファイルがデータベース・ファイルよりも後に使用されているからです。」 417 ページ
-1012	「指定されたデータベースを開始できません。このサーバーで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)。」 414 ページ
-1011	「指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです。」 418 ページ
-1010	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログで、'%1' は操作を予期していません。」 415 ページ
-1009	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。」 415 ページ
-1008	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクション・ログ・ミラーです。」 412 ページ
-1007	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクション・ログです。」 413 ページ
-1006	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は有効なデータベース・ファイルではありません。」 413 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-1005	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。」 412 ページ
-1004	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。」 411 ページ
-1003	「統合されたユーザに対する個別のグループ・マッピングが多すぎます。」 454 ページ
-1002	「オプション '%1' が認識されません。」 223 ページ
-1001	「プロシージャまたは関数 '%2' のパラメータ '%1' には、デフォルト値はありません。」 351 ページ
-1000	「テンポラリ領域の制限を超えています。」 314 ページ
-999	「無効な要求ログのフォーマット (行 %1)」 489 ページ
-998	「現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません。」 398 ページ
-997	「ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。」 376 ページ
-996	「指定されたローカル接続 ID が見つかりません。」 421 ページ
-995	「SELECT INTO の最適化がエラーとして扱われ、警告が検出されました。」 191 ページ
-994	「関数またはプロシージャ '%1' に引数が多すぎます。」 391 ページ
-993	「テンポラリ・テーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。」 314 ページ
-992	「指定されたリスナを登録できませんでした。」 421 ページ
-991	「句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。」 394 ページ
-990	「リモート・ホストへの安全な接続に失敗しました : %1」 373 ページ
-989	「プロシージャ・タイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。」 348 ページ
-988	「HTTP サーバからの応答が無効です。」 167 ページ
-987	「タイプ '%2' のプロシージャ・サブタイプ '%1' が無効です。」 269 ページ
-986	「プロシージャ・タイプ '%1' が無効です。」 348 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-984	「暗号化 DLL を初期化できませんでした :'%1」 381 ページ
-983	「HTTP 認証に失敗しました。ステータス・コード '%1」 168 ページ
-982	「接続がタイムアウトしました。」 438 ページ
-981	「'%1' で指定されたリモート・ホストに接続できません。」 129 ページ
-980	「URI '%1' が無効です。」 203 ページ
-979	「出力ファイルを書き込めません。」 434 ページ
-978	「出力ファイルのディレクトリが存在しません。」 433 ページ
-976	「暗号化 DLL ¥"%1¥" をロードできませんでした。」 ページ
-975	「'%1' のボリューム ID が不正です。」 136 ページ
-974	「'%1' のファイル I/O に失敗しました。」 135 ページ
-973	「文字列が長すぎます (%1)。」 482 ページ
-972	「データベースのページ・サイズが小さすぎます :%1」 287 ページ
-971	「チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。」 270 ページ
-970	「テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。」 295 ページ
-969	「必要な演算子が含まれていません。」 467 ページ
-968	「ユーザ '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを受けています。」 359 ページ
-967	「バックアップ・ファイル '%1' はすでに存在します。」 330 ページ
-966	「複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。」 475 ページ
-965	「Window 関数には ORDER BY が必要です。」 206 ページ
-964	「Window 関数が述語に使用されています。」 206 ページ
-963	「パスワードに不正な文字が含まれています。」 327 ページ
-962	「集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループ・カラムである必要があります。」 430 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-961	「入力文字列は base64 でエンコードされていません。」 464 ページ
-960	「解凍エラー： %1」 385 ページ
-959	「圧縮エラー： %1」 380 ページ
-958	「パスワードの長さは %1 文字以内です。」 327 ページ
-957	「OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。」 183 ページ
-956	「同期の情報が不完全か無効です。%1'を確認してください。」 459 ページ
-955	「この接続はすでに存在します。」 246 ページ
-954	「データベース '%1' が見つかりませんでした。」 271 ページ
-953	「スキーマのアップグレードは現在認められません。」 260 ページ
-952	「最後の同期アップロードのステータスは不明です。」 407 ページ
-951	「スキーマ・ファイル '%1' にアクセスできません。」 260 ページ
-950	「ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。」 220 ページ
-949	「ORDER BY はウィンドウ '%1' では許可されません。」 184 ページ
-948	「ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。」 221 ページ
-947	「Window '%1' が見つかりません。」 205 ページ
-946	「%1' では結果セットは許可されません。」 128 ページ
-945	「再帰カラム %1' : %2' から %3' への変換では、精度が失われます。」 404 ページ
-944	「ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます。」 190 ページ
-943	「ワークロード・キャプチャは現在行われていません。」 379 ページ
-942	「ワークロード・キャプチャ (%1) はすでに進行中です。」 379 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-941	「jConnect は暗号化をサポートしていません。」 177 ページ
-940	「HTTP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」 167 ページ
-939	「HTTP オプション '%1' の設定が無効です。」 166 ページ
-938	「RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。」 188 ページ
-937	「制約 '%1' への参照または操作が無効です。」 437 ページ
-936	「データベースの制約が多すぎます。」 289 ページ
-935	「指定されたデータベースを起動できません: ログ・ファイル・エラー」 420 ページ
-934	「指定されたデータベースを起動できません: データベース %1 を起動するにはサーバをアップグレードする必要があります。」 419 ページ
-933	「IQ データベースにはログが必要です。」 172 ページ
-931	「AUTHORIZATION がオフの場合、サービス定義には文が必要です。」 154 ページ
-930	「(メッセージなし)」 150 ページ
-929	「制約 '%1' が見つかりません。」 436 ページ
-928	「GROUP BY 句には定数式を使用できません。」 166 ページ
-927	「サービス文定義とサービス・タイプが矛盾しています。」 256 ページ
-926	「サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。」 256 ページ
-925	「サービス名 '%1' は無効です。」 256 ページ
-924	「サービス '%1' は使用中です。」 253 ページ
-923	「再帰反復が多すぎます。」 405 ページ
-922	「再帰クエリのカラム・リストがありません。」 405 ページ
-921	「再帰クエリが無効です。」 404 ページ
-920	「サービス '%1' が見つかりません。」 252 ページ
-919	「サービス '%1' はすでに存在します。」 253 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-918	「AUTHORIZATION が OFF の場合はユーザ名を指定する必要があります。」 154 ページ
-916	「'%1' は認識されていないサービス・タイプです。」 141 ページ
-915	「CREATE SERVICE にはサービス・タイプが必要です。」 158 ページ
-914	「共通テーブル式参照に循環があります。」 393 ページ
-913	「監査用のトランザクション・ログ・ファイルが必要です。」 389 ページ
-912	「OPENXML クエリのメモリが足りません。」 183 ページ
-911	「XML 出力に制御文字があります。」 208 ページ
-910	「システム・コマンドが失敗し、リターン・コード %1 が返されました。」 258 ページ
-908	「閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です。」 484 ページ
-907	「引数の名前がありません。」 383 ページ
-906	「XMLGEN 評価が失敗しました。」 209 ページ
-905	「XQuery コンストラクタが無効です。」 210 ページ
-904	「集約関数の ORDER BY が不正です。」 431 ページ
-903	「CDATA に名前が必要です。」 156 ページ
-902	「カラム数が少なすぎます。」 235 ページ
-901	「宣言されていないタグ ID : '%1'」 443 ページ
-900	「親が開いていません : '%1'」 435 ページ
-899	「不正なカラム名 : '%1'」 471 ページ
-898	「不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ : '%1'」 473 ページ
-897	「不正な FOR XML EXPLICIT タグ値 : '%1'」 467 ページ
-896	「ユーザ設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。」 365 ページ
-895	「暗号化エラーです : %1」 382 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-894	「このタイプの文に対してプランを生成することはできません。」 243 ページ
-893	「OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。」 184 ページ
-892	「XPath パーサ・エラー : %1」 209 ページ
-891	「要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。」 490 ページ
-890	「文のサイズまたは複雑度がサーバの制限を超えています。」 478 ページ
-889	「文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。」 477 ページ
-888	「XML パーサ・エラー : %1」 207 ページ
-887	「仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数が使用されています。」 384 ページ
-883	「シングルバイト・コンバータの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。」 259 ページ
-881	「%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。」 124 ページ
-879	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」 122 ページ
-878	「インデックス '%1' をクラスタできません。」 218 ページ
-877	「プロシージャ、トリガ、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。」 347 ページ
-876	「クライアントでメモリが不足しています。」 238 ページ
-875	「'%1' にジョインする方法がありません。」 133 ページ
-874	「カラム名は %1 でなければなりません。」 236 ページ
-873	「%1 から複数の結果セットが返されました。」 125 ページ
-872	「%1 から結果セットが返されません。」 124 ページ
-871	「この Java 関連コマンドを実行するにはデータベースを再起動する必要があります。」 243 ページ
-870	「要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。」 491 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-869	「データベース・サーバでは文字セット '%1' を変換できません。」 276 ページ
-868	「'%1' は認識できない文字セット・エンコード・ラベルです。」 142 ページ
-867	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません。」 444 ページ
-866	「%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。」 125 ページ
-865	「テンポラリ・テーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリ・キーが必要です。」 313 ページ
-864	「文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。」 477 ページ
-863	「グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。」 242 ページ
-862	「集約式 '%1' は select リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります。」 432 ページ
-861	「集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。」 432 ページ
-860	「指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした。」 409 ページ
-858	「CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。」 159 ページ
-857	「サーバ %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。」 248 ページ
-856	「SQLDA に不正な sqllen フィールドがあります。」 195 ページ
-855	「トリガ名 '%1' はあいまいです。」 322 ページ
-854	「ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。」 185 ページ
-853	「カーソルが有効な状態にありません。」 227 ページ
-852	「テーブル名 '%1' はあいまいです。」 310 ページ
-851	「復号化エラーです : %1」 475 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-850	「キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリ・テーブルである必要があります。」 237 ページ
-849	「テンポラリ・テーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。」 313 ページ
-848	「Java SecurityManager をロードしているときに例外が発生しました。」 174 ページ
-847	「Java SecurityManager クラスがありません : %1」 174 ページ
-846	「カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。」 233 ページ
-845	「修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は関連名 '%2' と一致していません。」 429 ページ
-844	「'%1' という名前の同期定義が見つかりません。」 132 ページ
-843	「'%1' という名前の同期ユーザが見つかりません。」 132 ページ
-842	「JDK '%1' はサポートされている JDK ではありません。」 179 ページ
-841	「'%1' の JDK バージョンは '%2' と一致していません。」 134 ページ
-840	「暗号化キーが不正であるか、見つかりません。」 383 ページ
-839	「既存のローと競合しているため、ダウンロードに失敗しました。」 391 ページ
-838	「サーバ上で TLS の初期化に失敗しました。」 252 ページ
-837	「テーブル '%1' のトリガまたは外部キーは無効でなくなりました。」 297 ページ
-836	「プロシージャ '%1' は無効でなくなりました。」 346 ページ
-835	「イベント '%1' は使用中です。」 215 ページ
-834	「テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。」 302 ページ
-833	「テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガで修正または削除されました。」 298 ページ
-832	「接続エラー : %1」 438 ページ
-831	「エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。」 222 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-830	「エイリアス '%1' がユニークではありません。」 221 ページ
-829	「TLS ハンドシェイクに失敗しました。」 198 ページ
-828	「dbmlsync ダウンロード・フェーズでの競合が検出されました。」 162 ページ
-827	「データベースのアップグレードができません。ユーザ・テーブルに、システム・テーブル範囲のテーブル ID が設定されています。」 285 ページ
-826	「データベースのアップグレードができません。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。」 285 ページ
-825	「前回のエラーが RESIGNAL の前になくなりました。」 445 ページ
-824	「関連名 '%1' への参照が不正です。」 448 ページ
-823	「ストアド・プロシージャ内のリモート・テーブルに関わる式を処理できません。」 262 ページ
-822	「テーブル '%1' はすでにインクルードされています。」 299 ページ
-821	「テーブル '%1' のデータベース領域が見つかりません。」 297 ページ
-820	「スクロール位置 '%1' が不正です。」 261 ページ
-819	「テーブル '%1' が同期定義の一部です。」 293 ページ
-818	「外部関数呼び出しに互換性がありません。」 388 ページ
-817	「接続しているテンポラリ・テーブルが多すぎます。」 440 ページ
-816	「指定されたデータベース・ファイルはすでに使用されています。」 410 ページ
-815	「SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません。」 192 ページ
-814	「ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません。」 185 ページ
-813	「FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました。」 165 ページ
-812	「派生テーブル '%1' の select リストに '%2' と一致する式がありません。」 466 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-811	「JAR '%1' が見つかりません。」 173 ページ
-810	「Java クラス '%1' が見つかりません。」 175 ページ
-809	「同期オプションが長すぎます。」 457 ページ
-808	「テスト・ハーネスによって内部エラーが発生しました。」 310 ページ
-807	「ホスト変数をバッチで使用してはいけません。」 353 ページ
-806	「システムのイベント・タイプ '%1' が見つかりません。」 259 ページ
-805	「同期オプション '%1' が見つかりません。」 456 ページ
-804	「トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」 319 ページ
-803	「トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」 319 ページ
-802	「コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。」 247 ページ
-801	「トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。」 318 ページ
-800	「トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。」 318 ページ
-799	「DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。」 164 ページ
-797	「同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれています。」 457 ページ
-794	「同期サーバがアップロードのコミットに失敗しました。」 458 ページ
-793	「イベント '%1' の日付/時間が無効です。」 214 ページ
-792	「イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。」 217 ページ
-791	「イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。」 217 ページ
-790	「自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。」 423 ページ
-789	「登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。」 453 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-788	「他の接続はすでに '%1' として登録されています。」 449 ページ
-787	「現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。」 399 ページ
-786	「アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。」 212 ページ
-785	「cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。」 158 ページ
-784	「アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。」 213 ページ
-783	「他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。」 449 ページ
-782	「他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。」 450 ページ
-780	「パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリ・キーを更新できません。」 334 ページ
-779	「BLOB プライマリ・キーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。」 155 ページ
-778	「同期処理ではテーブル '%1' にプライマリ・キーを含める必要があります。」 460 ページ
-777	「プライマリ・キーがないためテーブル '%1' と同期できません。」 342 ページ
-774	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。」 216 ページ
-773	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。」 215 ページ
-772	「イベント '%1' がすでに存在します。」 213 ページ
-771	「イベント '%1' が見つかりません。」 214 ページ
-770	「ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーション・エントリを変更できません。」 152 ページ
-769	「ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。」 151 ページ
-768	「'%1' にサブスクリプションを作成できません。」 133 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-767	「'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。」 131 ページ
-766	「ビューがテンポラリ・オブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できません。」 338 ページ
-765	「同期メッセージ・タイプ '%1' が見つかりません。」 459 ページ
-764	「サーバが見つからないため自動起動できません。」 250 ページ
-763	「'%1' はパブリック Java 参照でないため、SQL から参照できません。」 140 ページ
-762	「'%1' はパブリック Java クラスでないため、SQL から参照できません。」 140 ページ
-761	「サーバ機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。」 251 ページ
-760	「SQL の識別子が無効です。」 194 ページ
-759	「SQLDA のデータ型が無効です。」 195 ページ
-758	「データベースは Java 仮想マシンをサポートしていません。」 290 ページ
-757	「読み込み専用データ・ベースに対しての修正は禁止されています。」 461 ページ
-756	「現在の JDBC 結果セット内のテーブル '%1' のカラム '%2' を一意に識別できません。」 398 ページ
-755	「コミットされていないトランザクションの同期またはアップグレードはできません。」 247 ページ
-754	「解析エラーです: %1」 385 ページ
-753	「'%1' 関数を使用するには、JDBC 結果セットは挿入ロー上にある必要があります。」 146 ページ
-752	「挿入ローにある場合、JDBC 結果セット上の '%1' 関数を呼び出せません。」 446 ページ
-751	「ユーザは使用中のテーブルを所有しています。」 364 ページ
-750	「ユーザは使用中のプロシージャを所有しています。」 365 ページ
-749	「Ultra Light では使用できない機能です。」 201 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-748	「不正な JDBC 結果セットの同時実行性です。」 469 ページ
-747	「不正な JDBC 結果セット・タイプです。」 468 ページ
-746	「System V リソースを割り当てることができません。」 197 ページ
-745	「IQ メモリ・マネージャを初期化できません:%1」 173 ページ
-744	「IQ データベース・コマンド・ラインの不正なオプションまたはパラメータ値:%1」 172 ページ
-743	「JDBC SASResultSet で引数に 0 を指定して absolute メソッドを実行しようとしてしました。」 178 ページ
-742	「JDBC SASStatement バッチ実行は中止されました。」 178 ページ
-740	「通信環境を作成できませんでした。」 453 ページ
-739	「db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。」 160 ページ
-738	「パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。」 328 ページ
-737	「シグニチャ '%1' はプロシージャのパラメータと一致しません。」 257 ページ
-736	「カラム '%1' のデータ型はサポートされていません。」 234 ページ
-735	「不正なパラメータです。」 472 ページ
-734	「テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。」 296 ページ
-733	「NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。」 182 ページ
-732	「計算カラムを使用したリモート・テーブルの作成はサポートされていません。」 397 ページ
-731	「レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザを削除できません。」 374 ページ
-730	「不正な JAR ファイルです。」 468 ページ
-729	「指定された外部キー (%1) は使用できません。」 422 ページ
-728	「更新できないリモート・クエリに対して、更新しようとしてしました。」 402 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-727	「オブティマイザは有効なアクセス・プランを構成できませんでした。」 226 ページ
-726	「テーブル仕様 '%1' が複数のリモート・テーブルを指定しています。」 309 ページ
-725	「Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。」 170 ページ
-724	「Null 属性はカラム '%1' に適合しません。」 182 ページ
-723	「カラム '%1' に指定された長さは実際の長さとは異なります。」 233 ページ
-722	「カラム '%1' はリモート・テーブルに存在しません。」 235 ページ
-721	「カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。」 232 ページ
-720	「VALIDATE 文はベース・テーブルを参照しなければなりません。」 205 ページ
-719	「RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。」 188 ページ
-718	「RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。」 189 ページ
-717	「RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。」 189 ページ
-716	「バックアップ・ファイルのフォーマットが無効です。」 330 ページ
-715	「バックアップ・ファイルの内容が矛盾しています。」 331 ページ
-714	「閉じられた '%1' に対する操作は無効です。」 483 ページ
-713	「'%1' で内部エラーが発生しました。」 130 ページ
-712	「サーバ '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。」 248 ページ
-711	「データベース・ストア DLL (%1) のバージョンが不正です。」 281 ページ
-710	「不正な比較です。」 473 ページ
-709	「計算カラムはこのデータベースではサポートされません。」 396 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-708	「READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。」 187 ページ
-707	「パススルー・モードでは文を使用できません。」 326 ページ
-706	「リモート・サーバにはこの文をサポートする機能がありません。」 371 ページ
-705	「プロシージャ '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。」 344 ページ
-704	「Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。」 176 ページ
-703	「計算カラム '%1' を挿入または更新できません。」 395 ページ
-702	「TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。」 200 ページ
-701	「クラスを通してインスタンス・メンバにアクセスできません。」 242 ページ
-700	「SQLDA フィールドがマルチロー SQLDA と矛盾しています。」 196 ページ
-699	「¥"final¥" 変更子で修飾されるメンバ・フィールドを更新できません。」 ページ
-698	「リモート・サーバはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。」 371 ページ
-697	「バックアップ中にエラーが発生しました : %1」 332 ページ
-696	「閉じられた '%1' に対する操作は無効です。」 483 ページ
-695	「'%1' で内部エラーが発生しました。」 129 ページ
-694	「開いている準備文または呼び出し可能な文を変更できませんでした。」 386 ページ
-693	「JDBC 機能 '%1' はサポートされません。」 179 ページ
-692	「バックアップ/リストア DLL (%1) のエントリ・ポイントを実行できませんでした。」 329 ページ
-691	「バックアップ/リストア DLL ¥"%1¥" をロードできませんでした。」 ページ
-690	「戻り値が設定できません。」 489 ページ
-689	「入力パラメータ・インデックスが範囲外です。」 464 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-688	「ランタイム・サーバでは強い暗号化方式のデータベース・ファイルはサポートされません。」 368 ページ
-687	「構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。」 402 ページ
-686	「Java 仮想マシンを起動するにはキャッシュが不足しています。」 177 ページ
-685	「%1 のリソース・ガバナーが制限を超えています。」 126 ページ
-684	「プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。」 343 ページ
-683	「カーソル名 '%1' はすでに存在します。」 231 ページ
-682	「%1」 122 ページ
-681	「Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョイン・タイプが無効です。」 198 ページ
-680	「Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。」 199 ページ
-679	「リモート・アクセス用に Java 仮想マシンに割り付けられたメモリが不足しています。」 369 ページ
-678	「インデックス名 '%1' があいまいです。」 219 ページ
-677	「テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれていません。」 295 ページ
-676	「指定されたトランザクションの独立性が不正です。」 420 ページ
-675	「Java 仮想マシンが起動できませんでした。'%1' が見つかりませんでした。」 176 ページ
-674	「文のサイズの制限値が無効です。」 478 ページ
-673	「データベースのアップグレードができません。」 284 ページ
-672	「データベースのアップグレードに失敗しました。」 286 ページ
-671	「パラメータが出力パラメータとして登録されていません。」 335 ページ
-670	「クラスのバイト・コードが不正です。」 241 ページ
-669	「メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。」 355 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-668	「カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されていま す。」 230 ページ
-667	「テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませ んでした。」 296 ページ
-666	「リモート・テーブル '%1' が見つかりませ んでした。」 372 ページ
-665	「データベース ¥"%1¥" のリカバリが必要です。」 ページ
-664	「データベースはアクティブです。」 291 ページ
-663	「Java オブジェクトを並列化できません。」 175 ページ
-662	「クラス '%1' を使用して Java オブジェクトを逐次化できませ ん。」 240 ページ
-661	「後方スクロール・カーソルはリモート・オブジェクトではサ ポートされません。」 401 ページ
-660	「サーバ '%1': %2」 249 ページ
-659	「リモート・サーバ '%1' が見つかりませ んでした。」 370 ページ
-658	「リモート・サーバ '%1' は現在読み込み専用 に設定されています。」 370 ページ
-657	「接続できません。サーバ定義が循環していま す。」 440 ページ
-656	「サーバに接続できません '%1': %2」 250 ページ
-655	「接続パラメータ文字列の解析エラーです。」 441 ページ
-654	「接続パラメータ・ファイルが見つかりませ ん。」 441 ページ
-653	「クラス '%1' を削除できません: JAR のメンバで す。」 240 ページ
-652	「クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませ んでした。」 239 ページ
-651	「データベース '%1' の削除に失敗しました。」 273 ページ
-650	「'%1' のインデックスの型の指定は不正です。」 135 ページ
-649	「クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL に なることはできません。」 241 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-648	「指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。」 409 ページ
-647	「ストア DLL (%1) のエントリ・ポイントを実行できません。」 261 ページ
-646	「ストア DLL ¥"%1¥" をロードできませんでした。」 ページ
-645	「データベースの作成に失敗しました : %1」 289 ページ
-644	「無効なデータベース・ページ・サイズです。」 486 ページ
-643	「UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。」 203 ページ
-642	「SQL 記述子名が正しくありません。」 194 ページ
-641	「割り当てのエラー」 389 ページ
-640	「記述子のインデックスが正しくありません。」 392 ページ
-639	「プロシージャ '%1' の呼び出しに必要なパラメータ名がありません。」 344 ページ
-638	「文字列データの右側がトランケートされます。」 482 ページ
-637	「挿入したカラムが重複しています。」 445 ページ
-636	「参照カラムが重複しています。」 408 ページ
-635	「ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。」 338 ページ
-634	「C 言語の文字列が完結していません。」 156 ページ
-633	「読み込み専用のカーソルを更新しようとしてしました。」 461 ページ
-632	「ベース・テーブル '%1' の挿入／更新に対して WITH CHECK OPTION が違反です。」 352 ページ
-631	「RAISERROR が実行されました : %1」 186 ページ
-630	「無効なエスケープ・シーケンス '%1'」 485 ページ
-629	「無効なエスケープ文字 '%1'」 486 ページ
-628	「ゼロで除算しようとしてしました。」 267 ページ
-627	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。」 403 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-626	「内部用のスレッドが起動できませんでした。」 463 ページ
-625	「この外部プロシージャの呼び出しには、パラメータ数が多すぎます。」 245 ページ
-624	「式にサポートされていないデータ型があります。」 424 ページ
-623	「プロシージャまたはトリガ内では、データ定義文は使用できません。」 351 ページ
-622	「外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。」 388 ページ
-621	「ダイナミック・ライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。」 268 ページ
-620	「ダイナミック・ライブラリ '%1' をロードできませんでした。」 267 ページ
-619	「ダイナミック・ライブラリ名が必要です。」 268 ページ
-618	「外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティング・システムが一致しません。」 387 ページ
-617	「データベース・サーバ外の関数呼び出しはサポートされていません。」 280 ページ
-616	「テーブルのカラム数が多すぎます。」 307 ページ
-615	「プロシージャ '%2' にパラメータ '%1' がありません。」 346 ページ
-614	「メッセージまたはデータ型を所有するユーザは削除できません。」 356 ページ
-613	「ユーザ定義データ型 '%1' が見つかりません。」 366 ページ
-612	「ユーザ・メッセージ %1 が見つかりません。」 363 ページ
-611	「Transact-SQL 機能がサポートされていません。」 200 ページ
-610	「ユーザ・メッセージ %1 はすでに存在していません。」 363 ページ
-609	「WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。」 207 ページ
-608	「WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR があります。」 207 ページ
-607	「データベース・サーバを停止できません。」 280 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-606	「パターンが長すぎます。」 328 ページ
-605	「サーバがデータベース領域の最大ファイル・サイズを超えてページにアクセスしようとした。」 249 ページ
-604	「データベース領域が最大ファイル・サイズに達していません。」 292 ページ
-602	「ファイル '%1' にアクセスできません -- %2」 339 ページ
-601	「'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。」 141 ページ
-313	「ログイン ID '%1' はどのデータベース・ユーザ ID にもマップされていません。」 378 ページ
-312	「ユーザ '%1' はすでにグループ '%2' のメンバーです。」 360 ページ
-311	「内部ロールバック・ログが破損しています。」 462 ページ
-309	「メモリエラー -- トランザクションはロールバックされました。」 356 ページ
-308	「接続が切断されました。」 439 ページ
-307	「すべてのスレッドがブロックされています。」 265 ページ
-306	「デッドロックが検出されました。」 311 ページ
-305	「I/O エラーです。%1 -- トランザクションはロールバックされました。」 169 ページ
-304	「ハードディスクに空き領域がありません。'%1' -- トランザクションはロールバックされました。」 325 ページ
-303	「ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。」 270 ページ
-302	「ユーザによって中断させられました。 -- トランザクションはロールバックされました。」 364 ページ
-301	「データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。」 290 ページ
-300	「実行時 SQL エラーです -- %1」 425 ページ
-299	「文の実行がユーザによって中断させられました。」 479 ページ
-298	「アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとした。」 211 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-297	「ユーザ定義の例外が通知されました。」 366 ページ
-296	「RAISERROR のエラー番号 %1 を 17000 未満にすることはできません。」 187 ページ
-295	「カーソルでローをユニークに識別できません。」 228 ページ
-294	「フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。」 341 ページ
-289	「複数の統合ユーザを定義することはできません。」 476 ページ
-288	「リモートの文が失敗しました。」 374 ページ
-287	「パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。」 326 ページ
-286	「リモート・メッセージ・タイプ '%1' がみつかりません。」 373 ページ
-285	「ユーザ '%1' はこのデータベースのリモート・ユーザではありません。」 359 ページ
-284	「ユーザ '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャです。」 360 ページ
-283	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。」 148 ページ
-282	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。」 148 ページ
-281	「テーブル '%1' はパブリケーションを持っていません。」 300 ページ
-280	「パブリケーション '%1' がみつかりません。」 333 ページ
-275	「ランタイム・サーバではトリガおよびプロシージャはサポートされません。」 368 ページ
-274	「プロシージャまたはトリガの呼び出しのネストが深すぎます。」 350 ページ
-273	「COMMIT/ROLLBACK はトリガでは使用できません。」 157 ページ
-272	「トリガ定義中の REFERENCES 句が無効です。」 321 ページ
-271	「トリガの定義が既存のトリガと矛盾していません。」 320 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-270	「ランタイム・サーバでは、プロシージャを持つユーザを削除できません。」 367 ページ
-269	「トリガの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。」 321 ページ
-268	「トリガ '%1' が見つかりません。」 320 ページ
-267	「アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は認められません。」 212 ページ
-265	「プロシージャ '%1' は見つかりません。」 345 ページ
-264	「FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。」 164 ページ
-263	「FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。」 164 ページ
-262	「ラベル '%1' は見つかりません。」 367 ページ
-261	「'%1' という変数はすでに存在します。」 131 ページ
-260	「変数 '%1' が見つかりません。」 484 ページ
-251	「テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。」 306 ページ
-250	「識別子 '%1' が長すぎます。」 425 ページ
-249	「ログイン ID '%1' はすでにユーザ ID '%2' でマップされています。」 377 ページ
-248	「sys または public ユーザ ID でログイン ID をマップすることはできません。」 197 ページ
-247	「統合化ログイン ID ゲストは、ゲスト・データベースのユーザ ID へマップすることだけできます。」 454 ページ
-246	「このデータベースに対して統合化ログインはサポートされていません。」 244 ページ
-245	「統合化ログインが失敗しました。」 455 ページ
-244	「トランザクション・ログはトランケートされました。」 316 ページ
-243	「データベース・ファイルが削除できません。」 281 ページ
-242	「トランザクションが終了していないため、トランザクション・ログの名前の変更はできません。」 317 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-241	「データベースのバックアップを起動できません。」 286 ページ
-240	「不明なバックアップ操作です。」 474 ページ
-231	「クライアントとデータベース・サーバのバージョンが適合しません。」 238 ページ
-230	「埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサと、データベース・インタフェース・ライブラリのバージョンが適合しません。」 485 ページ
-222	「アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。」 213 ページ
-221	「ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。」 190 ページ
-220	「セーブポイント '%1' が見つかりません。」 266 ページ
-218	「認証に失敗しました。」 465 ページ
-217	「オプション '%1' はプロシージャ内から設定できません。」 225 ページ
-216	「オプション '%1' はテンポラリ・オプションとしてのみ設定できます。」 225 ページ
-215	「プロシージャは '%1' によって使用されていません。」 350 ページ
-214	「テーブルは使用されています。」 308 ページ
-213	「セーブポイントには、ロールバック・ログが必要です。」 266 ページ
-212	「CHECKPOINT にはロールバック・ログが必要です。」 157 ページ
-211	「'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。」 128 ページ
-210	「'%2' のローは、ユーザ '%1' によってロックされていません。」 149 ページ
-209	「制約 '%1' の違反です: テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。」 437 ページ
-208	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。オペレーションはキャンセルされました。」 406 ページ
-207	「INSERT コマンドへの値が正しくありません。」 171 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-206	「統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。」 455 ページ
-205	「統合化ログインが許可されていません。」 455 ページ
-204	「DBA のみがオプション '%1' を設定できます。」 161 ページ
-203	「ユーザ '%1' に対するテンポラリ・オプションを設定することはできません。」 358 ページ
-202	「オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。」 224 ページ
-201	「不正なオプション '%1' を設定しています。」 469 ページ
-200	「オプション '%1' が無効です。-- PUBLIC 設定がありません。」 224 ページ
-199	「カーソルの INSERT/DELETE は、1 度に 1 つのテーブルにしかできません。」 228 ページ
-198	「テーブル '%1' 内のローのプライマリ・キーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。」 301 ページ
-197	「カーソルの現在のローがありません。」 229 ページ
-196	「テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。」 303 ページ
-195	「テーブル '%2' のカラム '%1' は NULL 値を持つことはできません。」 304 ページ
-194	「テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリ・キーの値がありません。」 306 ページ
-193	「テーブル '%1' のプライマリ・キーがユニークではありません。」 298 ページ
-192	「更新できないクエリに対して、更新しようとした。」 401 ページ
-191	「テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。」 305 ページ
-190	「式を更新できません。」 424 ページ
-189	「テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。」 302 ページ
-188	「ホスト変数が足りません。」 352 ページ
-187	「不正なカーソル処理をしようとした。」 470 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-186	「サブクエリは複数行を返すことはできません。」 257 ページ
-185	「SELECT 文が複数行を返しています。」 192 ページ
-184	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データ・ファイルの行 %3 にテーブルをロードするために指定されたデータは無効です。」 304 ページ
-183	「インデックス '%1' が見つかりません。」 218 ページ
-182	「SQLDA 中のフィールドが足りません。」 196 ページ
-181	「NULL に対して、インジケータ変数が用意されていません。」 181 ページ
-180	「カーソルが開きません。」 227 ページ
-172	「カーソルはすでに開いています。」 230 ページ
-171	「カーソルのオープンがエラーになりました。」 229 ページ
-170	「カーソルが宣言されていません。」 227 ページ
-165	「内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました : %1」 462 ページ
-164	「内部関数でネーム・スペースのヒープが足りなくなりました : %1」 463 ページ
-163	「抽出されたテーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。」 452 ページ
-162	「%1 を %2 に変換できません。データ・ファイルの行 %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています。」 127 ページ
-161	「DESCRIBE で無効な型が指定されました。」 163 ページ
-160	「SELECT 文以外は記述できません。」 193 ページ
-159	「カラム番号が無効です。」 236 ページ
-158	「値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。」 450 ページ
-157	「値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。」 451 ページ
-156	「'%1' 付近に無効な式があります。」 147 ページ
-155	「無効なホスト変数です。」 488 ページ
-154	「関数 '%1' のパラメータ数が誤りです。」 390 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-153	「UNION、INTERSECT、または EXCEPT の select リストの長さが一致していません。」 202 ページ
-152	「ORDER BY 句の指定が不正です。」 186 ページ
-151	「select リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています。」 191 ページ
-150	「集合関数の不正な使用です。」 431 ページ
-149	「%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。」 134 ページ
-148	「関数 %1' はありません。」 390 ページ
-147	「%1' を %2' にジョインするための方法が複数あります。」 145 ページ
-146	「%1' を %2' にジョインできません。」 145 ページ
-145	「外部キー %1' は見つかりません。」 386 ページ
-144	「カラム %1' が複数のテーブルで見つかりました。相関名が必要です。」 232 ページ
-143	「カラム %1' が見つかりません。」 231 ページ
-142	「相関名 %1' が見つかりません。」 447 ページ
-141	「テーブル %1' は見つかりませんでした。」 301 ページ
-140	「%1' というユーザ ID はありません。」 130 ページ
-139	「%1' は複数のテーブルで使用されています。」 143 ページ
-138	「DB 領域 %1' が見つかりません。」 159 ページ
-137	「テーブル %1' にはユニークな相関名が必要です。」 294 ページ
-136	「テーブル %1' は外部ジョイン循環です。」 300 ページ
-135	「言語仕様が変更されました。」 400 ページ
-134	「%1' の機能は実装されていません。」 136 ページ
-133	「宣言された文の種類が無効です。」 442 ページ
-132	「SQL 文にエラーがあります。」 194 ページ
-131	「%1' %2 の近くに構文エラーがあります。」 127 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-130	「文が無効です。」 476 ページ
-128	「ランタイム・システムでは、テーブルを所有しているユーザを削除することはできません。」 369 ページ
-127	「インデックスのカラムを変更することはできません。」 219 ページ
-126	「テーブルに 2 つのプライマリ・キーを定義することはできません。」 307 ページ
-125	「ALTER 句が矛盾しています。」 152 ページ
-124	「テーブル '%I' から定義されているよりも多いカラムを削除しようとしています。」 292 ページ
-123	「ユーザ '%I' はユーザ・グループではありません。」 361 ページ
-122	「この操作はグループ循環を起こします。」 246 ページ
-121	「パーミッションがありません:%I」 325 ページ
-120	「ユーザ '%I' はすでにパーミッションを付与されています。」 361 ページ
-119	「プライマリ・キー・カラム '%I' はすでに定義されています。」 342 ページ
-118	「テーブル '%I' にはプライマリ・キーが定義されていません。」 294 ページ
-116	「テーブルは空でなければなりません。」 308 ページ
-114	「ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。」 339 ページ
-113	「外部キーのカラム '%I' にプライマリ・キーと異なる定義があります。」 387 ページ
-112	「テーブルにはすでにプライマリ・キーが定義されています。」 307 ページ
-111	「インデックス名 '%I' はユニークではありません。」 220 ページ
-110	「アイテム '%I' はすでに存在しています。」 210 ページ
-109	「まだデータベースに接続されています。」 353 ページ
-108	「接続が見つかりません。」 439 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-107	「トランザクション・ログ・ファイルへの書き込みエラーが発生しました。」 315 ページ
-106	「トランザクション・ログ・ファイルを開けません -- %1」 316 ページ
-105	「データベースが起動できません -- %1」 282 ページ
-104	「モジュールの前処理でのユーザ ID またはパスワードが無効です。」 357 ページ
-103	「ユーザ ID またはパスワードが無効です。」 362 ページ
-102	「データベース・サーバに接続できる限界数を超えています。」 277 ページ
-101	「データベースに接続されていません。」 283 ページ
-100	「データベース・サーバが見つかりません。」 276 ページ
-99	「データベースに接続できません。」 284 ページ
-98	「認証違反です。」 465 ページ
-97	「データベースのページ・サイズが大きすぎます : %1」 287 ページ
-96	「データベース・サーバはすでに起動しています。」 278 ページ
-95	「解析エラーです : %1」 384 ページ
-94	「フィールドに対して不正な型を参照しました。」 341 ページ
-93	「クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。」 239 ページ
-92	「'%1' は有効なクラス・ファイルではありません。」 143 ページ
-91	「プロシージャ '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。」 345 ページ
-90	「プロシージャ '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。」 347 ページ
-89	「データベース・サーバはマルチユーザ・モードで実行していません。」 278 ページ
-88	「クライアント／サーバの通信プロトコルのバージョンが違います。」 237 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
-87	「サーバを起動するには、データベース名が必要です。」 251 ページ
-86	「起動するのに必要なメモリが不足しています。」 393 ページ
-85	「通信エラーが発生しました。」 452 ページ
-84	「指定されたデータベースは無効です。」 411 ページ
-83	「指定されたデータベースが見つかりません。」 410 ページ
-82	「指定されたデータベースを起動できません:%1」 418 ページ
-81	「データベース・サーバのコマンド・ラインが無効です。」 278 ページ
-80	「データベース・サーバを起動することができません。」 279 ページ
-79	「ローカル・データベース・オプションが無効です。」 375 ページ
-78	「動的メモリが足りません。」 456 ページ
-77	「データベース名がユニークではありません。」 291 ページ
-76	「アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。」 211 ページ
-75	「データベースの起動/停止の要求は拒否されました。」 288 ページ
-74	「選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。」 443 ページ
-72	「データベース・ファイルが指定されていません。」 282 ページ
0	「(メッセージなし)」 150 ページ
100	「ローが見つかりません。」 376 ページ
101	「値がトランケートされました。」 451 ページ
102	「テンポラリ・テーブルが使用されました。」 312 ページ
103	「不正なデータ変換」 471 ページ
104	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されていません。」 406 ページ
105	「プロシージャが完了しました。」 349 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
106	「テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。」 303 ページ
107	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。」 403 ページ
109	「集合関数では、NULL 値は無視されます。」 430 ページ
110	「トランザクション・ログ・バックアップ・ページの一部だけが、満杯になっています。」 315 ページ
111	「文を実行することができませんでした。」 479 ページ
112	「もっと情報が必要です。」 357 ページ
113	「ユーザ '%2' に対するデータベース・オプション '%1' は不正な設定です。」 362 ページ
114	「'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。」 144 ページ
115	「データベース・サーバでは文字セット '%1' を変換できません。変換が正しくない可能性があります。」 277 ページ
116	「言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用しません。」 399 ページ
117	「文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。」 481 ページ
118	「無効なユーザ選択性の評価が指定されました。」 488 ページ
119	「バックアップ・ログ '%1' が開けません。」 331 ページ
120	「'%1' は認識できないオプションです。」 142 ページ
121	「カーソル・オプションの値が変更されました。」 226 ページ
122	「非確定的な結果が返されました。」 466 ページ
124	「不正なデータ変換：行 %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。」 472 ページ
125	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」 123 ページ
127	「%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。」 123 ページ
129	「プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります。」 343 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
130	「ローが新しいスキーマ・フォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。」 377 ページ
132	「文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。」 481 ページ
133	「Ultra Light の接続がリストアされました。」 202 ページ
134	「Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。」 201 ページ
136	「データベースが作成されました。」 283 ページ
137	「参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。」 408 ページ
138	「パブリケーションの述部は評価されませんでした。」 335 ページ
139	「オプション '%1' が複数回指定されています。」 223 ページ
140	「暗号化が有効になっていません。」 382 ページ
200	「警告 : %1」 397 ページ
201	「ICU 照合 '%1' はデフォルトに設定されました。」 169 ページ

エラー・メッセージ (SQLSTATE 順)

SQLSTATE	エラー・メッセージ
00000	「(メッセージなし)」 150 ページ
01000	「警告:%1」 397 ページ
01003	「集合関数では、NULL 値は無視されます。」 430 ページ
01004	「値がトランケートされました。」 451 ページ
01005	「暗号化が有効になっていません。」 382 ページ
01S02	「カーソル・オプションの値が変更されました。」 226 ページ
01W01	「不正なデータ変換:行 %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。」 472 ページ
01W02	「テンポラリ・テーブルが使用されました。」 312 ページ
01W03	「不正なデータ変換」 471 ページ
01W04	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。」 406 ページ
01W05	「プロシージャが完了しました。」 349 ページ
01W06	「テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。」 303 ページ
01W07	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。」 403 ページ
01W08	「文を実行することができませんでした。」 479 ページ
01W09	「もっと情報が必要です。」 357 ページ
01W10	「トランザクション・ログ・バックアップ・ページの一部だけが、満杯になっています。」 315 ページ
01W11	「ユーザ '%2' に対するデータベース・オプション '%1' は不正な設定です。」 362 ページ
01W12	「'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されません。」 144 ページ
01W13	「データベース・サーバでは文字セット '%1' を変換できません。変換が正しくない可能性があります。」 277 ページ
01W14	「言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用します。」 399 ページ
01W15	「文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。」 481 ページ
01W16	「無効なユーザ選択性の評価が指定されました。」 488 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
01W17	「'%1' は認識できないオプションです。」 142 ページ
01W18	「非確定的な結果が返されました。」 466 ページ
01W20	「プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります。」 343 ページ
01W21	「ローが新しいスキーマ・フォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。」 377 ページ
01W23	「文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。」 481 ページ
01W24	「参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。」 408 ページ
01W25	「パブリケーションの述部は評価されませんでした。」 335 ページ
01W26	「オプション '%1' が複数回指定されています。」 223 ページ
01WC1	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」 123 ページ
01WC3	「%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。」 123 ページ
01WC4	「ICU 照合 '%1' はデフォルトに設定されました。」 169 ページ
02000	「ローが見つかりません。」 376 ページ
04W07	「データベース領域が最大ファイル・サイズに達しています。」 292 ページ
04W08	「サーバがデータベース領域の最大ファイル・サイズを超えてページにアクセスしようとしてしました。」 249 ページ
07001	「ホスト変数が足りません。」 352 ページ
07002	「SQLDA 中のフィールドが足りません。」 196 ページ
07003	「カーソルのオープンがエラーになりました。」 229 ページ
07005	「SELECT 文以外は記述できません。」 193 ページ
07009	「記述子のインデックスが正しくありません。」 392 ページ
07W01	「DESCRIBE で無効な型が指定されました。」 163 ページ
07W02	「文が無効です。」 476 ページ
07W03	「宣言された文の種類が無効です。」 442 ページ
07W04	「SQLDA フィールドがマルチロー SQLDA と矛盾しています。」 196 ページ
07W05	「SQLDA のデータ型が無効です。」 195 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
07W06	「SQL の識別子が無効です。」 194 ページ
07W07	「ホスト変数をバッチで使用してはいけません。」 353 ページ
07W08	「SQLDA に不正な sqlen フィールドがあります。」 195 ページ
08001	「データベースが起動できません -- %1」 282 ページ
08003	「データベースに接続されていません。」 283 ページ
08004	「'%1' というユーザ ID はありません。」 130 ページ
08005	「パスワードに不正な文字が含まれています。」 327 ページ
08W01	「データベース・サーバが見つかりません。」 276 ページ
08W02	「接続が見つかりません。」 439 ページ
08W03	「データベース・サーバに接続できる限界数を超過しています。」 277 ページ
08W04	「データベースに接続できません。」 284 ページ
08W05	「トランザクション・ログ・ファイルを開けません -- %1」 316 ページ
08W06	「まだデータベースに接続されています。」 353 ページ
08W07	「データベース・サーバを起動することができません。」 279 ページ
08W08	「データベース・サーバのコマンド・ラインが無効です。」 278 ページ
08W09	「指定されたデータベースを起動できません : %1」 418 ページ
08W10	「指定されたデータベースが見つかりません。」 410 ページ
08W11	「指定されたデータベースは無効です。」 411 ページ
08W12	「通信エラーが発生しました。」 452 ページ
08W13	「起動するのに必要なメモリが不足しています。」 393 ページ
08W14	「サーバを起動するには、データベース名が必要です。」 251 ページ
08W15	「クライアント／サーバの通信プロトコルのバージョンが違います。」 237 ページ
08W16	「データベース・サーバはマルチユーザ・モードで実行していません。」 278 ページ
08W17	「トランザクション・ログ・ファイルへの書き込みエラーが発生しました。」 315 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
08W18	「埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサと、データベース・インタフェース・ライブラリのバージョンが適合しません。」 485 ページ
08W19	「クライアントとデータベース・サーバのバージョンが適合しません。」 238 ページ
08W21	「認証違反です。」 465 ページ
08W22	「データベースのページ・サイズが大きすぎます : %1」 287 ページ
08W23	「データベース・サーバはすでに起動しています。」 278 ページ
08W24	「不正なパラメータです。」 472 ページ
08W25	「ローカル・データベース・オプションが無効です。」 375 ページ
08W26	「動的メモリが足りません。」 456 ページ
08W27	「データベース名がユニークではありません。」 291 ページ
08W28	「アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。」 211 ページ
08W29	「データベースの起動/停止の要求は拒否されました。」 288 ページ
08W30	「選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。」 443 ページ
08W32	「無効なデータベース・ページ・サイズです。」 486 ページ
08W33	「データベースの作成に失敗しました : %1」 289 ページ
08W34	「ストア DLL ¥"%1¥" をロードできませんでした。」 ページ
08W35	「ストア DLL (%1) のエントリ・ポイントを実行できません。」 261 ページ
08W36	「指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。」 409 ページ
08W37	「接続パラメータ・ファイルが見つかりません。」 441 ページ
08W38	「接続パラメータ文字列の解析エラーです。」 441 ページ
08W39	「データベース・ファイルが指定されていません。」 282 ページ
08W40	「データベースはアクティブです。」 291 ページ
08W41	「データベース ¥"%1¥" のリカバリが必要です。」 ページ
08W42	「データベースのアップグレードに失敗しました。」 286 ページ
08W43	「データベースのアップグレードができません。」 284 ページ
08W44	「バックアップ/リストア DLL ¥"%1¥" をロードできませんでした。」 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
08W45	「バックアップ/リストア DLL (%1) のエントリ・ポイントを実行できませんでした。」 329 ページ
08W46	「バックアップ中にエラーが発生しました : %1」 332 ページ
08W47	「データベース・ストア DLL (%1) のバージョンが不正です。」 281 ページ
08W48	「認証に失敗しました。」 465 ページ
08W49	「解析エラーです : %1」 384 ページ
08W51	「IQ データベース・コマンド・ラインの不正なオプションまたはパラメータ値 : %1」 172 ページ
08W52	「IQ メモリ・マネージャを初期化できません : %1」 173 ページ
08W53	「System V リソースを割り当てることができません。」 197 ページ
08W54	「解析エラーです : %1」 385 ページ
08W55	「サーバが見つからないため自動起動できません。」 250 ページ
08W56	「指定されたデータベース・ファイルはすでに使用されています。」 410 ページ
08W57	「データベースのアップグレードができません。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。」 285 ページ
08W58	「データベースのアップグレードができません。ユーザ・テーブルに、システム・テーブル範囲のテーブル ID が設定されています。」 285 ページ
08W59	「TLS ハンドシェイクに失敗しました。」 198 ページ
08W60	「接続エラー : %1」 438 ページ
08W61	「サーバ上で TLS の初期化に失敗しました。」 252 ページ
08W62	「暗号化キーが不正であるか、見つかりません。」 383 ページ
08W63	「復号化エラーです : %1」 475 ページ
08W64	「データベース・サーバでは文字セット '%1' を変換できません。」 276 ページ
08W65	「クライアントでメモリが不足しています。」 238 ページ
08W66	「暗号化エラーです : %1」 382 ページ
08W67	「指定されたデータベースを起動できません : データベース %1 を起動するにはサーバをアップグレードする必要があります。」 419 ページ
08W68	「指定されたデータベースを起動できません : ログ・ファイル・エラー」 420 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
08W69	「jConnect は暗号化をサポートしていません。」 177 ページ
08W70	「暗号化 DLL ¥"%1¥" をロードできませんでした。」 ページ
08W71	「プロシージャまたは関数 '%2' のパラメータ '%1' には、デフォルト値はありません。」 351 ページ
08W72	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクション・ログ・ミラーです。」 412 ページ
08W73	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。」 415 ページ
08W74	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログで、'%1' は操作を予期していません。」 415 ページ
08W75	「指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです。」 418 ページ
08W76	「指定されたデータベースを開始できません。このサーバーで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)。」 414 ページ
08W80	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログ・ファイルがデータベース・ファイルよりも後に使用されているためです。」 417 ページ
08W81	「指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクション・ログ・ファイルが見つかりません」 414 ページ
08W82	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないためです。」 416 ページ
08W83	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはデータベース・ファイルがログ・ファイルよりも後に使用されているためです。」 417 ページ
08W84	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いためです。」 416 ページ
08W85	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。」 411 ページ
08W86	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。」 412 ページ
08W87	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は有効なデータベース・ファイルではありません。」 413 ページ
08W88	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクション・ログです。」 413 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
08W89	「データベース・サーバを起動することができません。サーバに致命的なエラーが発生しました。」 279 ページ
08W90	「DBN/DBF パラメータが、この代替サーバ名のデータベースと一致しません。」 163 ページ
08W91	「ミラー・サーバに接続できません。サーバ名 '%1' を使用してプライマリ・サーバを探してください。」 354 ページ
08W93	「データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み取り専用モードを使用できません。」 271 ページ
08W94	「ファンクション '%1' に無効なパラメータ '%2' ('%3') があります。」 340 ページ
08W95	「ATTACH TRACING は、トレース・データベースに接続できませんでした。」 153 ページ
08W96	「トレース接続はすでにアクティブになっています。」 324 ページ
08W98	「データベース '%1' はこのプラットフォームでは起動できません。 http://iAnywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/indian_corruption_warning.html を参照してください。」 274 ページ
08W99	「データベース '%1' はこのプラットフォームでは起動できません。 http://iAnywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/indian_cant_change_platform.html を参照してください。」 273 ページ
09W02	「不正なカーソル処理をしようとしてしました。」 470 ページ
09W03	「'%1' では結果セットは許可されません。」 128 ページ
09W04	「カーソルの INSERT/DELETE は、1 度に 1 つのテーブルにしかできません。」 228 ページ
09W05	「カーソルでローをユニークに識別できません。」 228 ページ
09W06	「カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。」 230 ページ
09W07	「文のサイズの制限値が無効です。」 478 ページ
09W08	「テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。」 296 ページ
0A000	「'%1' の機能は実装されていません。」 136 ページ
0A001	「呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。」 400 ページ
0AQ48	「IQ データベースにはログが必要です。」 172 ページ
0AW01	「言語仕様が変更されました。」 400 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
0AW02	「Transact-SQL 機能がサポートされていません。」 200 ページ
0AW03	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。」 403 ページ
0AW04	「ランタイム・サーバではトリガおよびプロシージャはサポートされません。」 368 ページ
0AW05	「パススルー・モードでは文を使用できません。」 326 ページ
0AW06	「計算カラムはこのデータベースではサポートされません。」 396 ページ
0AW07	「Ultra Light では使用できない機能です。」 201 ページ
0AW08	「コミットされていないトランザクションの同期またはアップグレードはできません。」 247 ページ
0AW09	「同期サーバがアップロードのコミットに失敗しました。」 458 ページ
0AW10	「DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。」 164 ページ
0AW11	「既存のローと競合しているため、ダウンロードに失敗しました。」 391 ページ
0AW12	「サーバ %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。」 248 ページ
0AW13	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません。」 444 ページ
0AW14	「このタイプの文に対してプランを生成することはできません。」 243 ページ
0AW15	「実体化ビューのサポートは、このデータベースでは利用できません。」 428 ページ
0AW16	「FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません。」 165 ページ
0AW17	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。」 444 ページ
0AW18	「リモート・データ・サービス機能はこのプラットフォームではサポートされていません。」 372 ページ
21000	「SELECT 文が複数行を返しています。」 192 ページ
21W01	「サブクエリは複数行を返すことはできません。」 257 ページ
22001	「文字列データの右側がトランケートされます。」 482 ページ
22002	「NULL に対して、インジケータ変数が用意されていません。」 181 ページ
22003	「値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。」 450 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
22005	「割り当てのエラー」 389 ページ
22012	「ゼロで除算しようとしてしました。」 267 ページ
22019	「無効なエスケープ文字 '%1」 486 ページ
22024	「C 言語の文字列が完結していません。」 156 ページ
22025	「無効なエスケープ・シーケンス '%1」 485 ページ
22030	「要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。」 490 ページ
22W02	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。オペレーションはキャンセルされました。」 406 ページ
22W03	「WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR がありません。」 207 ページ
22X13	「OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。」 183 ページ
23501	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データ・ファイルの行 %3 にテーブルをロードするために指定されたデータは無効です。」 304 ページ
23502	「テーブル '%2' のカラム '%1' は NULL 値を持つことはできません。」 304 ページ
23503	「テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリ・キーの値がありません。」 306 ページ
23504	「NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。」 182 ページ
23505	「テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。」 303 ページ
23506	「制約 '%1' の違反です: テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。」 437 ページ
23507	「指定された外部キー (%1) は使用できません。」 422 ページ
23508	「制約 '%1' の違反です: テーブル '%2' の値が無効です。」 436 ページ
23W01	「テーブル '%1' のプライマリ・キーがユニークではありません。」 298 ページ
23W05	「テーブル '%1' 内のローのプライマリ・キーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。」 301 ページ
24000	「カーソルが有効な状態にありません。」 227 ページ
24501	「カーソルが開きません。」 227 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
24502	「カーソルはすでに開いています。」 230 ページ
24503	「カーソルの現在のローがありません。」 229 ページ
24504	「スクロール位置 '%1' が不正です。」 261 ページ
24W01	「カーソルが宣言されていません。」 227 ページ
26501	「SQL 文にエラーがあります。」 194 ページ
28000	「ユーザ ID またはパスワードが無効です。」 362 ページ
28W01	「モジュールの前処理でのユーザ ID またはパスワードが無効です。」 357 ページ
28W02	「統合化ログインが許可されていません。」 455 ページ
28W03	「統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。」 455 ページ
28W04	「統合化ログインが失敗しました。」 455 ページ
28W05	「このデータベースに対して統合化ログインはサポートされていません。」 244 ページ
28W06	「統合化ログイン ID ゲストは、ゲスト・データベースのユーザ ID へマップすることだけできます。」 454 ページ
28W07	「sys または public ユーザ ID でログイン ID をマップすることはできません。」 197 ページ
28W08	「ログイン ID '%1' はすでにユーザ ID '%2' でマップされています。」 377 ページ
28W09	「ログイン ID '%1' はどのデータベース・ユーザ ID にもマップされていません。」 378 ページ
28W10	「統合されたユーザに対する個別のグループ・マッピングが多すぎます。」 454 ページ
28W11	「無効なパスワード : %1」 487 ページ
28W12	「Kerberos ログインが失敗しました。」 180 ページ
28W13	「Kerberos ログインはサポートされていません。」 180 ページ
28W14	「ログイン・モード '%1' は、login_mode 設定で許可されていません。」 378 ページ
2D501	「COMMIT/ROLLBACK はトリガでは使用できません。」 157 ページ
33000	「SQL 記述子名が正しくありません。」 194 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
37505	「関数 '%1' のパラメータ数が誤りです。」 390 ページ
38W01	「システム・コマンドが失敗し、リターン・コード %1 が返されました。」 258 ページ
3B001	「セーブポイント '%1' が見つかりません。」 266 ページ
3B002	「ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。」 190 ページ
3BW01	「セーブポイントには、ロールバック・ログが必要です。」 266 ページ
3BW02	「アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。」 213 ページ
40000	「実行時 SQL エラーです -- %1」 425 ページ
40001	「デッドロックが検出されました。」 311 ページ
40W01	「データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。」 290 ページ
40W02	「ユーザによって中断させられました。 -- トランザクションはロールバックされました。」 364 ページ
40W03	「ハードディスクに空き領域がありません。 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。」 325 ページ
40W04	「I/O エラーです。 %1 -- トランザクションはロールバックされました。」 169 ページ
40W05	「ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。」 270 ページ
40W06	「すべてのスレッドがブロックされています。」 265 ページ
40W07	「接続が切断されました。」 439 ページ
40W08	「メモリエラー -- トランザクションはロールバックされました。」 356 ページ
42501	「パーミッションがありません : %1」 325 ページ
42R01	「テンポラリー・テーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。」 313 ページ
42R02	「キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリー・テーブルである必要があります。」 237 ページ
42R03	「テンポラリー・テーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリ・キーが必要です。」 313 ページ
42U00	「ビューがテンポラリー・オブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。」 338 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
42U01	「相関名 '%1' への参照が不正です。」 448 ページ
42U02	「修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は相関名 '%2' と一致していません。」 429 ページ
42U03	「カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。」 233 ページ
42U04	「制約 '%1' が見つかりません。」 436 ページ
42U05	「(メッセージなし)」 150 ページ
42U06	「制約 '%1' への参照または操作が無効です。」 437 ページ
42U07	「テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。」 295 ページ
42W01	「ユーザ '%1' はすでにパーミッションを付与されています。」 361 ページ
42W02	「この操作はグループ循環を起こします。」 246 ページ
42W03	「ユーザ '%1' はユーザ・グループではありません。」 361 ページ
42W04	「'%1' '%2 の近くに構文エラーがあります。」 127 ページ
42W05	「関数 '%1' はありません。」 390 ページ
42W06	「集合関数の不正な使用です。」 431 ページ
42W07	「無効なホスト変数です。」 488 ページ
42W08	「'%1' 付近に無効な式があります。」 147 ページ
42W09	「プロシージャ、トリガ、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。」 347 ページ
42W13	「カラム番号が無効です。」 236 ページ
42W14	「変数 '%1' が見つかりません。」 484 ページ
42W15	「'%1' という変数はすでに存在します。」 131 ページ
42W16	「オプション '%1' が無効です。-- PUBLIC 設定がありません。」 224 ページ
42W17	「不正なオプション '%1' を設定しています。」 469 ページ
42W18	「'%2' のローは、ユーザ '%1' によってロックされています。」 149 ページ
42W19	「'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。」 128 ページ
42W20	「CHECKPOINT にはロールバック・ログが必要です。」 157 ページ
42W21	「テーブルは使用されています。」 308 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
42W22	「アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。」 211 ページ
42W23	「プロシージャは '%1' によって使用されています。」 350 ページ
42W24	「ラベル '%1' は見つかりません。」 367 ページ
42W25	「FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。」 164 ページ
42W26	「FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。」 164 ページ
42W28	「アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は認められません。」 212 ページ
42W29	「プロシージャまたはトリガの呼び出しのネストが深すぎます。」 350 ページ
42W30	「読み込み専用のカーソルを更新しようとしてしました。」 461 ページ
42W31	「更新できないクエリに対して、更新しようとしてしました。」 401 ページ
42W32	「テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。」 305 ページ
42W33	「テーブル '%1' は見つかりませんでした。」 301 ページ
42W34	「ユーザ '%1' はすでにグループ '%2' のメンバです。」 360 ページ
42W35	「更新できないリモート・クエリに対して、更新しようとしてしました。」 402 ページ
42W36	「FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました。」 165 ページ
42W37	「ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません。」 185 ページ
42W38	「SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません。」 192 ページ
42W39	「ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガと WITH CHECK OPTION が競合していません。」 336 ページ
42W3A	「テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガがあるため、操作に失敗しました。」 309 ページ
42W3B	「INSTEAD OF トリガのあるビューで位置付け更新しようとしてしました。」 171 ページ
42W3C	「ビュー '%1' のトリガ・タイプが無効です。」 336 ページ
42W3D	「実体化ビュー '%1' でトリガを作成できません。」 428 ページ
42W40	「参照カラムが重複しています。」 408 ページ
42W41	「挿入したカラムが重複しています。」 445 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
42W42	「プロシージャ '%1' の呼び出しに必要なパラメータ名がありません。」 344 ページ
42W43	「オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。」 224 ページ
42W44	「テーブル '%1' から定義されているよりも多いカラムを削除しようとしています。」 292 ページ
42W45	「ユーザ '%1' に対するテンポラリー・オプションを設定することはできません。」 358 ページ
42W46	「DBA のみがオプション '%1' を設定できます。」 161 ページ
42W47	「プロシージャ '%2' にパラメータ '%1' がありません。」 346 ページ
42W48	「構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。」 402 ページ
42W49	「TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。」 200 ページ
42W50	「READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。」 187 ページ
42W51	「VALIDATE 文はベース・テーブルを参照しなければなりません。」 205 ページ
42W52	「オプション '%1' はテンポラリー・オプションとしてのみ設定できません。」 225 ページ
42W53	「オプション '%1' はプロシージャ内から設定できません。」 225 ページ
42W54	「シグニチャ '%1' はプロシージャのパラメータと一致しません。」 257 ページ
42W55	「ユーザは使用中のプロシージャを所有しています。」 365 ページ
42W56	「ユーザは使用中のテーブルを所有しています。」 364 ページ
42W57	「Java クラス '%1' が見つかりません。」 175 ページ
42W58	「JAR '%1' が見つかりません。」 173 ページ
42W59	「派生テーブル '%1' の select リストに '%2' と一致する式がありません。」 466 ページ
42W60	「エイリアス '%1' がユニークではありません。」 221 ページ
42W61	「エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。」 222 ページ
42W62	「テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガで修正または削除されました。」 298 ページ
42W63	「プロシージャ '%1' は有効でなくなりました。」 346 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
42W64	「テーブル '%1' のトリガまたは外部キーは有効でなくなりました。」 297 ページ
42W65	「ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。」 185 ページ
42W66	「トリガ名 '%1' はあいまいです。」 322 ページ
42W67	「CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。」 159 ページ
42W68	「集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。」 432 ページ
42W69	「集約式 '%1' は select リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります。」 432 ページ
42W70	「グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。」 242 ページ
42W71	「文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。」 477 ページ
42W73	「'%1' にジョインする方法がありません。」 133 ページ
42W74	「インデックス '%1' をクラスタできません。」 218 ページ
42W79	「文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。」 477 ページ
42W82	「ユーザ設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。」 365 ページ
42W83	「HTTP オプション '%1' の設定が無効です。」 166 ページ
42W84	「HTTP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」 167 ページ
42W85	「'%1' は '%2' に対して無効な値です。」 138 ページ
42W86	「SOAP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」 193 ページ
42W90	「集約関数の ORDER BY が不正です。」 431 ページ
42W91	「監査用のトランザクション・ログ・ファイルが必要です。」 389 ページ
42W92	「CREATE SERVICE にはサービス・タイプが必要です。」 158 ページ
42W93	「共通テーブル式参照に循環があります。」 393 ページ
42W94	「'%1' は認識されていないサービス・タイプです。」 141 ページ
42W95	「サービス名 '%1' は無効です。」 256 ページ
42W96	「AUTHORIZATION が OFF の場合はユーザ名を指定する必要があります。」 154 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
42W97	「サービス '%1' はすでに存在します。」 253 ページ
42W98	「サービス '%1' が見つかりません。」 252 ページ
42W99	「再帰クエリが無効です。」 404 ページ
42W9A	「再帰クエリのカラム・リストがありません。」 405 ページ
42W9B	「サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。」 256 ページ
42W9C	「サービス文定義とサービス・タイプが矛盾しています。」 256 ページ
42W9D	「GROUP BY 句には定数式を使用できません。」 166 ページ
42W9E	「AUTHORIZATION がオフの場合、サービス定義には文が必要です。」 154 ページ
42WA0	「RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。」 188 ページ
42WA1	「ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます。」 190 ページ
42WA2	「再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。」 404 ページ
42WA3	「Window '%1' が見つかりません。」 205 ページ
42WA4	「ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。」 221 ページ
42WA5	「ORDER BY はウィンドウ '%1' では許可されません。」 184 ページ
42WA6	「ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。」 220 ページ
42WA7	「集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループ・カラムである必要があります。」 430 ページ
42WA8	「Window 関数が述語に使用されています。」 206 ページ
42WA9	「Window 関数には ORDER BY が必要です。」 206 ページ
42WAA	「複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。」 475 ページ
42WAB	「ユーザ '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを受けています。」 359 ページ
42WAC	「関数またはプロシージャ '%1' に引数が多すぎます。」 391 ページ
42WAD	「サービスの属性 '%1' の値が無効です。」 255 ページ
42WAE	「サービスの属性 '%1' の値がありません。」 255 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
42WAF	「USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。」 204 ページ
42WB0	「サービスで重複した属性 '%1' です。」 254 ページ
42WB1	「USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。」 204 ページ
42WB2	「サービス・タイプでは 'USING' 属性が許可されません。」 254 ページ
42WB3	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- 実体化ビューの定義が次の構成体を使用しない可能性があります: '%2'」 137 ページ
42WB4	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- 自動更新可能な実体化ビューの定義が次の構成体を使用しない可能性があります: '%2'」 137 ページ
42WB5	「実体化ビュー '%1' が見つかりません。」 427 ページ
42WB6	「実体化されたビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」 427 ページ
42WB7	「実体化されたビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」 426 ページ
42WB8	「スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました。」 264 ページ
42WB9	「スナップショット中は文を使用できません。」 265 ページ
42WBA	「スナップショット・トランザクションで更新の競合が発生しました。」 264 ページ
42WBB	「スナップショット・アイソレーションを非スナップショット・トランザクションで使用しようとしてしました。」 263 ページ
42WBC	「実体化されたビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。」 426 ページ
42WBD	「計算カラムの依存に循環があります。」 396 ページ
42WBE	「ユーザ '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。」 358 ページ
42WBF	「相関名 '%1' は、ROWID() 関数では使用できません。」 447 ページ
42WC0	「重複キー・カラム (%1)」 433 ページ
42WC1	「テーブル '%1' には、ROWID() 関数への無効な参照が含まれていません。」 293 ページ
42WC2	「'%1' プロパティはサポートされなくなりました。」 144 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
42Z00	「書き込みアクセスが拒否されました。」 434 ページ
44000	「ベース・テーブル '%1' の挿入／更新に対して WITH CHECK OPTION が違反です。」 352 ページ
52002	「カラム '%1' が複数のテーブルで見つかりました。相関名が必要です。」 232 ページ
52003	「カラム '%1' が見つかりません。」 231 ページ
52004	「抽出されたテーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。」 452 ページ
52005	「テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。」 302 ページ
52009	「プライマリ・キー・カラム '%1' はすでに定義されています。」 342 ページ
52010	「アイテム '%1' はすでに存在しています。」 210 ページ
52012	「'%1' は複数のテーブルで使用されています。」 143 ページ
52W02	「相関名 '%1' が見つかりません。」 447 ページ
52W03	「インデックス '%1' が見つかりません。」 218 ページ
52W04	「インデックス名 '%1' はユニークではありません。」 220 ページ
52W05	「テーブルに 2 つのプライマリ・キーを定義することはできません。」 307 ページ
52W06	「テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。」 306 ページ
52W07	「外部キー '%1' は見つかりません。」 386 ページ
52W08	「'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。」 145 ページ
52W09	「プロシージャ '%1' は見つかりません。」 345 ページ
52W10	「トリガ '%1' が見つかりません。」 320 ページ
52W11	「トリガの定義が既存のトリガと矛盾しています。」 320 ページ
52W12	「トリガ定義中の REFERENCES 句が無効です。」 321 ページ
52W13	「DB 領域 '%1' が見つかりません。」 159 ページ
52W14	「テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。」 300 ページ
52W15	「テーブル '%1' にはユニークな相関名が必要です。」 294 ページ
52W16	「ユーザ・メッセージ %1 はすでに存在しています。」 363 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
52W17	「ユーザ・メッセージ %1 が見つかりません。」 363 ページ
52W18	「ユーザ定義データ型 '%1' が見つかりません。」 366 ページ
52W19	「テーブル '%1' のデータベース領域が見つかりません。」 297 ページ
52W20	「テーブルのカラム数が多すぎます。」 307 ページ
52W21	「プロシージャまたはトリガ内では、データ定義文は使用できません。」 351 ページ
52W22	「ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。」 338 ページ
52W23	「Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。」 199 ページ
52W24	「Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョイン・タイプが無効です。」 198 ページ
52W25	「不正な比較です。」 473 ページ
52W26	「共有テンポラリ・テーブルに対して無効なコミット・アクションです。」 394 ページ
52W40	「インデックス名 '%1' があいまいです。」 219 ページ
52W41	「接続しているテンポラリ・テーブルが多すぎます。」 440 ページ
52W42	「テーブル名 '%1' はあいまいです。」 310 ページ
52W43	「デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。」 312 ページ
53002	「INSERT コマンドへの値が正しくありません。」 171 ページ
53003	「'%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。」 134 ページ
53005	「ORDER BY 句の指定が不正です。」 186 ページ
53011	「ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。」 339 ページ
53017	「%1 を %2 に変換できません。データ・ファイルの行 %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています。」 127 ページ
53018	「値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。」 451 ページ
53019	「プロシージャ '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。」 344 ページ
53023	「select リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています。」 191 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
53026	「UNION、INTERSECT、または EXCEPT の select リストの長さが一致していません。」 202 ページ
53030	「外部キーのカラム '%1' にプライマリー・キーと異なる定義があります。」 387 ページ
53W01	「ALTER 句が矛盾しています。」 152 ページ
53W02	「式を更新できません。」 424 ページ
53W04	「'%1' を '%2' にジョインできません。」 145 ページ
53W05	「インデックスのカラムを変更することはできません。」 219 ページ
53W06	「トリガの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。」 321 ページ
53W07	「RAISERROR のエラー番号 %1 を 17000 未満にすることはできません。」 187 ページ
53W08	「フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。」 341 ページ
53W09	「WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。」 207 ページ
54003	「識別子 '%1' が長すぎます。」 425 ページ
54W01	「文のサイズまたは複雑度がサーバの制限を超えています。」 478 ページ
54W02	「データベースの制約が多すぎます。」 289 ページ
54W03	「データベースのページ・サイズが小さすぎます: %1」 287 ページ
54W04	「指定されたリスナを登録できませんでした。」 421 ページ
54W05	「テンポラリ領域の制限を超えています。」 314 ページ
54W06	「文字列が長すぎます (%1)。」 482 ページ
54W07	「パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。」 328 ページ
54W08	「パスワードの長さは %1 文字以内です。」 327 ページ
54W09	「文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。」 480 ページ
54W10	「データベースのユーザが多すぎます。」 288 ページ
54W11	「BLOB への参照が多すぎます。」 156 ページ
54W50	「仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数が使用されています。」 384 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
55008	「テーブル '%1' にはプライマリ・キーが定義されていません。」 294 ページ
55013	「テーブルにはすでにプライマリ・キーが定義されています。」 307 ページ
55W02	「テーブルは空でなければなりません。」 308 ページ
55W03	「ランタイム・システムでは、テーブルを所有しているユーザを削除することはできません。」 369 ページ
55W04	「ランタイム・サーバでは、プロシージャを持つユーザを削除できません。」 367 ページ
55W05	「メッセージまたはデータ型を所有するユーザは削除できません。」 356 ページ
55W06	「レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザを削除できません。」 374 ページ
55W07	「db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。」 160 ページ
55W08	「読み込み専用データ・ベースに対しての修正は禁止されています。」 461 ページ
55W09	「トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。」 318 ページ
55W10	「トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。」 318 ページ
55W11	「コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。」 247 ページ
55W13	「ランタイム・サーバでは強い暗号化方式のデータベース・ファイルはサポートされません。」 368 ページ
55W14	「閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です。」 484 ページ
55W15	「サービス '%1' は使用中です。」 253 ページ
55W16	「オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。」 222 ページ
55W17	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。」 337 ページ
55W18	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。」 337 ページ
55W19	「不正なカラム定義: %1」 470 ページ
55W20	「このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません。」 245 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
55W23	「スナップショット・アイソレーションが無効または保留になっています。」 263 ページ
55W24	「トレースを再表示できません:少なくとも1つの有効化されているトレース・レベルを指定する必要があります。」 324 ページ
55W25	「Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。」 199 ページ
55W26	「DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。」 160 ページ
55W27	「暗号化が有効になっていません。」 382 ページ
56001	「テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれています。」 295 ページ
57014	「文の実行がユーザによって中断させられました。」 479 ページ
57015	「再帰反復が多すぎます。」 405 ページ
57W01	「タイムアウトになったため、要求が中断されました。」 269 ページ
57W02	「機能 '%1' の使用は許可されません。」 392 ページ
57W03	「要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。」 492 ページ
5RW01	「パブリケーション '%1' が見つかりません。」 333 ページ
5RW02	「テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。」 300 ページ
5RW03	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。」 148 ページ
5RW04	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。」 148 ページ
5RW05	「ユーザ '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャです。」 360 ページ
5RW06	「ユーザ '%1' はこのデータベースのリモート・ユーザではありません。」 359 ページ
5RW07	「リモート・メッセージ・タイプ '%1' が見つかりません。」 373 ページ
5RW08	「パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。」 326 ページ
5RW09	「リモートの文が失敗しました。」 374 ページ
5RW10	「複数の統合ユーザを定義することはできません。」 476 ページ
5RW11	「同期メッセージ・タイプ '%1' が見つかりません。」 459 ページ
5RW12	「'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。」 131 ページ
5RW13	「'%1' にサブスクリプションを作成できません。」 133 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
5RW14	「ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。」 151 ページ
5RW15	「ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーション・エントリを変更できません。」 152 ページ
5RW16	「プライマリ・キーがないためテーブル '%1' と同期できません。」 342 ページ
5RW17	「同期処理ではテーブル '%1' にプライマリ・キーを含める必要がありません。」 460 ページ
5RW18	「BLOB プライマリ・キーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。」 155 ページ
5RW19	「パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリ・キーを更新できません。」 334 ページ
5RW21	「他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。」 450 ページ
5RW22	「他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。」 449 ページ
5RW23	「アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。」 213 ページ
5RW24	「cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。」 158 ページ
5RW25	「アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。」 212 ページ
5RW26	「現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。」 399 ページ
5RW27	「他の接続はすでに '%1' として登録されています。」 449 ページ
5RW28	「登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。」 453 ページ
5RW29	「自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。」 423 ページ
5RW32	「同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれています。」 457 ページ
5RW33	「同期オプション '%1' が見つかりません。」 456 ページ
5RW34	「同期オプションが長すぎます。」 457 ページ
5RW35	「テーブル '%1' が同期定義の一部です。」 293 ページ
5RW36	「テーブル '%1' はすでにインクルードされています。」 299 ページ
5RW37	「'%1' という名前の同期ユーザが見つかりません。」 132 ページ
5RW38	「パブリケーション・タイプで操作が競合しています。」 333 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
5RW39	「'%1' という名前の同期定義が見つかりません。」 132 ページ
99999	「ユーザ定義の例外が通知されました。」 366 ページ
WB001	「不明なバックアップ操作です。」 474 ページ
WB002	「データベースのバックアップを起動できません。」 286 ページ
WB003	「トランザクションが終了していないため、トランザクション・ログの名前の変更はできません。」 317 ページ
WB004	「データベース・ファイルが削除できません。」 281 ページ
WB005	「トランザクション・ログはトランケートされました。」 316 ページ
WB006	「バックアップ・ファイルの内容が矛盾しています。」 331 ページ
WB007	「バックアップ・ファイルのフォーマットが無効です。」 330 ページ
WB008	「RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。」 189 ページ
WB009	「RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。」 189 ページ
WB010	「RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。」 188 ページ
WB011	「バックアップ・ログ '%1' が開けません。」 331 ページ
WB012	「バックアップ・ファイル '%1' はすでに存在します。」 330 ページ
WB013	「無効なバックアップ操作」 488 ページ
WB014	「接続試行の BACKUP には、コミットされていないトランザクションがあります。」 442 ページ
WB015	「無効なバックアップ・パラメータ値です。」 487 ページ
WB016	「Backup 句 '%1' が '%2' と競合します」 154 ページ
WB017	「バックアップはデータベース・ファイル '%1' を開けません。」 332 ページ
WC001	「'%1' は認識できない文字セット・エンコード・ラベルです。」 142 ページ
WC002	「要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。」 491 ページ
WC003	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」 122 ページ
WC005	「%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。」 124 ページ
WC007	「シングルバイト・コンバータの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。」 259 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
WC008	「要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。」 490 ページ
WC009	「'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セット・エンコードではありません。」 139 ページ
WC010	「'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。」 139 ページ
WC011	「文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。」 480 ページ
WC012	「dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません。」 161 ページ
WC013	「照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。」 435 ページ
WC014	「dbicu ライブラリとサーバのバージョンが一致しません。」 162 ページ
WC015	「データベース ¥"%1¥" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。」 ページ
WC016	「データベース ¥"%1¥" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。」 ページ
WE001	「イベント '%1' が見つかりません。」 214 ページ
WE002	「イベント '%1' がすでに存在します。」 213 ページ
WE003	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。」 215 ページ
WE004	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。」 216 ページ
WE005	「イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。」 217 ページ
WE006	「イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。」 217 ページ
WE007	「イベント '%1' の日付/時間が無効です。」 214 ページ
WE008	「システムのイベント・タイプ '%1' が見つかりません。」 259 ページ
WE009	「イベント '%1' は使用中です。」 215 ページ
WE010	「繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。」 395 ページ
WI004	「内部ロールバック・ログが破損しています。」 462 ページ
WI005	「テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。」 302 ページ
WI009	「クラス '%1' を使用して Java オブジェクトを逐次化できません。」 240 ページ
WI010	「オプティマイザは有効なアクセス・プランを構成できませんでした。」 226 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
WI011	「必要な演算子が含まれていません。」 467 ページ
WJ001	「メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。」 355 ページ
WJ002	「パラメータが出力パラメータとして登録されていません。」 335 ページ
WJ003	「指定されたトランザクションの独立性が不正です。」 420 ページ
WJ004	「カーソル名 '%1' はすでに存在します。」 231 ページ
WJ005	「入力パラメータ・インデックスが範囲外です。」 464 ページ
WJ006	「戻り値が設定できません。」 489 ページ
WJ007	「JDBC 機能 '%1' はサポートされません。」 179 ページ
WJ008	「開いている準備文または呼び出し可能な文を変更できませんでした。」 386 ページ
WJ009	「'%1' で内部エラーが発生しました。」 129 ページ
WJ010	「閉じられた '%1' に対する操作は無効です。」 483 ページ
WJ011	「クラスを通してインスタンス・メンバにアクセスできません。」 242 ページ
WJ012	「¥"final¥" 変更子で修飾されるメンバ・フィールドを更新できません。」 ページ
WJ013	「'%1' で内部エラーが発生しました。」 130 ページ
WJ014	「閉じられた '%1' に対する操作は無効です。」 483 ページ
WJ015	「JDBC PreparedStatement バッチ実行は中止されました。」 178 ページ
WJ016	「JDBC ResultSet で引数に 0 を指定して absolute メソッドを実行しようとしてしました。」 178 ページ
WJ017	「不正な JDBC 結果セット・タイプです。」 468 ページ
WJ018	「不正な JDBC 結果セットの同時実行性です。」 469 ページ
WJ019	「挿入ローにある場合、JDBC 結果セット上の '%1' 関数を呼び出せません。」 446 ページ
WJ020	「'%1' 関数を使用するには、JDBC 結果セットは挿入ロー上にある必要があります。」 146 ページ
WJ021	「現在の JDBC 結果セット内のテーブル '%1' のカラム '%2' を一意に識別できません。」 398 ページ
WJ022	「データベースは Java 仮想マシンをサポートしていません。」 290 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
WJ023	「'%1' はパブリック Java クラスでないため、SQL から参照できません。」 140 ページ
WJ024	「'%1' はパブリック Java 参照でないため、SQL から参照できません。」 140 ページ
WJ025	「JDK '%1' はサポートされている JDK ではありません。」 179 ページ
WJ026	「'%1' の JDK バージョンは '%2' と一致していません。」 134 ページ
WJ027	「Java SecurityManager クラスがありません:%1」 174 ページ
WJ028	「Java SecurityManager をロードしているときに例外が発生しました。」 174 ページ
WJ029	「この Java 関連コマンドを実行するにはデータベースを再起動する必要があります。」 243 ページ
WL001	「'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。」 141 ページ
WL002	「ファイル '%1' にアクセスできません --%2」 339 ページ
WL004	「UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。」 203 ページ
WL005	「トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」 319 ページ
WL006	「トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」 319 ページ
WL007	「テンポラリ・テーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。」 314 ページ
WL008	「ミラーリングされたデータベースで LOAD TABLE は許可されていません。」 355 ページ
WO001	「サーバに接続できません '%1':%2」 250 ページ
WO002	「接続できません。サーバ定義が循環しています。」 440 ページ
WO003	「リモート・サーバ '%1' は現在読み込み専用に設定されています。」 370 ページ
WO004	「リモート・サーバ '%1' が見つかりませんでした。」 370 ページ
WO005	「サーバ '%1':%2」 249 ページ
WO006	「後方スクロール・カーソルはリモート・オブジェクトではサポートされません。」 401 ページ
WO007	「リモート・テーブル '%1' が見つかりませんでした。」 372 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
WO008	「テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。」 296 ページ
WO009	「リモート・アクセス用に Java 仮想マシンに割り付けられたメモリが不足しています。」 369 ページ
WO010	「%1」 122 ページ
WO011	「リモート・サーバはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。」 371 ページ
WO012	「リモート・サーバにはこの文をサポートする機能がありません。」 371 ページ
WO013	「サーバ '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。」 248 ページ
WO014	「サーバ機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。」 251 ページ
WO015	「カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。」 232 ページ
WO016	「カラム '%1' はリモート・テーブルに存在しません。」 235 ページ
WO017	「カラム '%1' に指定された長さは実際の長さとは異なります。」 233 ページ
WO018	「Null 属性はカラム '%1' に適合しません。」 182 ページ
WO019	「Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。」 170 ページ
WO020	「テーブル仕様 '%1' が複数のリモート・テーブルを指定していません。」 309 ページ
WO021	「計算カラムを使用したリモート・テーブルの作成はサポートされていません。」 397 ページ
WO022	「カラム '%1' のデータ型はサポートされていません。」 234 ページ
WO023	「ストアド・プロシージャ内のリモート・テーブルに関わる式を処理できません。」 262 ページ
WO024	「指定されたローカル接続 ID が見つかりません。」 421 ページ
WO025	「ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。」 376 ページ
WO026	「現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません。」 398 ページ
WO027	「ファイル・システム・エラー: '%1'」 340 ページ
WP000	「プロシージャ '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。」 347 ページ
WP001	「プロシージャ '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。」 345 ページ
WP002	「%1' は有効なクラス・ファイルではありません。」 143 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
WP003	「クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。」 239 ページ
WP004	「クラス '%1' を削除できません: JAR のメンバです。」 240 ページ
WP005	「クラスのバイト・コードが不正です。」 241 ページ
WP006	「Java 仮想マシンが起動できませんでした。'%1' が見つかりませんでした。」 176 ページ
WP007	「内部関数でネーム・スペースのヒープが足りなくなりました: %1」 463 ページ
WP008	「内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました: %1」 462 ページ
WP009	「%1 のリソース・ガバナーが制限を超えています。」 126 ページ
WP010	「不正な JAR ファイルです。」 468 ページ
WP011	「前回のエラーが RESIGNAL の前になくなりました。」 445 ページ
WP012	「%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。」 125 ページ
WP013	「%1 から複数の結果セットが返されました。」 125 ページ
WP014	「%1 から結果セットが返されません。」 124 ページ
WP015	「Java 仮想マシンを起動するにはキャッシュが不足しています。」 177 ページ
WP016	「SELECT INTO の最適化がエラーとして扱われ、警告が検出されました。」 191 ページ
WW001	「パターンが長すぎます。」 328 ページ
WW002	「データベース・サーバを停止できません。」 280 ページ
WW003	「データベース・サーバ外の関数呼び出しはサポートされていません。」 280 ページ
WW004	「外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティング・システムが一致しません。」 387 ページ
WW005	「ダイナミック・ライブラリ名が必要です。」 268 ページ
WW006	「ダイナミック・ライブラリ '%1' をロードできませんでした。」 267 ページ
WW007	「ダイナミック・ライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。」 268 ページ
WW008	「外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。」 388 ページ
WW009	「式にサポートされていないデータ型があります。」 424 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
WW010	「この外部プロシージャの呼び出しには、パラメータ数が多すぎます。」 245 ページ
WW011	「内部用のスレッドが起動できませんでした。」 463 ページ
WW012	「RAISERROR が実行されました : %1」 186 ページ
WW013	「クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。」 239 ページ
WW014	「フィールドに対して不正な型を参照しました。」 341 ページ
WW015	「クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。」 241 ページ
WW016	「'%1' のインデックスの型の指定は不正です。」 135 ページ
WW017	「データベース '%1' の削除に失敗しました。」 273 ページ
WW018	「Java オブジェクトを並列化できません。」 175 ページ
WW019	「プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。」 343 ページ
WW020	「無効な要求ログのフォーマット (行 %1)」 489 ページ
WW022	「Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。」 176 ページ
WW023	「計算カラム '%1' を挿入または更新できません。」 395 ページ
WW024	「通信環境を作成できませんでした。」 453 ページ
WW025	「テスト・ハーネスによって内部エラーが発生しました。」 310 ページ
WW026	「外部関数呼び出しに互換性がありません。」 388 ページ
WW027	「dbmlsync ダウンロード・フェーズでの競合が検出されました。」 162 ページ
WW028	「指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした。」 409 ページ
WW029	「ワークロード・キャプチャ (%1) はすでに進行中です。」 379 ページ
WW030	「ワークロード・キャプチャは現在行われていません。」 379 ページ
WW031	「スキーマ・ファイル '%1' にアクセスできません。」 260 ページ
WW032	「最後の同期アップロードのステータスは不明です。」 407 ページ
WW033	「スキーマのアップグレードは現在認められません。」 260 ページ
WW034	「データベース '%1' が見つかりませんでした。」 271 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
WW035	「この接続はすでに存在します。」 246 ページ
WW036	「同期の情報が不完全か無効です。'%1'を確認してください。」 459 ページ
WW037	「圧縮エラー： %1」 380 ページ
WW038	「解凍エラー： %1」 385 ページ
WW039	「入力文字列は base64 でエンコードされていません。」 464 ページ
WW040	「Ultra Light の接続がリストアされました。」 202 ページ
WW041	「Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。」 201 ページ
WW042	「チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。」 270 ページ
WW043	「'%1' のファイル I/O に失敗しました。」 135 ページ
WW044	「'%1' のボリューム ID が不正です。」 136 ページ
WW045	「操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません。」 446 ページ
WW047	「出力ファイルのディレクトリが存在しません。」 433 ページ
WW048	「出力ファイルを書き込めません。」 434 ページ
WW049	「URI '%1' が無効です。」 203 ページ
WW050	「'%1' で指定されたリモート・ホストに接続できません。」 129 ページ
WW051	「接続がタイムアウトしました。」 438 ページ
WW052	「HTTP 認証に失敗しました。ステータス・コード '%1'」 168 ページ
WW053	「暗号化 DLL を初期化できませんでした : '%1'」 381 ページ
WW055	「プロシージャ・タイプ '%1' が無効です。」 348 ページ
WW056	「タイプ '%2' のプロシージャ・サブタイプ '%1' が無効です。」 269 ページ
WW057	「HTTP サーバからの応答が無効です。」 167 ページ
WW058	「プロシージャ・タイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。」 348 ページ
WW059	「リモート・ホストへの安全な接続に失敗しました : '%1'」 373 ページ
WW060	「句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。」 394 ページ
WW061	「データベースが作成されました。」 283 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
WW062	「オプション '%1' が認識されません。」 223 ページ
WW063	「安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません。」 380 ページ
WW064	「プロシージャ・タイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。」 349 ページ
WW065	「'ローカル・テンポラリ' として宣言されたテーブルにコメントを追加できません。」 149 ページ
WW066	「トレースを再表示できません: sa_diagnostic_tracing_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。」 322 ページ
WW067	「トレースを再表示できません: ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。」 323 ページ
WW068	「トレースを再表示できません: ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります。」 323 ページ
WW069	「ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。」 153 ページ
WW070	「HTTP ヘッダ '%1' は予約されてるため変更できません。」 168 ページ
WW071	「指定した HTTP ヘッダに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています。」 422 ページ
WW072	「指定した HTTP ヘッダは不正です。」 423 ページ
WW073	「カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません。」 234 ページ
WW074	「ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません。」 270 ページ
WW075	「部分ダウンロードが見つかりませんでした。」 474 ページ
WW076	「指定されたパブリケーション・マスクが不正です。」 421 ページ
WW077	「パブリケーション・マスクに指定されているパブリケーションが多すぎます。」 334 ページ
WW078	「デバイス上のファイルシステムにアクセスできません。」 311 ページ
WW079	「このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません。」 244 ページ
WW080	「同期処理に戻ることができませんでした。」 460 ページ
WW081	「同期の情報が指定されていません。」 458 ページ

SQLSTATE	エラー・メッセージ
WW082	「データベース '%1' に対して指定したファイルシステム・ボリュームが見つかりません。」 272 ページ
WW083	「ローがデータベースのページ・サイズを超えているため、ローを格納できません。」 375 ページ
WW084	「最大パラメータ数 '%1' を超えました。」 407 ページ
WW085	「MIME タイプ '%1' が不正です。」 181 ページ
WW086	「'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。」 146 ページ
WW087	「'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。」 147 ページ
WW088	「属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。」 448 ページ
WW089	「テーブル '%1' の最大ロー・サイズを超過します。」 299 ページ
WW090	「ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。」 353 ページ
WX001	「カラム名は %1 でなければなりません。」 236 ページ
WX002	「XML パーサ・エラー : %1」 207 ページ
WX003	「XPath パーサ・エラー : %1」 209 ページ
WX004	「OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。」 184 ページ
WX005	「不正な FOR XML EXPLICIT タグ値 : '%1'」 467 ページ
WX006	「不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ : '%1'」 473 ページ
WX007	「不正なカラム名 : '%1'」 471 ページ
WX008	「親が開いていません : '%1'」 435 ページ
WX009	「宣言されていないタグ ID : '%1'」 443 ページ
WX010	「カラム数が少なすぎます。」 235 ページ
WX011	「CDATA に名前が必要です。」 156 ページ
WX012	「XQuery コンストラクタが無効です。」 210 ページ
WX013	「XMLGEN 評価が失敗しました。」 209 ページ
WX014	「引数の名前がありません。」 383 ページ
WX015	「XML 出力に制御文字があります。」 208 ページ
WX016	「OPENXML クエリのメモリが足りません。」 183 ページ

エラー・メッセージ (Sybase エラー・コード順)

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
0	-631	「RAISERROR が実行されました : %1」 186 ページ
102	-171	「カーソルのオープンがエラーになりました。」 229 ページ
102	-199	「カーソルの INSERT/DELETE は、1 度に 1 つのテーブルにしかできません。」 228 ページ
102	-933	「IQ データベースにはログが必要です。」 172 ページ
102	-275	「ランタイム・サーバではトリガおよびプロシージャはサポートされません。」 368 ページ
102	-273	「COMMIT/ROLLBACK はトリガでは使用できません。」 157 ページ
102	-131	「'%1'%2 の近くに構文エラーがあります。」 127 ページ
102	-687	「構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。」 402 ページ
102	-875	「'%1' にジョインする方法がありません。」 133 ページ
102	-145	「外部キー '%1' は見つかりません。」 386 ページ
102	-271	「トリガの定義が既存のトリガと矛盾しています。」 320 ページ
102	-272	「トリガ定義中の REFERENCES 句が無効です。」 321 ページ
102	-635	「ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。」 338 ページ
102	-151	「select リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています。」 191 ページ
102	-269	「トリガの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。」 321 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
103	-250	「識別子 '%1' が長すぎます。」 425 ページ
104	-854	「ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。」 185 ページ
108	-152	「ORDER BY 句の指定が不正です。」 186 ページ
133	-262	「ラベル '%1' は見つかりません。」 367 ページ
134	-261	「'%1' という変数はすでに存在しません。」 131 ページ
137	-260	「変数 '%1' が見つかりません。」 484 ページ
154	-623	「プロシージャまたはトリガ内では、データ定義文は使用できません。」 351 ページ
155	-200	「オプション '%1' が無効です。 -- PUBLIC 設定がありません。」 224 ページ
174	-154	「関数 '%1' のパラメータ数が誤りです。」 390 ページ
176	-611	「Transact-SQL 機能がサポートされていません。」 200 ページ
176	-148	「関数 '%1' はありません。」 390 ページ
182	-159	「カラム番号が無効です。」 236 ページ
201	-639	「プロシージャ '%1' の呼び出しに必要なパラメータ名がありません。」 344 ページ
201	-615	「プロシージャ '%2' にパラメータ '%1' がありません。」 346 ページ
201	-737	「シグニチャ '%1' はプロシージャのパラメータと一致しません。」 257 ページ
205	-153	「UNION、INTERSECT、または EXCEPT の select リストの長さが一致していません。」 202 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
207	-124	「テーブル '%1' から定義されているよりも多いカラムを削除しようとしています。」 292 ページ
207	-143	「カラム '%1' が見つかりません。」 231 ページ
208	-142	「相関名 '%1' が見つかりません。」 447 ページ
209	-144	「カラム '%1' が複数のテーブルで見つかりました。相関名が必要です。」 232 ページ
209	-163	「抽出されたテーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。」 452 ページ
213	-207	「INSERT コマンドへの値が正しくありません。」 171 ページ
217	-274	「プロシージャまたはトリガの呼び出しのネストが深すぎます。」 350 ページ
220	-158	「値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。」 450 ページ
230	-191	「テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。」 305 ページ
230	-190	「式を更新できません。」 424 ページ
233	-195	「テーブル '%2' のカラム '%1' は NULL 値を持つことはできません。」 304 ページ
233	-733	「NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。」 182 ページ
257	-157	「値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。」 451 ページ
257	-705	「プロシージャ '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。」 344 ページ
262	-121	「パーミッションがありません : %1」 325 ページ
264	-637	「挿入したカラムが重複しています。」 445 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
285	-708	「READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。」 187 ページ
301	-147	「'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。」 145 ページ
301	-680	「Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。」 199 ページ
301	-146	「'%1' を '%2' にジョインできません。」 145 ページ
305	-681	「Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョイン・タイプが無効です。」 198 ページ
311	-295	「カーソルでローをユニークに識別できません。」 228 ページ
314	-122	「この操作はグループ循環を起こします。」 246 ページ
315	-136	「テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。」 300 ページ
315	-137	「テーブル '%1' にはユニークな相関名が必要です。」 294 ページ
401	-134	「'%1' の機能は実装されていません。」 136 ページ
401	-135	「言語仕様が変更されました。」 400 ページ
401	-156	「'%1' 付近に無効な式があります。」 147 ページ
401	-994	「関数またはプロシージャ '%1' に引数が多すぎます。」 391 ページ
404	-890	「文のサイズまたは複雑度がサーバの制限を超えています。」 478 ページ
409	109	「集合関数では、NULL 値は無視されません。」 430 ページ
409	-90	「プロシージャ '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。」 347 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
504	-265	「プロシージャ '%1' は見つかりません。」 345 ページ
509	-140	「'%1' というユーザ ID はありません。」 130 ページ
512	-186	「サブクエリは複数行を返すことはできません。」 257 ページ
518	103	「不正なデータ変換」 471 ページ
532	104	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。」 406 ページ
532	106	「テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。」 303 ページ
538	-627	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。」 403 ページ
546	-194	「テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリ・キーの値がありません。」 306 ページ
547	-198	「テーブル '%1' 内のローのプライマリ・キーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。」 301 ページ
547	-677	「テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれています。」 295 ページ
548	-196	「テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。」 303 ページ
548	-209	「制約 '%1' の違反です: テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。」 437 ページ
548	-1091	「制約 '%1' の違反です: テーブル '%2' の値が無効です。」 436 ページ
549	-729	「指定された外部キー (%1) は使用できません。」 422 ページ
550	-632	「ベース・テーブル '%1' の挿入/更新に対して WITH CHECK OPTION が違反です。」 352 ページ
553	-264	「FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。」 164 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
554	-208	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。オペレーションはキャンセルされました。」 406 ページ
557	-853	「カーソルが有効な状態にありません。」 227 ページ
557	-170	「カーソルが宣言されていません。」 227 ページ
558	-172	「カーソルはすでに開いています。」 230 ページ
559	-180	「カーソルが開きません。」 227 ページ
560	100	「ローが見つかりません。」 376 ページ
560	-197	「カーソルの現在のローがありません。」 229 ページ
573	-738	「パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。」 328 ページ
590	111	「文を実行することができませんでした。」 479 ページ
601	-642	「SQL 記述子名が正しくありません。」 194 ページ
708	-80	「データベース・サーバを起動することができません。」 279 ページ
708	-86	「起動するのに必要なメモリが不足しています。」 393 ページ
708	-679	「リモート・アクセス用に Java 仮想マシンに割り付けられたメモリが不足しています。」 369 ページ
709	-996	「指定されたローカル接続 ID が見つかりません。」 421 ページ
710	-997	「ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。」 376 ページ
711	-998	「現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません。」 398 ページ
840	-82	「指定されたデータベースを起動できません: %1」 418 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
840	-87	「サーバを起動するには、データベース名が必要です。」 251 ページ
840	-1008	「指定されたデータベースを開始できません。'%1'は無効なトランザクション・ログ・ミラーです。」 412 ページ
840	-1009	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。」 415 ページ
840	-1010	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログで、'%1' は操作を予期していません。」 415 ページ
840	-1011	「指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです。」 418 ページ
840	-1012	「指定されたデータベースを開始できません。このサーバーで開始するには、'%1'をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)。」 414 ページ
840	-1016	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログ・ファイルがデータベース・ファイルよりも後に使用されているためです。」 417 ページ
840	-1017	「指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクション・ログ・ファイルが見つかりません」 414 ページ
840	-1018	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないためです。」 416 ページ
840	-1019	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはデータベース・ファイルがログ・ファイルよりも後に使用されているためです。」 417 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
840	-1020	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いためです。」 416 ページ
840	-1004	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。」 411 ページ
840	-1005	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。」 412 ページ
840	-1006	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は有効なデータベース・ファイルではありません。」 413 ページ
840	-1007	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクション・ログです。」 413 ページ
840	-1063	「データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み取り専用モードを使用できません。」 271 ページ
840	-1147	「データベース '%1' はこのプラットフォームでは起動できません。 http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_corruption_warning.html を参照してください。」 274 ページ
840	-1149	「データベース '%1' はこのプラットフォームでは起動できません。 http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_cant_change_platform.html を参照してください。」 273 ページ
911	-83	「指定されたデータベースが見つかりません。」 410 ページ
924	-816	「指定されたデータベース・ファイルはすでに使用されています。」 410 ページ
927	-97	「データベースのページ・サイズが大きすぎます : %1」 287 ページ
927	-644	「無効なデータベース・ページ・サイズです。」 486 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
928	-645	「データベースの作成に失敗しました : %1」 289 ページ
932	-311	「内部ロールバック・ログが破損しています。」 462 ページ
950	-76	「アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。」 211 ページ
950	-74	「選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。」 443 ページ
1205	-306	「デッドロックが検出されました。」 311 ページ
1205	-307	「すべてのスレッドがブロックされています。」 265 ページ
1205	-684	「プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。」 343 ページ
1601	-102	「データベース・サーバに接続できる限界数を超過しています。」 277 ページ
1602	-85	「通信エラーが発生しました。」 452 ページ
1602	-88	「クライアント/サーバの通信プロトコルのバージョンが違います。」 237 ページ
1702	-616	「テーブルのカラム数が多すぎます。」 307 ページ
1709	-849	「テンポラリー・テーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。」 313 ページ
1709	-850	「キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリー・テーブルである必要があります。」 237 ページ
1709	-865	「テンポラリー・テーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリ・キーが必要です。」 313 ページ
1719	-118	「テーブル '%1' にはプライマリ・キーが定義されていません。」 294 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
1721	-113	「外部キーのカラム '%1' にプライマリ・キーと異なる定義があります。」 387 ページ
1801	-77	「データベース名がユニークではありません。」 291 ページ
1802	-138	「DB 領域 '%1' が見つかりません。」 159 ページ
1909	-636	「参照カラムが重複しています。」 408 ページ
1909	-119	「プライマリ・キー・カラム '%1' はすでに定義されています。」 342 ページ
1909	-251	「テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。」 306 ページ
1921	-111	「インデックス名 '%1' はユニークではありません。」 220 ページ
1921	-678	「インデックス名 '%1' があいまいです。」 219 ページ
1923	-126	「テーブルに 2 つのプライマリ・キーを定義することはできません。」 307 ページ
1923	-112	「テーブルにはすでにプライマリ・キーが定義されています。」 307 ページ
2561	-106	「トランザクション・ログ・ファイルを開けません -- %1」 316 ページ
2601	-193	「テーブル '%1' のプライマリ・キーがユニークではありません。」 298 ページ
2706	-141	「テーブル '%1' は見つかりませんでした。」 301 ページ
2715	-613	「ユーザ定義データ型 '%1' が見つかりません。」 366 ページ
2727	-189	「テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。」 302 ページ
2732	-296	「RAISERROR のエラー番号 %1 を 17000 未満にすることはできません。」 187 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
2748	-612	「ユーザ・メッセージ %1 が見つかりません。」 363 ページ
2749	-294	「フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。」 341 ページ
3013	-305	「I/O エラーです。 %1 -- トランザクションはロールバックされました。」 169 ページ
3013	-309	「メモリエラー -- トランザクションはロールバックされました。」 356 ページ
3206	-240	「不明なバックアップ操作です。」 474 ページ
3206	-241	「データベースのバックアップを起動できません。」 286 ページ
3206	-242	「トランザクションが終了していないため、トランザクション・ログの名前の変更はできません。」 317 ページ
3206	-1021	「無効なバックアップ操作」 488 ページ
3451	-672	「データベースのアップグレードに失敗しました。」 286 ページ
3451	-673	「データベースのアップグレードができません。」 284 ページ
3618	-302	「ユーザによって中断させられました。 -- トランザクションはロールバックされました。」 364 ページ
3618	-304	「ハードディスクに空き領域がありません。 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。」 325 ページ
3619	-107	「トランザクション・ログ・ファイルへの書き込みエラーが発生しました。」 315 ページ
3621	-299	「文の実行がユーザによって中断させられました。」 479 ページ
3702	-214	「テーブルは使用されていません。」 308 ページ
3702	-215	「プロシージャは '%1' によって使用されています。」 350 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
3702	-750	「ユーザは使用中のプロシージャを所有しています。」 365 ページ
3702	-751	「ユーザは使用中のテーブルを所有しています。」 364 ページ
3819	-160	「SELECT 文以外は記述できません。」 193 ページ
4001	-105	「データベースが起動できません -- %1」 282 ページ
4001	-84	「指定されたデータベースは無効です。」 411 ページ
4001	-72	「データベース・ファイルが指定されていません。」 282 ページ
4002	-103	「ユーザ ID またはパスワードが無効です。」 362 ページ
4002	-104	「モジュールの前処理でのユーザ ID またはパスワードが無効です。」 357 ページ
4224	-108	「接続が見つかりません。」 439 ページ
4224	-99	「データベースに接続できません。」 284 ページ
4224	-308	「接続が切断されました。」 439 ページ
4406	-703	「計算カラム '%1' を挿入または更新できません。」 395 ページ
4409	-114	「ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。」 339 ページ
4412	-766	「ビューがテンポラリ・オブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。」 338 ページ
4708	-702	「TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。」 200 ページ
4901	-116	「テーブルは空でなければなりません。」 308 ページ
4939	-127	「インデックスのカラムを変更することはできません。」 219 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
5006	-604	「データベース領域が最大ファイル・サイズに達しています。」 292 ページ
5006	-605	「サーバがデータベース領域の最大ファイル・サイズを超えてページにアクセスしようとした。」 249 ページ
5703	107	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。」 403 ページ
5849	-201	「不正なオプション '%1' を設定していません。」 469 ページ
5849	-1053	「'%1' は '%2' に対して無効な値です。」 138 ページ
5864	-81	「データベース・サーバのコマンド・ラインが無効です。」 278 ページ
5864	-735	「不正なパラメータです。」 472 ページ
5864	-79	「ローカル・データベース・オプションが無効です。」 375 ページ
5864	-95	「解析エラーです:%1」 384 ページ
5864	-754	「解析エラーです:%1」 385 ページ
5878	-204	「DBA のみがオプション '%1' を設定できます。」 161 ページ
5878	-216	「オプション '%1' はテンポラリ・オプションとしてのみ設定できません。」 225 ページ
5878	-217	「オプション '%1' はプロシージャ内から設定できません。」 225 ページ
6001	-109	「まだデータベースに接続されていません。」 353 ページ
6004	-75	「データベースの起動/停止の要求は拒否されました。」 288 ページ
6226	-183	「インデックス '%1' が見つかりません。」 218 ページ
6259	-263	「FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。」 164 ページ
6267	-814	「ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません。」 185 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
6401	-220	「セーブポイント '%1' が見つかりません。」 266 ページ
7123	-608	「WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR がありません。」 207 ページ
7139	-609	「WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。」 207 ページ
7201	-155	「無効なホスト変数です。」 488 ページ
7203	-89	「データベース・サーバはマルチユーザ・モードで実行していません。」 278 ページ
7301	-192	「更新できないクエリに対して、更新しようとした。」 401 ページ
7301	-813	「FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました。」 165 ページ
7321	-149	「'%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。」 134 ページ
7337	101	「値がトランケートされました。」 451 ページ
7338	-728	「更新できないリモート・クエリに対して、更新しようとした。」 402 ページ
7364	-139	「'%1' は複数のテーブルで使用されています。」 143 ページ
7374	-676	「指定されたトランザクションの独立性が不正です。」 420 ページ
7705	-630	「無効なエスケープ・シーケンス '%1'」 485 ページ
7706	-606	「パターンが長すぎます。」 328 ページ
7707	-629	「無効なエスケープ文字 '%1'」 486 ページ
7732	-633	「読み込み専用のカーソルを更新しようとした。」 461 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
7740	-815	「SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません。」 192 ページ
7950	-100	「データベース・サーバが見つかりません。」 276 ページ
7950	-96	「データベース・サーバはすでに起動しています。」 278 ページ
8201	-640	「記述子のインデックスが正しくありません。」 392 ページ
8205	-641	「割り当てのエラー」 389 ページ
8405	-210	「'%2' のローは、ユーザ '%1' によってロックされています。」 149 ページ
9119	-78	「動的メモリが足りません。」 456 ページ
9502	-638	「文字列データの右側がトランケートされます。」 482 ページ
9526	-187	「不正なカーソル処理をしようとした。」 470 ページ
9819	-268	「トリガ '%1' が見つかりません。」 320 ページ
10356	-624	「式にサポートされていないデータ型があります。」 424 ページ
11205	-698	「リモート・サーバはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。」 371 ページ
11205	-732	「計算カラムを使用したリモート・テーブルの作成はサポートされていません。」 397 ページ
11205	-736	「カラム '%1' のデータ型はサポートされていません。」 234 ページ
11206	-656	「サーバに接続できません '%1':%2」 250 ページ
11207	-667	「テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。」 296 ページ
11208	-722	「カラム '%1' はリモート・テーブルに存在しません。」 235 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
11209	-721	「カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。」 232 ページ
11210	-723	「カラム '%1' に指定された長さは実際の長さとは異なります。」 233 ページ
11211	-724	「Null 属性はカラム '%1' に適合しません。」 182 ページ
11212	-725	「Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。」 170 ページ
11214	-659	「リモート・サーバ '%1' が見つかりませんでした。」 370 ページ
11214	-666	「リモート・テーブル '%1' が見つかりませんでした。」 372 ページ
11215	-726	「テーブル仕様 '%1' が複数のリモート・テーブルを指定しています。」 309 ページ
11221	-712	「サーバ '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。」 248 ページ
11227	-706	「リモート・サーバにはこの文をサポートする機能がありません。」 371 ページ
11248	-658	「リモート・サーバ '%1' は現在読み込み専用で設定されています。」 370 ページ
12006	-110	「アイテム '%1' はすでに存在しています。」 210 ページ
13075	102	「テンポラリ・テーブルが使用されました。」 312 ページ
13204	-150	「集合関数の不正な使用です。」 431 ページ
13369	140	「暗号化が有効になっていません。」 382 ページ
13370	-1143	「暗号化が有効になっていません。」 382 ページ
13372	-1141	「データベース ¥'%1¥' を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。」 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13373	-1140	「データベース ¥"%1¥" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。」 ページ
13374	-1139	「リモート・データ・サービス機能はこのプラットフォームではサポートされていません。」 372 ページ
13375	-1138	「ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。」 353 ページ
13379	-1134	「実体化ビュー '%1' でトリガを作成できません。」 428 ページ
13380	-1133	「ビュー '%1' のトリガ・タイプが無効です。」 336 ページ
13381	-1132	「テーブル '%1' の最大ロー・サイズを超過します。」 299 ページ
13382	-1131	「属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。」 448 ページ
13383	-1130	「'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。」 147 ページ
13384	-1129	「'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。」 146 ページ
13385	-1128	「繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。」 395 ページ
13386	-1127	「INSTEAD OF トリガのあるビューで位置付け更新しようとした。」 171 ページ
13387	-1126	「テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガがあるため、操作に失敗しました。」 309 ページ
13388	-1125	「ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガと WITH CHECK OPTION が競合しています。」 336 ページ
13389	-1124	「dbicu ライブラリとサーバのバージョンが一致しません。」 162 ページ
13390	-1123	「MIME タイプ '%1' が不正です。」 181 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13391	-1122	「最大パラメータ数 '%1' を超えました。」 407 ページ
13392	-1121	「要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。」 492 ページ
13393	-1120	「DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。」 160 ページ
13394	-1119	「'%1' プロパティはサポートされなくなりました。」 144 ページ
13395	-1118	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。」 444 ページ
13396	-1117	「ローがデータベースのページ・サイズを超えているため、ローを格納できません。」 375 ページ
13397	201	「ICU 照合 '%1' はデフォルトに設定されました。」 169 ページ
13398	-1116	「照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。」 435 ページ
13399	-1115	「テーブル '%1' には、ROWID() 関数への無効な参照が含まれています。」 293 ページ
13400	-1114	「SOAP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」 193 ページ
13401	-1113	「相関名 '%1' は、ROWID() 関数では使用できません。」 447 ページ
13402	-1112	「データベース '%1' に対して指定したファイルシステム・ボリュームが見つかりません。」 272 ページ
13403	-1111	「同期の情報が指定されていません。」 458 ページ
13404	-1110	「同期処理に戻ることができませんでした。」 460 ページ
13405	-1109	「このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません。」 244 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13406	-1108	「デバイス上のファイルシステムにアクセスできません。」 311 ページ
13407	-1107	「BLOB への参照が多すぎます。」 156 ページ
13408	-1106	「パブリケーション・マスクに指定されているパブリケーションが多すぎます。」 334 ページ
13409	-1105	「指定されたパブリケーション・マスクが不正です。」 421 ページ
13410	-1104	「データベースのユーザが多すぎます。」 288 ページ
13411	-1103	「部分ダウンロードが見つかりませんでした。」 474 ページ
13412	-1102	「ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません。」 270 ページ
13413	-1101	「カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません。」 234 ページ
13414	-1100	「操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません。」 446 ページ
13415	139	「オプション '%1' が複数回指定されています。」 223 ページ
13416	-1099	「Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。」 199 ページ
13417	-1098	「トレース接続はすでにアクティブになっています。」 324 ページ
13418	-1097	「ATTACH TRACING は、トレース・データベースに接続できませんでした。」 153 ページ
13419	-1096	「指定した HTTP ヘッダは不正です。」 423 ページ
13420	-1095	「指定した HTTP ヘッダに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています。」 422 ページ
13421	-1094	「HTTP ヘッダ '%1' は予約されてるため変更できません。」 168 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13422	-1093	「文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。」 480 ページ
13423	138	「パブリケーションの述部は評価されませんでした。」 335 ページ
13424	-1090	「ファンクション '%1' に無効なパラメータ '%2' ('%3') があります。」 340 ページ
13425	-1089	「共有テンポラリ・テーブルに対して無効なコミット・アクションです。」 394 ページ
13426	-1088	「ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。」 153 ページ
13427	-1087	「トレースを再表示できません：ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります。」 323 ページ
13428	-1086	「書き込みアクセスが拒否されました。」 434 ページ
13429	-1085	「重複キー・カラム (%1)」 433 ページ
13430	-1084	「機能 '%1' の使用は許可されません。」 392 ページ
13431	-1083	「トレースを再表示できません：ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。」 323 ページ
13432	-1082	「トレースを再表示できません：sa diagnostic tracing level ロー %1 に無効なトレース指定があります。」 322 ページ
13433	-1081	「トレースを再表示できません：少なくとも 1 つの有効化されているトレース・レベルを指定する必要があります。」 324 ページ
13434	-1080	「ユーザ '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。」 358 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13435	-1079	「バックアップはデータベース・ファイル '%1' を開けません。」 332 ページ
13436	-1078	「計算カラムの依存に循環があります。」 396 ページ
13437	-1077	「実体化されたビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。」 426 ページ
13438	-1076	「dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません。」 161 ページ
13439	-1075	「文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。」 480 ページ
13440	-1074	「ログイン・モード '%1' は、login_mode 設定で許可されていません。」 378 ページ
13441	-1072	「'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セット・エンコードではありません。」 139 ページ
13442	-1092	「呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。」 400 ページ
13442	-1071	「FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません。」 165 ページ
13442	-1073	「'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。」 139 ページ
13444	-1070	「Kerberos ログインはサポートされていません。」 180 ページ
13445	-1069	「Kerberos ログインが失敗しました。」 180 ページ
13446	-1068	「デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。」 312 ページ
13448	-1066	「ファイル・システム・エラー: '%1'」 340 ページ
13449	-1065	「スナップショット・アイソレーションを非スナップショット・トランザクションで使用しようとしてしました。」 263 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13450	-1064	「スナップショット・トランザクションで更新の競合が発生しました。」 264 ページ
13451	-1062	「スナップショット中は文を使用できません。」 265 ページ
13452	-1061	「スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました。」 264 ページ
13453	-1060	「パブリケーション・タイプで操作が競合しています。」 333 ページ
13456	-1057	「Backup 句 '%1' が '%2' と競合します」 154 ページ
13459	-1054	「スナップショット・アイソレーションが無効または保留になっていません。」 263 ページ
13460	-1051	「実体化されたビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」 427 ページ
13461	-1050	「要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。」 490 ページ
13461	-1052	「実体化されたビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」 426 ページ
13464	-1047	「このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません。」 245 ページ
13465	-1046	「不正なカラム定義: %1」 470 ページ
13466	-1045	「無効なバックアップ・パラメータ値です。」 487 ページ
13467	-1044	「無効なパスワード: %1」 487 ページ
13468	-1043	「タイムアウトになったため、要求が中断されました。」 269 ページ
13469	-1042	「'ローカル・テンポラリ' として宣言されたテーブルにコメントを追加できません。」 149 ページ
13470	-1041	「実体化ビュー '%1' が見つかりません。」 427 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13471	-1040	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。」 337 ページ
13472	-1039	「ミラー・サーバに接続できません。サーバ名 '%1' を使用してプライマリ・サーバを探してください。」 354 ページ
13473	-1038	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。」 337 ページ
13474	-1037	「オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。」 222 ページ
13475	-1036	「DBN/DBF パラメータが、この代替サーバ名のデータベースと一致しません。」 163 ページ
13476	-1035	「ミラーリングされたデータベースで LOAD TABLE は許可されていません。」 355 ページ
13477	-1034	「プロシージャ・タイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。」 349 ページ
13478	-1033	「データベース・サーバを起動することができません。サーバに致命的なエラーが発生しました。」 279 ページ
13479	-1031	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- 実体化ビューの定義が次の構成体を使用しない可能性があります: '%2'」 137 ページ
13480	-1032	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- 自動更新可能な実体化ビューの定義が次の構成体を使用しない可能性があります: '%2'」 137 ページ
13480	-1030	「安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません。」 380 ページ
13481	-1029	「実体化ビューのサポートは、このデータベースでは利用できません。」 428 ページ
13482	-1028	「接続試行の BACKUP には、コミットされていないトランザクションがあります。」 442 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13483	-1027	「サービス・タイプでは 'USING' 属性が許可されません。」 254 ページ
13484	-1026	「USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。」 204 ページ
13485	-1025	「サービスで重複した属性 '%1' です。」 254 ページ
13486	-1024	「USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。」 204 ページ
13487	-1023	「サービスの属性 '%1' の値がありません。」 255 ページ
13488	-1022	「サービスの属性 '%1' の値が無効です。」 255 ページ
13489	137	「参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。」 408 ページ
13490	-1003	「統合されたユーザに対する個別のグループ・マッピングが多すぎます。」 454 ページ
13491	-1001	「プロシージャまたは関数 '%2' のパラメータ '%1' には、デフォルト値はありません。」 351 ページ
13492	-1000	「テンポラリー領域の制限を超えています。」 314 ページ
13493	-999	「無効な要求ログのフォーマット (行 %1)」 489 ページ
13494	136	「データベースが作成されました。」 283 ページ
13494	-1002	「オプション '%1' が認識されません。」 223 ページ
13495	-995	「SELECT INTO の最適化がエラーとして扱われ、警告が検出されました。」 191 ページ
13496	-993	「テンポラリー・テーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。」 314 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13497	-992	「指定されたリスナを登録できませんでした。」 421 ページ
13498	-991	「句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。」 394 ページ
13499	-990	「リモート・ホストへの安全な接続に失敗しました:%1」 373 ページ
13500	-989	「プロシージャ・タイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。」 348 ページ
13501	-988	「HTTP サーバからの応答が無効です。」 167 ページ
13502	-987	「タイプ '%2' のプロシージャ・サブタイプ '%1' が無効です。」 269 ページ
13503	-986	「プロシージャ・タイプ '%1' が無効です。」 348 ページ
13505	-984	「暗号化 DLL を初期化できませんでした:%1」 381 ページ
13506	-983	「HTTP 認証に失敗しました。ステータス・コード '%1」 168 ページ
13507	-982	「接続がタイムアウトしました。」 438 ページ
13508	-981	「'%1' で指定されたリモート・ホストに接続できません。」 129 ページ
13509	-980	「URI '%1' が無効です。」 203 ページ
13510	-979	「出力ファイルを書き込めません。」 434 ページ
13511	-978	「出力ファイルのディレクトリが存在しません。」 433 ページ
13513	-976	「暗号化 DLL '%1」をロードできませんでした。」 ページ
13515	-973	「文字列が長すぎます (%1)。」 482 ページ
13516	-972	「データベースのページ・サイズが小さすぎます:%1」 287 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13517	-971	「チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。」 270 ページ
13518	134	「Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。」 201 ページ
13519	133	「Ultra Light の接続がリストアされました。」 202 ページ
13520	-970	「テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。」 295 ページ
13521	-969	「必要な演算子が含まれていません。」 467 ページ
13522	-968	「ユーザ '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを受けています。」 359 ページ
13523	-967	「バックアップ・ファイル '%1' はすでに存在します。」 330 ページ
13524	-966	「複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。」 475 ページ
13525	-965	「Window 関数には ORDER BY が必要です。」 206 ページ
13526	-964	「Window 関数が述語に使用されています。」 206 ページ
13527	-962	「集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループ・カラムである必要があります。」 430 ページ
13528	-963	「パスワードに不正な文字が含まれています。」 327 ページ
13528	-961	「入力文字列は base64 でエンコードされていません。」 464 ページ
13529	-959	「圧縮エラー : %1」 380 ページ
13530	-958	「パスワードの長さは %1 文字以内です。」 327 ページ
13530	-960	「解凍エラー : %1」 385 ページ
13531	-957	「OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。」 183 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13532	-956	「同期の情報が不完全か無効です。'%1'を確認してください。」 459 ページ
13533	-955	「この接続はすでに存在します。」 246 ページ
13534	-954	「データベース '%1' が見つかりませんでした。」 271 ページ
13535	-953	「スキーマのアップグレードは現在認められません。」 260 ページ
13536	-952	「最後の同期アップロードのステータスは不明です。」 407 ページ
13537	-951	「スキーマ・ファイル '%1' にアクセスできません。」 260 ページ
13538	-950	「ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。」 220 ページ
13539	-949	「ORDER BY はウィンドウ '%1' では許可されません。」 184 ページ
13540	-948	「ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。」 221 ページ
13541	-947	「Window '%1' が見つかりません。」 205 ページ
13542	-946	「'%1' では結果セットは許可されません。」 128 ページ
13543	-945	「再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。」 404 ページ
13544	-944	「ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます。」 190 ページ
13545	-943	「ワークロード・キャプチャは現在行われていません。」 379 ページ
13546	-942	「ワークロード・キャプチャ (%1) はすでに進行中です。」 379 ページ
13547	-940	「HTTP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」 167 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13548	-941	「jConnect は暗号化をサポートしていません。」 177 ページ
13548	-939	「HTTP オプション '%1' の設定が無効です。」 166 ページ
13549	-938	「RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。」 188 ページ
13550	-937	「制約 '%1' への参照または操作が無効です。」 437 ページ
13551	-936	「データベースの制約が多すぎます。」 289 ページ
13552	-934	「指定されたデータベースを起動できません: データベース %1 を起動するにはサーバをアップグレードする必要があります。」 419 ページ
13553	-935	「指定されたデータベースを起動できません: ログ・ファイル・エラー」 420 ページ
13554	-931	「AUTHORIZATION がオフの場合、サービス定義には文が必要です。」 154 ページ
13555	-930	「(メッセージなし)」 150 ページ
13556	-929	「制約 '%1' が見つかりません。」 436 ページ
13557	-928	「GROUP BY 句には定数式を使用できません。」 166 ページ
13558	-927	「サービス文定義とサービス・タイプが矛盾しています。」 256 ページ
13559	-926	「サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。」 256 ページ
13560	-925	「サービス名 '%1' は無効です。」 256 ページ
13561	-923	「再帰反復が多すぎます。」 405 ページ
13562	-922	「再帰クエリのカラム・リストがありません。」 405 ページ
13563	-921	「再帰クエリが無効です。」 404 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13564	-920	「サービス '%1' が見つかりません。」 252 ページ
13565	-919	「サービス '%1' はすでに存在します。」 253 ページ
13566	-918	「AUTHORIZATION が OFF の場合はユーザ名を指定する必要があります。」 154 ページ
13567	-924	「サービス '%1' は使用中です。」 253 ページ
13568	-916	「'%1' は認識されていないサービス・タイプです。」 141 ページ
13569	-915	「CREATE SERVICE にはサービス・タイプが必要です。」 158 ページ
13570	-914	「共通テーブル式参照に循環があります。」 393 ページ
13571	-913	「監査用のトランザクション・ログ・ファイルが必要です。」 389 ページ
13572	-912	「OPENXML クエリのメモリが足りません。」 183 ページ
13573	-911	「XML 出力に制御文字があります。」 208 ページ
13574	-910	「システム・コマンドが失敗し、リターン・コード %1 が返されました。」 258 ページ
13575	-908	「閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です。」 484 ページ
13576	-907	「引数の名前がありません。」 383 ページ
13577	-906	「XMLGEN 評価が失敗しました。」 209 ページ
13578	-905	「XQuery コンストラクタが無効です。」 210 ページ
13579	-904	「集約関数の ORDER BY が不正です。」 431 ページ
13580	-901	「宣言されていないタグ ID : '%1'」 443 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13580	-903	「CDATA に名前が必要です。」 156 ページ
13581	-900	「親が開いていません : '%1'」 435 ページ
13581	-902	「カラム数が少なすぎます。」 235 ページ
13582	-899	「不正なカラム名 : '%1'」 471 ページ
13583	-898	「不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ : '%1'」 473 ページ
13584	-897	「不正な FOR XML EXPLICIT タグ値 : '%1'」 467 ページ
13585	132	「文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。」 481 ページ
13587	-896	「ユーザ設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。」 365 ページ
13588	130	「ローが新しいスキーマ・フォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。」 377 ページ
13589	-895	「暗号化エラーです : '%1'」 382 ページ
13589	-894	「このタイプの文に対してプランを生成することはできません。」 243 ページ
13590	-893	「OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。」 184 ページ
13591	-892	「XPath パーサ・エラー : %1」 209 ページ
13592	-891	「要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。」 490 ページ
13593	-657	「接続できません。サーバ定義が循環しています。」 440 ページ
13594	-889	「文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。」 477 ページ
13595	-888	「XML パーサ・エラー : %1」 207 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13596	129	「プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります。」 343 ページ
13597	-887	「仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数が使用されています。」 384 ページ
13600	0	「(メッセージなし)」 150 ページ
13601	-690	「戻り値が設定できません。」 489 ページ
13602	-693	「JDBC 機能 '%1' はサポートされません。」 179 ページ
13603	-694	「開いている準備文または呼び出し可能な文を変更できませんでした。」 386 ページ
13604	-695	「'%1' で内部エラーが発生しました。」 129 ページ
13605	-696	「閉じられた '%1' に対する操作は無効です。」 483 ページ
13606	-699	「¥"final¥" 変更子で修飾されるメンバ・フィールドを更新できません。」 ページ
13607	-701	「クラスを通してインスタンス・メンバにアクセスできません。」 242 ページ
13608	-713	「'%1' で内部エラーが発生しました。」 130 ページ
13609	-714	「閉じられた '%1' に対する操作は無効です。」 483 ページ
13613	114	「'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。」 144 ページ
13614	115	「データベース・サーバでは文字セット '%1' を変換できません。変換が正しくない可能性があります。」 277 ページ
13615	116	「言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用します。」 399 ページ
13616	117	「文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。」 481 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13617	118	「無効なユーザ選択性の評価が指定されました。」 488 ページ
13618	105	「プロシージャが完了しました。」 349 ページ
13619	200	「警告 :%1」 397 ページ
13620	-98	「認証違反です。」 465 ページ
13621	-218	「認証に失敗しました。」 465 ページ
13622	-101	「データベースに接続されていません。」 283 ページ
13623	-125	「ALTER 句が矛盾しています。」 152 ページ
13624	-610	「ユーザ・メッセージ %1 はすでに存在しています。」 363 ページ
13625	-120	「ユーザ '%1' はすでにパーミッションを付与されています。」 361 ページ
13626	-123	「ユーザ '%1' はユーザ・グループではありません。」 361 ページ
13627	-312	「ユーザ '%1' はすでにグループ '%2' のメンバです。」 360 ページ
13628	-130	「文が無効です。」 476 ページ
13629	-132	「SQL 文にエラーがあります。」 194 ページ
13630	-133	「宣言された文の種類が無効です。」 442 ページ
13631	-707	「パススルー・モードでは文を使用できません。」 326 ページ
13632	-614	「メッセージまたはデータ型を所有するユーザは削除できません。」 356 ページ
13633	-731	「レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザを削除できません。」 374 ページ
13634	-161	「DESCRIBE で無効な型が指定されました。」 163 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13635	-181	「NULL に対して、インジケータ変数が用意されていません。」 181 ページ
13636	-182	「SQLDA 中のフィールドが足りません。」 196 ページ
13637	-185	「SELECT 文が複数行を返していません。」 192 ページ
13638	-188	「ホスト変数が足りません。」 352 ページ
13640	-267	「アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は認められません。」 212 ページ
13641	-270	「ランタイム・サーバでは、プロシージャを持つユーザを削除できません。」 367 ページ
13642	-280	「パブリケーション '%1' が見つかりません。」 333 ページ
13643	-281	「テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。」 300 ページ
13644	-282	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。」 148 ページ
13645	-283	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。」 148 ページ
13646	-284	「ユーザ '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャです。」 360 ページ
13647	-285	「ユーザ '%1' はこのデータベースのリモート・ユーザではありません。」 359 ページ
13648	-286	「リモート・メッセージ・タイプ '%1' がみつかりません。」 373 ページ
13649	-287	「パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。」 326 ページ
13650	-288	「リモートの文が失敗しました。」 374 ページ
13652	-211	「'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。」 128 ページ
13653	-212	「CHECKPOINT にはロールバック・ログが必要です。」 157 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13654	-221	「ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。」 190 ページ
13655	-222	「アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。」 213 ページ
13656	-213	「セーブポイントには、ロールバック・ログが必要です。」 266 ページ
13657	-230	「埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサと、データベース・インタフェース・ライブラリのバージョンが適合しません。」 485 ページ
13658	-231	「クライアントとデータベース・サーバのバージョンが適合しません。」 238 ページ
13660	-243	「データベース・ファイルが削除できません。」 281 ページ
13661	-244	「トランザクション・ログはトランケートされました。」 316 ページ
13662	-297	「ユーザ定義の例外が通知されました。」 366 ページ
13663	-298	「アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。」 211 ページ
13664	-300	「実行時 SQL エラーです -- %1」 425 ページ
13665	-301	「データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。」 290 ページ
13669	-601	「'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。」 141 ページ
13670	-602	「ファイル '%1' にアクセスできません -- %2」 339 ページ
13672	-643	「UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。」 203 ページ
13673	-607	「データベース・サーバを停止できません。」 280 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13674	-617	「データベース・サーバ外の関数呼び出しはサポートされていません。」 280 ページ
13675	-618	「外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティング・システムが一致しません。」 387 ページ
13676	-619	「ダイナミック・ライブラリ名が必要です。」 268 ページ
13677	-620	「ダイナミック・ライブラリ '%1' をロードできませんでした。」 267 ページ
13678	-621	「ダイナミック・ライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。」 268 ページ
13679	-622	「外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。」 388 ページ
13680	-625	「この外部プロシージャの呼び出しには、パラメータ数が多すぎます。」 245 ページ
13681	-626	「内部用のスレッドが起動できませんでした。」 463 ページ
13682	-634	「C 言語の文字列が完結していません。」 156 ページ
13683	110	「トランザクション・ログ・バックアップ・ページの一部だけが、満杯になっています。」 315 ページ
13685	-202	「オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。」 224 ページ
13686	112	「もっと情報が必要です。」 357 ページ
13687	-203	「ユーザ '%1' に対するテンポラリー・オプションを設定することはできません。」 358 ページ
13688	113	「ユーザ '%2' に対するデータベース・オプション '%1' は不正な設定です。」 362 ページ
13689	-205	「統合化ログインが許可されていません。」 455 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13690	-206	「統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。」 455 ページ
13691	-245	「統合化ログインが失敗しました。」 455 ページ
13694	-246	「このデータベースに対して統合化ログインはサポートされていません。」 244 ページ
13695	-247	「統合化ログイン ID ゲストは、ゲスト・データベースのユーザ ID へマップすることだけできます。」 454 ページ
13696	-248	「sys または public ユーザ ID でログイン ID をマップすることはできません。」 197 ページ
13697	-249	「ログイン ID '%1' はすでにユーザ ID '%2' でマップされています。」 377 ページ
13698	-313	「ログイン ID '%1' はどのデータベース・ユーザ ID にもマップされていません。」 378 ページ
13699	-646	「ストア DLL '%1%' をロードできませんでした。」 ページ
13700	-647	「ストア DLL (%1) のエントリ・ポイントを実行できません。」 261 ページ
13701	-711	「データベース・ストア DLL (%1) のバージョンが不正です。」 281 ページ
13702	-648	「指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。」 409 ページ
13703	-93	「クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。」 239 ページ
13704	-650	「'%1' のインデックスの型の指定は不正です。」 135 ページ
13705	-651	「データベース '%1' の削除に失敗しました。」 273 ページ
13706	-654	「接続パラメータ・ファイルが見つかりません。」 441 ページ
13707	-655	「接続パラメータ文字列の解析エラーです。」 441 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13708	-664	「データベースはアクティブです。」 291 ページ
13709	-665	「データベース ¥"%1¥" のリカバリが必要です。」 ページ
13710	-668	「カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。」 230 ページ
13711	-669	「メソッド "%1" は現時点では呼び出せません。」 355 ページ
13712	-671	「パラメータが出力パラメータとして登録されていません。」 335 ページ
13713	-674	「文のサイズの制限値が無効です。」 478 ページ
13714	-683	「カーソル名 "%1" はすでに存在しません。」 231 ページ
13715	-685	「%1 のリソース・ガバナーが制限を超えています。」 126 ページ
13717	-689	「入力パラメータ・インデックスが範囲外です。」 464 ページ
13718	-691	「バックアップ/リストア DLL ¥"%1¥" をロードできませんでした。」 ページ
13719	-692	「バックアップ/リストア DLL (%1) のエントリ・ポイントを実行できませんでした。」 329 ページ
13720	-697	「バックアップ中にエラーが発生しました: %1」 332 ページ
13721	-700	「SQLDA フィールドがマルチロー SQLDA と矛盾しています。」 196 ページ
13722	-709	「計算カラムはこのデータベースではサポートされません。」 396 ページ
13723	-761	「サーバ機能名 "%1" がデータベース内に見つかりませんでした。」 251 ページ
13724	-715	「バックアップ・ファイルの内容が矛盾しています。」 331 ページ
13725	-716	「バックアップ・ファイルのフォーマットが無効です。」 330 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13726	-717	「RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。」 189 ページ
13727	-718	「RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。」 189 ページ
13728	-719	「RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。」 188 ページ
13729	-720	「VALIDATE 文はベース・テーブルを参照しなければなりません。」 205 ページ
13730	-727	「オプティマイザは有効なアクセス・プランを構成できませんでした。」 226 ページ
13731	-128	「ランタイム・システムでは、テーブルを所有しているユーザを削除することはできません。」 369 ページ
13732	-660	「サーバ '%1': %2」 249 ページ
13733	-661	「後方スクロール・カーソルはリモート・オブジェクトではサポートされません。」 401 ページ
13734	-682	「%1」 122 ページ
13735	-91	「プロシージャ '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。」 345 ページ
13736	-92	「%1' は有効なクラス・ファイルではありません。」 143 ページ
13737	-730	「不正な JAR ファイルです。」 468 ページ
13738	-94	「フィールドに対して不正な型を参照しました。」 341 ページ
13739	-164	「内部関数でネーム・スペースのヒープが足りなくなりました: %1」 463 ページ
13740	-165	「内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました: %1」 462 ページ
13741	-649	「クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。」 241 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13742	-652	「クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。」 239 ページ
13743	-653	「クラス '%1' を削除できません: JAR のメンバです。」 240 ページ
13744	-662	「クラス '%1' を使用して Java オブジェクトを逐次化できません。」 240 ページ
13745	-663	「Java オブジェクトを並列化できません。」 175 ページ
13746	-670	「クラスのバイト・コードが不正です。」 241 ページ
13747	-675	「Java 仮想マシンが起動できませんでした。'%1' が見つかりませんでした。」 176 ページ
13748	-704	「Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。」 176 ページ
13749	-710	「不正な比較です。」 473 ページ
13750	-734	「テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。」 296 ページ
13751	120	「'%1' は認識できないオプションです。」 142 ページ
13752	-739	「db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。」 160 ページ
13753	-740	「通信環境を作成できませんでした。」 453 ページ
13755	-742	「JDBC SAStatement バッチ実行は中止されました。」 178 ページ
13756	-743	「JDBC SAResultSet で引数に 0 を指定して absolute メソッドを実行しようとしてしました。」 178 ページ
13757	-744	「IQ データベース・コマンド・ラインの不正なオプションまたはパラメータ値: %1」 172 ページ
13758	-745	「IQ メモリ・マネージャを初期化できません: %1」 173 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13759	-746	「System V リソースを割り当てることができません。」 197 ページ
13760	-747	「不正な JDBC 結果セット・タイプです。」 468 ページ
13761	-748	「不正な JDBC 結果セットの同時実行性です。」 469 ページ
13762	-749	「Ultra Light では使用できない機能です。」 201 ページ
13763	-752	「挿入ローにある場合、JDBC 結果セット上の '%1' 関数を呼び出せません。」 446 ページ
13764	-753	「'%1' 関数を使用するには、JDBC 結果セットは挿入ロー上にある必要があります。」 146 ページ
13765	-755	「コミットされていないトランザクションの同期またはアップグレードはできません。」 247 ページ
13766	-756	「現在の JDBC 結果セット内のテーブル '%1' のカラム '%2' を一意に識別できません。」 398 ページ
13767	-289	「複数の統合ユーザを定義することはできません。」 476 ページ
13768	-757	「読み込み専用データ・ベースに対しての修正は禁止されています。」 461 ページ
13769	-758	「データベースは Java 仮想マシンをサポートしていません。」 290 ページ
13770	-759	「SQLDA のデータ型が無効です。」 195 ページ
13771	-760	「SQL の識別子が無効です。」 194 ページ
13772	-762	「'%1' はパブリック Java クラスでないため、SQL から参照できません。」 140 ページ
13773	-763	「'%1' はパブリック Java 参照でないため、SQL から参照できません。」 140 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13774	-764	「サーバが見つからないため自動起動できません。」 250 ページ
13775	-765	「同期メッセージ・タイプ '%1' が見つかりません。」 459 ページ
13776	119	「バックアップ・ログ '%1' が開けません。」 331 ページ
13777	-767	「'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。」 131 ページ
13778	-768	「'%1' にサブスクリプションを作成できません。」 133 ページ
13779	-769	「ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。」 151 ページ
13780	-770	「ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーション・エントリを変更できません。」 152 ページ
13781	-771	「イベント '%1' が見つかりません。」 214 ページ
13782	-772	「イベント '%1' がすでに存在しません。」 213 ページ
13783	-773	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。」 215 ページ
13784	-774	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。」 216 ページ
13787	-777	「プライマリ・キーがないためテーブル '%1' と同期できません。」 342 ページ
13788	-778	「同期処理ではテーブル '%1' にプライマリ・キーを含める必要があります。」 460 ページ
13789	-779	「BLOB プライマリ・キーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。」 155 ページ
13790	-780	「パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリ・キーを更新できません。」 334 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13792	-782	「他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。」 450 ページ
13793	-783	「他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。」 449 ページ
13794	-784	「アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。」 213 ページ
13795	-785	「cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。」 158 ページ
13796	-786	「アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。」 212 ページ
13797	-787	「現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。」 399 ページ
13798	-788	「他の接続はすでに '%1' として登録されています。」 449 ページ
13799	-789	「登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。」 453 ページ
13800	-790	「自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。」 423 ページ
13801	-791	「イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。」 217 ページ
13802	-792	「イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。」 217 ページ
13803	-793	「イベント '%1' の日付/時間が無効です。」 214 ページ
13804	-794	「同期サーバがアップロードのコミットに失敗しました。」 458 ページ
13807	-797	「同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれていません。」 457 ページ
13809	-799	「DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。」 164 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13810	-800	「トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。」 318 ページ
13811	-801	「トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。」 318 ページ
13812	-802	「コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。」 247 ページ
13813	-803	「トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」 319 ページ
13814	-804	「トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」 319 ページ
13815	-805	「同期オプション '%1' が見つかりません。」 456 ページ
13816	-806	「システムのイベント・タイプ '%1' が見つかりません。」 259 ページ
13817	-807	「ホスト変数をバッチで使用してはいけません。」 353 ページ
13818	-808	「テスト・ハーネスによって内部エラーが発生しました。」 310 ページ
13819	-809	「同期オプションが長すぎます。」 457 ページ
13820	-810	「Java クラス '%1' が見つかりません。」 175 ページ
13821	-811	「JAR '%1' が見つかりません。」 173 ページ
13822	-812	「派生テーブル '%1' の select リストに '%2' と一致する式がありません。」 466 ページ
13823	-817	「接続しているテンポラリ・テーブルが多すぎます。」 440 ページ
13824	-818	「外部関数呼び出しに互換性がありません。」 388 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13825	-819	「テーブル '%1' が同期定義の一部です。」 293 ページ
13826	-820	「スクロール位置 '%1' が不正です。」 261 ページ
13827	-821	「テーブル '%1' のデータベース領域が見つかりません。」 297 ページ
13828	-822	「テーブル '%1' はすでにインクルードされています。」 299 ページ
13829	-823	「ストアド・プロシージャ内のリモート・テーブルに関わる式を処理できません。」 262 ページ
13830	-824	「相関名 '%1' への参照が不正です。」 448 ページ
13831	-825	「前回のエラーが RESIGNAL の前になくなりました。」 445 ページ
13832	-826	「データベースのアップグレードができません。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。」 285 ページ
13833	-827	「データベースのアップグレードができません。ユーザ・テーブルに、システム・テーブル範囲のテーブル ID が設定されています。」 285 ページ
13834	-828	「dbmsync ダウンロード・フェーズでの競合が検出されました。」 162 ページ
13835	-829	「TLS ハンドシェイクに失敗しました。」 198 ページ
13836	-830	「エイリアス '%1' がユニークではありません。」 221 ページ
13837	-831	「エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。」 222 ページ
13838	-832	「接続エラー : %1」 438 ページ
13839	-833	「テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガで修正または削除されました。」 298 ページ
13840	-834	「テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。」 302 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13841	-835	「イベント '%1' は使用中です。」 215 ページ
13842	-836	「プロシージャ '%1' は有効でなくなりました。」 346 ページ
13843	-837	「テーブル '%1' のトリガまたは外部キーは有効でなくなりました。」 297 ページ
13844	-838	「サーバ上で TLS の初期化に失敗しました。」 252 ページ
13845	-839	「既存のローと競合しているため、ダウンロードに失敗しました。」 391 ページ
13847	-841	「'%1' の JDK バージョンは '%2' と一致していません。」 134 ページ
13848	-842	「JDK '%1' はサポートされている JDK ではありません。」 179 ページ
13849	-843	「'%1' という名前の同期ユーザが見つかりません。」 132 ページ
13850	-844	「'%1' という名前の同期定義が見つかりません。」 132 ページ
13851	-845	「修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は関連名 '%2' と一致していません。」 429 ページ
13852	-846	「カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。」 233 ページ
13853	-847	「Java SecurityManager クラスがありません: %1」 174 ページ
13854	-848	「Java SecurityManager をロードしているときに例外が発生しました。」 174 ページ
13855	-851	「復号化エラーです: %1」 475 ページ
13856	-852	「テーブル名 '%1' はあいまいです。」 310 ページ
13857	121	「カーソル・オプションの値が変更されました。」 226 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13858	-855	「トリガ名 '%1' はあいまいです。」 322 ページ
13859	-856	「SQLDA に不正な sqllen フィールドがあります。」 195 ページ
13860	-857	「サーバ %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。」 248 ページ
13861	-858	「CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。」 159 ページ
13864	-860	「指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした。」 409 ページ
13865	-861	「集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。」 432 ページ
13866	-862	「集約式 '%1' は select リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります。」 432 ページ
13867	-863	「グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。」 242 ページ
13868	-303	「ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。」 270 ページ
13869	-864	「文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。」 477 ページ
13870	-866	「%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。」 125 ページ
13871	-867	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません。」 444 ページ
13872	-868	「'%1' は認識できない文字セット・エンコード・ラベルです。」 142 ページ
13873	-869	「データベース・サーバでは文字セット '%1' を変換できません。」 276 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13874	-870	「要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。」 491 ページ
13875	-871	「この Java 関連コマンドを実行するにはデータベースを再起動する必要があります。」 243 ページ
13876	-872	「%1 から結果セットが返されません。」 124 ページ
13877	-873	「%1 から複数の結果セットが返されました。」 125 ページ
13878	-686	「Java 仮想マシンを起動するにはキャッシュが不足しています。」 177 ページ
13879	-688	「ランタイム・サーバでは強い暗号化方式のデータベース・ファイルはサポートされません。」 368 ページ
13880	-874	「カラム名は %1 でなければなりません。」 236 ページ
13882	-876	「クライアントでメモリが不足しています。」 238 ページ
13883	122	「非確定的な結果が返されました。」 466 ページ
13885	-184	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データ・ファイルの行 %3 にテーブルをロードするために指定されたデータは無効です。」 304 ページ
13886	124	「不正なデータ変換: 行 %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。」 472 ページ
13887	-162	「%1 を %2 に変換できません。データ・ファイルの行 %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています。」 127 ページ
13888	-877	「プロシージャ、トリガ、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。」 347 ページ
13889	-878	「インデックス '%1' をクラスタできません。」 218 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	エラー・メッセージ
13890	-879	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」 122 ページ
13892	125	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」 123 ページ
13894	-881	「%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。」 124 ページ
13896	127	「%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。」 123 ページ
13898	-883	「シングルバイト・コンバータの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。」 259 ページ
13959	-974	「%1' のファイル I/O に失敗しました。」 135 ページ
13960	-975	「%1' のボリューム ID が不正です。」 136 ページ
16846	-840	「暗号化キーが不正であるか、見つかりません。」 383 ページ
36007	-628	「ゼロで除算しようとしてしました。」 267 ページ

五十音順のエラー・メッセージ・リスト

%1

項目	値
定数	SQLE_OMNI_DEBUG
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	コンソール用のデバッグ・メッセージ
重大度	16
SQLCODE	-682
SQLSTATE	WO010
Sybase エラー・コード	13734

考えられる原因

このメッセージは、コンソール上にコンポーネント統合サービスのデバッグ・メッセージを表示する場合に使用されます。

%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。

項目	値
定数	SQLE_ILLEGAL_MULTIBYTE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	入力文字列の文字セット
パラメータ 2	出力文字列の文字セット
重大度	16
SQLCODE	-879
SQLSTATE	WC003
Sybase エラー・コード	13890

考えられる原因

サーバで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、無効なマルチバイト文字が検出されました。処理がアボートされました。

%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。

項目	値
定数	SQLE_ILLEGAL_MULTIBYTE_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	?入力文字列の文字セット
パラメータ 2	出力文字列の文字セット
重大度	10
SQLCODE	125
SQLSTATE	01WC1
Sybase エラー・コード	13892

考えられる原因

サーバで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、無効なマルチバイト文字が検出されました。不正な文字は変換されないまま直接コピーされました。不正な文字の後のデータは正しく解釈されていない可能性があります。on_charset_conversion_failure オプションを参照してください。

%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。

項目	値
定数	SQLE_SIMPLE_SUBSTITUTION_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	入力文字列の文字セット
パラメータ 2	出力文字列の文字セット
重大度	10
SQLCODE	127

項目	値
SQLSTATE	01WC3
Sybase エラー・コード	13896

考えられる原因

サーバで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、データベース文字セットで表現できない文字がありました。そのような文字は置換されました。on_charset_conversion_failure オプションを参照してください。

%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。

項目	値
定数	SQLE_SIMPLE_SUBSTITUTION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	入力文字列の文字セット
パラメータ 2	出力文字列の文字セット
重大度	16
SQLCODE	-881
SQLSTATE	WC005
Sybase エラー・コード	13894

考えられる原因

サーバで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、データベース文字セットで表現できない文字がありました。処理がアボートされました。on_charset_conversion_failure オプションを参照してください。

%1 から結果セットが返されません。

項目	値
定数	SQLE_NO_RESULT_SET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

項目	値
パラメータ 1	プロシージャの名前
重大度	16
SQLCODE	-872
SQLSTATE	WP014
Sybase エラー・コード	13876

考えられる原因

SELECT 文の FROM 句で呼び出されたプロシージャが結果セットを返す必要があります。

%1 から複数の結果セットが返されました。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_RESULT_SETS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの名前
重大度	16
SQLCODE	-873
SQLSTATE	WP013
Sybase エラー・コード	13877

考えられる原因

SELECT 文の FROM 句で呼び出されたプロシージャは、複数の結果セットを返すことができません。

%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。

項目	値
定数	SQLE_BAD_RESULT_SET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

項目	値
パラメータ 1	不正な結果セットを返すプロシージャの名前
重大度	12
SQLCODE	-866
SQLSTATE	WP012
Sybase エラー・コード	13870

考えられる原因

SELECT 文の FROM 句でプロシージャを呼び出す場合、予期される結果のスキーマが WITH 句から取得されます。WITH 句を使用しない場合、予期されるスキーマはシステム・カタログから取得されます。呼び出しから返される結果セットは、予期されるスキーマに一致するか、一致するように各カラムを変換できるようになっている必要があります。

%1 のリソース・ガバナーが制限を超えています。

項目	値
定数	SQL_RESOURCE_GOVORNOR_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	制限を超えたリソース
重大度	19
SQLCODE	-685
SQLSTATE	WP009
Sybase エラー・コード	13715

考えられる原因

表示されているリソースのリソース・ガバナーが、リソースの使用率が制限を超えていると判断しました。

%1 を %2 に変換できません。データ・ファイルの行 %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています。

項目	値
定数	SQLE_CONVERSION_ERROR_LOAD_TABLE
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメータ 1	変換できなかった値
パラメータ 2	変換しようとしたデータ型
パラメータ 3	値を挿入しようとしたカラム名
パラメータ 4	無効なデータが発生したデータ・ファイルの行番号
重大度	16
SQLCODE	-162
SQLSTATE	53017
Sybase エラー・コード	13887

考えられる原因

LOAD TABLE に指定したデータ・ファイルに、必要なデータ型に変換できない値があります。

'%1' %2 の近くに構文エラーがあります。

項目	値
定数	SQLE_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	構文エラーが見つかった単語またはシンボル
パラメータ 2	行番号
重大度	15
SQLCODE	-131
SQLSTATE	42W04
Sybase エラー・コード	102

考えられる原因

実行しようとしている文を、データベース・サーバが理解できません。カラム名にキーワードを使う場合は、キーワードを引用符で囲んでください(たとえば DATE は "DATE")。

'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。

項目	値
定数	SQLE_MUST_BE_ONLY_CONNECTION
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメータ 1	データベースを使用している接続の名前
重大度	16
SQLCODE	-211
SQLSTATE	42W19
Sybase エラー・コード	13652

考えられる原因

データ定義言語操作を行おうとしましたが、この操作は他のユーザが接続しているときには実行できません。

'%1' では結果セットは許可されません。

項目	値
定数	SQLE_RESULT_SET_NOT_PERMITTED
ODBC 2 ステータス	07005
ODBC 3 ステータス	07005
パラメータ 1	無効な文を持つオブジェクトの名前
重大度	16
SQLCODE	-946
SQLSTATE	09W03
Sybase エラー・コード	13542

考えられる原因

結果セットが許可されないコンテキストで、SELECT 文を実行しようとした。

'%1' で指定されたリモート・ホストに接続できません。

項目	値
定数	SQLE_UNABLE_TO_CONNECT_TO_HOST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・ホストを参照している URI
重大度	19
SQLCODE	-981
SQLSTATE	WW050
Sybase エラー・コード	13508

考えられる原因

リモート・サーバへの接続を開始できませんでした。

'%1' で内部エラーが発生しました。

項目	値
定数	SQLE_JDBC_OBJ_INTERNAL_ERR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーのオブジェクトの Java クラス
重大度	20
SQLCODE	-695
SQLSTATE	WJ009
Sybase エラー・コード	13604

考えられる原因

このエラーは、内部 JDBC オブジェクト・エラーです。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。

'%1' で内部エラーが発生しました。

項目	値
定数	SQLE_JNAT_OBJ_INTERNAL_ERR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーのオブジェクトの Java クラス
重大度	20
SQLCODE	-713
SQLSTATE	WJ013
Sybase エラー・コード	13608

考えられる原因

このエラーは、内部ネイティブ Java オブジェクト・エラーです。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。

'%1' というユーザ ID はありません。

項目	値
定数	SQLE_UNKNOWN_USERID
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	見つからなかったユーザ ID の名前
重大度	11
SQLCODE	-140
SQLSTATE	08004
Sybase エラー・コード	509

考えられる原因

存在しないユーザ ID を使用しました。

'%1' という変数はすでに存在します。

項目	値
定数	SQLE_VARIABLE_EXISTS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでに存在する変数の名前
重大度	15
SQLCODE	-261
SQLSTATE	42W15
Sybase エラー・コード	134

考えられる原因

すでに存在する変数の名前を使って、変数を作成しようとしてしました。

'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_SYNCHRONIZATION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	サブスクリプションの名前
重大度	16
SQLCODE	-767
SQLSTATE	5RW12
Sybase エラー・コード	13777

考えられる原因

同期サブスクリプションの名前のスペルを間違えたか、同期サブスクリプション名をユーザ名で正しく修飾しませんでした。

'%1' という名前の同期ユーザが見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_SYNC_SITE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	同期ユーザの名前
重大度	16
SQLCODE	-843
SQLSTATE	5RW37
Sybase エラー・コード	13849

考えられる原因

同期サイトの名前のスペルを間違えたか、同期サイト名をユーザ名で正しく修飾しませんでした。

'%1' という名前の同期定義が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_SYNC_DEFINITION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	同期定義の名前
重大度	16
SQLCODE	-844
SQLSTATE	5RW39
Sybase エラー・コード	13850

考えられる原因

同期定義の名前のスペルを間違えたか、同期定義名をユーザ名で正しく修飾しませんでした。

'%1' にサブスクリプションを作成できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_SUBSCRIBE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	パブリケーションの名前
重大度	16
SQLCODE	-768
SQLSTATE	5RW13
Sybase エラー・コード	13778

考えられる原因

同期パブリケーションなど、一部のパブリケーションはサブスクリプションを作成できません。

'%1' にジョインする方法がありません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_JOIN_TABEXPR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ジョインできないテーブルまたはビューの名前
重大度	15
SQLCODE	-875
SQLSTATE	42W73
Sybase エラー・コード	102

考えられる原因

このテーブルに関する有効なジョイン条件をサーバが検出できませんでした。ジョインが外部ジョインである場合は、ON 句が欠落している可能性があります。ジョインが KEY JOIN である場合は、ジョイン条件を生成するために使用できるこのテーブルの外部キーとプライマリ・キーの関係をサーバが検出できませんでした。ジョインが NATURAL JOIN である場合は、テーブルに、ジョインされるテーブル式と共通のカラム名がありません。

'%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_GROUP_SELECT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	直接参照されるか、式の中で参照されるカラムの名前。これは GROUP BY 句に入れる必要がある。
重大度	15
SQLCODE	-149
SQLSTATE	53003
Sybase エラー・コード	7321

考えられる原因

select リストまたはネストされたクエリ・ブロックの中で、GROUP BY 句にない非集合関数またはカラム参照を使用しました。GROUP BY を使ったクエリでは、集合関数以外の select リスト項目は GROUP BY 句中にも入れてください。select リスト項目がカラム参照またはエイリアスである場合は、GROUP BY 句にカラム名かエイリアスを追加します。select リスト項目がスカラ関数である場合は、GROUP BY 句中の関数の引数が、select リスト中のものと必ず一致するようにしてください。場合によっては、GROUP BY 句にカラムを追加する代わりに、カラム名に MAX 関数 (または別の集合関数) を使った方がよいこともあります。

'%1' の JDK バージョンは '%2' と一致していません。

項目	値
定数	SQLE_JDK_VERSION_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	JDK JAR ファイル名
パラメータ 2	JDK バージョン文字列
重大度	16
SQLCODE	-841
SQLSTATE	WJ026

項目	値
Sybase エラー・コード	13847

考えられる原因

CREATE DATABASE 文に指定した JDK バージョンが、JDK JAR ファイルの JDK バージョンと一致しません。

'%1' のインデックスの型の指定は不正です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_INDEX_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なインデックスの型指定
重大度	16
SQLCODE	-650
SQLSTATE	WW016
Sybase エラー・コード	13704

考えられる原因

IQ インデックス・データ型は IQ インデックスだけに指定できます。Ultra Light では、LONG 型のカラムにインデックスを指定できません。

'%1' のファイル I/O に失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_DEVICE_IO_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイル名
重大度	16
SQLCODE	-974

項目	値
SQLSTATE	WW043
Sybase エラー・コード	13959

考えられる原因

ファイルにアクセスしようとしてエラーが発生しました。ファイルがリムーバブル・メディア・カードにある場合は、カードが取り出された可能性があります。

'%1' のボリューム ID が不正です。

項目	値
定数	SQLE_INCORRECT_VOLUME_ID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイル名
重大度	16
SQLCODE	-975
SQLSTATE	WW044
Sybase エラー・コード	13960

考えられる原因

ファイルにはアクセスできますが、ボリューム ID が変更されています。元のリムーバブル・メディア・カードを挿入してください。

'%1' の機能は実装されていません。

項目	値
定数	SQLE_NOT_IMPLEMENTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	実装されていない機能の名前
重大度	16

項目	値
SQLCODE	-134
SQLSTATE	0A000
Sybase エラー・コード	401

考えられる原因

このバージョンの SQL Anywhere で実装されていない操作を実行したり、機能を使用しようとしました。

'%1' の近くに構文エラーがあります -- 自動更新可能な実体化ビューの定義が次の構成体を使用しない可能性があります : '%2'

項目	値
定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	使用できない機能のロケーション
パラメータ 2	使用できない機能
重大度	15
SQLCODE	-1032
SQLSTATE	42WB4
Sybase エラー・コード	13480

考えられる原因

定義が制限の 1 つに違反する自動更新可能な実体化ビュー (Materialized View) を作成しようとしました。

'%1' の近くに構文エラーがあります -- 実体化ビューの定義が次の構成体を使用しない可能性があります : '%2'

項目	値
定数	SQLE_MATVIEW_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	42000

項目	値
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	使用できない機能のロケーション
パラメータ 2	使用できない機能
重大度	15
SQLCODE	-1031
SQLSTATE	42WB3
Sybase エラー・コード	13479

考えられる原因

定義が制限の 1 つに違反する実体化ビュー (Materialized View) を作成しようとした。

'%1' は '%2' に対して無効な値です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_OPTION_VALUE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な値
パラメータ 2	オプションの名前
重大度	16
SQLCODE	-1053
SQLSTATE	42W85
Sybase エラー・コード	5849

考えられる原因

無効な値をオプションに指定しました。オプションには、数値だけを指定できるオプションや、true または false だけを指定できるオプションがあります。また、多くのオプションでは、値として空の文字列を指定できません。

'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_NCHAR_COLLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	NCHAR 照合として使用できない照合
重大度	16
SQLCODE	-1073
SQLSTATE	WC010
Sybase エラー・コード	13442

考えられる原因

指定した照合は NCHAR 照合として使用できません。NCHAR では常に UTF-8 が使用されるので、照合は UCA または UTF8BIN である必要があります。

'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セット・エンコードではありません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_ENCODING_FOR_COLLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な文字セット・エンコード
パラメータ 2	文字セット・エンコードが無効な照合
重大度	16
SQLCODE	-1072
SQLSTATE	WC009
Sybase エラー・コード	13441

考えられる原因

指定した文字セットは、指定した照合で使用できません。

'%1' はパブリック Java クラスでないため、SQL から参照できません。

項目	値
定数	SQLE_NON_PUBLIC_JAVA_CLASS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	Java クラス名
重大度	16
SQLCODE	-762
SQLSTATE	WJ023
Sybase エラー・コード	13772

考えられる原因

SQL からは、データベースにインストールされたパブリック Java クラスにだけアクセスできません。

'%1' はパブリック Java 参照でないため、SQL から参照できません。

項目	値
定数	SQLE_UNKNOWN_JAVA_REF
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ドット文字 (.) を使用した式
重大度	16
SQLCODE	-763
SQLSTATE	WJ024
Sybase エラー・コード	13773

考えられる原因

このドット文字 (.) を使用した式は、パブリック Java クラスでも Java 変数でもありません。

'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。

項目	値
定数	SQLE_UNSUPPORTED_LOAD_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定したフォーマット
重大度	19
SQLCODE	-601
SQLSTATE	WL001
Sybase エラー・コード	13669

考えられる原因

LOAD TABLE または UNLOAD TABLE でサポートされていないファイル・フォーマットが指定されました。

'%1' は認識されていないサービス・タイプです。

項目	値
定数	SQLE_UNKNOWN_SERVICE_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	認識されていないサービス・タイプ
重大度	16
SQLCODE	-916
SQLSTATE	42W94
Sybase エラー・コード	13568

考えられる原因

認識できないサービス・タイプを指定しました。

'%1' は認識できないオプションです。

項目	値
定数	SQLLE_UNKNOWN_OPTION
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	サーバに認識されないオプション
重大度	10
SQLCODE	120
SQLSTATE	01W17
Sybase エラー・コード	13751

考えられる原因

サーバに認識されていないオプションの値を設定しようとした。

'%1' は認識できない文字セット・エンコード・ラベルです。

項目	値
定数	SQLLE_UNKNOWN_CHARSET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	認識されない文字セット・エンコード・ラベル
重大度	16
SQLCODE	-868
SQLSTATE	WC001
Sybase エラー・コード	13872

考えられる原因

指定した文字セット・ラベルが認識されないため、その文字セットとの変換を実行できません。

'%1' は複数のテーブルで使用されています。

項目	値
定数	SQLE_CORRELATION_NAME_AMBIGUOUS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	あいまいな相関名
重大度	16
SQLCODE	-139
SQLSTATE	52012
Sybase エラー・コード	7364

考えられる原因

同じ FROM 句の中で、同じ相関名を使ってテーブルを 2 つ指定しました。

'%1' は有効なクラス・ファイルではありません。

項目	値
定数	SQLE_BAD_CLASS_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なファイルの名前
重大度	16
SQLCODE	-92
SQLSTATE	WP002
Sybase エラー・コード	13736

考えられる原因

INSTALL JAVA 文に受け渡されるファイルが、有効な Java クラス・ファイルではありませんでした。

'%1' プロパティはサポートされなくなりました。

項目	値
定数	SQLE_UNSUPPORTED_PROPERTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なプロパティの名前
重大度	16
SQLCODE	-1119
SQLSTATE	42WC2
Sybase エラー・コード	13394

考えられる原因

指定したプロパティは、現在のリリースではサポートされていません。

'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_PERFORM_CHAR_TRANSLATION
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	アプリケーションが要求した文字セットの名前
パラメータ 2	データベースが使用する文字セットの名前
重大度	10
SQLCODE	114
SQLSTATE	01W12
Sybase エラー・コード	13613

考えられる原因

サーバは、データベースが使用する文字セットからアプリケーションが要求した文字セットに文字変換を実行できません。

'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。

項目	値
定数	SQLE_AMBIGUOUS_JOIN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ジョインできない最初のテーブルの名前
パラメータ 2	ジョインできない 2 番目のテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-147
SQLSTATE	52W08
Sybase エラー・コード	301

考えられる原因

2つのテーブルをキー・ジョインしようとしたのですが、それらのテーブルが2つ以上の外部キーで関連付けられていました。最初のテーブルから2番目のテーブルに外部キーが2つある可能性があります。その原因は、それぞれのテーブルに、他方のテーブルへの外部キーがあるからです。プライマリ・キー・テーブルには、関連名を使用してください。これは外部キー関係の役割名と同じです。

'%1' を '%2' にジョインできません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_JOIN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ジョインできない最初のテーブルの名前
パラメータ 2	ジョインできない 2 番目のテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-146
SQLSTATE	53W04
Sybase エラー・コード	301

考えられる原因

2つのテーブル間でKEY JOINを行おうとしましたが、一方のテーブルのプライマリ・キーを参照する外部キーが、もう一方のテーブルにありません。または、NATURAL JOINを行おうとしましたが、テーブル間に共通のカラム名がありません。

'%1' 関数を使用するには、JDBC 結果セットは挿入ロー上にある必要があります。

項目	値
定数	SQLE_JDBC_MUST_OPER_ON_INSERT_ROW
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	呼び出されている結果セット関数の名前
重大度	16
SQLCODE	-753
SQLSTATE	WJ020
Sybase エラー・コード	13764

考えられる原因

insertRow などの結果セット関数は、結果セットが挿入ローにある場合だけ呼び出すことができます。

'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_MISMATCH_BRACES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性
パラメータ 2	属性の値。
重大度	16
SQLCODE	-1129
SQLSTATE	WW086

項目	値
Sybase エラー・コード	13384

考えられる原因

丸カッコ (ポート・オプションを指定した場合は中カッコ) が対応していないため、属性の値が無効です。

'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_MISSING_COMMA
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性
パラメータ 2	属性の値。
重大度	16
SQLCODE	-1130
SQLSTATE	WW087
Sybase エラー・コード	13383

考えられる原因

カンマがないため、属性の値が無効です。

'%1' 付近に無効な式があります。

項目	値
定数	SQLE_EXPRESSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な式
重大度	16
SQLCODE	-156

項目	値
SQLSTATE	42W08
Sybase エラー・コード	401

考えられる原因

データベース・サーバが理解できない式を指定しました。たとえば、2つの日付を加算しようとしてしました。

'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_SUBSCRIPTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	パブリケーションの名前
パラメータ 2	ユーザの名前
重大度	16
SQLCODE	-283
SQLSTATE	5RW04
Sybase エラー・コード	13645

考えられる原因

存在しないサブスクリプションを削除、開始、または同期しようとしてしました。

'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。

項目	値
定数	SQLE_SUBSCRIPTION_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	パブリケーションの名前
パラメータ 2	ユーザの名前

項目	値
重大度	16
SQLCODE	-282
SQLSTATE	5RW03
Sybase エラー・コード	13644

考えられる原因

すでに存在するサブスクリプションを作成しようとしてしました。

'%2' のローは、ユーザ '%1' によってロックされています。

項目	値
定数	SQLE_LOCKED
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメータ 1	別のユーザの名前
パラメータ 2	エラーを起こすテーブル
重大度	21
SQLCODE	-210
SQLSTATE	42W18
Sybase エラー・コード	8405

考えられる原因

データベース・オプション 'blocking' が Off に設定されている状態で、別のユーザがロックしているローの読み込みや書き込みをしようとしてしました。

'ローカル・テンポラリ' として宣言されたテーブルにコメントを追加できません。

項目	値
定数	SQLE_COMMENT_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

項目	値
重大度	11
SQLCODE	-1042
SQLSTATE	WW065
Sybase エラー・コード	13469

考えられる原因

LOCAL TEMPORARY と宣言されたテーブルにコメントを追加しようとした。これは許可されていません。

(メッセージなし)

項目	値
定数	SQLE_AMBIGUOUS_CONSTRAINT
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S24
重大度	16
SQLCODE	-930
SQLSTATE	42U05
Sybase エラー・コード	13555

考えられる原因

名前のないカラムの制約の変更を要求しましたが、1つ以上の名前付き制約があります。

(メッセージなし)

項目	値
定数	SQLE_NOERROR
ODBC 2 ステータス	00000
ODBC 3 ステータス	00000
重大度	10
SQLCODE	0

項目	値
SQLSTATE	00000
Sybase エラー・コード	13600

考えられる原因

このコードは、エラーまたは警告がなかったことを示します。

!"final" 変更子で修飾されるメンバ・フィールドを更新できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_FINAL_FIELD
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-699
SQLSTATE	WJ012
Sybase エラー・コード	13606

考えられる原因

"final" 変更子で修飾される Java メンバを更新しようとしてしました。これらのメンバは定数で、更新できません。

ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_MODIFY_SYNC_AS_PUB
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-769
SQLSTATE	5RW14
Sybase エラー・コード	13779

考えられる原因

ALTER PUBLICATION 文を使用して、同期エントリを変更しようとした。

ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーション・エントリを変更できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_MODIFY_PUB_AS_SYNC
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-770
SQLSTATE	5RW15
Sybase エラー・コード	13780

考えられる原因

ALTER SYNCHRONIZATION 文を使用して、パブリケーション・エントリを変更しようとした。

ALTER 句が矛盾しています。

項目	値
定数	SQLE_ALTER_CLAUSE_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-125
SQLSTATE	53W01
Sybase エラー・コード	13623

考えられる原因

PRIMARY KEY 句、FOREIGN KEY 句、または UNIQUE 句は、ALTER TABLE 文のただ 1 つの句である必要があります。

ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。

項目	値
定数	SQLE_NO_LOCAL_CONNECTIONS_TO_ENCRYPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1088
SQLSTATE	WW069
Sybase エラー・コード	13426

考えられる原因

ローカル・データベースは強力に暗号化されているので、ATTACH TRACING 文の LOCAL DATABASE 句を使用できません。接続文字列でデータベースの暗号化キーを指定する必要があります。

ATTACH TRACING は、トレース・データベースに接続できませんでした。

項目	値
定数	SQLE_ATTACH_TRACING_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1097
SQLSTATE	08W95
Sybase エラー・コード	13418

考えられる原因

トレーシング・データベースへの接続を確立できませんでした。接続文字列を確認し、他のクライアントが接続できることを確認してください。別のサーバにトレーシングを追加しようとしている場合は、接続がファイアウォールでブロックされている可能性があります。

AUTHORIZATION が OFF の場合はユーザ名を指定する必要があります。

項目	値
定数	SQLE_SERVICE_REQUIRES_USER_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-918
SQLSTATE	42W96
Sybase エラー・コード	13566

考えられる原因

AUTHORIZATION が Off の場合は、有効なユーザ名を指定する必要があります。

AUTHORIZATION がオフの場合、サービス定義には文が必要です。

項目	値
定数	SQLE_SERVICE_AUTH_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-931
SQLSTATE	42W9E
Sybase エラー・コード	13554

考えられる原因

AUTHORIZATION が Off に設定されている場合、指定したサービス・タイプのサービス定義には、文の指定が必要です。

Backup 句 '%1' が '%2' と競合します

項目	値
定数	SQLE_INVALID_BACKUP_STATEMENT

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	最初の BACKUP 句
パラメータ 2	2 番目の BACKUP 句
重大度	16
SQLCODE	-1057
SQLSTATE	WB016
Sybase エラー・コード	13456

考えられる原因

BACKUP 文で指定した句が相互に排他的です。

BLOB プライマリ・キーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。

項目	値
定数	SQLE_BLOB_IN_SYNC_TABLE_PK
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-779
SQLSTATE	5RW18
Sybase エラー・コード	13789

考えられる原因

BLOB プライマリ・キーでテーブルの同期エントリを作成しようとしてしました。

BLOB への参照が多すぎます。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_BLOB_REFS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1107
SQLSTATE	54W11
Sybase エラー・コード	13407

考えられる原因

特定の BLOB への参照の最大数を超過しました。Ultra Light では、単一の BLOB への参照は最大で 256 です。

C 言語の文字列が完結していません。

項目	値
定数	SQLE_UNTERMINATED_C_STR
ODBC 2 ステータス	22024
ODBC 3 ステータス	22024
重大度	16
SQLCODE	-634
SQLSTATE	22024
Sybase エラー・コード	13682

考えられる原因

C 文字列ホスト変数の最後のバイトには、null 文字が含まれている必要があります。

CDATA に名前が必要です。

項目	値
定数	SQLE_FOR_XML_EXPLICIT_NAMED_CDATA

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-903
SQLSTATE	WX011
Sybase エラー・コード	13580

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT クエリの CDATA ディレクティブに、名前が指定されていません。

CHECKPOINT にはロールバック・ログが必要です。

項目	値
定数	SQLE_CHECKPOINT_REQUIRES_UNDO
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-212
SQLSTATE	42W20
Sybase エラー・コード	13653

考えられる原因

データベース・サーバがロールバック・ログなしのバルク・モードで実行されているときは、CHECKPOINT 文は使用できません。

COMMIT/ROLLBACK はトリガでは使用できません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_TRIGGER_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

項目	値
重大度	15
SQLCODE	-273
SQLSTATE	2D501
Sybase エラー・コード	102

考えられる原因

トリガの動作中に、許可されていない文を実行しようとしてしました。COMMIT と ROLLBACK 文はトリガからは実行できません。

cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。

項目	値
定数	SQLE_DEREG_APP_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-785
SQLSTATE	5RW24
Sybase エラー・コード	13795

考えられる原因

アプリケーションが正常に登録されていないか、すでに登録が解除されています。

CREATE SERVICE にはサービス・タイプが必要です。

項目	値
定数	SQLE_SERVICE_TYPE_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-915

項目	値
SQLSTATE	42W92
Sybase エラー・コード	13569

考えられる原因

CREATE SERVICE 文では、サービス・タイプを指定する必要があります。

CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。

項目	値
定数	SQLE_HISTOGRAMS_NOT_SUPPORTED_ON_OBJECT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-858
SQLSTATE	42W67
Sybase エラー・コード	13861

考えられる原因

CREATE/DROP STATISTICS を使用して、ビューまたはリモート・テーブルなど、仮想データベース・オブジェクトの1つ以上のヒストグラムを作成/削除しようとしてしました。CREATE STATISTICS 文および DROP STATISTICS 文が参照できるのは、接続している SQL Anywhere データベースにあるベース・テーブル、ローカル・テンポラリ・テーブル、またはグローバル・テンポラリ・テーブルのみです。

DB 領域 '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_DBSPACE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかった DB 領域の名前
重大度	11

項目	値
SQLCODE	-138
SQLSTATE	52W13
Sybase エラー・コード	1802

考えられる原因

データベース・サーバが見つめることができない DB 領域にアクセスしようとした。

DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。

項目	値
定数	SQLE_DBSPACE_CONTAINS_TABLES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	DB 領域の名前
重大度	16
SQLCODE	-1120
SQLSTATE	55W26
Sybase エラー・コード	13393

考えられる原因

DB 領域を削除しようとしたが、この DB 領域にはテーブルまたはインデックスが含まれます。テーブルかインデックスまたはその両方を削除してから、DB 領域を削除してください。

db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_DB_INIT_NOT_CALLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-739

項目	値
SQLSTATE	55W07
Sybase エラー・コード	13752

考えられる原因

dblib エントリ・ポイントに渡された SQLCA が db_init の呼び出しによって初期化されていないか、db_init の呼び出しが失敗しました。

DBA のみがオプション '%1' を設定できます。

項目	値
定数	SQLE_OPTION_REQUIRES_DBA
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	設定できなかったオプションの名前
重大度	14
SQLCODE	-204
SQLSTATE	42W46
Sybase エラー・コード	5878

考えられる原因

SET OPTION 文に指定したオプションは、DBA 権限を持つユーザのみ設定できます。

dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません。

項目	値
定数	SQLE_ICU_NOT_AVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1076
SQLSTATE	WC012

項目	値
Sybase エラー・コード	13438

考えられる原因

このデータベースに必要な ICU コンポーネントをサーバにロードできません。dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていることを確認してください。

dbicu ライブラリとサーバのバージョンが一致しません。

項目	値
定数	SQLE_ICU_DLL_VERSION_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1124
SQLSTATE	WC014
Sybase エラー・コード	13389

考えられる原因

このデータベースに必要な ICU コンポーネントをサーバにロードできません。dbicu ライブラリの適切なバージョンがインストールされていることを確認してください。

dbmlsync ダウンロード・フェーズでの競合が検出されました。

項目	値
定数	SQLE_RECORDING_CONFLICT_DETECTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-828
SQLSTATE	WW027
Sybase エラー・コード	13834

考えられる原因

Dbmlsyncはこのエラーを使用して、他の接続によって修正されたローとのダウンロード・フェーズ競合を検出します。

DBN/DBF パラメータが、この代替サーバ名のデータベースと一致しません。

項目	値
定数	SQLE_WRONG_DB_ON_ALT_SERVER_NAME
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-1036
SQLSTATE	08W90
Sybase エラー・コード	13475

考えられる原因

指定した DBN または DBF パラメータが、指定した代替サーバ名を使用しているデータベースと一致しません。

DESCRIBE で無効な型が指定されました。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_DESCRIBE_TYPE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	16
SQLCODE	-161
SQLSTATE	07W01
Sybase エラー・コード	13634

考えられる原因

DESCRIBE 文で指定した Java タイプに、対応する SQL タイプがありません。

DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。

項目	値
定数	SQLE_DTC_TRANSACTIONS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-799
SQLSTATE	0AW10
Sybase エラー・コード	13809

考えられる原因

DTC トランザクションをサポートしていないプラットフォームにこの機能を登録しようとしてしました。

FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。

項目	値
定数	SQLE_WRONG_NUM_OF_FETCH_VARIABLES
ODBC 2 ステータス	S1002
ODBC 3 ステータス	07009
重大度	16
SQLCODE	-264
SQLSTATE	42W26
Sybase エラー・コード	553

考えられる原因

FETCH 文で指定した変数の数が、select リストの項目数と一致しません。

FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_FETCH_POSITION

項目	値
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-263
SQLSTATE	42W25
Sybase エラー・コード	6259

考えられる原因

無効か NULL のオフセットを FETCH 文で指定しました。

FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません。

項目	値
定数	SQLE_FIPS_NOT_AVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	アルゴリズムの名前
重大度	19
SQLCODE	-1071
SQLSTATE	0AW16
Sybase エラー・コード	13442

考えられる原因

サーバが FIPS モードで実行されているときは、指定したアルゴリズムを使用できません。

FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました。

項目	値
定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_CURSOR
ODBC 2 ステータス	42000

項目	値
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-813
SQLSTATE	42W36
Sybase エラー・コード	7301

考えられる原因

更新可能でないクエリに対し、カーソル FOR UPDATE を宣言しようとした。DISTINCT、GROUP BY、HAVING、INTERSECT、EXCEPT、UNION を含むクエリや、集合関数を含むクエリは、読み込み専用です。ansi_update_constraints オプションがオンの場合は、ジョインを含むクエリは、読み込み専用になります。クエリがビューを参照する場合は、そのビューが更新不可になる場合があります。

GROUP BY 句には定数式を使用できません。

項目	値
定数	SQLE_NO_CONSTANTS_IN_GROUP_BY
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-928
SQLSTATE	42W9D
Sybase エラー・コード	13557

考えられる原因

GROUP BY 句で定数を使用しました。定数は、クエリの GROUP BY 句に使用しないでください。GROUP BY 句では、定数であるビュー内のカラムを参照することができます。また、定数であるビューのカラムを使用する式を使用できます。

HTTP オプション '%1' の設定が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_HTTP_OPTION_SETTING

項目	値
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な HTTP オプションの名前
重大度	16
SQLCODE	-939
SQLSTATE	42W83
Sybase エラー・コード	13548

考えられる原因

無効な値を HTTP オプションに指定しました。数値だけを許可するオプションや、On と Off の値だけを許可するオプションがあります。

HTTP サーバからの応答が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_HTTP_RESPONSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-988
SQLSTATE	WW057
Sybase エラー・コード	13501

考えられる原因

リモート HTTP サーバからの応答が無効でした。空か、形式が間違っているか、ヘッダ情報が欠けていた可能性があります。

HTTP ヘッダ '%1' の設定が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_HTTP_HEADER_SETTING

項目	値
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な HTTP ヘッダの名前
重大度	16
SQLCODE	-940
SQLSTATE	42W84
Sybase エラー・コード	13547

考えられる原因

無効な値を HTTP ヘッダに指定しました。

HTTP ヘッダ '%1' は予約されてるため変更できません。

項目	値
定数	SQLE_HTTP_HEADER_ATTRIBUTE_RESERVED_XXX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの原因となっているヘッダ
重大度	16
SQLCODE	-1094
SQLSTATE	WW070
Sybase エラー・コード	13421

考えられる原因

指定した HTTP ヘッダは予約されてるため変更できません。

HTTP 認証に失敗しました。ステータス・コード '%1'

項目	値
定数	SQLE_HTTP_REQUEST_FAILED

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	HTTP ステータス・コード
重大度	19
SQLCODE	-983
SQLSTATE	WW052
Sybase エラー・コード	13506

考えられる原因

HTTP 要求から失敗を示すステータス・コードが返されました。

I/O エラーです。%1 -- トランザクションはロールバックされました。

項目	値
定数	SQLE_DEVICE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ
重大度	24
SQLCODE	-305
SQLSTATE	40W04
Sybase エラー・コード	3013

考えられる原因

SQL Anywhere がハードディスクに障害を検出しました。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

ICU 照合 '%1' はデフォルトに設定されました。

項目	値
定数	SQLE_COLLATION_DEFAULT_WARNING

項目	値
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	ICU 照合の指定子
重大度	10
SQLCODE	201
SQLSTATE	01WC4
Sybase エラー・コード	13397

考えられる原因

ICU 照合の指定子がデフォルトで別の ICU 照合になりました。操作で当初想定していた照合が使用されなかった可能性があります。結果はプラットフォームによって異なります。

Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_IDENTITY_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	カラムの名前
重大度	16
SQLCODE	-725
SQLSTATE	WO019
Sybase エラー・コード	11212

考えられる原因

CREATE EXISTING 文で指定したカラムの identity 属性が実際のカラムの identity 属性と異なります。

INSERT コマンドへの値が正しくありません。

項目	値
定数	SQLE_WRONG_NUM_OF_INSERT_COLS
ODBC 2 ステータス	21S01
ODBC 3 ステータス	21S01
重大度	16
SQLCODE	-207
SQLSTATE	53002
Sybase エラー・コード	213

考えられる原因

挿入しようとする値の数が、INSERT 文で指定したカラム数と一致しません。またはカラムが指定されていない場合は、テーブル中のカラム数と一致しません。

INSTEAD OF トリガのあるビューで位置付け更新しようとした。

項目	値
定数	SQLE_INSTEAD_TRIGGER_POSITIONED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-1127
SQLSTATE	42W3B
Sybase エラー・コード	13386

考えられる原因

ビューの INSTEAD OF トリガ (ネストされている可能性あり) が含まれる位置付け更新、位置付け削除、プット、ワイド挿入操作を試行しました。これらの操作は、ビューの INSTEAD OF トリガでサポートされていません。

IQ データベース・コマンド・ラインの不正なオプションまたはパラメータ値 : %1

項目	値
定数	SQLE_IQ_INVALID_COMMAND_LINE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	無効なコマンド・ライン・オプション
重大度	18
SQLCODE	-744
SQLSTATE	08W51
Sybase エラー・コード	13757

考えられる原因

無効なコマンド・ライン・オプションが使用されました。オプションは -iq で始まっていますが、オプションが無効か、不正なパラメータが含まれています。

IQ データベースにはログが必要です。

項目	値
定数	SQLE_IQ_LOG_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-933
SQLSTATE	0AQ48
Sybase エラー・コード	102

考えられる原因

IQ データベースには、トランザクション・ログ・ファイルを使用する必要があります。

IQ メモリ・マネージャを初期化できません : %1

項目	値
定数	SQLE_IQ_MEMORY_MANAGER_FAILED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ
重大度	18
SQLCODE	-745
SQLSTATE	08W52
Sybase エラー・コード	13758

考えられる原因

System V 共有メモリが要求されましたが、割り当てることができませんでした。

JAR '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_JAR_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	JAR の名前
重大度	16
SQLCODE	-811
SQLSTATE	42W58
Sybase エラー・コード	13821

考えられる原因

この名前の JAR はデータベースには存在しません。

Java SecurityManager クラスがありません : %1

項目	値
定数	SQLE_JAVA_SECMGR_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	Java SecurityManager のクラス名
重大度	16
SQLCODE	-847
SQLSTATE	WJ027
Sybase エラー・コード	13853

考えられる原因

指定したクラスが SecurityManager サブクラスでないか、見つかりません。

Java SecurityManager をロードしているときに例外が発生しました。

項目	値
定数	SQLE_JAVA_SECMGR_EXCEPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-848
SQLSTATE	WJ028
Sybase エラー・コード	13854

考えられる原因

この接続について Java SecurityManager をロード中に Java 例外が発生しました。

Java オブジェクトを並列化できません。

項目	値
定数	SQLE_JAVA_DESERIALIZATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-663
SQLSTATE	WW018
Sybase エラー・コード	13745

考えられる原因

永続的な Java オブジェクトをデータベース・カラムから読み込むことはできません。オブジェクトのクラスが削除されたか、修正された可能性があります。

Java クラス '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_JAVA_CLASS_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	Java クラスの名前
重大度	16
SQLCODE	-810
SQLSTATE	42W57
Sybase エラー・コード	13820

考えられる原因

この名前の Java クラスはデータベースには存在しません。

Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_INDEX_ON_JAVA_CLASS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	クラスの名前
重大度	16
SQLCODE	-704
SQLSTATE	WW022
Sybase エラー・コード	13748

考えられる原因

Java クラスの型でインデックスを作成しようとしてしました。このようなインデックスを必要とする操作を行おうとしてしました。

Java 仮想マシンが起動できませんでした。'%1' が見つかりませんでした。

項目	値
定数	SQLE_JAVA_VM_NOT_STARTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	VM の実行に必要なだが見つからなかったコンポーネント (java.exe または jar)
重大度	16
SQLCODE	-675
SQLSTATE	WP006
Sybase エラー・コード	13747

考えられる原因

Java 仮想マシンの起動時に問題が発生しました。VM の実行に必要なコンポーネントが見つかりませんでした。

Java 仮想マシンを起動するにはキャッシュが不足しています。

項目	値
定数	SQLE_JAVA_VM_INSUFFICIENT_CACHE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-686
SQLSTATE	WP015
Sybase エラー・コード	13878

考えられる原因

使用できるキャッシュが不足しているために Java 仮想マシンを起動できませんでした。キャッシュ・サイズを大きくしてデータベース・サーバを再起動してください。

jConnect は暗号化をサポートしていません。

項目	値
定数	SQLE_NO_ENCRYPTION_FOR_JCONNECT
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	18
SQLCODE	-941
SQLSTATE	08W69
Sybase エラー・コード	13548

考えられる原因

jConnect を使用して、接続の暗号化タイプを指定しました。jConnect は暗号化をサポートしていません。

JDBC SResultSet で引数に 0 を指定して absolute メソッドを実行しようとした。

項目	値
定数	SQLE_JDBC_RESULTSET_SEEK_ABSOLUTE_ZERO
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-743
SQLSTATE	WJ016
Sybase エラー・コード	13756

考えられる原因

JDBC resultSets には 0 というロー番号は存在しません。有効なローの番号は、1、2、-2、-1 です。

JDBC SAStatement バッチ実行は中止されました。

項目	値
定数	SQLE_JDBC_BATCH_EXECUTE_ABANDONED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-742
SQLSTATE	WJ015
Sybase エラー・コード	13755

考えられる原因

バッチ内で文を実行したときにエラーが発生しました。バッチ内の残りの文は中止されます。

JDBC 機能 '%1' はサポートされません。

項目	値
定数	SQLE_UNSUPPORTED_JDBC_FEATURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	試行した機能の名前
重大度	16
SQLCODE	-693
SQLSTATE	WJ007
Sybase エラー・コード	13602

考えられる原因

サポートされていない JDBC の機能を使用しようとしました。

JDK '%1' はサポートされている JDK ではありません。

項目	値
定数	SQLE_UNSUPPORTED_JDK
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	JDK バージョン文字列
重大度	16
SQLCODE	-842
SQLSTATE	WJ025
Sybase エラー・コード	13848

考えられる原因

CREATE DATABASE 文に指定した JDK バージョンがサポートされていないか、JDK JAR ファイルのマニフェスト・ファイルのバージョンがサポートされていません。

Kerberos ログインが失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_KERBEROS_LOGON_FAILED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1069
SQLSTATE	28W12
Sybase エラー・コード	13445

考えられる原因

Kerberos ログインに失敗しました。クライアントでユーザのプリンシパルを KDC に対して認証できなかったか、サーバでクライアントを認証できませんでした。考えられる主な原因は、Kerberos のプリンシパルがサインインしていないか、プリンシパルのチケットの期限が切れているか、クライアント、サーバ、または KDC のシステム時刻の差が数分を超えていることです。LogFile 接続パラメータまたはサーバの -z オプションを使用すると、詳細情報を確認できます。

Kerberos ログインはサポートされていません。

項目	値
定数	SQLE_KERBEROS_LOGONS_UNSUPPORTED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1070
SQLSTATE	28W13
Sybase エラー・コード	13444

考えられる原因

クライアントかサーバまたはその両方で Kerberos ログインがサポートされていません。Kerberos がプラットフォームでサポートされていないか、GSS-API ランタイムを含む Kerberos クライアント・ソフトウェアがクライアントにインストールされていない、またはクライアントで見つからないか、Kerberos がサーバで有効になっていません。LogFile 接続パラメータまたはサーバの -z オプションを使用すると、詳細情報を確認できます。

MIME タイプ '%1' が不正です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_MIMETYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	MIME タイプの名前
重大度	16
SQLCODE	-1123
SQLSTATE	WW085
Sybase エラー・コード	13390

考えられる原因

MIME タイプの指定子が不正です。

NULL に対して、インジケータ変数が用意されていません。

項目	値
定数	SQLE_NO_INDICATOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-181
SQLSTATE	22002
Sybase エラー・コード	13635

考えられる原因

データベースから NULL の値を検索しようとしたますが、その値にインジケータ変数を指定しませんでした。

NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_NULL_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
重大度	16
SQLCODE	-733
SQLSTATE	23504
Sybase エラー・コード	233

考えられる原因

NULL が許可されるカラム数とそのカラムに許可されている制限を超えるように、テーブル定義を作成または変更しようとした。制限値はデータベース・ページ・サイズの機能で、約 $8 * (\text{page-size} - 30)$ です。

Null 属性はカラム '%1' に適合しません。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_NULL_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	カラムの名前
重大度	16
SQLCODE	-724
SQLSTATE	WO018
Sybase エラー・コード	11211

考えられる原因

CREATE EXISTING 文で指定したカラムの NULL 属性が実際のカラムの NULL 属性と異なります。

OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_FRAME_BOUNDARY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-957
SQLSTATE	22X13
Sybase エラー・コード	13531

考えられる原因

先頭または最後のサイズの式が、NULL または負の値に評価されました。

OPENXML クエリのメモリが足りません。

項目	値
定数	SQLE_XQUERY_MEMORY_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-912
SQLSTATE	WX016
Sybase エラー・コード	13572

考えられる原因

OPENXML クエリによって使用されるメモリは、結果の単一のローによって参照されるノードを持つ XML ドキュメントのサブツリーの最大サイズに比例することがあります。キャッシュ・サイズを大きくするか、より小さいサブツリーをローが参照するようにクエリを再作成してください。

OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。

項目	値
定数	SQLE_BAD_OPENXML_FLAG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-893
SQLSTATE	WX004
Sybase エラー・コード	13590

考えられる原因

3 番目の引数として OPENXML に渡されるフラグ値は、1 (属性中心のマッピング) または 2 (要素中心のマッピング) でなければなりません。

ORDER BY はウィンドウ '%1' では許可されません。

項目	値
定数	SQLE_ORDERBY_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ウィンドウの名前
重大度	16
SQLCODE	-949
SQLSTATE	42WA5
Sybase エラー・コード	13539

考えられる原因

インラインのウィンドウ指定から既存のウィンドウ名が参照されるときに、インラインのウィンドウまたは参照されるウィンドウのいずれかに ORDER BY がある場合があります。

ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_ORDERBY_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ORDER BY 句内で、直接または式の中で参照されているカラムの名前
重大度	15
SQLCODE	-854
SQLSTATE	42W65
Sybase エラー・コード	104

考えられる原因

ORDER BY 句に関数またはカラムの参照を指定しましたが、セマンティック上無効です。たとえば、DISTINCT クエリでは ORDER BY 句で参照できるのはクエリの select リスト内の項目のみです。

ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_ORDER_BY_COLUMN
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ORDER BY 句にあるカラムの名前
重大度	15
SQLCODE	-814
SQLSTATE	42W37
Sybase エラー・コード	6267

考えられる原因

ORDER BY 句にあるカラムを更新しようとして、ansi_update_constraints オプションは、この更新が許可されるかどうかを制御します。

ORDER BY 句の指定が不正です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_ORDER
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-152
SQLSTATE	53005
Sybase エラー・コード	108

考えられる原因

ORDER BY リスト内で使用した整数が select リストのカラム数を上回ったか、セマンティック上無効な ORDER BY 式を指定しました。たとえば、UNION クエリでは、結果の順序を指定するために整数のみ指定できます。

RAISERROR が実行されました : %1

項目	値
定数	SQLE_RAISERROR_STMT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	RAISERROR メッセージ文字列
重大度	16
SQLCODE	-631
SQLSTATE	WW012
Sybase エラー・コード	0

考えられる原因

RAISERROR 文が実行されました。RAISERROR 文に関連する文字列がエラー・メッセージの本文に含まれます。

RAISERROR のエラー番号 %1 を 17000 未満にすることはできません。

項目	値
定数	SQLE_ERROR_NUMBER_OUT_OF_RANGE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	エラー番号
重大度	16
SQLCODE	-296
SQLSTATE	53W07
Sybase エラー・コード	2732

考えられる原因

RAISERROR 文に無効なエラー番号を指定しました。番号は、17000 以上にしてください。

READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。

項目	値
定数	SQLE_TEXT_OPERATION_ON_VIEW
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-708
SQLSTATE	42W50
Sybase エラー・コード	285

考えられる原因

Transact-SQL READTEXT 文または WRITETEXT 文がビュー内のテキスト・カラムを参照できません。ビューの参照をベース・テーブルの名前と置き換えてください。

RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。

項目	値
定数	SQLE_RECURSIVE_KEYWORD_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-938
SQLSTATE	42WA0
Sybase エラー・コード	13549

考えられる原因

再帰クエリの共通テーブル式は、WITH RECURSIVE 句を使用して定義する必要があります。

RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。

項目	値
定数	SQLE_RESTORE_UNABLE_TO_START
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベース・ファイルのファイル名
重大度	21
SQLCODE	-719
SQLSTATE	WB010
Sybase エラー・コード	13728

考えられる原因

RESTORE を実行したデータベースが起動できませんでした。

RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。

項目	値
定数	SQLE_RESTORE_UNABLE_TO_WRITE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベース・ファイルのファイル名
重大度	21
SQLCODE	-718
SQLSTATE	WB009
Sybase エラー・コード	13727

考えられる原因

RESTORE がデータベース・ファイルの 1 つに書き込みができませんでした。

RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。

項目	値
定数	SQLE_RESTORE_UNABLE_TO_OPEN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベース・ファイルのファイル名
重大度	21
SQLCODE	-717
SQLSTATE	WB008
Sybase エラー・コード	13726

考えられる原因

RESTORE がデータベース・ファイルの 1 つを開けませんでした。

ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。

項目	値
定数	SQLE_ROLLBACK_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-221
SQLSTATE	3B002
Sybase エラー・コード	13654

考えられる原因

アトミック操作内で、ROLLBACK TO SAVEPOINT をアトミック操作前に確立されたセーブポイントに対して実行しようとしてしました。

ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_GROUPING_EXPRESSIONS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-944
SQLSTATE	42WA1
Sybase エラー・コード	13544

考えられる原因

要求された ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対して、GROUP BY リストで指定した式が多すぎます。SQL Anywhere を実行している現在の環境では、この数の式は、要求した操作に対して GROUP BY リストで使用できません。

SELECT INTO の最適化がエラーとして扱われ、警告が検出されました。

項目	値
定数	SQLE_SELECT_INTO_WARNING_TREATED_AS_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-995
SQLSTATE	WP016
Sybase エラー・コード	13495

考えられる原因

クエリの最適化中に警告が検出された場合、SELECT ...INTO #TEMPTABLE 文を続行できません。この問題を修正するには、INTO 句を削除してクエリをテストし、報告された警告を解決してください。

select リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています。

項目	値
定数	SQLE_SUBQUERY_SELECT_LIST
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-151
SQLSTATE	53023
Sybase エラー・コード	102

考えられる原因

複数のカラムを持つサブクエリを select リストに入力しました。カラムが 1 つだけになるように select リストを変更してください。

SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません。

項目	値
定数	SQLE_UPDATE_NOT_IN_SELECT
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	SELECT 句にないカラムの名前
重大度	15
SQLCODE	-815
SQLSTATE	42W38
Sybase エラー・コード	7740

考えられる原因

select リストに明示的にないカラムを更新しようとしてしました。ansi_update_constraints オプションは、この更新が許可されるかどうかを制御します。

SELECT 文が複数行を返しています。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_RECORDS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-185
SQLSTATE	21000
Sybase エラー・コード	13637

考えられる原因

SELECT 文をカーソルなしで使用しようとしてしましたが、文カーソルは複数のローを返しました。このコンテキストでは、単一のローの SELECT 文だけを使用できます。

SELECT 文以外は記述できません。

項目	値
定数	SQLE_DESCRIBE_NONSELECT
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	16
SQLCODE	-160
SQLSTATE	07005
Sybase エラー・コード	3819

考えられる原因

C 言語インタフェースで、SELECT 文以外の文の select リストを記述しようとした。Ultra Light では、SELECT 以外の文のスキーマを取り出そうとするとこのエラーが発生する可能性があります。

SOAP ヘッダ '%1' の設定が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_SOAP_HEADER_SETTING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な SOAP ヘッダの名前
重大度	16
SQLCODE	-1114
SQLSTATE	42W86
Sybase エラー・コード	13400

考えられる原因

無効な値を SOAP ヘッダに指定しました。

SQL の識別子が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_SQL_IDENTIFIER
ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07W06
重大度	16
SQLCODE	-760
SQLSTATE	07W06
Sybase エラー・コード	13771

考えられる原因

C 言語インタフェースを通して、無効な識別子を指定しました。たとえば、カーソル名に NULL 文字列を指定した可能性があります。

SQL 記述子名が正しくありません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_DESCRIPTOR_NAME
ODBC 2 ステータス	33000
ODBC 3 ステータス	33000
重大度	21
SQLCODE	-642
SQLSTATE	33000
Sybase エラー・コード	601

考えられる原因

まだ割り当てられていない記述子を解除しようとしてしました。

SQL 文にエラーがあります。

項目	値
定数	SQLE_STATEMENT_ERROR

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-132
SQLSTATE	26501
Sybase エラー・コード	13629

考えられる原因

次の操作を行うためにデータベースに渡された、文の識別子 (PREPARE によって生成されます) が無効です。

SQLDA に不正な sqlen フィールドがあります。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_SQLLEN
ODBC 2 ステータス	HY090
ODBC 3 ステータス	HY090
重大度	16
SQLCODE	-856
SQLSTATE	07W08
Sybase エラー・コード	13859

考えられる原因

SQLDA の sqlen フィールドに指定された長さが無効です。可変長のデータ型の長さには負の数を指定しないでください。DT_BINARY 型と DT_VARCHAR 型の長さは 1 より大きい必要があります。

SQLDA のデータ型が無効です。

項目	値
定数	SQLE_SQLDA_INVALID_DATATYPE
ODBC 2 ステータス	07001

項目	値
ODBC 3 ステータス	07W05
重大度	16
SQLCODE	-759
SQLSTATE	07W05
Sybase エラー・コード	13770

考えられる原因

SQLDA 変数に指定したデータ型が無効です。

SQLDA フィールドがマルチロー SQLDA と矛盾しています。

項目	値
定数	SQLE_SQLDA_INCONSISTENT
ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07W04
重大度	16
SQLCODE	-700
SQLSTATE	07W04
Sybase エラー・コード	13721

考えられる原因

マルチロー SQLDA のローの一部または全部が、配列操作 (挿入、フェッチ、実行) に対して同等に定義されていません。指定されたカラムは、個々のローでは同じ (型、長さ) に定義する必要があります。

SQLDA 中のフィールドが足りません。

項目	値
定数	SQLE_SQLDA_TOO_SMALL
ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07002

項目	値
重大度	16
SQLCODE	-182
SQLSTATE	07002
Sybase エラー・コード	13636

考えられる原因

要求された値をすべて検索するだけのフィールドが SQLDA にありません。

sys または public ユーザ ID でログイン ID をマップすることはできません。

項目	値
定数	SQLE_LOGON_SYSMAP
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-248
SQLSTATE	28W07
Sybase エラー・コード	13696

考えられる原因

ログイン ID に SYS または PUBLIC を割り当てようとしてしました。

System V リソースを割り当てることができません。

項目	値
定数	SQLE_IQ_SYSTEM_V_FAILURE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	18
SQLCODE	-746

項目	値
SQLSTATE	08W53
Sybase エラー・コード	13759

考えられる原因

IQ が System V リソースを割り当てることができませんでした。使用していない System V セマフォと共有メモリのセグメントを削除するか、これらのリソースのオペレーティング・システム設定値を大きくしてください。

TLS ハンドシェイクに失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_TLS_HANDSHAKE_FAILED
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-829
SQLSTATE	08W59
Sybase エラー・コード	13835

考えられる原因

TLS ハンドシェイク・プロセスでエラーが発生したため、接続に失敗しました。

Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョイン・タイプが無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_TSQL_JOIN_TYPE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-681
SQLSTATE	52W24

項目	値
Sybase エラー・コード	305

考えられる原因

無効なジョイン・タイプが、Transact-SQL 外部ジョイン比較演算子のあるクエリによって使用されました。

Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_TSQL_OJ_EXPRESSION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-680
SQLSTATE	52W23
Sybase エラー・コード	301

考えられる原因

Transact-SQL 構文を使用するクエリの WHERE 句の式の中に、別のテーブルからカラムを参照しているサブクエリや式と、NULL 入力テーブルのカラムの比較が含まれています。

Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。

項目	値
定数	SQLE_TSQL_OUTER_JOINS_DISABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1099
SQLSTATE	55W25
Sybase エラー・コード	13416

考えられる原因

tsql_outer_joins 接続オプションの設定によって、クエリで Transact-SQL の外部ジョインを指定する機能が現在無効になっています。Transact-SQL の外部ジョインは、このリリースの SQL Anywhere では推奨されなくなりました。

Transact-SQL 機能がサポートされていません。

項目	値
定数	SQLE_TSQL_FEATURE_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-611
SQLSTATE	0AW02
Sybase エラー・コード	176

考えられる原因

SQL Anywhere でサポートされていない Transact-SQL 機能を使用しようとしてしました。

TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_TRUNCATE_VIEW
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-702
SQLSTATE	42W49
Sybase エラー・コード	4708

考えられる原因

ビューに TRUNCATE TABLE を使用しようとしてしました。TRUNCATE TABLE はビューには使用できません。

Ultra Light では使用できない機能です。

項目	値
定数	SQLE_NOT_SUPPORTED_IN_ULTRALITE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-749
SQLSTATE	0AW07
Sybase エラー・コード	13762

考えられる原因

Ultra Light データベースでサポートされていない文を実行したり、機能を使用したりしようとしてしました。

Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。

項目	値
定数	SQLE_CURSOR_RESTORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	134
SQLSTATE	WW041
Sybase エラー・コード	13518

考えられる原因

カーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) が正しく開き、カーソル位置がサスペンド状態からリストアされました。

Ultra Light の接続がリストアされました。

項目	値
定数	SQLE_CONNECTION_RESTORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	133
SQLSTATE	WW040
Sybase エラー・コード	13519

考えられる原因

接続が正しく行われ、トランザクションがサスペンド状態からリストアされました。

UNION、INTERSECT、または EXCEPT の select リストの長さが一致していません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_UNION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-153
SQLSTATE	53026
Sybase エラー・コード	205

考えられる原因

UNION、INTERSECT、または EXCEPT を指定しましたが、その操作の SELECT 文が select リストのカラム数と同じ数を持っていません。

UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_UNLOAD_A_VIEW
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-643
SQLSTATE	WL004
Sybase エラー・コード	13672

考えられる原因

UNLOAD TABLE がビューの名前で指定されています。UNLOAD TABLE は、テーブルのアンロードにだけ使用できます。

URI '%1' が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_URI
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な URI
重大度	16
SQLCODE	-980
SQLSTATE	WW049
Sybase エラー・コード	13509

考えられる原因

指定した URI は無効です。

USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。

項目	値
定数	SQLE_SERVICE_PARM_UNSUPPORTED_PROPERTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サポートされていないプロパティの名前
重大度	16
SQLCODE	-1024
SQLSTATE	42WAF
Sybase エラー・コード	13486

考えられる原因

サポートされていないプロパティの USING 属性がサービス定義に含まれています。

USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。

項目	値
定数	SQLE_SERVICE_ATTR_COEXIST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1026
SQLSTATE	42WB1
Sybase エラー・コード	13484

考えられる原因

指定したサービス・タイプのサービス定義では、USING 属性を FORMAT または GROUP 属性と一緒に指定できません。

VALIDATE 文はベース・テーブルを参照しなければなりません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_VALIDATE_OBJECT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-720
SQLSTATE	42W51
Sybase エラー・コード	13729

考えられる原因

VALIDATE 文は、ローカル・ベース・テーブルを参照する必要があります。ビュー、IQ テーブル、またはリモート・サーバのオブジェクトは参照できません。

Window '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_WINDOW_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかった Window の名前
重大度	16
SQLCODE	-947
SQLSTATE	42WA3
Sybase エラー・コード	13541

考えられる原因

SELECT 文の Window リストで定義されていない Window 名を参照しようとしてしました。

Window 関数が述語に使用されています。

項目	値
定数	SQLE_ILLEGAL_WINDOW_PREDICATE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-964
SQLSTATE	42WA8
Sybase エラー・コード	13526

考えられる原因

Window 関数が、SELECT 文の WHERE 句または HAVING 句で使用されています。SELECT 文を抽出テーブルにする、Window 関数を抽出テーブルの select リストに設定する、または導出カラムを参照するように述語を変更することを検討してください。

Window 関数には ORDER BY が必要です。

項目	値
定数	SQLE_ORDERBY_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-965
SQLSTATE	42WA9
Sybase エラー・コード	13525

考えられる原因

RANK 関数と RANGE キーワードを使用する Window 関数には、ORDER BY 句を指定する必要があります。

WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR があります。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_TEXTPTR_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-608
SQLSTATE	22W03
Sybase エラー・コード	7123

考えられる原因

WRITETEXT または READTEXT 文に無効な TEXTPTR 値を指定しました。

WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_TEXT_IMAGE_DATATYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-609
SQLSTATE	53W09
Sybase エラー・コード	7139

考えられる原因

テキスト (text) またはイメージ (image) データを格納するように定義されていないカラムを WRITETEXT または READTEXT 文で参照しました。

XML パーサ・エラー : %1

項目	値
定数	SQLE_XML_PARSER_ERROR

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	XML パーサによって返されたエラー・メッセージ
重大度	16
SQLCODE	-888
SQLSTATE	WX002
Sybase エラー・コード	13595

考えられる原因

XML インスタンスが正しく解析されるのは、XML 1.0 仕様の定義に従った正しい形式である場合だけです。

XML 出力に制御文字があります。

項目	値
定数	SQLE_CONTROL_CHARACTER_IN_XML_OUTPUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-911
SQLSTATE	WX015
Sybase エラー・コード	13573

考えられる原因

XML コンテンツを生成するときに、16 進数の 20 未満のスペース以外の文字が検出されました。XML コンテンツとして使用する前に、制御文字を含む文字列を Base64 でエンコードすることを検討してください。そのためには、FOR XML クエリまたは SQLX 関数で、LONG BINARY などの型に文字列をキャストします。

XMLGEN 評価が失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_XMLGEN_EVALUATION_FAILURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-906
SQLSTATE	WX013
Sybase エラー・コード	13577

考えられる原因

XQuery コンストラクタで参照される変数のいずれかが、引数のリストで見つかりませんでした。

XPath パーサ・エラー : %1

項目	値
定数	SQLE_XQUERY_PARSER_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	XPath パーサによって返されたエラー・メッセージ
重大度	16
SQLCODE	-892
SQLSTATE	WX003
Sybase エラー・コード	13591

考えられる原因

XPath の式が正しくないか、現在サポートされていない機能を使用しています。

XQuery コンストラクタが無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_XQUERY_CONSTRUCTOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-905
SQLSTATE	WX012
Sybase エラー・コード	13578

考えられる原因

XMLGEN に最初の引数として渡された XQuery コンストラクタが無効です。

アイテム '%1' はすでに存在しています。

項目	値
定数	SQLE_NAME_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	S0001
ODBC 3 ステータス	42S01
パラメータ 1	すでに存在する項目の名前
重大度	16
SQLCODE	-110
SQLSTATE	52010
Sybase エラー・コード	12006

考えられる原因

ファイル、テーブル、ビュー、カラム、制約、外部キー、またはパブリケーションを、既存のものと同じ名前を使って作成しようとした。

アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。

項目	値
定数	SQLE_REQUEST_DENIED_NO_DATABASES
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	14
SQLCODE	-76
SQLSTATE	08W28
Sybase エラー・コード	950

考えられる原因

現在、稼働中のデータベースがないため、サーバは要求を拒否しました。

アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。

項目	値
定数	SQLE_DOUBLE_REQUEST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-298
SQLSTATE	42W22
Sybase エラー・コード	13663

考えられる原因

Embedded SQL で、処理中の要求があるのにデータベースに要求を送信しようとしてしました。Windows では、WM_PAINT メッセージでデータベース要求が発行され、最初のデータベース要求が完了する前に別の WM_PAINT メッセージが発生した場合にこのエラーが発生する可能性があります。

アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。

項目	値
定数	SQLE_DEREG_APP_IN_USE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前
重大度	16
SQLCODE	-786
SQLSTATE	5RW25
Sybase エラー・コード	13796

考えられる原因

アプリケーションに登録されているアクティブな接続があるにもかかわらず、アプリケーションの登録を取り消そうとしました。

アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は認められません。

項目	値
定数	SQLE_ATOMIC_OPERATION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-267
SQLSTATE	42W28
Sybase エラー・コード	13640

考えられる原因

アトミック操作中に、COMMIT または ROLLBACK 文を実行しようとしてしました。

アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。

項目	値
定数	SQLE_RESULT_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-222
SQLSTATE	3BW02
Sybase エラー・コード	13655

考えられる原因

アトミック複合文内で、INTO 句のない SELECT 文、または RESULT CURSOR 文を使用しました。

アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_REG_CONN
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-784
SQLSTATE	5RW23
Sybase エラー・コード	13794

考えられる原因

指定した cookie に対してアプリケーション登録が見つかりませんでした。

イベント '%1' がすでに存在します。

項目	値
定数	SQLE_EVENT_ALREADY_EXISTS

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	すでに存在するイベントの名前
重大度	16
SQLCODE	-772
SQLSTATE	WE002
Sybase エラー・コード	13782

考えられる原因

データベースにすでに存在する名前イベントを作成しようとしてしました。

イベント '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_EVENT_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったイベントの名前
重大度	11
SQLCODE	-771
SQLSTATE	WE001
Sybase エラー・コード	13781

考えられる原因

データベースに存在しない名前イベントを参照しようとしてしました。

イベント '%1' の日付／時間が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_EVENT_START

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	スケジュールされているイベントの名前
重大度	15
SQLCODE	-793
SQLSTATE	WE007
Sybase エラー・コード	13803

考えられる原因

イベントの開始日に無効な日付を指定しました。

イベント '%1' は使用中です。

項目	値
定数	SQLE_EVENT_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	使用中のイベントの名前
重大度	16
SQLCODE	-835
SQLSTATE	WE009
Sybase エラー・コード	13841

考えられる原因

現在使用中のイベントを削除しようとしてしました。

イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_SCHEDULE_NOT_FOUND

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったスケジュールの名前
パラメータ 2	スケジュールされているイベントの名前
重大度	11
SQLCODE	-773
SQLSTATE	WE003
Sybase エラー・コード	13783

考えられる原因

指定したイベントに関して、データベースに存在していない名前でスケジュールを参照しようとしました。

イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。

項目	値
定数	SQLE_SCHEDULE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	すでに存在するスケジュールの名前
パラメータ 2	スケジュールされているイベントの名前
重大度	16
SQLCODE	-774
SQLSTATE	WE004
Sybase エラー・コード	13784

考えられる原因

指定したイベントに関して、データベースですでに存在する名前でスケジュールを作成しようとしました。

イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_EVENT_TIME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	時刻の値
パラメータ 2	スケジュールされているイベントの名前
重大度	15
SQLCODE	-792
SQLSTATE	WE006
Sybase エラー・コード	13802

考えられる原因

無効な起動時刻や終了時刻でスケジュールを作成しようとしてしました。

イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_EVENT_DAY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	曜日または日付
パラメータ 2	スケジュールされているイベントの名前
重大度	15
SQLCODE	-791
SQLSTATE	WE005
Sybase エラー・コード	13801

考えられる原因

無効な曜日または日付でスケジュール作成しようとしてしました。

インデックス '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_INDEX_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0012
ODBC 3 ステータス	42S12
パラメータ 1	見つからなかったインデックスの名前
重大度	16
SQLCODE	-183
SQLSTATE	52W03
Sybase エラー・コード	6226

考えられる原因

存在しないインデックスを使用して、操作を実行しようとしてしました。スペルが間違っていないかチェックしてください。インデックス名をユーザ ID で修飾する必要があるかどうかをチェックしてください。

インデックス '%1' をクラスタできません。

項目	値
定数	SQLE_CLUSTERED_INDEX_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	クラスタード・インデックスにできなかったインデックスの名前
重大度	16
SQLCODE	-878
SQLSTATE	42W74
Sybase エラー・コード	13889

考えられる原因

クラスタード・インデックス (キー・インデックスを含む) を作成しようとしてしましたが、新しいインデックスを作成できませんでした。理由としては、たとえばテーブルにクラスタード・インデックスがすでにあることが考えられます。

インデックスのカラムを変更することはできません。

項目	値
定数	SQLE_COLUMN_IN_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-127
SQLSTATE	53W05
Sybase エラー・コード	4939

考えられる原因

プライマリ・キーまたは外部キーの一部であるカラムの定義を、削除または修正しようとした。インデックスのあるカラムを削除しようとした。この場合は、インデックスまたはキーを削除し、ALTER 文を実行して、インデックスまたはキーを元に戻してください。

インデックス名 '%1' があいまいです。

項目	値
定数	SQLE_AMBIGUOUS_INDEX_NAME
ODBC 2 ステータス	S0011
ODBC 3 ステータス	42S11
パラメータ 1	あいまいなインデックスの名前
重大度	16
SQLCODE	-678
SQLSTATE	52W40
Sybase エラー・コード	1921

考えられる原因

文がユニークでないインデックス名を参照しました。インデックス名には、はじめにテーブル名か所有者名またはその両方を付けてください。

インデックス名 '%1' はユニークではありません。

項目	値
定数	SQLE_INDEX_NAME_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	S0011
ODBC 3 ステータス	42S11
パラメータ 1	無効なインデックスの名前
重大度	16
SQLCODE	-111
SQLSTATE	52W04
Sybase エラー・コード	1921

考えられる原因

既存のインデックスと同じ名前を使って、インデックスを作成しようとした。

ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。

項目	値
定数	SQLE_FRAME_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ウィンドウまたは関数の名前
重大度	16
SQLCODE	-950
SQLSTATE	42WA6
Sybase エラー・コード	13538

考えられる原因

RANK 関数、またはインラインのウィンドウ指定から参照されるウィンドウでは、フレームを使用できません。

ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。

項目	値
定数	SQLE_PARTITIONBY_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ウィンドウの名前
重大度	16
SQLCODE	-948
SQLSTATE	42WA4
Sybase エラー・コード	13540

考えられる原因

インラインのウィンドウ指定から既存のウィンドウ名が参照される時は、インラインの指定に PARTITION BY 句を含めることはできません。

エイリアス '%1' がユニークではありません。

項目	値
定数	SQLE_ALIAS_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エイリアスの名前
重大度	15
SQLCODE	-830
SQLSTATE	42W60
Sybase エラー・コード	13836

考えられる原因

同じエイリアスが select リストで 2 回以上使用されています。

エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。

項目	値
定数	SQLE_ALIAS_NOT_YET_DEFINED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エイリアスの名前
重大度	15
SQLCODE	-831
SQLSTATE	42W61
Sybase エラー・コード	13837

考えられる原因

式にエイリアスへの参照が入っていますが、このエイリアスは、select リストの後の部分で定義されています。エイリアスへの参照の前にエイリアスを定義してください。

オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。

項目	値
定数	SQLE_OBJECT_HAS_DEPENDENTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	削除または修正できなかったオブジェクトの名前
パラメータ 2	削除または修正できなかったオブジェクトに依存するオブジェクトのタイプ
パラメータ 3	削除または修正できなかったオブジェクトに依存するオブジェクトの名前
重大度	16
SQLCODE	-1037
SQLSTATE	55W16
Sybase エラー・コード	13474

考えられる原因

削除または変更しようとしたテーブルまたはカラムなどのオブジェクトは、実体化ビュー (Materialized View) など別のオブジェクトで使用されているので、自動的に無効にできません。このオブジェクトに依存しているオブジェクトを無効にするか、削除すると、このオブジェクトを削除または変更できます。

オプション '%1' が認識されません。

項目	値
定数	SQLE_UNRECOGNIZED_OPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	オプションの名前
重大度	16
SQLCODE	-1002
SQLSTATE	WW062
Sybase エラー・コード	13494

考えられる原因

指定したオプションが認識されませんでした。このオプションのスペルが間違っている可能性があります。

オプション '%1' が複数回指定されています。

項目	値
定数	SQLE_DUPLICATE_OPTION
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	重複するオプションの名前
重大度	10
SQLCODE	139
SQLSTATE	01W26
Sybase エラー・コード	13415

考えられる原因

特定のオプションを複数回指定しました。オプションの最後のインスタンスだけが使用され、その前のインスタンスは無視されます。

オプション '%1' が無効です。-- PUBLIC 設定がありません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_OPTION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効なオプションの名前
重大度	15
SQLCODE	-200
SQLSTATE	42W16
Sybase エラー・コード	155

考えられる原因

SET OPTION 文のオプション名が間違っている可能性があります。ユーザに対してオプションを設定できるのは、そのオプションにデータベース管理者が PUBLIC 値を与えている場合だけです。

オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。

項目	値
定数	SQLE_NOT_PUBLIC_ID
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	オプションの名前
重大度	16
SQLCODE	-202
SQLSTATE	42W43
Sybase エラー・コード	13685

考えられる原因

SET OPTION 文に指定したオプションは PUBLIC だけです。このオプションを他のユーザに定義することはできません。

オプション '%1' はテンポラリ・オプションとしてのみ設定できます。

項目	値
定数	SQLE_OPTION_IS_TEMP_ONLY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	設定できなかったオプションの名前
重大度	14
SQLCODE	-216
SQLSTATE	42W52
Sybase エラー・コード	5878

考えられる原因

SET OPTION 文で指定したオプションは、テンポラリ・オプションとしてのみ設定できます。

オプション '%1' はプロシージャ内から設定できません。

項目	値
定数	SQLE_OPTION_IN_PROCEDURE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	設定できなかったオプションの名前
重大度	14
SQLCODE	-217
SQLSTATE	42W53
Sybase エラー・コード	5878

考えられる原因

SET OPTION 文に指定したオプションは、プロシージャ内から設定できません。

オプティマイザは有効なアクセス・プランを構成できませんでした。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_OPTIMIZE_QUERY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	18
SQLCODE	-727
SQLSTATE	WI010
Sybase エラー・コード	13730

考えられる原因

データベース・サーバは、指定された要求に対して有効なアクセス・プランを作成できませんでした。これは SQL Anywhere の内部エラーです。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。クエリ文を変更することによって、この問題を回避できます。

カーソル・オプションの値が変更されました。

項目	値
定数	SQLE_CURSOR_OPTIONS_CHANGED
ODBC 2 ステータス	01S02
ODBC 3 ステータス	01S02
重大度	10
SQLCODE	121
SQLSTATE	01S02
Sybase エラー・コード	13857

考えられる原因

関連するクエリに対して要求されたカーソル・オプションの値が、データベース・サーバでサポートされていませんでした。類似したオプション設定で置き換えられました。

カーソルが開きません。

項目	値
定数	SQLE_CURSOR_NOT_OPEN
ODBC 2 ステータス	34000
ODBC 3 ステータス	34000
重大度	16
SQLCODE	-180
SQLSTATE	24501
Sybase エラー・コード	559

考えられる原因

開いていないカーソルを使用しようとしてしました。

カーソルが宣言されていません。

項目	値
定数	SQLE_CURSOR_NOT_DECLARED
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-170
SQLSTATE	24W01
Sybase エラー・コード	557

考えられる原因

宣言されていないカーソルを OPEN しようとしてしました。

カーソルが有効な状態がありません。

項目	値
定数	SQLE_CURSOR_INVALID_STATE

項目	値
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-853
SQLSTATE	24000
Sybase エラー・コード	557

考えられる原因

操作に対して有効な状態でないカーソルを使用しようとしてしました。たとえば、カーソルにエラーが発生している可能性があります。

カーソルでローをユニークに識別できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_UNIQUELY_IDENTIFY_ROWS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-295
SQLSTATE	09W05
Sybase エラー・コード	311

考えられる原因

ローをユニークに識別するカラム・セットが作成できない SELECT 文で、UNIQUE カーソルを開きました。テーブルの 1 つがプライマリ・キーまたは一意性制約で定義できません。あるいは SELECT 文に UNION、INTERSECT、EXCEPT、または GROUP BY が含まれています。

カーソルの INSERT/DELETE は、1 度に 1 つのテーブルにしかできません。

項目	値
定数	SQLE_ONLY_ONE_TABLE
ODBC 2 ステータス	37000

項目	値
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-199
SQLSTATE	09W04
Sybase エラー・コード	102

考えられる原因

複数のテーブルの値を指定して、カーソルに INSERT を行おうとしました。またはジョインを含むカーソルから DELETE を行おうとしました。INSERT は一度に 1 つのテーブルに対して行ってください。DELETE の場合は、FROM 句を使ってどのテーブルから削除するのかを指定してください。

カーソルのオープンがエラーになりました。

項目	値
定数	SQLE_OPEN_CURSOR_ERROR
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	15
SQLCODE	-171
SQLSTATE	07003
Sybase エラー・コード	102

考えられる原因

SELECT、CALL、または EXEC ではない文でカーソルを開こうとしました。

カーソルの現在のローがありません。

項目	値
定数	SQLE_NO_CURRENT_ROW
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000

項目	値
重大度	16
SQLCODE	-197
SQLSTATE	24503
Sybase エラー・コード	560

考えられる原因

カーソルの現在のローで操作をしようとしたのですが、カーソルがロー上にありませんでした。カーソルは、カーソルの先頭のローの前か、末尾のローの後か、削除されたローの中にあります。

カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。

項目	値
定数	SQLE_NO_SCROLL_CURSOR
ODBC 2 ステータス	S1106
ODBC 3 ステータス	HY106
重大度	16
SQLCODE	-668
SQLSTATE	09W06
Sybase エラー・コード	13710

考えられる原因

NO SCROLL カーソルで無効な FETCH 操作が検出されました。前方専用カーソルの場合、許可されている FETCH 操作は FETCH RELATIVE 0 と FETCH NEXT (FETCH RELATIVE 1) だけです。

カーソルはすでに開いています。

項目	値
定数	SQLE_CURSOR_ALREADY_OPEN
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000

項目	値
重大度	16
SQLCODE	-172
SQLSTATE	24502
Sybase エラー・コード	558

考えられる原因

すでに開いているカーソルを OPEN しようとした。

カーソル名 '%1' はすでに存在します。

項目	値
定数	SQLE_DUPLICATE_CURSOR_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カーソルの名前
重大度	16
SQLCODE	-683
SQLSTATE	WJ004
Sybase エラー・コード	13714

考えられる原因

カーソルをすでに存在している名前で宣言しようとした。カーソル名は1つの接続内で必ずユニークにしてください。

カラム '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_COLUMN_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S22
パラメータ 1	見つからなかったカラムの名前

項目	値
重大度	16
SQLCODE	-143
SQLSTATE	52003
Sybase エラー・コード	207

考えられる原因

カラム名のスペルを間違えたか、探しているカラムは別のテーブルにあります。

カラム '%1' が複数のテーブルで見つかりました。相関名が必要です。

項目	値
定数	SQLE_COLUMN_AMBIGUOUS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	あいまいなカラムの名前
重大度	16
SQLCODE	-144
SQLSTATE	52002
Sybase エラー・コード	209

考えられる原因

カラムがクエリの対象になっている複数のテーブルに存在し、かつカラムに相関名を使用していません。参照に相関名を追加する必要があります。

カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_DATATYPE_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラムの名前

項目	値
重大度	12
SQLCODE	-721
SQLSTATE	WO015
Sybase エラー・コード	11209

考えられる原因

CREATE EXISTING 文で指定されたカラムのデータ型は、リモート・テーブルにあるカラムの実際のデータ型と互換性がありません。

カラム '%1' に指定された長さは実際の長さとは異なります。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_LENGTH_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	カラムの名前
重大度	16
SQLCODE	-723
SQLSTATE	WO017
Sybase エラー・コード	11210

考えられる原因

CREATE EXISTING 文で指定されたカラムの長さがリモート・テーブル内のカラムの長さとは異なります。

カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_SET_CLAUSE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S03

項目	値
パラメータ 1	無効な SET 句
重大度	15
SQLCODE	-846
SQLSTATE	42U03
Sybase エラー・コード	13852

考えられる原因

同じカラムに対して SET 句が複数あるなど、UPDATE 文に無効な SET 句が含まれています。

カラム '%1' のデータ型はサポートされていません。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_UNSUPPORTED_DATATYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラムの名前
重大度	12
SQLCODE	-736
SQLSTATE	WO022
Sybase エラー・コード	11205

考えられる原因

カラムが、リモート・テーブルではサポートされていないデータ型で定義されています。

カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません。

項目	値
定数	SQLE_COLUMN_NOT_INDEXED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

項目	値
パラメータ 1	インデックスで見つからなかったカラムの名前
重大度	16
SQLCODE	-1101
SQLSTATE	WW073
Sybase エラー・コード	13413

考えられる原因

指定したカラムは、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません。

カラム '%1' はリモート・テーブルに存在しません。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_NOSUCH_COLUMN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラムの名前
重大度	11
SQLCODE	-722
SQLSTATE	WO016
Sybase エラー・コード	11208

考えられる原因

CREATE EXISTING 文内で指定されるカラムがリモート・テーブルにありません。

カラム数が少なすぎます。

項目	値
定数	SQLE_FOR_XML_EXPLICIT_TOO_FEW_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

項目	値
重大度	16
SQLCODE	-902
SQLSTATE	WX010
Sybase エラー・コード	13581

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT には、タグのカラム、親のカラム、1 つ以上のデータ・カラムの 3 つのカラムが少なくとも必要です。

カラム番号が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_COLUMN_NUMBER
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-159
SQLSTATE	42W13
Sybase エラー・コード	182

考えられる原因

無効なカラム番号を指定したか、探しているカラムは別のテーブルにあります。

カラム名は %1 でなければなりません。

項目	値
定数	SQLE_NO_XML_IDENTIFIER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	名前を付ける必要があるカラムの番号
重大度	16

項目	値
SQLCODE	-874
SQLSTATE	WX001
Sybase エラー・コード	13880

考えられる原因

名前のないカラムは、XML 要素名または属性名として使用できません。AS を使用して、select リストの名前のないカラムに名前を付けてください。

キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリ・テーブルである必要があります。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_TABLE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-850
SQLSTATE	42R02
Sybase エラー・コード	1709

考えられる原因

キー制約関係にあるテーブルは、ともに永久ユーザ・テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリ・テーブルである必要があります。ALTER TABLE を使用して、いずれか、または両方のテーブルの定義を変更してください。

クライアント/サーバの通信プロトコルのバージョンが違います。

項目	値
定数	SQLE_PROTOCOL_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01

項目	値
重大度	21
SQLCODE	-88
SQLSTATE	08W15
Sybase エラー・コード	1602

考えられる原因

クライアントとサーバのプロトコル・バージョンが異なるため、接続に失敗しました。クライアントとサーバのソフトウェア・バージョンは必ず同一にしてください。

クライアントでメモリが不足しています。

項目	値
定数	SQLE_CLIENT_OUT_OF_MEMORY
ODBC 2 ステータス	S1001
ODBC 3 ステータス	HY001
重大度	17
SQLCODE	-876
SQLSTATE	08W65
Sybase エラー・コード	13882

考えられる原因

データベース・クライアントがメモリを割り当てようとしたときに、エラーが発生しました。

クライアントとデータベース・サーバのバージョンが適合しません。

項目	値
定数	SQLE_DBLIB_ENGINE_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	21
SQLCODE	-231

項目	値
SQLSTATE	08W19
Sybase エラー・コード	13658

考えられる原因

実行ファイルで、データベース・サーバのバージョン番号に一致しないデータベース・インタフェース・ライブラリが使用されました。

クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。

項目	値
定数	SQLE_FIELD_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定したフィールドが見つからなかったクラスの名前
パラメータ 2	見つからなかったフィールドの名前
重大度	16
SQLCODE	-93
SQLSTATE	WW013
Sybase エラー・コード	13703

考えられる原因

式が参照したフィールドは、存在しないか、パブリックではありません。

クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_DECOMPRESS_CLASS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	JAR 内のクラス・ファイルの名前
重大度	16

項目	値
SQLCODE	-652
SQLSTATE	WP003
Sybase エラー・コード	13742

考えられる原因

ZIP ファイルまたは JAR ファイルからクラス・ファイルが抽出されるには、Java ランタイム・ライブラリをインストールする必要があります。

クラス '%1' を削除できません : JAR のメンバです。

項目	値
定数	SQLE_CLASS_MEMBER_OF_JAR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	削除できないクラス・ファイルの名前
重大度	16
SQLCODE	-653
SQLSTATE	WP004
Sybase エラー・コード	13743

考えられる原因

まだ JAR の一部であるクラス・ファイルを削除しようとした (クラス・ファイルは JAR とともに削除する必要があります)。

クラス '%1' を使用して Java オブジェクトを逐次化できません。

項目	値
定数	SQLE_JAVA_SERIALIZATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	逐次化できない値のクラス

項目	値
重大度	16
SQLCODE	-662
SQLSTATE	WI009
Sybase エラー・コード	13744

考えられる原因

Java オブジェクトは、永続的なデータベース・カラムとして逐次化できません。

クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。

項目	値
定数	SQLE_FIELD_CANNOT_BE_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	NULL にできないフィールドの名前
パラメータ 2	フィールドを持つクラスの名前
重大度	16
SQLCODE	-649
SQLSTATE	WW015
Sybase エラー・コード	13741

考えられる原因

NULL 値にできない Java データ型の Java オブジェクト・フィールドに SQL の NULL 値を保存しようとした。たとえば、Java の 'int' データ型は NULL にできません。

クラスのバイト・コードが不正です。

項目	値
定数	SQLE_BAD_CLASS_BYTE_CODE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

項目	値
重大度	16
SQLCODE	-670
SQLSTATE	WP005
Sybase エラー・コード	13746

考えられる原因

INSTALL JAVA 文に渡されたバイナリ式は、不正な Java クラスです。

クラスを通してインスタンス・メンバにアクセスできません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_ACCESS_INSTANCE_MEMBER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-701
SQLSTATE	WJ011
Sybase エラー・コード	13607

考えられる原因

静的でないフィールドまたはメソッドには、オブジェクト・インスタンスを介してアクセスする必要があります。

グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_DISTINCT_AGGREGATE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-863

項目	値
SQLSTATE	42W70
Sybase エラー・コード	13867

考えられる原因

複数の DISTINCT 集合関数が、グループ化された同じクエリに指定されています。これが許容されるのは、Hash Group By 演算子を使用できる場合だけです。Hash Group By 演算子を使用できない場合は、クエリ・ブロックに含めることが可能な DISTINCT 集合関数は最大で 1 つです。

この Java 関連コマンドを実行するにはデータベースを再起動する必要があります。

項目	値
定数	SQLE_JAVA_DB_RESTART_NEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-871
SQLSTATE	WJ029
Sybase エラー・コード	13875

考えられる原因

データベース内の Java サポートでは、一部の Java 関連コマンドを実行した後にデータベースの再起動が必要です。たとえば、ALTER DATABASE UPGRADE JAVA ON のような一部の Java コマンドについては、Java クラスをデータベースにロードする Java 関連コマンドを実行する前に再起動が必要です。

このタイプの文に対してプランを生成することはできません。

項目	値
定数	SQLE_STMT_NOT_ALLOWED_IN_PLAN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-894

項目	値
SQLSTATE	0AW14
Sybase エラー・コード	13589

考えられる原因

サポートされていない文のタイプの実行プランを表示しようとした。

このデータベースに対して統合化ログインはサポートされていません。

項目	値
定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_UNSUPPORTED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-246
SQLSTATE	28W05
Sybase エラー・コード	13694

考えられる原因

現在のデータベースは古いバージョンのデータベースなので、統合化ログイン ID をデータベース・ユーザ ID にマップするための情報がありません。統合化ログインを使用するには、データベースをアップグレードする必要があります。

このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません。

項目	値
定数	SQLE_KEYLESS_ENCRYPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1109
SQLSTATE	WW079

項目	値
Sybase エラー・コード	13405

考えられる原因

暗号化キーに対して要求した操作に失敗しました。この Ultra Light データベースでは、キーを使用しない暗号化が使用されています。このエラーは、キーを使用しないデータベースの暗号化キーを変更しようとしたときに発生する可能性があります。

このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません。

項目	値
定数	SQLE_ENCRYPTED_TABLES_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1047
SQLSTATE	55W20
Sybase エラー・コード	13464

考えられる原因

暗号化がサポートされていないデータベースに、暗号化されたテーブルを作成しようとした。

この外部プロシージャの呼び出しには、パラメータ数が多すぎます。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_PARAMETERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-625
SQLSTATE	WW010
Sybase エラー・コード	13680

考えられる原因

32 ビット Windows の外部関数の呼び出しには、最大 256 のパラメータしか使用できません。

この接続はすでに存在します。

項目	値
定数	SQLE_CONNECTION_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-955
SQLSTATE	WW035
Sybase エラー・コード	13533

考えられる原因

指定した SQLCA と名前の (または名前のない) 接続は、すでに存在します。接続する前に、既存の接続を切断するか、別の接続名を指定してください。

この操作はグループ循環を起こします。

項目	値
定数	SQLE_GROUP_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-122
SQLSTATE	42W02
Sybase エラー・コード	314

考えられる原因

グループにメンバを追加しようとしたのですが、メンバが自分自身に属する結果になっています。メンバシップは直接と間接の場合があります。

コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_ENLIST_WITH_UNCOMMITTED_DATA
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-802
SQLSTATE	55W11
Sybase エラー・コード	13812

考えられる原因

コミットされていない保留中のデータがある状態では、接続をトランザクションにエンリストすることはできません。

コミットされていないトランザクションの同期またはアップグレードはできません。

項目	値
定数	SQLE_UNCOMMITTED_TRANSACTIONS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-755
SQLSTATE	0AW08
Sybase エラー・コード	13765

考えられる原因

Ultra Light データベースの同期またはスキーマのアップグレードを実行しようとしたが、Ultra Light データベースの中にコミットされていない変更があります。

サーバ %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_SERVER_SYNCHRONIZATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	サーバからのエラー番号
重大度	16
SQLCODE	-857
SQLSTATE	0AW12
Sybase エラー・コード	13860

考えられる原因

サーバで同期が失敗しました。詳細については同期ログ・ファイルを参照してください。

サーバ '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_EXTLOGIN_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・サーバの名前
重大度	11
SQLCODE	-712
SQLSTATE	WO013
Sybase エラー・コード	11221

考えられる原因

サーバに外部ログインが行われましたが、ユーザが存在しません。

サーバ '%1': %2

項目	値
定数	SQLE_OMNI_REMOTE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・サーバの名前
パラメータ 2	リモート・サーバからのメッセージ
重大度	16
SQLCODE	-660
SQLSTATE	WO005
Sybase エラー・コード	13732

考えられる原因

リモート・サーバによってメッセージが生成されました。これには、メッセージ・テキストが含まれています。

サーバがデータベース領域の最大ファイル・サイズを超えてページにアクセスしようとしてしました。

項目	値
定数	SQLE_ACCESS_BEYOND_END_OF_MAX_DBSPACE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-605
SQLSTATE	04W08
Sybase エラー・コード	5006

考えられる原因

データベースが、最大ディスク・ページを超えたページ番号にアクセスしようとしてしました。これは致命的な内部エラーです。

サーバが見つからないため自動起動できません。

項目	値
定数	SQLE_UNABLE_TO_CONNECT_OR_START
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-764
SQLSTATE	08W55
Sybase エラー・コード	13774

考えられる原因

サーバに接続できないので、サーバの自動起動ができませんでした。データベース・ファイルが指定されなかったため、自動起動ができませんでした。

サーバに接続できません '%1' : %2

項目	値
定数	SQLE_OMNI_CONNECT_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	接続できなかったサーバの名前
パラメータ 2	サーバ・クラス・ドライバから返された、より詳しい原因の情報
重大度	16
SQLCODE	-656
SQLSTATE	WO001
Sybase エラー・コード	11206

考えられる原因

リモート・サーバに接続しようとしていました。リモート・サーバが実行されているかどうかをチェックしてください。

サーバを起動するには、データベース名が必要です。

項目	値
定数	SQLE_DATABASE_NAME_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-87
SQLSTATE	08W14
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

データベース名が指定されていません。データベース・サーバを起動するには、データベース名が必要です。

サーバ機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。

項目	値
定数	SQLE_CAPABILITY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サーバ機能の名前
重大度	16
SQLCODE	-761
SQLSTATE	WO014
Sybase エラー・コード	13723

考えられる原因

ALTER SERVER 文が定義されていない機能に対して実行されました。

サーバ上で TLS の初期化に失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_TLS_INIT_FAILED_ON_SRV
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-838
SQLSTATE	08W61
Sybase エラー・コード	13844

考えられる原因

サーバで TLS ライブラリを初期化できなかったため、接続に失敗しました。

サービス '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_SERVICE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定したが、見つからなかったサービスの名前
重大度	16
SQLCODE	-920
SQLSTATE	42W98
Sybase エラー・コード	13564

考えられる原因

データベースに存在しない名前でサービスを参照しようとしてしました。

サービス '%1' はすでに存在します。

項目	値
定数	SQLE_SERVICE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	すでに存在するサービスの名前
重大度	16
SQLCODE	-919
SQLSTATE	42W97
Sybase エラー・コード	13565

考えられる原因

データベースにすでに存在する名前でサービスを作成しようとしてしました。

サービス '%1' は使用中です。

項目	値
定数	SQLE_SERVICE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	使用中のサービスの名前
重大度	16
SQLCODE	-924
SQLSTATE	55W15
Sybase エラー・コード	13567

考えられる原因

現在使用中のサービスを削除しようとしてしました。

サービス・タイプでは 'USING' 属性が許可されません。

項目	値
定数	SQLE_SERVICE_ATTR_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	許可されない属性の名前
重大度	16
SQLCODE	-1027
SQLSTATE	42WB2
Sybase エラー・コード	13483

考えられる原因

指定したサービス・タイプのサービス定義では、その属性を指定できません。

サービスで重複した属性 '%1' です。

項目	値
定数	SQLE_SERVICE_PARM_DUPLICATE_PROPERTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	重複する属性の名前
重大度	16
SQLCODE	-1025
SQLSTATE	42WB0
Sybase エラー・コード	13485

考えられる原因

サービス定義に重複する属性が含まれています。

サービスの属性 '%1' の値がありません。

項目	値
定数	SQLE_SERVICE_PARM_MISSING_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な属性の名前
重大度	16
SQLCODE	-1023
SQLSTATE	42WAE
Sybase エラー・コード	13487

考えられる原因

値のない USING、FORMAT、または GROUP 属性がサービス定義に含まれています。

サービスの属性 '%1' の値が無効です。

項目	値
定数	SQLE_SERVICE_PARM_INVALID_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な属性の名前
重大度	16
SQLCODE	-1022
SQLSTATE	42WAD
Sybase エラー・コード	13488

考えられる原因

サービス定義に無効な値の USING、FORMAT、または GROUP 属性が含まれています。

サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。

項目	値
定数	SQLE_HOSTVAR_MUST_BE_NAMED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-926
SQLSTATE	42W9B
Sybase エラー・コード	13559

考えられる原因

名前のないホスト変数参照を使用してサービスを作成しようとしました。

サービス文定義とサービス・タイプが矛盾しています。

項目	値
定数	SQLE_SERVICE_STATEMENT_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-927
SQLSTATE	42W9C
Sybase エラー・コード	13558

考えられる原因

文が必要なタイプのサービスに対して文が指定されていないか、そのサービス・タイプに文を定義できないのに文を指定しました。

サービス名 '%1' は無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_SERVICE_NAME

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サービスの名前
重大度	16
SQLCODE	-925
SQLSTATE	42W95
Sybase エラー・コード	13560

考えられる原因

無効な名前でサービスを作成しようとしてしました。使用できない文字が名前に含まれているか、サービスに指定された URL PATH 設定と名前が競合している可能性があります。

サブクエリは複数行を返すことはできません。

項目	値
定数	SQLE_SUBQUERY_RESULT_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-186
SQLSTATE	21W01
Sybase エラー・コード	512

考えられる原因

単一のローだけが使用できるコンテキストで、複数行を返すサブクエリを使用しました。サブクエリが WHERE 句にある場合は、IN キーワードを使用できることがあります。

シグニチャ '%1' はプロシージャのパラメータと一致しません。

項目	値
定数	SQLE_SIGNATURE_MISMATCH

項目	値
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	シグニチャの値
重大度	16
SQLCODE	-737
SQLSTATE	42W54
Sybase エラー・コード	201

考えられる原因

シグニチャでのタイプの数はプロシージャ・パラメータの数と一致する必要があります。
DYNAMIC RESULT SETS 句が指定されている場合、動的結果セットの数はシグニチャにある数と一致する必要があります。

システム・コマンドが失敗し、リターン・コード %1 が返されました。

項目	値
定数	SQLE_SYSTEM_COMMAND_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リターン・コードの値
重大度	16
SQLCODE	-910
SQLSTATE	38W01
Sybase エラー・コード	13574

考えられる原因

システム・コマンドの実行時に、ゼロ以外のリターン・コードが返されました。

システムのイベント・タイプ '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_EVENT_TYPE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったシステムのイベント・タイプの名前
重大度	11
SQLCODE	-806
SQLSTATE	WE008
Sybase エラー・コード	13816

考えられる原因

データベースに存在しないシステムのイベント・タイプの名前でイベントを作成しようとした。

シングルバイト・コンバータの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。

項目	値
定数	SQLE_CHARACTER_CONVERSION_REPORT_NOT_AVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-883
SQLSTATE	WC007
Sybase エラー・コード	13898

考えられる原因

on_charset_conversion_failure オプションを設定し、警告またはエラーをレポートしようとした。シングルバイトからシングルバイトへのコンバータを使用する場合、この設定は使用できません。

スキーマ・ファイル '%1' にアクセスできません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_ACCESS_SCHEMA_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイル名、または名前が指定されていないことの指摘
重大度	16
SQLCODE	-951
SQLSTATE	WW031
Sybase エラー・コード	13537

考えられる原因

現在の操作を実行するには、Ultra Light にスキーマ・ファイルが必要です。スキーマ・ファイルが指定されていない、指定したファイルにアクセスできない、または指定したファイルが破損しています。

スキーマのアップグレードは現在認められません。

項目	値
定数	SQLE_SCHEMA_UPGRADE_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-953
SQLSTATE	WW033
Sybase エラー・コード	13535

考えられる原因

データベースが同時に使用中であるため、スキーマをアップグレードできません。たとえば、すべてのカーソルを閉じないと、スキーマをアップグレードできません。

スクロール位置 '%1' が不正です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_POSITION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	不正なスクロール位置
重大度	16
SQLCODE	-820
SQLSTATE	24504
Sybase エラー・コード	13826

考えられる原因

サポートされていない場所へスクロールしようとしてしました。スクロールする場所は、-2147483647 と 2147483646 の間である必要があります。

ストア DLL (%1) のエントリ・ポイントを実行できません。

項目	値
定数	SQLE_STORE_ENTRY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エントリ・ポイントが失敗したストア DLL の名前
重大度	19
SQLCODE	-647
SQLSTATE	08W35
Sybase エラー・コード	13700

考えられる原因

ストア DLL エントリ・ポイントを検索または実行しようとしてしましたが、失敗しました。

ストア DLL "%1" をロードできませんでした。

項目	値
定数	SQLE_STORE_NOT_LOADED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードできなかったストア DLL の名前
重大度	19
SQLCODE	-646
SQLSTATE	08W34
Sybase エラー・コード	13699

考えられる原因

ストア DLL をロードしようとしたが、失敗しました。

ストアド・プロシージャ内のリモート・テーブルに関わる式を処理できません。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_EXPRESSION_IN_PROC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	12
SQLCODE	-823
SQLSTATE	WO023
Sybase エラー・コード	13829

考えられる原因

ストアド・プロシージャ内にリモート・テーブルを含む式がサーバで発生しました。式が複雑すぎて処理できませんでした。

スナップショット・アイソレーションが無効または保留になっています。

項目	値
定数	SQLE_SNAPSHOT_ISOLATION_DISABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1054
SQLSTATE	55W23
Sybase エラー・コード	13459

考えられる原因

スナップショット・アイソレーションが無効になっているか、そのアクティブ化が保留になっています。スナップショット・アイソレーションを有効にしてから、使用してください。

スナップショット・アイソレーションを非スナップショット・トランザクションで使用しようとしてしました。

項目	値
定数	SQLE_NON_SNAPSHOT_TRANSACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1065
SQLSTATE	42WBB
Sybase エラー・コード	13449

考えられる原因

トランザクションでスナップショット・アイソレーションを使用しようとしてしましたが、このトランザクションはスナップショット・アイソレーションを指定して開始されていません。

スナップショット・トランザクションで更新の競合が発生しました。

項目	値
定数	SQLE_SNAPSHOT_UPDATE_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1064
SQLSTATE	42WBA
Sybase エラー・コード	13450

考えられる原因

スナップショット・トランザクションで更新または削除しようとしたローは、スナップショットの開始後に別のトランザクションによって変更されています。

スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました。

項目	値
定数	SQLE_SNAPSHOT_TABLE_CHANGED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1061
SQLSTATE	42WB8
Sybase エラー・コード	13452

考えられる原因

スナップショット・トランザクションで使用しようとしたテーブルは、トランザクション開始後に作成または変更されています。

スナップショット中は文を使用できません。

項目	値
定数	SQLE_STATEMENT_NOT_ALLOWED_IN_SNAPSHOT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1062
SQLSTATE	42WB9
Sybase エラー・コード	13451

考えられる原因

未完了のスナップショットがある接続で CREATE INDEX、DROP INDEX、ALTER INDEX、または ALTER TABLE を使用しようとしてしました。接続のカーソルがすべて閉じていることを確認してください。

すべてのスレッドがブロックされています。

項目	値
定数	SQLE_THREAD_DEADLOCK
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	13
SQLCODE	-307
SQLSTATE	40W06
Sybase エラー・コード	1205

考えられる原因

ローの読み込み／書き込みを行おうとしてしましたが、他のユーザがそのローをロックしています。また、他のすべてのスレッド(-gn サーバ・オプションを参照してください)は、ロックが解除されるのを待ってブロックされています。これはデッドロック状態であり、トランザクションがロールバックされるよう選択されました。

セーブポイント '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLLE_SAVEPOINT_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	セーブポイントの名前
重大度	16
SQLCODE	-220
SQLSTATE	3B001
Sybase エラー・コード	6401

考えられる原因

存在しないセーブポイントへロールバックしようとした。

セーブポイントには、ロールバック・ログが必要です。

項目	値
定数	SQLLE_SAVEPOINTS_REQUIRE_UNDO
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-213
SQLSTATE	3BW01
Sybase エラー・コード	13656

考えられる原因

データベース・サーバが、ロールバック・ログなしでバルク・モードで実行されているときは、セーブポイントは使用できません。

ゼロで除算しようとしてしました。

項目	値
定数	SQLE_DIV_ZERO_ERROR
ODBC 2 ステータス	22012
ODBC 3 ステータス	22012
重大度	16
SQLCODE	-628
SQLSTATE	22012
Sybase エラー・コード	36007

考えられる原因

0 による除算を伴う操作が検出されました。

ダイナミック・ライブラリ '%1' をロードできませんでした。

項目	値
定数	SQLE_COULD_NOT_LOAD_LIBRARY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードできなかったダイナミック・ライブラリの名前
重大度	19
SQLCODE	-620
SQLSTATE	WW006
Sybase エラー・コード	13677

考えられる原因

このエラーは、通常、外部関数呼び出しで名前が指定されたダイナミック・ライブラリのロードに失敗した場合に発生します。

ダイナミック・ライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。

項目	値
定数	SQLLE_COULD_NOT_FIND_FUNCTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかった関数の名前
パラメータ 2	関数が見つからなかったダイナミック・ライブラリの名前
重大度	19
SQLCODE	-621
SQLSTATE	WW007
Sybase エラー・コード	13678

考えられる原因

ダイナミック・ライブラリ内に外部関数を見つけることができませんでした。

ダイナミック・ライブラリ名が必要です。

項目	値
定数	SQLLE_REQUIRE_DLL_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-619
SQLSTATE	WW005
Sybase エラー・コード	13676

考えられる原因

呼び出す外部関数の名前にライブラリ名指定子を指定する必要があります。

タイプ '%2' のプロシージャ・サブタイプ '%1' が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_PROCEDURE_SUBTYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャのサブタイプ
パラメータ 2	プロシージャのタイプ
重大度	16
SQLCODE	-987
SQLSTATE	WW056
Sybase エラー・コード	13502

考えられる原因

関数またはプロシージャがそのプロシージャ・タイプに無効のサブタイプを使って指定されました。

タイムアウトになったため、要求が中断されました。

項目	値
定数	SQLE_REQUEST_TIMEOUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1043
SQLSTATE	57W01
Sybase エラー・コード	13468

考えられる原因

現在の要求は、データベース・オプション `request_timeout` の値よりも長く実行されたので、実行中にキャンセルされました。データベースはロールバックなしで操作を停止できました。文が INSERT、UPDATE、または DELETE の場合、変更はすべてキャンセルされます。文がデータ定義文 (CREATE TABLE など) の場合、その文はキャンセルされますが、関連する動作として実行された COMMIT はキャンセルされません。

ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません。

項目	値
定数	SQLE_DOWNLOAD_RESTART_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1102
SQLSTATE	WW074
Sybase エラー・コード	13412

考えられる原因

Mobile Link サーバでダウンロードを再開できませんでした。Mobile Link サーバで完全なアップロード・ストリームが受信されていません。

チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。

項目	値
定数	SQLE_CHECKSUMS_NOT_ENABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-971
SQLSTATE	WW042
Sybase エラー・コード	13517

考えられる原因

チェックサムが有効でないデータベースで、チェックサム検証を実行しようとしてしました。

ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。

項目	値
定数	SQLE_DISK_WRITE_FAILED

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	書き込めなかったファイルの名前
重大度	21
SQLCODE	-303
SQLSTATE	40W05
Sybase エラー・コード	13868

考えられる原因

ディスクへの書き込みに失敗しました。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み取り専用モードを使用できません。

項目	値
定数	SQLE_AUDITING_DB_READ_ONLY
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースの名前
重大度	11
SQLCODE	-1063
SQLSTATE	08W93
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

指定したデータベースは監査が有効になっているので、読み込み専用で起動できません。

データベース '%1' が見つかりませんでした。

項目	値
定数	SQLE_ULTRALITE_DATABASE_NOT_FOUND

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定されたデータベースの名前またはデフォルトのデータベース名
重大度	16
SQLCODE	-954
SQLSTATE	WW034
Sybase エラー・コード	13534

考えられる原因

指定されたデータベースが見つかりませんでした。接続文字列で、目的のデータベースを正しく指定してください。

データベース '%1' に対して指定したファイルシステム・ボリュームが見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_FILE_VOLUME_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベースの名前
重大度	16
SQLCODE	-1112
SQLSTATE	WW082
Sybase エラー・コード	13402

考えられる原因

データベース・ファイル名で指定したファイルシステム・ボリュームが見つかりませんでした。ボリューム名または序数を確認してください。

データベース '%1' の削除に失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_DROP_DATABASE_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	削除できなかったデータベースの名前
重大度	16
SQLCODE	-651
SQLSTATE	WW017
Sybase エラー・コード	13705

考えられる原因

データベース・ファイルの削除に失敗しました。実行中のデータベースを削除しようとした。エラーが発生する前に、データベースの一部が削除されました。

データベース '%1' はこのプラットフォームでは起動できません。 http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/endingian_cant_change_platform.html を参照してください。

項目	値
定数	SQLE_DATABASE_ENDIAN_FAILURE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースの名前
重大度	11
SQLCODE	-1149
SQLSTATE	08W99
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

データベースを現在のプラットフォームで起動すると、エンディアンに起因したデータベース・ファイルの破損が起こる可能性があるため、データベースを起動できないと判断されました。逆

のエンディアンを使用したプラットフォームでは、問題なく起動処理が続行されます。参照マニュアルには、詳細情報と処理の続行方法について記載されています。

データベース '%1' はこのプラットフォームでは起動できません。 http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/ndian_corruption_warning.html を参照してください。

項目	値
定数	SQLE_POSSIBLE_DATABASE_CORRUPTION
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースの名前
重大度	11
SQLCODE	-1147
SQLSTATE	08W98
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

データベースが破損している可能性があるかと判断されました。参照マニュアルには、詳細情報と処理の続行方法について記載されています。

データベース \"%1\" のリカバリが必要です。

項目	値
定数	SQLE_DATABASE_NEEDS_RECOVERY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リカバリが必要なデータベースのファイル名
重大度	21
SQLCODE	-665
SQLSTATE	08W41
Sybase エラー・コード	13709

考えられる原因

データベースは最後に使用されたときに異常終了しました。データベース・リカバリを実行しなければなりません。

データベース \"%1\" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。

項目	値
定数	SQLE_CHAR_COLLATION_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベース名
重大度	16
SQLCODE	-1140
SQLSTATE	WC015
Sybase エラー・コード	13373

考えられる原因

指定した CHAR 照合は、現在のプラットフォームではサポートされていません。

データベース \"%1\" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。

項目	値
定数	SQLE_NCHAR_COLLATION_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベース名
重大度	16
SQLCODE	-1141
SQLSTATE	WC016
Sybase エラー・コード	13372

考えられる原因

指定した NCHAR 照合は、現在のプラットフォームではサポートされていません。

データベース・サーバが見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_ENGINE_NOT_RUNNING
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-100
SQLSTATE	08W01
Sybase エラー・コード	7950

考えられる原因

データベース・サーバが実行されていないか、起動または停止の途中であるか、インタフェース・ライブラリでデータベース・サーバを見つけることができません。

データベース・サーバでは文字セット '%1' を変換できません。

項目	値
定数	SQLE_UNSUPPORTED_CHARACTER_SET_ERROR
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
パラメータ 1	要求された文字セットの名前
重大度	21
SQLCODE	-869
SQLSTATE	08W64
Sybase エラー・コード	13873

考えられる原因

アプリケーションによって要求された文字セットがサポートされていないので、データベース・サーバで、要求された文字セットとの間で文字データを変換できません。接続は失敗します。

データベース・サーバでは文字セット '%1' を変換できません。変換が正しくない可能性があります。

項目	値
定数	SQLE_UNSUPPORTED_CHARACTER_SET_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	要求された文字セットの名前
重大度	10
SQLCODE	115
SQLSTATE	01W13
Sybase エラー・コード	13614

考えられる原因

アプリケーションによって要求された文字セットがサポートされていないので、データベース・サーバで、要求された文字セットとの間で文字データを変換できません。接続は成功しますが、すべての文字が正確に変換されない可能性があります。

データベース・サーバに接続できる限界数を超えています。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_CONNECTIONS
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-102
SQLSTATE	08W03
Sybase エラー・コード	1601

考えられる原因

サーバに接続できるコンピュータ数を超えてしまいました。ネットワーク・データベース・サーバを実行している場合は、制限数がライセンス契約に明記されています。サーバは少量のキャッシュを使用して実行されているため、これ以上のデータベース接続を受け入れることはできません。パーソナル・データベース・サーバの接続は、10 に制限されています。

データベース・サーバのコマンド・ラインが無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_COMMAND_LINE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	18
SQLCODE	-81
SQLSTATE	08W08
Sybase エラー・コード	5864

考えられる原因

コマンド・ラインが無効だったため、データベース・サーバを起動できませんでした。

データベース・サーバはすでに起動しています。

項目	値
定数	SQLE_ENGINE_ALREADY_RUNNING
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	HY000
重大度	18
SQLCODE	-96
SQLSTATE	08W23
Sybase エラー・コード	7950

考えられる原因

同じ名前のサーバがすでに実行されているためデータベース・サーバを起動できませんでした。

データベース・サーバはマルチユーザ・モードで実行していません。

項目	値
定数	SQLE_ENGINE_NOT_MULTIUSER
ODBC 2 ステータス	08001

項目	値
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-89
SQLSTATE	08W16
Sybase エラー・コード	7203

考えられる原因

データベース・サーバはバルク・ロード (-b オプション) 用に起動されており、ネットワーク・サーバとしては使用できません。データベース・サーバを停止して、-b スイッチなしで再起動してください。

データベース・サーバを起動することができません。

項目	値
定数	SQLE_UNABLE_TO_START_ENGINE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-80
SQLSTATE	08W07
Sybase エラー・コード	708

考えられる原因

データベース・サーバを起動できませんでした。データベース・サーバの実行に十分なメモリがありません。実行プログラムが見つかりませんでした。

データベース・サーバを起動することができません。サーバに致命的なエラーが発生しました。

項目	値
定数	SQLE_UNABLE_TO_START_ENGINE_FATAL_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001

項目	値
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-1033
SQLSTATE	08W89
Sybase エラー・コード	13478

考えられる原因

致命的なエラーまたはアサーション・エラーが発生したため、データベース・サーバの起動に失敗しました。詳細については、Windows のイベント・ログまたは UNIX のシステム・ログを参照するか、データベース・サーバを手動で起動してください。

データベース・サーバを停止できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_STOP_SERVER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-607
SQLSTATE	WW002
Sybase エラー・コード	13673

考えられる原因

サーバが、現時点ではサーバ自身を停止できないと決定しました。通常は、このエラーは発生しません。

データベース・サーバ外の関数呼び出しはサポートされていません。

項目	値
定数	SQLE_EXTERNAL_CALLS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

項目	値
重大度	16
SQLCODE	-617
SQLSTATE	WW003
Sybase エラー・コード	13674

考えられる原因

動的にロードされたモジュールに含まれる関数を呼び出すストアド・プロシージャを呼び出そうとしました。ストアド・プロシージャを呼び出したオペレーティング・システムでは、このような動作はサポートされていません。

データベース・ストア DLL (%1) のバージョンが不正です。

項目	値
定数	SQLE_STORE_VERSION_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベース・ストア DLL の名前
重大度	19
SQLCODE	-711
SQLSTATE	08W47
Sybase エラー・コード	13701

考えられる原因

データベース・ストア DLL とサーバ DLL のバージョンが一致しません。

データベース・ファイルが削除できません。

項目	値
定数	SQLE_BACKUP_UNABLE_TO_DELETE_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

項目	値
重大度	16
SQLCODE	-243
SQLSTATE	WB004
Sybase エラー・コード	13660

考えられる原因

データベース・ファイルを削除しようとしたのですが、削除できませんでした。現在使用中のデータベース・ファイルと同名のファイルを指定しないでください。

データベース・ファイルが指定されていません。

項目	値
定数	SQLE_NO_DATABASE_FILE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-72
SQLSTATE	08W39
Sybase エラー・コード	4001

考えられる原因

データベース・サーバは起動しましたが、データベース・ファイルが指定されていません。サーバは停止しました。

データベースが起動できません -- %1

項目	値
定数	SQLE_UNABLE_TO_CONNECT
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースが起動できなかった理由

項目	値
重大度	11
SQLCODE	-105
SQLSTATE	08001
Sybase エラー・コード	4001

考えられる原因

指定したデータベースが起動できません。そのデータベースが存在しない、データベースではない、破壊されている、またはサポートされていない古いフォーマットであるなどの原因が考えられます。

データベースが作成されました。

項目	値
定数	SQLE_DATABASE_CREATED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	136
SQLSTATE	WW061
Sybase エラー・コード	13494

考えられる原因

接続が開いたときに指定したスキーマを使用して、指定した Ultra Light データベースが作成されました。

データベースに接続されていません。

項目	値
定数	SQLE_NOT_CONNECTED
ODBC 2 ステータス	08003
ODBC 3 ステータス	08003
重大度	16

項目	値
SQLCODE	-101
SQLSTATE	08003
Sybase エラー・コード	13622

考えられる原因

データベースに接続していません。または、DISCONNECT 文を実行した後、データベースに再接続していません。

データベースに接続できません。

項目	値
定数	SQLE_CONNECTIONS_DISABLED
ODBC 2 ステータス	08005
ODBC 3 ステータス	08005
重大度	16
SQLCODE	-99
SQLSTATE	08W04
Sybase エラー・コード	4224

考えられる原因

ネットワーク・データベース・サーバへの接続が無効になりました。接続が有効になるまで、このエラー・メッセージが表示されます。

データベースのアップグレードができません。

項目	値
定数	SQLE_DATABASE_UPGRADE_NOT_POSSIBLE
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-673

項目	値
SQLSTATE	08W43
Sybase エラー・コード	3451

考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしたのですが、失敗しました。データベースが古すぎるためアップグレードできません。

データベースのアップグレードができません。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。

項目	値
定数	SQLE_DBO_DOES_NOT_OWN_ROWGENERATOR
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-826
SQLSTATE	08W57
Sybase エラー・コード	13832

考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしたのですが、失敗しました。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。

データベースのアップグレードができません。ユーザ・テーブルに、システム・テーブル範囲のテーブル ID が設定されています。

項目	値
定数	SQLE_USER_TABLES_IN_SYSTEM_RANGE
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-827

項目	値
SQLSTATE	08W58
Sybase エラー・コード	13833

考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしたのですが、失敗しました。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。

データベースのアップグレードに失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_DATABASE_UPGRADE_FAILED
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	20
SQLCODE	-672
SQLSTATE	08W42
Sybase エラー・コード	3451

考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしたのですが、失敗しました。これは、システム・テーブル変更の定義に使用する SQL スクリプト・ファイルのいずれかを見つけられなかったために起ります。

データベースのバックアップを起動できません。

項目	値
定数	SQLE_BACKUP_NOT_STARTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-241
SQLSTATE	WB002

項目	値
Sybase エラー・コード	3206

考えられる原因

データベースのバックアップを開始できませんでした。バックアップがすでに実行中であるか、必要な権限 (BACKUP、DBA、または REMOTE DBA) がありません。

データベースのページ・サイズが小さすぎます : %1

項目	値
定数	SQLE_PAGE_SIZE_TOO_SMALL
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	データベース名
重大度	14
SQLCODE	-972
SQLSTATE	54W03
Sybase エラー・コード	13516

考えられる原因

ロードしようとした統計情報が、現在のデータベースのページ・サイズに対して大きすぎました。ページ・サイズを大きくしてこのデータベースを再構築すれば、このエラーを防ぐことができます。

データベースのページ・サイズが大きすぎます : %1

項目	値
定数	SQLE_PAGE_SIZE_TOO_BIG
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	データベース名
重大度	14
SQLCODE	-97

項目	値
SQLSTATE	08W22
Sybase エラー・コード	927

考えられる原因

実行中のサーバの最大ページ・サイズを超えるページ・サイズのデータベースを起動しようとして、コマンド・ラインからこのデータベースを指定するか、必要なページ・サイズで、サーバを再起動してください。

データベースのユーザが多すぎます。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_USERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1104
SQLSTATE	54W10
Sybase エラー・コード	13410

考えられる原因

データベースへのアクセスが許可されているユーザの最大数を超過しました。単一の Ultra Light データベースへのアクセスが許可されているユーザの最大数は 4 です。

データベースの起動／停止の要求は拒否されました。

項目	値
定数	SQLE_START_STOP_DATABASE_DENIED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14
SQLCODE	-75
SQLSTATE	08W29

項目	値
Sybase エラー・コード	6004

考えられる原因

データベースを起動また停止するパーミッションがありません。必要なパーミッションはサーバ・コマンド・ラインで決定されます。

データベースの作成に失敗しました : %1

項目	値
定数	SQLE_DATABASE_NOT_CREATED
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	データベースが作成されなかった理由
重大度	14
SQLCODE	-645
SQLSTATE	08W33
Sybase エラー・コード	928

考えられる原因

データベース・ファイルの初期化に失敗しました。

データベースの制約が多すぎます。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_CONSTRAINTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-936
SQLSTATE	54W02
Sybase エラー・コード	13551

考えられる原因

対応するシステム・テーブルがいっぱいであるため、新しい制約を作成できませんでした。データベースを再ロードすると、未使用の領域が解放されます。

データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。

項目	値
定数	SQLE_DATABASE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの ID
重大度	18
SQLCODE	-301
SQLSTATE	40W01
Sybase エラー・コード	13665

考えられる原因

内部データベース・エラーが発生しました。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

データベースは Java 仮想マシンをサポートしていません。

項目	値
定数	SQLE_NO_JAVA_SUPPORT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-758
SQLSTATE	WJ022
Sybase エラー・コード	13769

考えられる原因

データベースが適切なサポートをしていないため、Java 仮想マシンを起動できません。データベースが古いバージョンのソフトウェアで作成されたか、Java サポートを無効にして作成されました。データベースが古いバージョンのソフトウェアで作成されていた場合は、データベースを最新バージョンにアップグレードしてください。データベースが Java サポートを無効にして作成された場合は、Java サポートを有効にするため、instjava.sql スクリプトをデータベースに対して実行してください。

データベースはアクティブです。

項目	値
定数	SQLE_DATABASE_ACTIVE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-664
SQLSTATE	08W40
Sybase エラー・コード	13708

考えられる原因

実行しようとした操作 (CREATE ENCRYPTED、CREATE DECRYPTED、ALTER DATABASE) は、データベースの実行中には行うことができません。データベースを停止すると、操作を行うことができます。

データベース名がユニークではありません。

項目	値
定数	SQLE_ALIAS_CLASH
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-77
SQLSTATE	08W27
Sybase エラー・コード	1801

考えられる原因

先に起動したデータベースと名前が競合するため、データベースを起動できませんでした。

データベース領域が最大ファイル・サイズに達しています。

項目	値
定数	SQLE_DBSPACE_FULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-604
SQLSTATE	04W07
Sybase エラー・コード	5006

考えられる原因

DB 領域がディスク・ページの最大数に達しました。DB 領域は通常、オペレーティング・システムの最大ファイル・サイズに制限されています。これは致命的なエラーです。

テーブル '%1' から定義されているよりも多いカラムを削除しようとしています。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_DELETED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	カラムが削除できなかったテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-124
SQLSTATE	42W44
Sybase エラー・コード	207

考えられる原因

テーブル内のカラム数が 1 未満になることはありません。ALTER TABLE には、カラム削除を行う (DROP/DELETE) 句が現在のテーブル内のカラム数よりも多く存在します。

テーブル '%1' が同期定義の一部です。

項目	値
定数	SQLE_SYNC_CONTAINS_TABLE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-819
SQLSTATE	5RW35
Sybase エラー・コード	13825

考えられる原因

同期の定義に属しているテーブルは、dbmsync 以外では削除または変更できません。

テーブル '%1' には、ROWID() 関数への無効な参照が含まれています。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_ROWID_PLACEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な参照があるテーブルの名前
重大度	15
SQLCODE	-1115
SQLSTATE	42WC1
Sybase エラー・コード	13399

考えられる原因

計算カラム式または CHECK 制約内では ROWID 関数を使用できません。

テーブル '%1' にはプライマリ・キーが定義されていません。

項目	値
定数	SQL_NO_PRIMARY_KEY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	プライマリ・キーを持たないテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-118
SQLSTATE	55008
Sybase エラー・コード	1719

考えられる原因

この操作を実行するには、参照テーブルにプライマリ・キーが必要です。たとえば、プライマリ・キーがないテーブルを参照しながら外部キーを追加したり、INSERT 文の ON EXISTING 句を使用したりした可能性があります。参照テーブルにプライマリ・キーを追加する必要があります。

テーブル '%1' にはユニークな相関名が必要です。

項目	値
定数	SQL_CORRELATION_NAME_NEEDED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ユニークな相関名が必要なテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-137
SQLSTATE	52W15
Sybase エラー・コード	315

考えられる原因

テーブルをそれ自身にジョインするジョインを指定しました。テーブルを何度も使用するには、ユニークな相関名が必要です。

テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれています。

項目	値
定数	SQLE_TABLE_HAS_REFACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	参照動作を伴うテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-677
SQLSTATE	56001
Sybase エラー・コード	547

考えられる原因

テーブル名の変更ができませんでした。テーブルには参照動作の外部キーが含まれています。テーブル名を変更するには、外部キー制約を削除してください。

テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_HINT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ヒントが指定されたテーブルの名前
重大度	15
SQLCODE	-970
SQLSTATE	42U07
Sybase エラー・コード	13520

考えられる原因

現在の文で指定されたヒントが、このコンテキストでは無効です。1つの文の中では、テーブルへのすべての参照は同じヒントを指定するか、ヒントをまったく指定しないでください。

テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_RMT_COLUMNS_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・テーブルの完全な名前
重大度	11
SQLCODE	-667
SQLSTATE	WO008
Sybase エラー・コード	11207

考えられる原因

テーブルのカラム情報にアクセスできませんでした。テーブルのパーミッションをチェックしてください。

テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_NULL_ROW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	修正できないテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-734
SQLSTATE	09W08
Sybase エラー・コード	13750

考えられる原因

指定したテーブル内のローを修正または削除しようとした。そのローは、外部ジョインの NULL 入力テーブルの一部です。しかし、1 つ以上の ON 条件で評価が TRUE とならなかったために、このテーブルですべてが NULL のローが生成されました。現在カーソルはそのローに位置しています。UPDATE 文または DELETE 文が正しいことを確認してください。

テーブル '%1' のデータベース領域が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_DBSPACE_FOR_TABLE_UNAVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	DB 領域が見つからなかったテーブルの名前
重大度	11
SQLCODE	-821
SQLSTATE	52W19
Sybase エラー・コード	13827

考えられる原因

データベース・サーバが見つめることができない DB 領域のテーブルにアクセスしようとしてしました。ALTER DBSPACE 文を使用して、その DB 領域に関連するファイル名を変更することが必要な場合があります。

テーブル '%1' のトリガまたは外部キーは無効でなくなりました。

項目	値
定数	SQLE_TRIGGER_NO_LONGER_VALID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	テーブルの名前
重大度	15
SQLCODE	-837
SQLSTATE	42W64
Sybase エラー・コード	13843

考えられる原因

トリガ定義をカタログからロードできません。テーブルまたはカラムの名前が変更されていないか、予約語が使用されていないかを調べてください。外部キーの参照動作を施行するには、システム生成トリガを使用できます。

テーブル '%1' のプライマリ・キーがユニークではありません。

項目	値
定数	SQLC_PRIMARY_KEY_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	問題が検出されたテーブルの名前
重大度	14
SQLCODE	-193
SQLSTATE	23W01
Sybase エラー・コード	2601

考えられる原因

新しいローをテーブルに追加しようとしたのですが、新しいローが既存のローと同じプライマリ・キー値を使っています。データベースは追加を行っていません。たとえば、学生番号 86004 の学生を追加しようとした場合で、すでに同じ番号の学生がいたときに起こります。

テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガで修正または削除されました。

項目	値
定数	SQLC_ROW_REMODIFIED_OR_DELETED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-833
SQLSTATE	42W62
Sybase エラー・コード	13839

考えられる原因

BEFORE トリガがローを更新または削除したためにトリガが起動して、元のオペレーションを完了できませんでした。UPDATE 文または DELETE 文によってローが変更されないようにトリガを書き直してください。

テーブル '%1' の最大ロー・サイズを超過します。

項目	値
定数	SQLE_MAX_ROW_SIZE_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブル名
重大度	16
SQLCODE	-1132
SQLSTATE	WW089
Sybase エラー・コード	13381

考えられる原因

最大ロー・サイズが 64KB よりも大きいテーブルを作成または変更しようとした。Ultra Light では、最大ロー・サイズ (各カラムの格納に必要なバイト数の合計) が 64KB 未満になるようにテーブルを定義する必要があります。

テーブル '%1' はすでにインクルードされています。

項目	値
定数	SQLE_TABLE_ALREADY_INCLUDED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-822
SQLSTATE	5RW36
Sybase エラー・コード	13828

考えられる原因

パブリケーションまたは同期の定義を追加または更新しようとして、同じテーブルを 2 回含めました。

テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。

項目	値
定数	SQLE_TABLE_HAS_PUBLICATIONS
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	パブリケーションを持つテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-281
SQLSTATE	5RW02
Sybase エラー・コード	13643

考えられる原因

パブリケーションが定義されているテーブルを削除しようとしてしました。

テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。

項目	値
定数	SQLE_OUTER_JOIN_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	循環されるテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-136
SQLSTATE	52W14
Sybase エラー・コード	315

考えられる原因

テーブルの循環を引き起こす外部ジョインを指定しました。

テーブル '%1' は見つかりませんでした。

項目	値
定数	SQLE_TABLE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったテーブルの名前
重大度	11
SQLCODE	-141
SQLSTATE	42W33
Sybase エラー・コード	2706

考えられる原因

テーブルの名前のスペルを間違えたか、テーブル名を所有者名で修飾しませんでした。たとえば、"DBA"."Employees" ではなく "Employees" を参照しています。

テーブル '%1' 内のローのプライマリ・キーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。

項目	値
定数	SQLE_PRIMARY_KEY_VALUE_REF
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	修正されているローを含むテーブルの名前
パラメータ 2	参照元テーブルの外部インデックス (またはロール) の名前
パラメータ 3	プライマリ・ローを参照する外部テーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-198
SQLSTATE	23W05
Sybase エラー・コード	547

考えられる原因

ローを削除または修正しようとしたが、そのローのプライマリ・キー値がデータベースのどこかで参照されています。

テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。

項目	値
定数	SQLE_COLUMN_NOT_FOUND_IN_TABLE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S22
パラメータ 1	見つからなかったカラムの名前
パラメータ 2	カラムを含んでいると予想されたテーブルの名前
重大度	11
SQLCODE	-834
SQLSTATE	52005
Sybase エラー・コード	13840

考えられる原因

カラム名のスペルを間違えたか、探しているカラムは別のテーブルにあります。

テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。

項目	値
定数	SQLE_NOT_FOUND_IN_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なインデックスの名前
パラメータ 2	無効なインデックスを持つテーブルの名前
重大度	11
SQLCODE	-189
SQLSTATE	WI005

項目	値
Sybase エラー・コード	2727

考えられる原因

これは内部エラーです。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。このインデックスを削除して再作成すれば、操作を続行できます。

テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。

項目	値
定数	SQLE_INDEX_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	ユニークにならないインデックスの名前
パラメータ 2	そのインデックスがあるテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-196
SQLSTATE	23505
Sybase エラー・コード	548

考えられる原因

挿入または更新しようとしたローと同じ値を持つローがカラム中に存在し、そのカラムには、複数のローが同じ値を持つことができない制約があります。

テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。

項目	値
定数	SQLE_COLUMN_VALUE_CHANGED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	変更された値を含むカラムの名前
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前

項目	値
重大度	10
SQLCODE	106
SQLSTATE	01W06
Sybase エラー・コード	532

考えられる原因

レプリケートされた UPDATE によって、更新されたカラムの値がオリジナルの UPDATE を実行したときの値と一致しないことが検出されました。

テーブル '%2' のカラム '%1' は NULL 値を持つことはできません。

項目	値
定数	SQLE_COLUMN_CANNOT_BE_NULL
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	NULL であってはならないカラムの名前
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-195
SQLSTATE	23502
Sybase エラー・コード	233

考えられる原因

値が必要な場所にその値が指定されていません。カラム定義で NULL 値が禁止されているか、カラムは NOT NULL 外部キーの一部です。

テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データ・ファイルの行 %3 にテーブルをロードするために指定されたデータは無効です。

項目	値
定数	SQLE_COLUMN_CANNOT_BE_NULL_LOAD_TABLE
ODBC 2 ステータス	23000

項目	値
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	NULL であってはならないカラムの名前
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前
パラメータ 3	無効なデータが含まれているデータ・ファイルの行番号
重大度	16
SQLCODE	-184
SQLSTATE	23501
Sybase エラー・コード	13885

考えられる原因

値が必要な場合に値を指定しなかったか、データ変換が必要だったため、NULL 値になりました。カラム定義で NULL 値が禁止されているか、カラムは NOT NULL 外部キーの一部です。

テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_MODIFY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	変更できなかったカラムの名前
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前
重大度	14
SQLCODE	-191
SQLSTATE	42W32
Sybase エラー・コード	230

考えられる原因

変更するパーミッションがないカラムを修正しようとしてしました。ビュー内で式(たとえば column1 + column2)として定義されているカラムを変更しようとしてしました。

テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリ・キーの値がありません。

項目	値
定数	SQL_INVALID_FOREIGN_KEY
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	外部キーの名前
パラメータ 2	外部キーを持つテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-194
SQLSTATE	23503
Sybase エラー・コード	546

考えられる原因

他のテーブルの外部キーがあるローに挿入または更新をしようとした。外部キーの値は NULL ではなく、プライマリ・キーには対応する値がありません。

テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。

項目	値
定数	SQL_DUPLICATE_FOREIGN_KEY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	新しい外部キーの役割名
パラメータ 2	外部キーを持つテーブルです。
重大度	16
SQLCODE	-251
SQLSTATE	52W06
Sybase エラー・コード	1909

考えられる原因

すでに存在する外部キーを定義しようとした。

テーブルに2つのプライマリ・キーを定義することはできません。

項目	値
定数	SQLE_PRIMARY_KEY_TWICE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-126
SQLSTATE	52W05
Sybase エラー・コード	1923

考えられる原因

CREATE TABLE 文中で、プライマリ・キーを2度指定しました。

テーブルにはすでにプライマリ・キーが定義されています。

項目	値
定数	SQLE_EXISTING_PRIMARY_KEY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-112
SQLSTATE	55013
Sybase エラー・コード	1923

考えられる原因

プライマリ・キーがすでに定義されたテーブルにプライマリ・キーを追加しようとしてしました。新しいキーを追加する前に、現在のキーを削除してください。

テーブルのカラム数が多すぎます。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_IN_TABLE

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-616
SQLSTATE	52W20
Sybase エラー・コード	1702

考えられる原因

CREATE TABLE または ALTER TABLE 文でテーブルにカラムを追加しようとした。結果的にテーブル内に作成されたカラム数が現在のデータベースのページ・サイズの制限を超えています。

テーブルは空でなければなりません。

項目	値
定数	SQL_E_TABLE_MUST_BE_EMPTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-116
SQLSTATE	55W02
Sybase エラー・コード	4901

考えられる原因

テーブルを修正しようとしたが、データベース・サーバは、そのテーブルにローがない場合だけ修正できます。

テーブルは使用されています。

項目	値
定数	SQL_E_TABLE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001

項目	値
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-214
SQLSTATE	42W21
Sybase エラー・コード	3702

考えられる原因

他のアクティブなユーザが使用中のテーブルを変更または削除しようとした。

テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガがあるため、操作に失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_INSTEAD_TRIGGER
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	INSTEAD OF トリガのあるビューまたはテーブルの名前
重大度	15
SQLCODE	-1126
SQLSTATE	42W3A
Sybase エラー・コード	13387

考えられる原因

INSTEAD OF トリガがターゲットのテーブルまたはビュー (別のビューにネストされている場合あり) で定義されているため成功することはない操作を実行しようとした。

テーブル仕様 '%1' が複数のリモート・テーブルを指定しています。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_RMT_TABLE_NOTUNIQUE
ODBC 2 ステータス	ERROR

項目	値
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・テーブルの完全な名前
重大度	11
SQLCODE	-726
SQLSTATE	WO020
Sybase エラー・コード	11215

考えられる原因

指定したテーブル仕様に対して、リモート・サーバ上で複数のテーブルが見つかりました。データベース名または所有者名を仕様に追加してください。

テーブル名 '%1' はあいまいです。

項目	値
定数	SQLE_AMBIGUOUS_TABLE_NAME
ODBC 2 ステータス	S0013
ODBC 3 ステータス	42S13
パラメータ 1	あいまいなテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-852
SQLSTATE	52W42
Sybase エラー・コード	13856

考えられる原因

文がユニークでないテーブル名を参照しました。テーブル名には、はじめに所有者名を付けてください。

テスト・ハーネスによって内部エラーが発生しました。

項目	値
定数	SQLE_TEST_HARNESS

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	18
SQLCODE	-808
SQLSTATE	WW025
Sybase エラー・コード	13818

考えられる原因

テスト・ハーネスによって内部エラーが発生しました。

デッドロックが検出されました。

項目	値
定数	SQLE_DEADLOCK
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	13
SQLCODE	-306
SQLSTATE	40001
Sybase エラー・コード	1205

考えられる原因

ローの読み込み／書き込みを行おうとしましたが、他のユーザがそのローをロックしています。またそのユーザは直接的または間接的に、トランザクションによってブロックされています。これはデッドロック状態であり、トランザクションがロールバックされるよう選択されました。

デバイス上のファイルシステムにアクセスできません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_ACCESS_FILESYSTEM
ODBC 2 ステータス	ERROR

項目	値
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1108
SQLSTATE	WW078
Sybase エラー・コード	13406

考えられる原因

Palm デバイスで VFS ファイルシステムを使用しましたが、この機能がデバイスで有効になっていませんでした。

デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_DEFAULT_DBSPACE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったデフォルトの DB 領域の名前
重大度	11
SQLCODE	-1068
SQLSTATE	52W43
Sybase エラー・コード	13446

考えられる原因

テーブルを作成するときに default_dbpace オプションで設定した DB 領域が見つかりませんでした。

テンポラリ・テーブルが使用されました。

項目	値
定数	SQLE_TEMPORARY_TABLE
ODBC 2 ステータス	01000

項目	値
ODBC 3 ステータス	01000
重大度	10
SQLCODE	102
SQLSTATE	01W02
Sybase エラー・コード	13075

考えられる原因

クエリの条件を満たすためにテンポラリ・テーブルが作成されました。この警告は OPEN 文でのみ発生します。

テンポラリ・テーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_ACTION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-849
SQLSTATE	42R01
Sybase エラー・コード	1709

考えられる原因

テンポラリ・テーブルに対してサポートされていない参照整合性アクションを指定しようとした。

テンポラリ・テーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリ・キーが必要です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_INDEX
ODBC 2 ステータス	42000

項目	値
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-865
SQLSTATE	42R03
Sybase エラー・コード	1709

考えられる原因

結合されたインデックスをデータベースで使用している場合は、テンポラリ・テーブル間のキー制約には (一意性制約ではない) プライマリ・キーが必要です。ALTER TABLE を使用してプライマリ・テーブルの定義を変更するか、データベースを再構築してください。

テンポラリ・テーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_TEMP_TABLE_COMMIT_ACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-993
SQLSTATE	WL007
Sybase エラー・コード	13496

考えられる原因

LOAD TABLE 文は完了時に自動的にコミットします。ロードされるテンポラリ・テーブルが ON COMMIT DELETE ROWS を使って宣言された場合、ローは完了時に破棄されます。

テンポラリ領域の制限を超えています。

項目	値
定数	SQLE_TEMP_SPACE_LIMIT
ODBC 2 ステータス	ERROR

項目	値
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-1000
SQLSTATE	54W05
Sybase エラー・コード	13492

考えられる原因

接続がテンポラリ領域の使用制限を越えました。この制限は、テンポラリ・ファイルのあるドライブに残っている空き領域の容量にも基づきます。使用していないファイルをドライブから削除するか、空き領域がこれより大きいドライブにテンポラリ・ファイルを格納してください。

トランザクション・ログ・バックアップ・ページの一部だけが、満杯になっています。

項目	値
定数	SQLE_BACKUP_PAGE_INCOMPLETE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	110
SQLSTATE	01W10
Sybase エラー・コード	13683

考えられる原因

トランザクション・ログに対して DB_LOG_BACKUP_READ_WAIT が発行され、返されたページが満杯ではありませんでした。同じページに対して要求を再発行してください。

トランザクション・ログ・ファイルへの書き込みエラーが発生しました。

項目	値
定数	SQLE_ERROR_WRITING_LOG
ODBC 2 ステータス	ERROR

項目	値
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-107
SQLSTATE	08W17
Sybase エラー・コード	3619

考えられる原因

データベース・サーバが、トランザクション・ログ・ファイルの書き込み中に I/O エラーを受け取りました。ディスクがいっぱいであるか、ログ・ファイル名が無効である可能性があります。

トランザクション・ログ・ファイルを開けません -- %1

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_OPEN_LOG
ODBC 2 ステータス	08003
ODBC 3 ステータス	08003
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルを開けなかった理由
重大度	16
SQLCODE	-106
SQLSTATE	08W05
Sybase エラー・コード	2561

考えられる原因

データベース・サーバが指定したトランザクション・ログ・ファイルを開くことができませんでした。ログ・ファイル名に無効なデバイスまたはディレクトリが含まれていることがあります。その場合はトランザクション・ログ・ユーティリティ (dblog) を使用して、トランザクション・ログ・ファイルのある位置を確認し、変更できます。

トランザクション・ログはトランケートされました。

項目	値
定数	SQLE_LOG_TRUNCATED

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-244
SQLSTATE	WB005
Sybase エラー・コード	13661

考えられる原因

処理中の SQL Remote または Replication Agent などのトランザクション・ログに操作が実行され、トランザクション・ログがその操作中に独立したバックアップによってトランケートされました。

トランザクションが終了していないため、トランザクション・ログの名前の変更はできません。

項目	値
定数	SQLE_BACKUP_CANNOT_RENAME_LOG_YET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-242
SQLSTATE	WB003
Sybase エラー・コード	3206

考えられる原因

db_backup への呼び出しが、トランザクション・ログの最後のページを読み込みました。現在アクティブな接続のいくつかは、トランザクションを部分的に終了しており、トランザクション・ログの名前が変更できません。db_backup 呼び出しを再発行してください。

トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_COMMIT_OR_ROLLBACK_WHILE_ENLISTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-800
SQLSTATE	55W09
Sybase エラー・コード	13810

考えられる原因

トランザクションにエンリストされている接続で、コミットやロールバックを明示的に実行しようとしてしまいました。トランザクションの Commit/Abort プロトコルを使用する必要があります。

トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_ENLIST_WHILE_ALREADY_ENLISTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-801
SQLSTATE	55W10
Sybase エラー・コード	13811

考えられる原因

トランザクションにすでにエンリストされている接続を、別のトランザクションにエンリストしようとしてしまいました。

トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。

項目	値
定数	SQLE_FAILED_TO_ENLIST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-803
SQLSTATE	WL005
Sybase エラー・コード	13813

考えられる原因

トランザクションをエンリストしようとしたましたが、現在、DTC を使用できません。

トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。

項目	値
定数	SQLE_FAILED_TO_REENLIST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-804
SQLSTATE	WL006
Sybase エラー・コード	13814

考えられる原因

トランザクションをリカバリしようとしたましたが、現在、DTC を使用できません。

トリガ '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_TRIGGER_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったトリガの名前
重大度	11
SQLCODE	-268
SQLSTATE	52W10
Sybase エラー・コード	9819

考えられる原因

トリガの名前のスペルを間違えたか、トリガ名をユーザ名で修飾しませんでした。

トリガの定義が既存のトリガと矛盾しています。

項目	値
定数	SQLE_TRIGGER_DEFN_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S01
重大度	15
SQLCODE	-271
SQLSTATE	52W11
Sybase エラー・コード	102

考えられる原因

トリガを作成しようとしたましたが、同じ名前のトリガがすでに存在しています。

トリガの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。

項目	値
定数	SQLE_COLUMN_IN_TRIGGER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-269
SQLSTATE	53W06
Sybase エラー・コード	102

考えられる原因

トリガの定義で参照されているカラムを削除しようとしたか、その名前を変更しようとした。ALTER 文を実行する前に、トリガを削除してください。

トリガ定義中の REFERENCES 句が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_TRIGGER_COL_REFS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-272
SQLSTATE	52W12
Sybase エラー・コード	102

考えられる原因

トリガ定義に無効な REFERENCES 句を指定しました。BEFORE INSERT トリガ中で古い相関名を指定した可能性があります。または AFTER DELETE トリガ中で新しい相関名を指定した可能性があります。いずれの場合でも値は存在しないため、参照できません。

トリガ名 '%1' はあいまいです。

項目	値
定数	SQLE_AMBIGUOUS_TRIGGER_NAME
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	あいまいなトリガの名前
重大度	16
SQLCODE	-855
SQLSTATE	42W66
Sybase エラー・コード	13858

考えられる原因

文がユニークでないトリガ名を参照しました。トリガ名は、テーブル名か所有者名または両方で修飾してください。

トレースを再表示できません : sa_diagnostic_tracing_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_TRACING_SPEC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なローのプライマリ・キー
重大度	16
SQLCODE	-1082
SQLSTATE	WW066
Sybase エラー・コード	13432

考えられる原因

トレーシング・レベルに無効な値の組み合わせを指定しました。たとえば、指定した条件がトレーシング・タイプに有効ではないか、指定したトレーシング・タイプがスコープに有効ではない可能性があります。

トレースを再表示できません：ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_TRACING_OBJ_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定したオブジェクトの名前
パラメータ 2	チェックに失敗したローのプライマリ・キー
重大度	11
SQLCODE	-1083
SQLSTATE	WW067
Sybase エラー・コード	13431

考えられる原因

オブジェクト名のスペルを間違えたか、オブジェクト名をユーザ名 (テーブル名) で修飾しませんでした。たとえば、"DBA"."Employees" ではなく Employees を参照しているか、"DBA"."Employees"."Employees_trigger" ではなく Employees_trigger を参照している可能性があります。

トレースを再表示できません：ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります。

項目	値
定数	SQLE_NO_VOLATILE_LEVEL_SPEC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの原因となったトレーシング・レベル
パラメータ 2	チェックに失敗したローのプライマリ・キー
重大度	16
SQLCODE	-1087
SQLSTATE	WW068
Sybase エラー・コード	13427

考えられる原因

不揮発性と接続の統計値を収集するには、揮発性の統計値を収集する必要があります。

トレースを再表示できません：少なくとも1つの有効化されているトレース・レベルを指定する必要があります。

項目	値
定数	SQL_NO_TRACING_LEVELS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1081
SQLSTATE	55W24
Sybase エラー・コード	13433

考えられる原因

テーブル sa_diagnostic_tracing_level にロー (トレーシング・レベル) がないか、有効になっているトレーシング・レベルがありません。

トレース接続はすでにアクティブになっています。

項目	値
定数	SQL_NO_TRACING_ALREADY_ATTACHED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1098
SQLSTATE	08W96
Sybase エラー・コード	13417

考えられる原因

このデータベースは、送信側 (トレース対象のデータベース) または受信側 (トレーシング・データベース) として、すでにトレース接続が確立しています。1つのデータベースでは、一度に1ストリームのトレーシング・データだけを送信または受信できます。

ハードディスクに空き領域がありません。'%1' -- トランザクションはロールバックされました。

項目	値
定数	SQLE_DEVICE_FULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ディスクに書き込めなかったファイルの名前
重大度	17
SQLCODE	-304
SQLSTATE	40W03
Sybase エラー・コード	3618

考えられる原因

ハードディスクに空き領域がありません。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

パーミッションがありません : %1

項目	値
定数	SQLE_PERMISSION_DENIED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	必要なパーミッションの説明
重大度	16
SQLCODE	-121
SQLSTATE	42501
Sybase エラー・コード	262

考えられる原因

特定の動作を行うために必要なパーミッションがありません。メッセージは、実際に必要なパーミッションと動作が行われているオブジェクトを指定します。

パススルー・モードでは文を使用できません。

項目	値
定数	SQLE_STMT_NOT_ALLOWED_IN_PASSTHROUGH
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-707
SQLSTATE	0AW05
Sybase エラー・コード	13631

考えられる原因

文を実行しようとしたが、パススルー・モードでは実行できません。たとえば、バッチ文を実行しました。

パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。

項目	値
定数	SQLE_PASSTHROUGH_INCONSISTENT
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-287
SQLSTATE	5RW08
Sybase エラー・コード	13649

考えられる原因

パススルーは追加されます。つまり、後続する PASSTHROUGH 文によって、パススルーを受信するユーザのリストにユーザが追加されます。PASSTHROUGH 文は、すべて PASSTHROUGH ONLY であるか、すべて PASSTHROUGH ONLY 以外にしてください。

パスワードに不正な文字が含まれています。

項目	値
定数	SQLE_ILLEGAL_PASSWORD
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	11
SQLCODE	-963
SQLSTATE	08005
Sybase エラー・コード	13528

考えられる原因

指定したパスワードに不正な文字が含まれています。

パスワードの長さは %1 文字以内です。

項目	値
定数	SQLE_PASSWORD_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメータ 1	パスワードの最大長
重大度	15
SQLCODE	-958
SQLSTATE	54W08
Sybase エラー・コード	13530

考えられる原因

パスワードの長さが、サーバで許可されている長さを超えています。

パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。

項目	値
定数	SQLPASSWORD_TOO_SHORT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメータ 1	パスワードの最小長
重大度	14
SQLCODE	-738
SQLSTATE	54W07
Sybase エラー・コード	573

考えられる原因

min_password_length の現在のオプション設定で許可されているよりも短いパスワードを指定しています。

パターンが長すぎます。

項目	値
定数	SQLPATTERN_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-606
SQLSTATE	WW001
Sybase エラー・コード	7706

考えられる原因

LIKE 演算子のパターンが長すぎます。126 文字以内のすべてのパターンがサポートされます。内容によっては、254 文字の長さのパターンもサポートされています。254 文字より長いパターンはサポートされていません。

バックアップ／リストア DLL (%1) のエントリ・ポイントを実行できませんでした。

項目	値
定数	SQLE_BACKUP_ENTRY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったエントリ・ポイントの名前
重大度	19
SQLCODE	-692
SQLSTATE	08W45
Sybase エラー・コード	13719

考えられる原因

バックアップ／リストア DLL エントリ・ポイントを検索または実行しようとしたが、失敗しました。

バックアップ／リストア DLL "%1" をロードできませんでした。

項目	値
定数	SQLE_BACKUP_NOT_LOADED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードできなかった DLL の名前
重大度	19
SQLCODE	-691
SQLSTATE	08W44
Sybase エラー・コード	13718

考えられる原因

バックアップ／リストア DLL をロードしようとしたが、失敗しました。

バックアップ・ファイル '%1' はすでに存在します。

項目	値
定数	SQLE_BACKUP_FILE_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイルの名前
重大度	16
SQLCODE	-967
SQLSTATE	WB012
Sybase エラー・コード	13523

考えられる原因

通常この BACKUP 文で作成されるファイルが、すでに存在しています。

バックアップ・ファイルのフォーマットが無効です。

項目	値
定数	SQLE_RESTORE_INVALID_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	21
SQLCODE	-716
SQLSTATE	WB007
Sybase エラー・コード	13725

考えられる原因

RESTORE に使用するアーカイブ・ファイルのフォーマットが無効です。

バックアップ・ファイルの内容が矛盾しています。

項目	値
定数	SQLE_RESTORE_INCONSISTENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	23
SQLCODE	-715
SQLSTATE	WB006
Sybase エラー・コード	13724

考えられる原因

複数のディスク・デバイスまたはテープ・デバイスにバックアップされた内容の不一致が RESTORE 中に検出されました。

バックアップ・ログ '%1' が開けません。

項目	値
定数	SQLE_UNABLE_TO_OPEN_BACKUP_LOG
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	バックアップのログ・ファイル名
重大度	10
SQLCODE	119
SQLSTATE	WB011
Sybase エラー・コード	13776

考えられる原因

サーバで、バックアップ・ログを開くことができず、BACKUP または RESTORE 文の実行を記録できません。バックアップ・ログ・ファイルを見つけるのに使用した環境変数の設定を確認してください。ログを保存するディレクトリは、すでに存在する必要があります。

バックアップはデータベース・ファイル '%1' を開けません。

項目	値
定数	SQLE_BACKUP_UNABLE_TO_OPEN_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイルの名前
重大度	16
SQLCODE	-1079
SQLSTATE	WB017
Sybase エラー・コード	13435

考えられる原因

バックアップ時にデータベース・ファイルを開くことができません。ファイルが消去されたか、破損している可能性があります。

バックアップ中にエラーが発生しました : %1

項目	値
定数	SQLE_BACKUP_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ
重大度	21
SQLCODE	-697
SQLSTATE	08W46
Sybase エラー・コード	13720

考えられる原因

BACKUP 文を実行中にエラーが発生しました。

パブリケーション '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_PUBLICATION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったパブリケーションの名前
重大度	16
SQLCODE	-280
SQLSTATE	5RW01
Sybase エラー・コード	13642

考えられる原因

パブリケーションの名前のスペルを間違えたか、パブリケーション名をユーザ名で修飾しませんでした。

パブリケーション・タイプで操作が競合しています。

項目	値
定数	SQLE_CONFLICTING_PUB_TYPE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-1060
SQLSTATE	5RW38
Sybase エラー・コード	13453

考えられる原因

パブリケーションのタイプに適用できない操作を実行しようとしてしました。たとえば、スクリプト化されたアップロード・パブリケーションに固有の操作をログ・スキャンのパブリケーションに適用しました。

パブリケーション・マスクに指定されているパブリケーションが多すぎます。

項目	値
定数	SQLLE_TOO_MANY_PUBLICATIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1106
SQLSTATE	WW077
Sybase エラー・コード	13408

考えられる原因

使用したパブリケーション・マスクは、必要な操作に指定されるパブリケーションが多すぎます。たとえば、最終ダウンロード・タイムスタンプを取り出すときは、パブリケーションを1つだけ選択できます。

パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリ・キーを更新できません。

項目	値
定数	SQLLE_ARTICLE_PK_CANNOT_BE_UPDATED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-780
SQLSTATE	5RW19
Sybase エラー・コード	13790

考えられる原因

パブリケーションに含まれるテーブルのプライマリ・キーは更新できません。データベース・オプションの `prevent_article_pkey_update` を 'off' に設定すると、パブリケーションに含まれるテーブルのプライマリ・キーを更新できます。

パブリケーションの述部は評価されませんでした。

項目	値
定数	SQLE_PUBLICATION_PREDICATE_IGNORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	138
SQLSTATE	01W25
Sybase エラー・コード	13423

考えられる原因

SQL サポートなしで Ultra Light が初期化されたので、パブリケーションの述部が評価されませんでした。テーブルは、パブリケーションの述部が指定されていない場合と同じようにアップロードされます。

パラメータが出力パラメータとして登録されていません。

項目	値
定数	SQLE_PARAM_NOT_REGISTERED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-671
SQLSTATE	WJ002
Sybase エラー・コード	13712

考えられる原因

パラメータは、値の取得前に出力パラメータとして登録されなければなりません。

ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガと WITH CHECK OPTION が競合しています。

項目	値
定数	SQLCHECK_TRIGGER_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	INSTEAD OF トリガのあるビューの名前
重大度	15
SQLCODE	-1125
SQLSTATE	42W39
Sybase エラー・コード	13388

考えられる原因

INSTEAD OF トリガと競合している WITH CHECK OPTION 句が含まれるオペレーションを試みました。WITH CHECK OPTION 句で定義されたビューは、INSTEAD OF トリガのあるビュー (ネストされている可能性あり) を参照できません。

ビュー '%1' のトリガ・タイプが無効です。

項目	値
定数	SQL_INVALID_TRIGGER_VIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ビューの名前
重大度	14
SQLCODE	-1133
SQLSTATE	42W3C
Sybase エラー・コード	13380

考えられる原因

ビューにトリガを作成しようとしたのですが、そのトリガのタイプはベース・テーブルのみでサポートされています。ビューに作成できるのは INSTEAD OF トリガだけです。

ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。

項目	値
定数	SQLE_VIEW_INVALID
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ビューの名前
重大度	16
SQLCODE	-1040
SQLSTATE	55W18
Sybase エラー・コード	13471

考えられる原因

無効なビューを参照しようとしてしました。ビューを有効にすると、再度使用できるようになります。

ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。

項目	値
定数	SQLE_VIEW_DISABLED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ビューの名前
重大度	16
SQLCODE	-1038
SQLSTATE	55W17
Sybase エラー・コード	13473

考えられる原因

無効になっているビューを参照しようとしてしました。ビューを有効にすると、再度使用できるようになります。

ビューがテンポラリ・オブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。

項目	値
定数	SQLE_VIEW_OVER_TEMP_OBJECT
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	テンポラリ・オブジェクトの名前
重大度	16
SQLCODE	-766
SQLSTATE	42U00
Sybase エラー・コード	4412

考えられる原因

ローカル・テンポラリ・テーブルなどの一時的なオブジェクトではなく、永久オブジェクトだけを参照してください。

ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。

項目	値
定数	SQLE_NO_COLUMN_PERMS_FOR_VIEWS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-635
SQLSTATE	52W22
Sybase エラー・コード	102

考えられる原因

ビューに対して、カラムのパーミッションを付与することはできません。

ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。

項目	値
定数	SQLE_VIEW_DEFINITION_ERROR
ODBC 2 ステータス	21S02
ODBC 3 ステータス	21S02
重大度	20
SQLCODE	-114
SQLSTATE	53011
Sybase エラー・コード	4409

考えられる原因

ビューを作成しようとしたのですが、CREATE VIEW 文の一部として指定したカラム・リストは、ビューの SELECT 文の項目リストと対応しません。

ファイル '%1' にアクセスできません -- %2

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_ACCESS_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイル名
パラメータ 2	エラーの原因
重大度	19
SQLCODE	-602
SQLSTATE	WL002
Sybase エラー・コード	13670

考えられる原因

ファイルにアクセスできません。たとえば、LOAD TABLE が参照したファイルが存在しないか、読み込むことができません。メッセージでは、エラーの原因が説明されています。

ファイル・システム・エラー : '%1'

項目	値
定数	SQLE_OMNI_FILE_SYSTEM_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの説明
重大度	12
SQLCODE	-1066
SQLSTATE	WO027
Sybase エラー・コード	13448

考えられる原因

このエラーは、ファイル・ディレクトリをプロキシ・テーブルとしてアクセスしているときに発生した、基本となるファイル・システムのエラーに起因します。

ファンクション '%1' に無効なパラメータ '%2' ('%3') があります。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_PARAMETER_W_PARM
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	関数の名前
パラメータ 2	パラメータの名前
パラメータ 3	エラーの原因となったパラメータに関する情報
重大度	18
SQLCODE	-1090
SQLSTATE	08W94
Sybase エラー・コード	13424

考えられる原因

パラメータを評価中にエラーが発生しました。

フィールドに対して不正な型を参照しました。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_FIELD_REFERENCE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-94
SQLSTATE	WW014
Sybase エラー・コード	13738

考えられる原因

式が非 Java 値のフィールドまたはメソッドを参照しようとして、. と >> によるフィールド参照は、Java オブジェクトに適用された場合だけ有効です。

フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_FORMAT_STRING_ARG_NUM
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	引数番号
重大度	16
SQLCODE	-294
SQLSTATE	53W08
Sybase エラー・コード	2749

考えられる原因

PRINT または RAISERROR 文のフォーマット文字列で無効な引数番号を指定しました。この番号は、1 ～ 20 の数値でなければならず、指定した引数の数を超えることはできません。

プライマリ・キー・カラム '%1' はすでに定義されています。

項目	値
定数	SQLE_PRIMARY_KEY_COLUMN_DEFINED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでにプライマリ・キーに入っているカラムの名前
重大度	16
SQLCODE	-119
SQLSTATE	52009
Sybase エラー・コード	1909

考えられる原因

プライマリ・キーの定義の中に、同じカラム名を2度リストしました。

プライマリ・キーがないためテーブル '%1' と同期できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_SYNC_TABLE_WITHOUT_PK
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-777
SQLSTATE	5RW16
Sybase エラー・コード	13787

考えられる原因

同期するテーブルには、プライマリ・キーが含まれている必要があります。

プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります。

項目	値
定数	SQLE_USING_VIRTUAL_INDEXES
ODBC 2 ステータス	01S01
ODBC 3 ステータス	01S01
重大度	10
SQLCODE	129
SQLSTATE	01W20
Sybase エラー・コード	13596

考えられる原因

仮想インデックスが、この接続で現在有効になっています。生成されるプランには、仮想インデックスが含まれていることがあります。

プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。

項目	値
定数	SQLE_ROLLBACK_ON_PREFETCH
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	13
SQLCODE	-684
SQLSTATE	WW019
Sybase エラー・コード	1205

考えられる原因

プリフェッチ可能としてオープン・カーソルのいずれかがフェッチ操作を実行中であり、プリフェッチ中にデッドロックが発生しました。これはデッドロック状態であり、トランザクションがロールバックされるよう選択されました。このエラーを受け取った要求は実行されませんでした。ただし、カーソルを閉じる要求の場合、カーソルは閉じられました。

プロシージャ '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。

項目	値
定数	SQLPROCEDURE_RETURNS_VOID
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメータ 1	プロシージャの名前
重大度	16
SQLCODE	-705
SQLSTATE	53019
Sybase エラー・コード	257

考えられる原因

Java の void 型は、SQL のどの型にもマップしません。したがって、void を返すプロシージャは SQL 式で使用できません。

プロシージャ '%1' の呼び出しに必要なパラメータ名がありません。

項目	値
定数	SQLPARAMETER_NAME_MISSING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	プロシージャ名。
重大度	16
SQLCODE	-639
SQLSTATE	42W42
Sybase エラー・コード	201

考えられる原因

このプロシージャの呼び出しで、位置を指定する引数が名前付きパラメータの後に指定されています。

プロシージャ '%1' は見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_PROCEDURE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったプロシージャの名前
重大度	11
SQLCODE	-265
SQLSTATE	52W09
Sybase エラー・コード	504

考えられる原因

プロシージャの名前のスペルを間違えたか、プロシージャ名をユーザ名で修飾しませんでした。

プロシージャ '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。

項目	値
定数	SQLE_UNHANDLED_JAVA_EXCEPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	未処理の例外を返したプロシージャの名前
パラメータ 2	未処理の例外の、Java クラスの完全修飾名
重大度	16
SQLCODE	-91
SQLSTATE	WP001
Sybase エラー・コード	13735

考えられる原因

Java プロシージャは、アクティブな例外によって終了しました。また、この例外は、SQL ではエラー・ステータスとして示されます。

プロシージャ '%1' は有効でなくなりました。

項目	値
定数	SQLE_PROCEDURE_NO_LONGER_VALID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	プロシージャの名前
重大度	15
SQLCODE	-836
SQLSTATE	42W63
Sybase エラー・コード	13842

考えられる原因

プロシージャ定義をカタログからロードできません。テーブルまたはカラムの名前が変更されていないか、予約語が使用されていないかを調べてください。

プロシージャ '%2' にパラメータ '%1' がありません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_PARAMETER_NAME
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	見つからなかったパラメータの名前
パラメータ 2	パラメータが見つからなかったプロシージャの名前
重大度	16
SQLCODE	-615
SQLSTATE	42W47
Sybase エラー・コード	201

考えられる原因

このプロシージャのパラメータと一致しないプロシージャのパラメータ名を指定しました。パラメータ名のスペルをチェックしてください。

プロシージャ '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。

項目	値
定数	SQLE_ARGUMENT_CANNOT_BE_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	NULL を使用できない引数番号
パラメータ 2	NULL パラメータを受け取ることができないプロシージャの名前
重大度	16
SQLCODE	-90
SQLSTATE	WP000
Sybase エラー・コード	409

考えられる原因

スカラ引数を予期しているプロシージャに NULL 値を引き渡しました。たとえば、'int' 引数を持つ Java プロシージャは、NULL 値を受け取ることができません。

プロシージャ、トリガ、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。

項目	値
定数	SQLE_SETUSER_NOT_IN_PROCEDURES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-877
SQLSTATE	42W09
Sybase エラー・コード	13888

考えられる原因

ストアド・プロシージャ、トリガ、イベント・ハンドラ、またはバッチでは SETUSER 文を使用できません。また、EXECUTE IMMEDIATE 文から SETUSER 文を呼び出すこともできません。

プロシージャ・タイプ '%1' が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_PROCEDURE_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャのタイプ
重大度	16
SQLCODE	-986
SQLSTATE	WW055
Sybase エラー・コード	13503

考えられる原因

関数またはプロシージャが無効のタイプを使って指定されました。

プロシージャ・タイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_NAMESPACE_ATTRIBUTE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの NAMESPACE 属性
重大度	16
SQLCODE	-989
SQLSTATE	WW058
Sybase エラー・コード	13500

考えられる原因

NAMESPACE 属性はタイプ SOAP のプロシージャにのみ適用可能です。

プロシージャ・タイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_WITH_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性
パラメータ 2	プロシージャのタイプ
重大度	16
SQLCODE	-1034
SQLSTATE	WW064
Sybase エラー・コード	13477

考えられる原因

このプロシージャ・タイプには、この属性を使用できません。

プロシージャが完了しました。

項目	値
定数	SQLE_PROCEDURE_COMPLETE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	105
SQLSTATE	01W05
Sybase エラー・コード	13618

考えられる原因

このプロシージャで得られる結果セットはもうありません。OPEN または RESUME 文が、プロシージャを完了させました。

プロシージャは '%1' によって使用されています。

項目	値
定数	SQLE_PROCEDURE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメータ 1	ユーザの名前
重大度	16
SQLCODE	-215
SQLSTATE	42W23
Sybase エラー・コード	3702

考えられる原因

データベースの他のアクティブ・ユーザが使用中のプロシージャを、削除しようとした。

プロシージャまたはトリガの呼び出しのネストが深すぎます。

項目	値
定数	SQLE_NESTING_TOO_DEEP
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-274
SQLSTATE	42W29
Sybase エラー・コード	217

考えられる原因

定義されたプロシージャまたはトリガが、無限再帰の原因となっています。

プロシージャまたはトリガ内では、データ定義文は使用できません。

項目	値
定数	SQLE_DDL_NOT_ALLOWED_IN_PROCEDURES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-623
SQLSTATE	52W21
Sybase エラー・コード	154

考えられる原因

プロシージャまたはトリガの定義にデータ定義文 (CREATE、DROP、GRANT、REVOKE、ALTER など) が含まれています。これらの文は、プロシージャまたはトリガの内部では使用できません。

プロシージャまたは関数 '%2' のパラメータ '%1' には、デフォルト値はありません。

項目	値
定数	SQLE_NO_DEFAULT_FOR_PARM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	パラメータの名前
パラメータ 2	プロシージャまたは関数の名前
重大度	16
SQLCODE	-1001
SQLSTATE	08W71
Sybase エラー・コード	13491

考えられる原因

プロシージャまたは関数の引数として DEFAULT を使おうとしましたが、対応するパラメータにデフォルト値がありません。

ベース・テーブル '%1' の挿入／更新に対して WITH CHECK OPTION が違反です。

項目	値
定数	SQLE_WITH_CHECK_OPTION_VIOLATION
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	44000
パラメータ 1	更新するベース・テーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-632
SQLSTATE	44000
Sybase エラー・コード	550

考えられる原因

ビューによって (ネストされて) 示されたベース・テーブルで、挿入または更新操作を実行しようとした。しかし、修正したロー内の 1 つ以上の値が WITH CHECK OPTION 違反をトリガしました。この違反は、そのローの FALSE または UNKNOWN を評価するビューの WHERE 句を作成することで、修正された値によって 1 つ以上のローがビューの範囲外になったときに発生します。

ホスト変数が足りません。

項目	値
定数	SQLE_NOT_ENOUGH_HOST_VARS
ODBC 2 ステータス	07002
ODBC 3 ステータス	07002
重大度	16
SQLCODE	-188
SQLSTATE	07001
Sybase エラー・コード	13638

考えられる原因

バインド変数、文、select リスト項目のいずれかに、ホスト変数の数が不足しています。

ホスト変数をバッチで使用してはいけません。

項目	値
定数	SQLE_HOSTVARS_IN_BATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-807
SQLSTATE	07W07
Sybase エラー・コード	13817

考えられる原因

ホスト変数の参照を含むバッチを実行しようとした。ホスト変数は、バッチ内ではサポートされていません。

まだデータベースに接続されています。

項目	値
定数	SQLE_STILL_ACTIVE_CONNECTIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-109
SQLSTATE	08W06
Sybase エラー・コード	6001

考えられる原因

まだ接続しているデータベースを停止しようとした。

ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。

項目	値
定数	SQLE_MIRROR_FILE_MISMATCH

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ミラー・ファイルの名前
パラメータ 2	データベース・ファイルの名前
重大度	16
SQLCODE	-1138
SQLSTATE	WW090
Sybase エラー・コード	13375

考えられる原因

指定したミラー・ファイルが、データベース・ファイルと対応していません。このエラーは、データベースが正常に停止されなかった場合、または誤ったミラー・ファイルが指定された場合に発生します。ミラー・ファイルを移動または破棄してから続行するか、別のミラーを指定する必要があります。

ミラー・サーバに接続できません。サーバ名 '%1' を使用してプライマリ・サーバを探してください。

項目	値
定数	SQLE_CONNECTED_TO_MIRROR_SERVER
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	ミラーリング・システムのサーバ名
重大度	11
SQLCODE	-1039
SQLSTATE	08W91
Sybase エラー・コード	13472

考えられる原因

ミラーリング・システムでミラー・サーバに接続しようとしてしました。ミラーリング・システムのサーバ名を使用するように接続文字列または DSN を変更してください。

ミラーリングされたデータベースで LOAD TABLE は許可されていません。

項目	値
定数	SQLE_LOAD_TABLE_ON_MIRRORED_DB
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1035
SQLSTATE	WL008
Sybase エラー・コード	13476

考えられる原因

データベースをミラーリングしているときは、LOAD TABLE 文を使用できません。ロード対象のファイルが、他方のサーバからアクセスできない可能性があります。

メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。

項目	値
定数	SQLE_METHOD_CANNOT_BE_CALLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	メソッドの名前
重大度	16
SQLCODE	-669
SQLSTATE	WJ001
Sybase エラー・コード	13711

考えられる原因

このメソッドは今回呼び出すことができません。メソッドが適切に呼び出されているかどうかを確認してください。

メッセージまたはデータ型を所有するユーザは削除できません。

項目	値
定数	SQLE_USER_OWNS_MESSAGES_OR_DATATYPES
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-614
SQLSTATE	55W05
Sybase エラー・コード	13632

考えられる原因

メッセージまたはユーザ定義データ型の作成者であるユーザを削除しようとした。まず、メッセージまたはユーザ定義のデータ型を削除してください。

メモリエラー -- トランザクションはロールバックされました。

項目	値
定数	SQLE_MEMORY_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	24
SQLCODE	-309
SQLSTATE	40W08
Sybase エラー・コード	3013

考えられる原因

Ultra Light ランタイムは、Ultra Light データベースを格納するために使用されるシステム・コールから予期しないエラーを受け取りました。たとえば、永続的なメモリへの書き込みの失敗などです。このエラーは、デバイス上に不良または破損した記憶領域があることを示す内部エラーです。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

モジュールの前処理でのユーザ ID またはパスワードが無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_MODULE_LOGON
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	14
SQLCODE	-104
SQLSTATE	28W01
Sybase エラー・コード	4002

考えられる原因

モジュールの前処理で、無効なユーザ ID またはパスワードを指定しました。

もっと情報が必要です。

項目	値
定数	SQLE_MORE_INFO
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	112
SQLSTATE	01W09
Sybase エラー・コード	13686

考えられる原因

この処理を完了するには、より詳細な情報が必要です。この情報は、統一化ログインを処理するために、データベース・インタフェース・ライブラリの内部で使用されます。アプリケーションには返しません。

ユーザ '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。

項目	値
定数	SQLE_MUST_NOT_BE_REPLICATING
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメータ 1	ユーザの名前
重大度	16
SQLCODE	-1080
SQLSTATE	42WBE
Sybase エラー・コード	13434

考えられる原因

レプリケーションを実行中のトランザクションがあるユーザのパーミッションを取り消そうとしました。これは許可されていません。

ユーザ '%1' に対するテンポラリ・オプションを設定することはできません。

項目	値
定数	SQLE_TEMPORARY_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	オプションを変更する必要があるユーザ ID
重大度	16
SQLCODE	-203
SQLSTATE	42W45
Sybase エラー・コード	13687

考えられる原因

TEMPORARY オプションは接続単位に設定するものであり、データベース・サーバに認識されている特定のオプションに対してのみ指定します。別のユーザのオプションを変更するには、SET OPTION 文に TEMPORARY を指定しないでください。

ユーザ '%1' はこのデータベースのリモート・ユーザではありません。

項目	値
定数	SQLE_NOT_REMOTE_USER
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	ユーザの名前
重大度	16
SQLCODE	-285
SQLSTATE	5RW06
Sybase エラー・コード	13647

考えられる原因

このデータベースのリモート・ユーザではないユーザに対して CREATE SUBSCRIPTION または PASSTHROUGH を実行しようとした。このユーザに対して GRANT REMOTE または GRANT CONSOLIDATE を実行してから、この操作を続行してください。

ユーザ '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを受けています。

項目	値
定数	SQLE_ALREADY_HAS_EXEC_PERMS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでに EXECUTE パーミッションを持つユーザ ID の名前
重大度	16
SQLCODE	-968
SQLSTATE	42WAB
Sybase エラー・コード	13522

考えられる原因

ストアド・プロシージャの EXECUTE パーミッションをユーザに与えようとしたが、そのユーザは、該当するプロシージャの EXECUTE パーミッションをすでに持っていました。

ユーザ '%1' はすでにグループ '%2' のメンバです。

項目	値
定数	SQLLE_ALREADY_HAS_GROUP_MEMBERSHIP
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでにメンバシップを持つユーザ ID の名前
パラメータ 2	グループの名前
重大度	16
SQLCODE	-312
SQLSTATE	42W34
Sybase エラー・コード	13627

考えられる原因

特定のグループのメンバシップをあるユーザに与えようとしたが、そのユーザはすでにそのメンバシップを持っています。

ユーザ '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャです。

項目	値
定数	SQLLE_ONLY_ONE_PUBLISHER
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	パブリッシャの名前
重大度	16
SQLCODE	-284
SQLSTATE	5RW05
Sybase エラー・コード	13646

考えられる原因

パブリッシャがすでに存在するときに、ユーザ ID に GRANT PUBLISH を実行しようとした。

ユーザ '%1' はすでにパーミッションを付与されています。

項目	値
定数	SQLE_ALREADY_HAS_GRANT_PERMS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでに GRANT パーミッションを持つユーザ ID の名前
重大度	16
SQLCODE	-120
SQLSTATE	42W01
Sybase エラー・コード	13625

考えられる原因

GRANT OPTION パーミッションを付与しようとしたユーザには、すでにそのパーミッションがあります。

ユーザ '%1' はユーザ・グループではありません。

項目	値
定数	SQLE_NOT_A_GROUP
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	グループと考えていたユーザの名前
重大度	16
SQLCODE	-123
SQLSTATE	42W03
Sybase エラー・コード	13626

考えられる原因

グループにメンバを追加しようとしたのですが、そのグループに指定したユーザ ID は GROUP パーミッションを付与されていませんでした (つまり、それはグループではありませんでした)。

ユーザ '%2' に対するデータベース・オプション '%1' は不正な設定です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_OPTION_ON_CONNECT
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	無効な値を持つデータベース・オプションの名前
パラメータ 2	接続しようとしたユーザの名前
重大度	10
SQLCODE	113
SQLSTATE	01W11
Sybase エラー・コード	13688

考えられる原因

特定ユーザの接続要求を処理するときに、サーバが、無効な値が設定されているデータベース・オプションを処理しました。サーバではデフォルトのオプション値が使用されます。

ユーザ ID またはパスワードが無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_LOGON
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	14
SQLCODE	-103
SQLSTATE	28000
Sybase エラー・コード	4002

考えられる原因

無効なユーザ ID または間違ったパスワードを入力しました。

ユーザ・メッセージ %1 が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_MESSAGE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	メッセージ番号
重大度	16
SQLCODE	-612
SQLSTATE	52W17
Sybase エラー・コード	2748

考えられる原因

このエラー番号のメッセージは、データベースには存在しません。

ユーザ・メッセージ %1 はすでに存在しています。

項目	値
定数	SQLE_MESSAGE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	データベースに存在するユーザ・メッセージのエラー番号
重大度	16
SQLCODE	-610
SQLSTATE	52W16
Sybase エラー・コード	13624

考えられる原因

このエラー番号のメッセージはすでにデータベースに存在します。

ユーザによって中断させられました。-- トランザクションはロールバックされました。

項目	値
定数	SQLE_TERMINATED_BY_USER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-302
SQLSTATE	40W02
Sybase エラー・コード	3618

考えられる原因

データベースが文を実行中にその文をキャンセルしました。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

ユーザは使用中のテーブルを所有しています。

項目	値
定数	SQLE_USER_OWNS_TABLES_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-751
SQLSTATE	42W56
Sybase エラー・コード	3702

考えられる原因

データベースの他のアクティブ・ユーザが使用中のテーブルを所有するユーザから、REVOKE CONNECT を実行しようとした。

ユーザは使用中のプロシージャを所有しています。

項目	値
定数	SQLE_USER_OWNS_PROCEDURES_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-750
SQLSTATE	42W55
Sybase エラー・コード	3702

考えられる原因

データベースの他のアクティブ・ユーザが使用中のプロシージャを所有するユーザから、REVOKE CONNECT を実行しようとした。

ユーザ設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。

項目	値
定数	SQLE_UNSET_PUBLIC_ID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	オプションの名前
重大度	15
SQLCODE	-896
SQLSTATE	42W82
Sybase エラー・コード	13587

考えられる原因

PUBLIC オプションを削除しようとしたが、同じオプションを対象としたユーザ設定が存在します。ユーザ設定を削除してから、PUBLIC オプションを削除してください。

ユーザ定義データ型 '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_USER_TYPE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ユーザ定義型の名前
重大度	16
SQLCODE	-613
SQLSTATE	52W18
Sybase エラー・コード	2715

考えられる原因

この名前のユーザ定義型はデータベースには存在しません。

ユーザ定義の例外が通知されました。

項目	値
定数	SQLE_USER_DEFINED_EXCEPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-297
SQLSTATE	99999
Sybase エラー・コード	13662

考えられる原因

ストアド・プロシージャまたはトリガにより、ユーザ定義の例外が通知されました。このエラーは、例外ハンドラのあるストアド・プロシージャまたはトリガ内でしか使用できません。データベース・サーバによるエラー発生ではないことが確実な、例外通知に使用されます。有効な SQLSTATE 値は 99000 ～ 99999 です。この値は、例外通知の SQL 文を実行するときにユーザによって設定されます。

ラベル '%1' は見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_LABEL_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	見つからなかったラベルの名前
重大度	15
SQLCODE	-262
SQLSTATE	42W24
Sybase エラー・コード	133

考えられる原因

LEAVE 文でラベルを参照しましたが、ラベルは見つかりませんでした。

ランタイム・サーバでは、プロシージャを持つユーザを削除できません。

項目	値
定数	SQLE_USER_OWNS_PROCEDURES
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-270
SQLSTATE	55W04
Sybase エラー・コード	13641

考えられる原因

ランタイム・サーバの使用中に、プロシージャを所有しているユーザを削除しようとしてしました。この操作を行うと、プロシージャが削除されますが、ランタイム・サーバではプロシージャを削除できません。フル・サーバを使用してください。

ランタイム・サーバではトリガおよびプロシージャはサポートされません。

項目	値
定数	SQLE_PROCEDURES_NOT_IN_DESKTOP
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-275
SQLSTATE	0AW04
Sybase エラー・コード	102

考えられる原因

ランタイム・サーバを使用している状態で、ストアド・プロシージャを呼び出すか、トリガの定義されたテーブルのローを変更しようとした。トリガとプロシージャは、ランタイム・サーバではサポートされません。フル・サーバを使用する必要があります。

ランタイム・サーバでは強い暗号化方式のデータベース・ファイルはサポートされません。

項目	値
定数	SQLE_NO_ENCRYPTION_IN_RUNTIME
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-688
SQLSTATE	55W13
Sybase エラー・コード	13879

考えられる原因

強かに暗号化されたデータベースをランタイム・サーバで起動しようとした。フル・サーバを使用してください。

ランタイム・システムでは、テーブルを所有しているユーザを削除することはできません。

項目	値
定数	SQLE_USER_OWNS_TABLES
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-128
SQLSTATE	55W03
Sybase エラー・コード	13731

考えられる原因

ランタイム・サーバの使用中に、テーブルを持つユーザを削除しようとした。この操作を行うと、テーブルが削除されますが、ランタイム・サーバではテーブルを削除できません。フル・サーバを使用してください。

リモート・アクセス用に Java 仮想マシンに割り付けられたメモリが不足しています。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_MEMORY_CONFIG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-679
SQLSTATE	WO009
Sybase エラー・コード	708

考えられる原因

データベースの Java のヒープ・サイズと Java ネーム・スペースの設定値を、リモート・アクセスに使用する Java クラスのロードができるように増やしてください。

リモート・サーバ '%1' が見つかりませんでした。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_SERVER_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・サーバの名前
重大度	11
SQLCODE	-659
SQLSTATE	WO004
Sybase エラー・コード	11214

考えられる原因

追加されていないサーバにオブジェクトを定義しようとしてしました。CREATE SERVER を使用して、リモート・サーバ定義を追加してください。

リモート・サーバ '%1' は現在読み込み専用を設定されています。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_READONLY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・サーバの名前
重大度	16
SQLCODE	-658
SQLSTATE	WO003
Sybase エラー・コード	11248

考えられる原因

読み込み専用として設定されているサーバに配置されたオブジェクトを更新しようとしてしました。ALTER SERVER を使用して、リモート・サーバを更新可能に再設定してください。

リモート・サーバにはこの文をサポートする機能がありません。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_SERVER_NOT_CAPABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-706
SQLSTATE	WO012
Sybase エラー・コード	11227

考えられる原因

リモート・サーバでサポートされていない機能を必要とする文を実行しようとした。

リモート・サーバはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_AUTOINC_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	12
SQLCODE	-698
SQLSTATE	WO011
Sybase エラー・コード	11205

考えられる原因

オートインクリメント・データ型は、リモート・サーバがその機能をサポートしている場合にプロキシ・テーブルでのみサポートされます。

リモート・データ・サービス機能はこのプラットフォームではサポートされていません。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_FEATURE_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-1139
SQLSTATE	0AW18
Sybase エラー・コード	13374

考えられる原因

リモート・データ・サービス機能を使用しようとしたが、リモート・データ・サービスはこのプラットフォームではサポートされていません。

リモート・テーブル '%1' が見つかりませんでした。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_RMT_TABLE_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・テーブルの完全な名前
重大度	11
SQLCODE	-666
SQLSTATE	WO007
Sybase エラー・コード	11214

考えられる原因

リモート・サーバにはテーブルが見つかりませんでした。リモート・テーブルの名前と、そのテーブルのユーザ権限をチェックしてください。

リモート・ホストへの安全な接続に失敗しました : %1

項目	値
定数	SQLE_SECURE_CONNECTION_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ
重大度	19
SQLCODE	-990
SQLSTATE	WW059
Sybase エラー・コード	13499

考えられる原因

サーバがリモート・ホストとの安全な接続を開始できませんでした。

リモート・メッセージ・タイプ '%1' がみつかりません。

項目	値
定数	SQLE_NOT_REMOTE_TYPE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	リモート・メッセージ・タイプの名前
重大度	16
SQLCODE	-286
SQLSTATE	5RW07
Sybase エラー・コード	13648

考えられる原因

このデータベースで定義されていないリモート・メッセージ・タイプを参照しました。リモート・メッセージ・タイプを定義するには、CREATE REMOTE TYPE を使用します。

リモートの文が失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_REMOTE_STATEMENT_FAILED
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-288
SQLSTATE	5RW09
Sybase エラー・コード	13650

考えられる原因

この SQLSTATE は、トリガ内だけで信号を送ることができ、SQL Remote Message Agent (dbremote) が出力装置にエラー・メッセージを表示できないようにします。この例外は、トリガまたはプロシージャが信号を送るときに発生します。これは、設計上許容されているレプリケーション・エラーを無視するときに役立ちます。

レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザを削除できません。

項目	値
定数	SQLE_USER_OWNS_REPLICATED_OBJECTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-731
SQLSTATE	55W06
Sybase エラー・コード	13633

考えられる原因

レプリケーションに含まれるデータベース・オブジェクトの作成者であるユーザを削除しようとして失敗しました。たとえば、ユーザはパブリケーションの一部であるテーブルを所有していることがあります。

ローがデータベースのページ・サイズを超えているため、ローを格納できません。

項目	値
定数	SQLE_ROW_EXCEEDS_PAGE_SIZE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1117
SQLSTATE	WW083
Sybase エラー・コード	13396

考えられる原因

データベースのページに格納するには大きすぎるローを挿入または更新しようとしてしました。Ultra Light では、BLOB カラムを除き、ロー全体が単一のデータベース・ページに収まる必要があります。ページ・サイズを大きくすると、大きいローを格納できます。

ローカル・データベース・オプションが無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_LOCAL_OPTION
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	18
SQLCODE	-79
SQLSTATE	08W25
Sybase エラー・コード	5864

考えられる原因

DBS (DatabaseSwitches) 接続パラメータで無効なデータベース・オプションが見つかりました。

ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。

項目	値
定数	SQLE_LOCAL_CONNECTION_NOT_TO_CURRENT_DB
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-997
SQLSTATE	WO025
Sybase エラー・コード	710

考えられる原因

指定した接続 ID は、現在のデータベース以外のデータベースへの接続の ID です。

ローが見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	16
SQLCODE	100
SQLSTATE	02000
Sybase エラー・コード	560

考えられる原因

クエリの実行先頭または末尾を超えた位置にカーソルを配置しています。その位置にはローはありません。

ローが新しいスキーマ・フォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。

項目	値
定数	SQLE_ROW_DROPPED_DURING_SCHEMA_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	130
SQLSTATE	01W21
Sybase エラー・コード	13588

考えられる原因

古いスキーマで有効だったローが無効になりました。これは、カラム・ドメインが変更され、古い値を新しいドメインにキャストできないことが原因の場合があります。一意性制約または外部キー制約が守られない場合も、ローが削除されます。

ログイン ID '%1' はすでにユーザ ID '%2' でマップされています。

項目	値
定数	SQLE_LOGON_MAPPED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	マップ済みのログイン ID の名前
パラメータ 2	そのログイン ID がマップ済みのユーザ ID の名前
重大度	16
SQLCODE	-249
SQLSTATE	28W08
Sybase エラー・コード	13697

考えられる原因

ログイン ID を 2 回マップしようとしてしました。

ログイン ID '%1' はどのデータベース・ユーザ ID にもマップされていません。

項目	値
定数	SQLE_LOGON_UNMAPPED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	マップされていないログイン ID の名前
重大度	16
SQLCODE	-313
SQLSTATE	28W09
Sybase エラー・コード	13698

考えられる原因

データベース・ユーザ ID にマップされていないログイン ID を使用して接続しようとし、データベース・ユーザ ID が存在しないか、マップされていないログイン ID を取り消そうとしました。このエラーは、マップされた複数のグループのメンバである統合化ログイン ID を使用して接続しようとした場合にも発生する可能性があります。

ログイン・モード '%1' は、login_mode 設定で許可されていません。

項目	値
定数	SQLE_LOGON_MODE_NOT_PERMITTED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	現在の login_mode データベース・オプション設定にはないログイン・モードの名前
重大度	16
SQLCODE	-1074
SQLSTATE	28W14
Sybase エラー・コード	13440

考えられる原因

現在の login_mode データベース・オプション設定にはないログイン・モードを使用して接続しようとした。オプションの設定を変更するか、別のログイン・モードで接続してください。

ワークロード・キャプチャ (%1) はすでに進行中です。

項目	値
定数	SQLE_WORKLOAD_CAPTURE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでに進行中のワークロード・キャプチャの名前
重大度	16
SQLCODE	-942
SQLSTATE	WW029
Sybase エラー・コード	13546

考えられる原因

ワークロード・キャプチャがすでに進行中であるときに、これを初期化しようとした。進行中のキャプチャが完了するまで待つ必要があります。

ワークロード・キャプチャは現在行われていません。

項目	値
定数	SQLE_WORKLOAD_CAPTURE_DOES_NOT_EXIST
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-943
SQLSTATE	WW030
Sybase エラー・コード	13545

考えられる原因

ワークロード・キャプチャの停止、一時停止、再開、またはステータスの取得を実行しましたが、ワークロード・キャプチャは現在存在しません。

圧縮エラー : %1

項目	値
定数	SQLE_COMPRESSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラー・メッセージ
重大度	16
SQLCODE	-959
SQLSTATE	WW037
Sybase エラー・コード	13529

考えられる原因

圧縮中にエラーが発生しました。

安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません。

項目	値
定数	SQLE_SECURE_CONNECTION_UNAVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-1030
SQLSTATE	WW063
Sybase エラー・コード	13480

考えられる原因

安全な HTTP 接続が試行されましたが、このプラットフォームではサポートされていません。

暗号化 DLL "%1" をロードできませんでした。

項目	値
定数	SQLE_MISSING_ENCRYPTION_DLL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードできなかった暗号化 DLL の名前
重大度	19
SQLCODE	-976
SQLSTATE	08W70
Sybase エラー・コード	13513

考えられる原因

暗号化 DLL をロードしようとしたますが、失敗しました。

暗号化 DLL を初期化できませんでした : '%1'

項目	値
定数	SQLE_ENCRYPTION_INITIALIZATION_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	初期化に失敗した理由 (わかっている場合)
重大度	19
SQLCODE	-984
SQLSTATE	WW053
Sybase エラー・コード	13505

考えられる原因

暗号化 DLL を初期化しようとしたますが、失敗しました。

暗号化エラーです : %1

項目	値
定数	SQLE_ENCRYPT_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	発生したエラーの説明
重大度	11
SQLCODE	-895
SQLSTATE	08W66
Sybase エラー・コード	13589

考えられる原因

暗号化中にエラーが発生しました。

暗号化が有効になっていません。

項目	値
定数	SQLE_ENCRYPTION_NOT_ENABLED_WARNING
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	140
SQLSTATE	01005
Sybase エラー・コード	13369

考えられる原因

暗号化キーを指定したが暗号化が有効になっておらず、データベースも暗号化されていません。

暗号化が有効になっていません。

項目	値
定数	SQLE_ENCRYPTION_NOT_ENABLED

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1143
SQLSTATE	55W27
Sybase エラー・コード	13370

考えられる原因

暗号化を有効にしないで暗号化を使用しようとした。ULEnableStrongEncryption を呼び出して暗号化を有効にしてください。

暗号化キーが不正であるか、見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_BAD_ENCRYPTION_KEY
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	21
SQLCODE	-840
SQLSTATE	08W62
Sybase エラー・コード	16846

考えられる原因

データベースはキーで暗号化されています。データベースを起動するためのキーが指定されていないか、キーが間違っていました。

引数の名前がありません。

項目	値
定数	SQLE_NO_SQLX_ARGUMENT_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR

項目	値
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-907
SQLSTATE	WX014
Sybase エラー・コード	13576

考えられる原因

名前のない引数は、XML 要素名または属性名として使用できません。AS を使用して、引数リストの名前のない項目に名前を付けてください。

仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数で使用されています。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_VIRTUAL_INDEX_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	仮想インデックスのカラムの最大数
重大度	16
SQLCODE	-887
SQLSTATE	54W50
Sybase エラー・コード	13597

考えられる原因

最大数を超えるカラム数で仮想インデックスを作成しようとしてしました。

解析エラーです : %1

項目	値
定数	SQLE_INVALID_PARSE_PARAMETER
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004

項目	値
パラメータ 1	解析エラーの説明
重大度	18
SQLCODE	-95
SQLSTATE	08W49
Sybase エラー・コード	5864

考えられる原因

接続文字列を解析中にエラーが発生しました。

解析エラーです : %1

項目	値
定数	SQLE_INVALID_DSN_NAME
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	無効なデータ・ソース名
重大度	18
SQLCODE	-754
SQLSTATE	08W54
Sybase エラー・コード	5864

考えられる原因

接続文字列で無効なデータ・ソース名が使用されました。

解凍エラー : %1

項目	値
定数	SQLE_DECOMPRESSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

項目	値
パラメータ 1	エラー・メッセージ
重大度	16
SQLCODE	-960
SQLSTATE	WW038
Sybase エラー・コード	13530

考えられる原因

解凍中にエラーが発生しました。

開いている準備文または呼び出し可能な文を変更できませんでした。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_CHANGE_OPENED_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-694
SQLSTATE	WJ008
Sybase エラー・コード	13603

考えられる原因

開いている準備文または呼び出し可能な文の SQL 文を変更しようとしてしました。準備文と呼び出し可能な文は、このような変更を行う前に閉じてください。

外部キー '%1' は見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_FOREIGN_KEY_NAME_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	存在しない外部キーの名前

項目	値
重大度	15
SQLCODE	-145
SQLSTATE	52W07
Sybase エラー・コード	102

考えられる原因

外部キーのスペルを間違えたか、外部キーが存在しません。

外部キーのカラム '%1' にプライマリー・キーと異なる定義があります。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_DEF
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	問題のあるカラムの名前
重大度	16
SQLCODE	-113
SQLSTATE	53030
Sybase エラー・コード	1721

考えられる原因

外部キーのカラムのデータ型が、プライマリ・キーのカラムのデータ型と異なります。ALTER TABLE を使用して、いずれかのカラム定義を変更してください。

外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティング・システムが一致しません。

項目	値
定数	SQLE_EXTERNAL_PLATFORM_FAILURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

項目	値
重大度	16
SQLCODE	-618
SQLSTATE	WW004
Sybase エラー・コード	13675

考えられる原因

動的にロードされたモジュールの外部エントリ・ポイント呼び出しに使われたオペレーティング・システムが、現在稼働中の OS と異なります。

外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。

項目	値
定数	SQLE_ERROR_CALLING_FUNCTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-622
SQLSTATE	WW008
Sybase エラー・コード	13679

考えられる原因

オペレーティング・システムのリソースが不足しているため、外部関数を呼び出すことができませんでした。オペレーティング・システムでスレッドがサポートされている場合は、スレッド数を最大に増やしてください。

外部関数呼び出しに互換性がありません。

項目	値
定数	SQLE_INCOMPATIBLE_EXTERNAL_CALL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

項目	値
SQLCODE	-818
SQLSTATE	WW026
Sybase エラー・コード	13824

考えられる原因

外部関数を呼び出そうとしました。サーバとの互換性がないため、目的のライブラリをロードしようとしたが失敗しました。動的ライブラリが、サーバがサポートしていない外部関数 API や、サーバがサポートしているよりも新しい外部関数 API を使用しているため、互換性の不一致が発生しました。

割り当てのエラー

項目	値
定数	SQLE_ERROR_IN_ASSIGNMENT
ODBC 2 ステータス	22005
ODBC 3 ステータス	22018
重大度	20
SQLCODE	-641
SQLSTATE	22005
Sybase エラー・コード	8205

考えられる原因

GET DESCRIPTOR 文では、ホスト変数のデータ型は記述子項目のデータ型に対応する必要があります。

監査用のトランザクション・ログ・ファイルが必要です。

項目	値
定数	SQLE_AUDITING_WITHOUT_TRANSACTION_LOG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

項目	値
SQLCODE	-913
SQLSTATE	42W91
Sybase エラー・コード	13571

考えられる原因

このデータベースは、トランザクション・ログ・ファイルを使用せずに実行されています。トランザクション・ログ・ユーティリティ (dblog) を使用してトランザクション・ログ・ファイルを作成してから、監査を行ってください。

関数 '%1' のパラメータ数が誤りです。

項目	値
定数	SQLE_WRONG_PARAMETER_COUNT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	関数の名前
重大度	15
SQLCODE	-154
SQLSTATE	37505
Sybase エラー・コード	174

考えられる原因

データベース関数に与えたパラメータの数が違っています。

関数 '%1' はありません。

項目	値
定数	SQLE_UNKNOWN_FUNC
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	データベース関数ではない関数の名前

項目	値
重大度	15
SQLCODE	-148
SQLSTATE	42W05
Sybase エラー・コード	176

考えられる原因

クエリ定義またはクエリ・カラム名中で、データベース関数の名前を間違えています。たとえば、MAX の代わりに MAXIMUM を使っています。

関数またはプロシージャ '%1' に引数が多すぎます。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_ARGUMENTS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	関数またはプロシージャの名前
重大度	16
SQLCODE	-994
SQLSTATE	42WAC
Sybase エラー・コード	401

考えられる原因

データベース・サーバで処理できない引数リストを指定しました。これは、関数またはストアド・プロシージャの引数リストが長すぎる場合に起こることがあります。ページ・サイズを大きくしてデータベースを再構築すると、このエラーを防ぐことができます。

既存のローと競合しているため、ダウンロードに失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_DOWNLOAD_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

項目	値
重大度	16
SQLCODE	-839
SQLSTATE	0AW11
Sybase エラー・コード	13845

考えられる原因

Ultra Light データベースの修正されたローでダウンロード専用同期を実行しようとした。修正されたローは、ダウンロード・ストリーム内の1つ以上のローと Ultra Light データベース内のローの間で競合が発生しました。

機能 '%1' の使用は許可されません。

項目	値
定数	SQLE_SECURE_FEATURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	SQL 文または機能の名前
重大度	14
SQLCODE	-1084
SQLSTATE	57W02
Sybase エラー・コード	13430

考えられる原因

使用しようとした機能は、データベース・サーバの起動時にサーバの管理者によって無効にされています。

記述子のインデックスが正しくありません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_DESCRIPTOR_INDEX
ODBC 2 ステータス	S1002
ODBC 3 ステータス	07009

項目	値
重大度	26
SQLCODE	-640
SQLSTATE	07009
Sybase エラー・コード	8201

考えられる原因

記述子領域に関して使用されているインデックス番号が範囲を超えています。

起動するのに必要なメモリが不足しています。

項目	値
定数	SQLE_NO_MEMORY
ODBC 2 ステータス	S1001
ODBC 3 ステータス	HY001
重大度	17
SQLCODE	-86
SQLSTATE	08W13
Sybase エラー・コード	708

考えられる原因

データベース・サーバを起動しましたが、十分なメモリがなかったため終了しました。

共通テーブル式参照に循環があります。

項目	値
定数	SQLE_COMMON_TABLE_EXPRESSION_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-914

項目	値
SQLSTATE	42W93
Sybase エラー・コード	13570

考えられる原因

複数の共通テーブル式では、循環は許容されません。

共有テンポラリ・テーブルに対して無効なコミット・アクションです。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_SHARED_COMMIT_ACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1089
SQLSTATE	52W26
Sybase エラー・コード	13425

考えられる原因

ON COMMIT PRESERVE ROWS または NOT TRANSACTIONAL としてグローバル共有テンポラリ・テーブルを宣言する必要があります。

句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_PROCEDURE_ATTRIBUTE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性
パラメータ 2	属性の値またはエラーの原因
重大度	16
SQLCODE	-991

項目	値
SQLSTATE	WW060
Sybase エラー・コード	13498

考えられる原因

プロシージャに指定した属性値が無効です。

繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。

項目	値
定数	SQLE_EVENT_START_TIME_IN_PAST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	スケジュールされているイベントの名前
重大度	15
SQLCODE	-1128
SQLSTATE	WE010
Sybase エラー・コード	13385

考えられる原因

イベントを開始する日付や時刻に、すでに過ぎた日時を設定しましたが、イベントは繰り返されません。

計算カラム '%1' を挿入または更新できません。

項目	値
定数	SQLE_COMPUTED_COLUMN_WRITE_ATTEMPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラムの名前
重大度	16
SQLCODE	-703

項目	値
SQLSTATE	WW023
Sybase エラー・コード	4406

考えられる原因

計算カラム値は明示的に修正できません。値は、計算式の値から暗黙的に決定されます。

計算カラムの依存に循環があります。

項目	値
定数	SQLE_COMPUTED_COLUMN_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1078
SQLSTATE	42WBD
Sybase エラー・コード	13436

考えられる原因

テーブルの計算カラム間の依存に循環があります。循環は許可されていません。

計算カラムはこのデータベースではサポートされません。

項目	値
定数	SQLE_COMPUTED_COLUMNS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-709
SQLSTATE	0AW06
Sybase エラー・コード	13722

考えられる原因

現在のデータベースが古いデータベースで、計算 (マテリアライズされた) カラム用のカタログ・サポートを持っていません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

計算カラムを使用したリモート・テーブルの作成はサポートされていません。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_COMPUTED_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	12
SQLCODE	-732
SQLSTATE	WO021
Sybase エラー・コード	11205

考えられる原因

計算カラムは、リモート・ロケーションを指定する CREATE TABLE 文ではサポートされません。

警告 : %1

項目	値
定数	SQLE_WARNING
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	警告メッセージ
重大度	10
SQLCODE	200
SQLSTATE	01000
Sybase エラー・コード	13619

考えられる原因

警告が発生しました。警告の原因となった状況がメッセージに示されます。

現在の JDBC 結果セット内のテーブル '%1' のカラム '%2' を一意に識別できません。

項目	値
定数	SQLE_JDBC_TBL_COL_NOT_FOUND_IN_RESULTSET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブル名
パラメータ 2	カラム名
重大度	16
SQLCODE	-756
SQLSTATE	WJ021
Sybase エラー・コード	13766

考えられる原因

指定したテーブル名とカラム名では、JDBC 結果セットのカラムを識別できませんでした。指定した名前が見つからないか、あいまいです。

現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_CLOSE_JDBC_CONNECTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-998
SQLSTATE	WO026
Sybase エラー・コード	711

考えられる原因

リモート JDBC 接続を閉じようとするとき、指定する接続はローカル接続でなければなりません。

現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。

項目	値
定数	SQLE_CONN_ALREADY_REGISTERED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前
パラメータ 2	登録済みの接続ラベル
重大度	16
SQLCODE	-787
SQLSTATE	5RW26
Sybase エラー・コード	13797

考えられる原因

この接続を 2 回以上登録しようとしてしました。

言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用します。

項目	値
定数	SQLE_UNSUPPORTED_LANGUAGE
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	クライアントが要求した言語の名前
パラメータ 2	サーバがメッセージ文字列を送信するために使用する言語の名前
重大度	10
SQLCODE	116
SQLSTATE	01W14

項目	値
Sybase エラー・コード	13615

考えられる原因

アプリケーションが要求した言語は、アプリケーションが接続しているサーバではサポートされていません。代わりに、サーバは示されている言語でメッセージ文字列を送信します。

言語仕様を変更されました。

項目	値
定数	SQLE_LANGUAGE_EXTENSION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-135
SQLSTATE	0AW01
Sybase エラー・コード	401

考えられる原因

使用した SQL 文は特定のバージョンの SQL では有効かもしれませんが、SQL Anywhere では無効です。

呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。

項目	値
定数	SQLE_FEATURE_NOT_ENABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1092
SQLSTATE	0A001
Sybase エラー・コード	13442

考えられる原因

有効になっていないメソッドを呼び出そうとしたか、有効になっていない機能を使用しようとしてしました。Ultra Light では、ULEnable 関数を使用するか、ULInitDatabaseManagerNoSQL ではなく ULInitDatabaseManager を使用して機能を有効にします。

後方スクロール・カーソルはリモート・オブジェクトではサポートされません。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_BACKWARDS_CURSOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-661
SQLSTATE	WO006
Sybase エラー・コード	13733

考えられる原因

後方スクロール・カーソルはリモート・オブジェクトではサポートされません。前方スクロール・カーソルだけを使用してください。

更新できないクエリに対して、更新しようとしてしました。

項目	値
定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_VIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-192
SQLSTATE	42W31
Sybase エラー・コード	7301

考えられる原因

暗黙的に読み込み専用であるクエリを対象に、挿入、更新、または削除の操作を行おうとしてしました。DISTINCT、GROUP BY、HAVING、EXCEPT、INTERSECT、または UNION を含むクエリ

や、集合関数を含むクエリ、またはジョインを含むクエリは、暗黙的に読み込み専用です。クエリがビューを参照する場合は、そのビューが更新不可になる場合があります。

更新できないリモート・クエリに対して、更新しようとしてしました。

項目	値
定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_EXT_TAB
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-728
SQLSTATE	42W35
Sybase エラー・コード	7338

考えられる原因

現在は実装されていないリモート・テーブル上で、更新、または削除の操作を行おうとしました。このような操作の例には、位置付け更新と作業テーブルの構築を必要とする更新があります。

構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。

項目	値
定数	SQLE_IQ_PATH_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-687
SQLSTATE	42W48
Sybase エラー・コード	102

考えられる原因

実行しようとしている文を、データベース・サーバが理解できません。カラム名にキーワードを使う場合は、キーワードを引用符で囲んでください(たとえば DATE は "DATE")。

行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。

項目	値
定数	SQLE_SYNTAX_EXTENSION_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	構文が検出された場所にある単語または記号
パラメータ 2	行番号
重大度	10
SQLCODE	107
SQLSTATE	01W07
Sybase エラー・コード	5703

考えられる原因

実行している文に、SQL_FLAGGER_WARNING_LEVEL オプションの現在の設定では許可されていない構文が含まれます。文を修正するか、SQL_FLAGGER_WARNING_LEVEL オプションを別の値に設定してください。

行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_SYNTAX_EXTENSION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	構文が検出された場所にある単語または記号
パラメータ 2	行番号
重大度	16
SQLCODE	-627
SQLSTATE	0AW03
Sybase エラー・コード	538

考えられる原因

実行しようとしている文には、`sql_flagger_error_level` オプションの現在の設定では許可されていない構文が含まれます。文を修正するか、`sql_flagger_error_level` オプションを別の値に設定してください。

再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。

項目	値
定数	SQLE_BAD_RECURSIVE_COLUMN_CONVERSION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	再帰サブクエリのカラム番号
パラメータ 2	変換前のデータ
パラメータ 3	変換後のデータ
重大度	16
SQLCODE	-945
SQLSTATE	42WA2
Sybase エラー・コード	13543

考えられる原因

再帰サブクエリの各カラムは、最初のサブクエリの対応するカラムのデータ型に、精度を失わずに変換できる必要があります。最初のサブクエリのカラムを適切なデータ型にキャストしてみてください。

再帰クエリが無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_RECURSION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-921
SQLSTATE	42W99

項目	値
Sybase エラー・コード	13563

考えられる原因

再帰クエリは、最初のクエリと反復クエリの UNION ALL で構成されている必要があります。反復クエリで使用できる唯一の集合操作が UNION ALL です。共通テーブル式の名前への再帰参照は、反復クエリにのみ使用可能であり、DISTINCT、ORDER BY、または集合関数を使用する SELECT 内では使用できません。また、再帰参照は、外部ジョインの NULL 入力テーブルやサブクエリでは使用できません。

再帰クエリのカラム・リストがありません。

項目	値
定数	SQLE_NO_RECURSIVE_COLUMN_LIST
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-922
SQLSTATE	42W9A
Sybase エラー・コード	13562

考えられる原因

再帰クエリを定義する共通テーブル式には、カラム・リストがなければなりません。

再帰反復が多すぎます。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_RECURSIVE_ITERATIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-923
SQLSTATE	57015

項目	値
Sybase エラー・コード	13561

考えられる原因

現在の max_recursive_iterations オプションの設定で許容されている回数よりも多くの反復を再帰クエリが実行しました。

最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。

項目	値
定数	SQLE_ROW_UPDATED_WARNING
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	104
SQLSTATE	01W04
Sybase エラー・コード	532

考えられる原因

SCROLL カーソルからローをフェッチしました。ローは以前同じカーソルからフェッチされており、その時点から、そのローの1つか複数のカラムが更新されています。更新されたカラムがカーソルによってフェッチされた可能性があります。この警告は単にテーブルのローが更新されていることを示しています。カーソルが複数のテーブルに関係している場合、複数のテーブルからのローが更新されています。

最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。オペレーションはキャンセルされました。

項目	値
定数	SQLE_ROW_UPDATED_SINCE_READ
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-208

項目	値
SQLSTATE	22W02
Sybase エラー・コード	554

考えられる原因

SCROLL カーソルとして宣言されたカーソルに、UPDATE (位置付け) 操作または DELETE (位置付け) 操作を行おうとしましたが、変更するローは最後に読み出してから更新されています。このエラーは「更新内容が失われる」問題が発生するのを防ぎます。

最後の同期アップロードのステータスは不明です。

項目	値
定数	SQLE_SYNC_STATUS_UNKNOWN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-952
SQLSTATE	WW032
Sybase エラー・コード	13536

考えられる原因

最後の同期アップロードのステータスは不明です。現在の操作は、成功したアップロードが同期されるまで実行できません。

最大パラメータ数 '%1' を超えました。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_MAXIMUM_PARAMETERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	許容されるパラメータの最大数
重大度	16
SQLCODE	-1122

項目	値
SQLSTATE	WW084
Sybase エラー・コード	13391

考えられる原因

当該 Web クライアント・プロシージャまたは関数の許容される最大パラメータ数を超過しました。

参照カラムが重複しています。

項目	値
定数	SQLE_DUPLICATE_REFERENCING_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-636
SQLSTATE	42W40
Sybase エラー・コード	1909

考えられる原因

参照している選択リストに重複したカラム名を指定しました。

参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。

項目	値
定数	SQLE_ROW_DELETED_TO_MAINTAIN_REFERENTIAL_INTEGRITY
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	テーブルの名前
重大度	10
SQLCODE	137
SQLSTATE	01W24

項目	値
Sybase エラー・コード	13489

考えられる原因

ダウンロード中にプライマリ・ローを削除したため、参照の整合性を保つためにその外部ローも削除されました。

指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_DBSPACE_FOR_CREATE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	作成できなかったアイテムの名前
重大度	16
SQLCODE	-648
SQLSTATE	08W36
Sybase エラー・コード	13702

考えられる原因

指定した DB 領域が無効です。たとえば、インデックスは基本となるテーブルと同じ型の DB 領域に作成してください。

指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした。

項目	値
定数	SQLE_DBSPACE_NOT_CALIBRATED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-860
SQLSTATE	WW028

項目	値
Sybase エラー・コード	13864

考えられる原因

開いていない DB 領域、または小さすぎる DB 領域を調整しようとした。

指定されたデータベース・ファイルはすでに使用されています。

項目	値
定数	SQLE_FILE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	14
SQLCODE	-816
SQLSTATE	08W56
Sybase エラー・コード	924

考えられる原因

ファイルがすでに使用されているため、データベース・サーバは指定したデータベースを起動できませんでした。

指定されたデータベースが見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_DATABASE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-83
SQLSTATE	08W10
Sybase エラー・コード	911

考えられる原因

データベース・サーバが、指定したデータベースを見つけられませんでした。データベース・サーバが、開けないデータベース・ファイル、またはネットワークで見つからなかったデータベース・ファイルを起動しようとした。稼働中でないデータベース名に接続しようとした可能性もあります。

指定されたデータベースは無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-84
SQLSTATE	08W11
Sybase エラー・コード	4001

考えられる原因

指定したデータベース・ファイルは無効です。データベース・サーバは停止しました。

指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。

項目	値
定数	SQLE_FILE_NOT_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベース・ファイルの名前
重大度	11
SQLCODE	-1004
SQLSTATE	08W85
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

指定したファイルは有効なデータベース・ファイルではありません。

指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。

項目	値
定数	SQLLE_FILE_WRONG_VERSION
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベース・ファイルの名前
重大度	11
SQLCODE	-1005
SQLSTATE	08W86
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

指定したデータベース・ファイルは別のバージョンのソフトウェアで作成されたので、このバージョンで読み込むことができません。

指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクション・ログ・ミラーです。

項目	値
定数	SQLLE_CORRUPT_REDO_MIRROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログのミラー・ファイルの名前
重大度	11
SQLCODE	-1008
SQLSTATE	08W72
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

指定したファイルは有効なトランザクション・ログ・ミラーではありません。

指定されたデータベースを開始できません。'%1'は無効なトランザクション・ログです。

項目	値
定数	SQLE_CORRUPT_REDO
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルの名前
重大度	11
SQLCODE	-1007
SQLSTATE	08W88
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

指定したファイルは有効なトランザクション・ログではありません。

指定されたデータベースを開始できません。'%1'は有効なデータベース・ファイルではありません。

項目	値
定数	SQLE_FILE_BAD_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベース・ファイルの名前
重大度	11
SQLCODE	-1006
SQLSTATE	08W87
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

指定したファイルは有効なデータベースではありません。

指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクション・ログ・ファイルが見つかりません

項目	値
定数	SQLLE_LOG_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルの名前
重大度	11
SQLCODE	-1017
SQLSTATE	08W81
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

トランザクション・ログ・ファイルが見つかりませんでした。

指定されたデータベースを開始できません。このサーバーで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)。

項目	値
定数	SQLLE_UPGRADE_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベース・ファイルの名前
パラメータ 2	データベース・ファイルにない機能
重大度	11
SQLCODE	-1012
SQLSTATE	08W76
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

このサーバーで開始するには、指定したデータベースをアップグレードする必要があります。

指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。

項目	値
定数	SQLE_CORRUPT_REDO_OR_MIRROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルの名前
パラメータ 2	トランザクション・ログのミラー・ファイルの名前
重大度	11
SQLCODE	-1009
SQLSTATE	08W73
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

トランザクション・ログがトランザクション・ログ・ミラーと異なります。トランザクション・ログ、またはそのミラーが無効です。

指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログで、'%1' は操作を予期していません。

項目	値
定数	SQLE_EXPECTING_NO_REDO
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルの名前
重大度	11
SQLCODE	-1010
SQLSTATE	08W74

項目	値
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

トランザクション・ログに操作が含まれますが、データベース・サーバでは操作が想定されていませんでした。

指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いからです。

項目	値
定数	SQLE_LOG_TOO_SHORT
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルの名前
重大度	11
SQLCODE	-1020
SQLSTATE	08W84
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

トランザクション・ログ・ファイルが短すぎます。

指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないからです。

項目	値
定数	SQLE_LOG_OFFSETS_DONT_MATCH
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルの名前
重大度	11

項目	値
SQLCODE	-1018
SQLSTATE	08W82
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

トランザクション・ログ・ファイルに、データベース・ファイルで予想していたオフセットと一致しないオフセットがあります。

指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはデータベース・ファイルがログ・ファイルよりも後に使用されているためです。

項目	値
定数	SQLE_LOG_OLDER_THAN_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルの名前
重大度	11
SQLCODE	-1019
SQLSTATE	08W83
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

データベース・ファイルがトランザクション・ログ・ファイルよりも最近使用されています。

指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログ・ファイルがデータベース・ファイルよりも後に使用されているためです。

項目	値
定数	SQLE_LOG_NEWER_THAN_DB
ODBC 2 ステータス	08001

項目	値
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログのミラー・ファイルの名前
重大度	11
SQLCODE	-1016
SQLSTATE	08W80
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

トランザクション・ログ・ファイルがデータベース・ファイルよりも最近使用されています。

指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです。

項目	値
定数	SQLE_UNKNOWN_ENCRYPTION_ALGORITHM
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-1011
SQLSTATE	08W75
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

このサーバでサポートされていないアルゴリズムでデータベースが暗号化されています。

指定されたデータベースを起動できません : %1

項目	値
定数	SQLE_UNABLE_TO_START_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001

項目	値
パラメータ 1	データベースを起動できなかった理由 (理由が判明している場合)
重大度	11
SQLCODE	-82
SQLSTATE	08W09
Sybase エラー・コード	840

考えられる原因

データベース・サーバが、指定したデータベースを起動できませんでした。詳細については、サーバ・ウィンドウのメッセージ領域を参照してください。

指定されたデータベースを起動できません：データベース %1 を起動するにはサーバをアップグレードする必要があります。

項目	値
定数	SQLE_UNABLE_TO_START_DATABASE_VER_NEWER
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	起動できなかったデータベースの名前 (名前が判明している場合)
重大度	11
SQLCODE	-934
SQLSTATE	08W67
Sybase エラー・コード	13552

考えられる原因

データベースのバージョンがサーバのバージョンよりも新しいため、データベース・サーバはデータベースを起動できませんでした。データベースを起動できるようにするには、データベースのバージョン以降にサーバをアップグレードする必要があります。

指定されたデータベースを起動できません：ログ・ファイル・エラー

項目	値
定数	SQLE_UNABLE_TO_START_DATABASE_LOG_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-935
SQLSTATE	08W68
Sybase エラー・コード	13553

考えられる原因

ログ・ファイルが見つからないか別のデータベースのログ・ファイルである、またはその他の理由により、データベース・サーバはデータベースを起動できませんでした。詳細については、サーバ・ウィンドウのメッセージ領域を参照してください。

指定されたトランザクションの独立性が不正です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_TRANSACTION_ISOLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-676
SQLSTATE	WJ003
Sybase エラー・コード	7374

考えられる原因

指定したトランザクション独立性は無効です。

指定されたパブリケーション・マスクが不正です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_PUBLICATION_MASK
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1105
SQLSTATE	WW076
Sybase エラー・コード	13409

考えられる原因

指定したパブリケーション・マスクと一致するパブリケーションがありません。

指定されたリスナを登録できませんでした。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_REGISTER_LISTENER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-992
SQLSTATE	54W04
Sybase エラー・コード	13497

考えられる原因

リスナの最大数に達した、クラス名がすでに使用されている、またはシステム・リソースがないために、指定したリスナを登録できませんでした。

指定されたローカル接続 ID が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_LOCAL_CONNECTION_NOT_FOUND

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-996
SQLSTATE	WO024
Sybase エラー・コード	709

考えられる原因

指定した接続 ID の接続がありません。

指定された外部キー (%1) は使用できません。

項目	値
定数	SQLE_UNENFORCEABLE_FOREIGN_KEY
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	外部キーの名前
重大度	16
SQLCODE	-729
SQLSTATE	23507
Sybase エラー・コード	549

考えられる原因

実行できない外部キーを作成しようとした。実行可能にするためには、指定したキーに対するプライマリ・テーブルと外部テーブルが同じサーバにある必要があります。UNENFORCED キーワードを使用して、実行できない外部キー仕様を作成できます。

指定した HTTP ヘッダに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています。

項目	値
定数	SQLE_HTTP_HEADER_ATTRIBUTE_ASCII

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1095
SQLSTATE	WW071
Sybase エラー・コード	13420

考えられる原因

HTTP ヘッダには印刷可能な ASCII 文字が含まれる必要があります。

指定した HTTP ヘッダは不正です。

項目	値
定数	SQLE_HTTP_HEADER_ATTRIBUTE_MALFORMED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1096
SQLSTATE	WW072
Sybase エラー・コード	13419

考えられる原因

HTTP ヘッダにコロンでの区切り文字がないか、折り返しの構造が間違っています。

自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。

項目	値
定数	SQLE_CONN_REG_AUTO_LABEL_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02

項目	値
パラメータ 1	アプリケーションの名前
重大度	16
SQLCODE	-790
SQLSTATE	5RW29
Sybase エラー・コード	13800

考えられる原因

代わりに、指定のラベルを使用して登録できます。

式にサポートされていないデータ型があります。

項目	値
定数	SQLE_DATATYPE_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	14
SQLCODE	-624
SQLSTATE	WW009
Sybase エラー・コード	10356

考えられる原因

サポートされていないパラメータまたは結果データ型で、外部関数または Java メソッドが宣言されました。または、サポートされていない結果データ型の Java フィールド参照を行おうとしました。

式を更新できません。

項目	値
定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

項目	値
重大度	14
SQLCODE	-190
SQLSTATE	53W02
Sybase エラー・コード	230

考えられる原因

更新しようとしたクエリのカラムは、テーブルのカラムではなく、データベースの式です。

識別子 '%1' が長すぎます。

項目	値
定数	SQLE_IDENTIFIER_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	長すぎる識別子
重大度	15
SQLCODE	-250
SQLSTATE	54003
Sybase エラー・コード	103

考えられる原因

長さ 128 バイトを超える識別子を指定しました。

実行時 SQL エラーです -- %1

項目	値
定数	SQLE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの ID

項目	値
重大度	18
SQLCODE	-300
SQLSTATE	40000
Sybase エラー・コード	13664

考えられる原因

内部データベース・エラーが発生しました。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。関連するクエリ文を変更することによって、この問題を回避できます。

実体化されたビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_USE_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	実体化ビュー (Materialized View) の名前
重大度	14
SQLCODE	-1077
SQLSTATE	42WBC
Sybase エラー・コード	13437

考えられる原因

実体化ビュー (Materialized View) を使用しようとしたのですが、ビューはまだ初期化されていません。実体化ビュー (Materialized View) を作成または有効にした後に初めて使用するには、REFRESH MATERIALIZED VIEW 文を使用して 1 回以上初期化する必要があります。

実体化されたビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR

項目	値
パラメータ 1	設定が間違っているオプションの名前
重大度	14
SQLCODE	-1052
SQLSTATE	42WB7
Sybase エラー・コード	13461

考えられる原因

実体化ビュー (Materialized View) を更新または再表示しようとしたのですが、データベース・オプションの 1 つが、実体化ビュー (Materialized View) の更新時に許可されない値に設定されているか、オプションの設定が、ビュー作成時の値と一致しません。

実体化されたビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_CREATE_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	設定が間違っているオプションの名前
重大度	14
SQLCODE	-1051
SQLSTATE	42WB6
Sybase エラー・コード	13460

考えられる原因

実体化ビュー (Materialized View) を作成しようとしたのですが、データベース・オプションの 1 つが、実体化ビュー (Materialized View) の作成時に許可されない値に設定されています。

実体化ビュー '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_MATVIEW_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002

項目	値
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかった実体化ビュー (Materialized View) の名前
重大度	11
SQLCODE	-1041
SQLSTATE	42WB5
Sybase エラー・コード	13470

考えられる原因

実体化ビュー (Materialized View) の名前のスペルを間違えたか、実体化ビュー (Materialized View) 名をユーザ名で修飾しませんでした。たとえば、"DBA"."Employees" ではなく "Employees" を参照しています。

実体化ビュー '%1' でトリガを作成できません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_TRIGGER_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	実体化ビュー (Materialized View) の名前
重大度	14
SQLCODE	-1134
SQLSTATE	42W3D
Sybase エラー・コード	13379

考えられる原因

実体化ビュー (Materialized View) でトリガを作成しようとしました。実体化ビュー (Materialized View) は、トリガの有効な対象ではありません。

実体化ビューのサポートは、このデータベースでは利用できません。

項目	値
定数	SQLE_MAT_VIEWS_NOT_SUPPORTED

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1029
SQLSTATE	0AW15
Sybase エラー・コード	13481

考えられる原因

実行している文には、実体化ビュー (Materialized View) のサポートが必要ですが、使用しているデータベースには実体化ビュー (Materialized View) の機能がありません。

修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は相関名 '%2' と一致していません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_COLUMN_QUALIFICATION
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	カラム参照で指定された所有者名
パラメータ 2	正しく参照されていない相関名
重大度	15
SQLCODE	-845
SQLSTATE	42U02
Sybase エラー・コード	13851

考えられる原因

テーブル名に対する、修飾されたカラム参照がクエリにあります。相関名がそのテーブルについて使用されたか、テーブルの所有者がカラム参照で指定された所有者名と一致しません。所有者による修飾を削除し、相関名のみでカラム参照を修飾してください。

集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループ・カラムである必要があります。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_GROUPING_AGGREGATE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-962
SQLSTATE	42WA7
Sybase エラー・コード	13527

考えられる原因

集合関数 GROUPING への引数として指定できるのは、グループ・カラムだけです。1つのグループ・カラム式以外のものが含まれている引数は、使用できません。

集合関数では、NULL 値は無視されます。

項目	値
定数	SQLE_NULL_VALUE_ELIMINATED
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01003
重大度	10
SQLCODE	109
SQLSTATE	01003
Sybase エラー・コード	409

考えられる原因

集合関数の式引数が、1つまたは複数のローについて NULL と評価されました。

集合関数の不正な使用です。

項目	値
定数	SQLE_AGGREGATES_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-150
SQLSTATE	42W06
Sybase エラー・コード	13204

考えられる原因

集合関数の使用が不適切です。たとえば、SELECT 文では、集合関数が外部参照を構成していないかぎり、その集合関数を WHERE 句の述部の中に指定できません。また、集合関数を、UPDATE 文の SET 句の中に指定したり、CHECK 制約の中で使用したりすることはできません。

集約関数の ORDER BY が不正です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_ORDERBY_IN_AGGREGATE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-904
SQLSTATE	42W90
Sybase エラー・コード	13579

考えられる原因

集合関数で ORDER BY を使用できるのは、select リストに DISTINCT 集合関数がないか、ORDER BY の最初のカラムと等しい DISTINCT カラムのある DISTINCT 集合関数が 1 つある場合だけです。また、ORDER BY 句が完全に同じでないかぎり、並べ替えた複数の集合関数を同じ select リストの中で使用することはできません。

集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。

項目	値
定数	SQLE_MULTIPLE_AGGREGATE_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	エラーになった集約式
重大度	15
SQLCODE	-861
SQLSTATE	42W68
Sybase エラー・コード	13865

考えられる原因

ネストされたクエリに含まれている subselect の中に、外部参照を含むパラメータを指定した集合関数があります。この場合、外部参照に指定できるのは式で参照されるカラムのみです。

集約式 '%1' は select リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_AGGREGATE_PLACEMENT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	エラーになった集約式
重大度	15
SQLCODE	-862
SQLSTATE	42W69
Sybase エラー・コード	13866

考えられる原因

外部参照を含む集約式は、select リスト式 (subselect) の中、または FROM 句の中に集約されるカラムを持つテーブルが含まれているクエリの HAVING 句サブクエリの中で使用する必要があります。

重複キー・カラム (%1)

項目	値
定数	SQLE_DUPLICATE_KEY_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	重複するカラムの名前
重大度	16
SQLCODE	-1085
SQLSTATE	42WC0
Sybase エラー・コード	13429

考えられる原因

プライマリ・キー、外部キー、または一意性制約のキー、またはインデックスに対するカラムのリストで重複するカラム名を指定しました。

出力ファイルのディレクトリが存在しません。

項目	値
定数	SQLE_DIRECTORY_INACCESSIBLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-978
SQLSTATE	WW047
Sybase エラー・コード	13511

考えられる原因

ディレクトリが存在しないので、ファイルを書き込むことができません。

出力ファイルを書き込めません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_WRITE_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-979
SQLSTATE	WW048
Sybase エラー・コード	13510

考えられる原因

出力ファイルの作成または書き込みができません。ファイルがロックされているか、読み込み専用である可能性があります。

書き込みアクセスが拒否されました。

項目	値
定数	SQLE_ULTRALITE_WRITE_ACCESS_DENIED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	14
SQLCODE	-1086
SQLSTATE	42Z00
Sybase エラー・コード	13428

考えられる原因

読み込み専用モードで Ultra Light データベースに書き込もうとして拒否されました。Ultra Light データベースは、Mobile Link へのアップロードの送信中は変更できません。

照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。

項目	値
定数	SQLE_COLLATION_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サポートされていない照合
重大度	16
SQLCODE	-1116
SQLSTATE	WC013
Sybase エラー・コード	13398

考えられる原因

指定した照合は、現在のプラットフォームではサポートされていません。

親が開いていません : '%1'

項目	値
定数	SQLE_EXPLICIT_TAG_NOT_OPEN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	開いているタグの中にない親のタグ ID
重大度	16
SQLCODE	-900
SQLSTATE	WX008
Sybase エラー・コード	13581

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT には、ローが読み込まれたときに開かれるローの親のタグが必要です。FOR XML EXPLICIT 句を削除した状態で、クエリによって返されるローの順序を確認してください。

制約 '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_CONSTRAINT_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S23
パラメータ 1	見つからなかった制約の名前
重大度	16
SQLCODE	-929
SQLSTATE	42U04
Sybase エラー・コード	13556

考えられる原因

制約名のスペルを間違えたか、探している制約は別のテーブルにあります。

制約 '%1' の違反です : テーブル '%2' の値が無効です。

項目	値
定数	SQLE_TABLE_CONSTRAINT_VIOLATED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	無効な値が違反となった制約の名前 (定義されている場合)
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-1091
SQLSTATE	23508
Sybase エラー・コード	548

考えられる原因

CHECK 制約に違反する挿入または更新をしようとしてしました。CHECK 制約は FALSE のとき違反になり、条件が TRUE または UNKNOWN と評価されるときはそのままの状態になります。

制約 '%1' の違反です : テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_COLUMN_VALUE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	無効な値が違反となった制約の名前 (定義されている場合)
パラメータ 2	無効な値を割り当てられたカラムの名前
パラメータ 3	そのカラムを含むテーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-209
SQLSTATE	23506
Sybase エラー・コード	548

考えられる原因

CHECK 制約に違反する挿入または更新をしようとした。CHECK 制約は FALSE のとき違反になり、条件が TRUE または UNKNOWN と評価されるときはそのままの状態になります。

制約 '%1' への参照または操作が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_CONSTRAINT_REF
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S23
パラメータ 1	指定した目的に使用できない制約の名前
重大度	16
SQLCODE	-937
SQLSTATE	42U06
Sybase エラー・コード	13550

考えられる原因

制約に対して無効な操作を指定しました。たとえば、主キー制約を変更しようとした。

接続エラー : %1

項目	値
定数	SQLE_CONNECTION_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	接続エラーの説明
重大度	16
SQLCODE	-832
SQLSTATE	08W60
Sybase エラー・コード	13838

考えられる原因

データベース・サーバとの接続を確立しようとして、データベースとの接続を試みる前にエラーが発生しました。このエラーの例としては、接続時の通信リンクの初期化失敗があります。LogFile 接続パラメータを使用してデバッグ・ログ・ファイルを作成すると、詳細な情報が記載されている場合があります。

接続がタイムアウトしました。

項目	値
定数	SQLE_REMOTE_CONNECTION_TIMED_OUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-982
SQLSTATE	WW051
Sybase エラー・コード	13507

考えられる原因

活動がないため、リモート・ホストへの接続がタイムアウトになりました。

接続が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_CONNECTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	08003
ODBC 3 ステータス	08003
重大度	16
SQLCODE	-108
SQLSTATE	08W02
Sybase エラー・コード	4224

考えられる原因

DISCONNECT または SET CONNECTION 文で指定した接続名が無効です。

接続が切断されました。

項目	値
定数	SQLE_CONNECTION_TERMINATED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-308
SQLSTATE	40W07
Sybase エラー・コード	4224

考えられる原因

データベース接続は終了され、トランザクションはロールバックされました。接続が終了した理由には、DBA が DROP CONNECTION 文を実行した、データベース・サーバが停止した、またはデータベース・サーバへのネットワーク接続で割り込みが発生した、などが考えられます。

接続しているテンポラリ・テーブルが多すぎます。

項目	値
定数	SQLE_TOO_MANY_TEMP_TABLES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-817
SQLSTATE	52W41
Sybase エラー・コード	13823

考えられる原因

CREATE TABLE または DECLARE TABLE 文でテンポラリ・テーブルを作成しようとしたが、その結果テンポラリ・テーブルに使用される個別のテーブル ID の数が、現在の接続では制限を超えています。

接続できません。サーバ定義が循環しています。

項目	値
定数	SQLE_OMNI_CIRCULAR_CONNECT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-657
SQLSTATE	WO002
Sybase エラー・コード	13593

考えられる原因

ローカル・データベースにマップされているリモート・サーバに接続しようとした。

接続パラメータ・ファイルが見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_NO_PROFILE_FILE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-654
SQLSTATE	08W37
Sybase エラー・コード	13706

考えられる原因

接続プロファイルがある接続文字列を解析しようとしたますが、接続パラメータ・ファイルが見つかりませんでした。

接続パラメータ文字列の解析エラーです。

項目	値
定数	SQLE_GEN_PARSE_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-655
SQLSTATE	08W38
Sybase エラー・コード	13707

考えられる原因

接続文字列を解析できませんでした。文字列または接続パラメータ・ファイルに構文エラーがあります。

接続試行の BACKUP には、コミットされていないトランザクションがあります。

項目	値
定数	SQLE_BACKUP_HAS_UNCOMMITTED_TRANS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1028
SQLSTATE	WB014
Sybase エラー・コード	13482

考えられる原因

BACKUP ... WAIT BEFORE START または BACKUP ... WAIT AFTER END を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。COMMIT または ROLLBACK を実行してからバックアップを実行する必要があります。

宣言された文の種類が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_STATEMENT_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-133
SQLSTATE	07W03
Sybase エラー・コード	13630

考えられる原因

これは内部エラーです。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。

宣言されていないタグ ID : '%1'

項目	値
定数	SQLE_UNDECLARED_FOR_XML_EXPLICIT_TAG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	宣言されていないタグ ID の値
重大度	16
SQLCODE	-901
SQLSTATE	WX009
Sybase エラー・コード	13580

考えられる原因

テーブルの Tag カラムのそれぞれの値は、少なくとも 1 つのカラム名の TagNumber フィールドで宣言する必要があります。

選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。

項目	値
定数	SQLE_DATABASE_NOT_ACTIVE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	14
SQLCODE	-74
SQLSTATE	08W30
Sybase エラー・コード	950

考えられる原因

選択されたデータベースはアクティブではありません。データベースは起動中か、停止中です。

前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_CHANGE_ML_REMOTE_ID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1118
SQLSTATE	0AW17
Sybase エラー・コード	13395

考えられる原因

Mobile Link サーバは、リモート ID を使用して同期の進行状況を追跡します。前回行われたアップロードのステータスが不明な場合は、この状態を解消してからリモート ID を変更してください。

前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_CHANGE_USER_NAME
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-867
SQLSTATE	0AW13
Sybase エラー・コード	13871

考えられる原因

Mobile Link サーバは、user_name を使用して同期を追跡します。前回行われたアップロードのステータスが不明な場合は、この状態を解消してからユーザを変更してください。

前回のエラーが RESIGNAL の前になりました。

項目	値
定数	SQLE_PREVIOUS_ERROR_LOST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-825
SQLSTATE	WP011
Sybase エラー・コード	13831

考えられる原因

ストアド・プロシージャの例外ハンドラ中の RESIGNAL 文が実行されましたが、前回のエラーの内容が使用できませんでした。このエラーの原因としては、SELECT 文が例外ハンドラで結果セットを返していることが考えられます。

挿入したカラムが重複しています。

項目	値
定数	SQLE_DUPLICATE_INSERT_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-637
SQLSTATE	42W41
Sybase エラー・コード	264

考えられる原因

Insert 文のカラム名のリストに重複したカラム名を指定しました。

挿入ローにある場合、JDBC 結果セット上の '%1' 関数を呼び出せません。

項目	値
定数	SQLE_JDBC_INVALID_OPER_ON_INSERT_ROW
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	呼び出されている結果セット関数の名前
重大度	16
SQLCODE	-752
SQLSTATE	WJ019
Sybase エラー・コード	13763

考えられる原因

結果セットのカーソルが挿入ローにある場合、updateRow や deleteRow などの結果セットの関数は無効です。

操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません。

項目	値
定数	SQLE_COLUMN_NOT_STREAMABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	型が無効なカラムの番号
重大度	16
SQLCODE	-1100
SQLSTATE	WW045
Sybase エラー・コード	13414

考えられる原因

ストリーミングをサポートするカラムの型は、BINARY、LONG BINARY、VARCHAR、LONG VARCHAR だけです。このエラーは、同じカラムにストリーム・オブジェクトを 2 回割り付けた場合にも発生する可能性があります。

相関名 '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_CORRELATION_NAME_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	無効な相関名
重大度	16
SQLCODE	-142
SQLSTATE	52W02
Sybase エラー・コード	208

考えられる原因

相関名のスペルを間違えたか、相関名のかわりにテーブル名を使用しました。

相関名 '%1' は、ROWID() 関数では使用できません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_CORRELATION_FOR_ROWID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な相関名
重大度	15
SQLCODE	-1113
SQLSTATE	42WBF
Sybase エラー・コード	13401

考えられる原因

使用した相関名は ROWID 関数に有効ではありませんでした。ROWID 関数には、ベース・テーブル、テンポラリ・テーブル、グローバル・テンポラリ・テーブル、またはプロキシ・テーブルの相関名だけを使用できます。ROWID 関数の引数では、ビュー、抽出テーブル、共通テーブル式、またはプロシージャを参照できません。

相関名 '%1' への参照が不正です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_CORRELATION_NAME_REFERENCE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	正しく参照されていない相関名
重大度	15
SQLCODE	-824
SQLSTATE	42U01
Sybase エラー・コード	13830

考えられる原因

クエリのテーブル式に、そのテーブル式に入っていない相関名への参照が含まれています。

属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_OPTIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性
パラメータ 2	属性の 1 番目のオプション
パラメータ 3	属性の 2 番目のオプション
重大度	16
SQLCODE	-1131
SQLSTATE	WW088
Sybase エラー・コード	13382

考えられる原因

この属性に指定されたオプションは互換性がありません。

他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。

項目	値
定数	SQLE_SAME_APP_RUNNING
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前
重大度	16
SQLCODE	-783
SQLSTATE	5RW22
Sybase エラー・コード	13793

考えられる原因

排他アプリケーションを登録しようとしたますが、同じアプリケーションの他のインスタンスがすでに登録されています。

他の接続はすでに '%1' として登録されています。

項目	値
定数	SQLE_NOT_UNIQUE_CONN_REG_LABEL
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	登録済みの接続ラベル
重大度	16
SQLCODE	-788
SQLSTATE	5RW27
Sybase エラー・コード	13798

考えられる原因

同じアプリケーションですでに使用されているラベルで接続を登録しようとした。

他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。

項目	値
定数	SQLE_SAME_EXCLUSIVE_APP_RUNNING
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前
重大度	16
SQLCODE	-782
SQLSTATE	5RW21
Sybase エラー・コード	13792

考えられる原因

アプリケーションを開こうとしましたが、同じアプリケーションの他の排他インスタンスがすでに登録されています。

値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。

項目	値
定数	SQLE_OVERFLOW_ERROR
ODBC 2 ステータス	22003
ODBC 3 ステータス	22003
パラメータ 1	オーバフローを起こした値
重大度	16
SQLCODE	-158
SQLSTATE	22003
Sybase エラー・コード	220

考えられる原因

送信先カラムまたはホスト変数に対して大きすぎる値が、データベースに入力されたか、データベースからフェッチされました。たとえば、値 10 が、DECIMAL (3,2) フィールドに与えられました。

値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。

項目	値
定数	SQLE_CONVERSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメータ 1	変換できなかった値
パラメータ 2	変換の対象となるデータ型の名前
重大度	16
SQLCODE	-157
SQLSTATE	53018
Sybase エラー・コード	257

考えられる原因

値を別のデータ型に変換しようとしたときにエラーが発生しました。

値がトランケートされました。

項目	値
定数	SQLE_TRUNCATED
ODBC 2 ステータス	01004
ODBC 3 ステータス	01004
重大度	10
SQLCODE	101
SQLSTATE	01004
Sybase エラー・コード	7337

考えられる原因

値に対して十分大きくないホスト変数または SQLDA 変数に、データをフェッチしようとした。

抽出されたテーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。

項目	値
定数	SQLE_NO_COLUMN_NAME
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	派生テーブルの名前
パラメータ 2	名前がないカラムの番号
重大度	16
SQLCODE	-163
SQLSTATE	52004
Sybase エラー・コード	209

考えられる原因

抽出テーブルの指定カラムには、カラム名がありません。クエリの指定に select リストのエイリアスを使用するか、抽出カラム指定子を使用してください。

通信エラーが発生しました。

項目	値
定数	SQLE_COMMUNICATIONS_ERROR
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-85
SQLSTATE	08W12
Sybase エラー・コード	1602

考えられる原因

アプリケーションとサーバ間の通信に問題があります。

通信環境を作成できませんでした。

項目	値
定数	SQLE_FAILED_TO_CREATE_STREAMS_ENV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-740
SQLSTATE	WW024
Sybase エラー・コード	13753

考えられる原因

通信環境を作成できませんでした。環境を作成するためのリソースが不足しているか、言語リソース・ファイルが見つかりません。

登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。

項目	値
定数	SQLE_APP_REG_COOKIE_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前
重大度	16
SQLCODE	-789
SQLSTATE	5RW28
Sybase エラー・コード	13799

考えられる原因

アプリケーションの登録を 1 つ解除しないと、このアプリケーションを登録できません。

統合されたユーザに対する個別のグループ・マッピングが多すぎます。

項目	値
定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_TOO_MANY_MAPPINGS
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1003
SQLSTATE	28W10
Sybase エラー・コード	13490

考えられる原因

統合されたユーザはデータベースに明示的なマッピングがありませんが、グループ・マッピングがあります。ただし、個別のグループ・マッピングが多すぎます。このユーザの個別のグループ・マッピング数を減らすか、明示的なマッピングを追加する必要があります。

**統合化ログイン ID ゲストは、ゲスト・データベースのユーザ ID へマップすること
だけです。**

項目	値
定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_GUESTMAP
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-247
SQLSTATE	28W06
Sybase エラー・コード	13695

考えられる原因

ゲスト・ログイン ID をゲスト以外にマップしようとしてしました。

統合化ログインが許可されていません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_STANDARD_LOGON
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-205
SQLSTATE	28W02
Sybase エラー・コード	13689

考えられる原因

login_mode データベース・オプションが Standard に設定されていますが、統合化ログインを行おうとしました。オプション設定を変更するか、明示的なユーザ ID を指定してください。

統合化ログインが失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_FAILED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-245
SQLSTATE	28W04
Sybase エラー・コード	13691

考えられる原因

統合化ログインに失敗しました。サーバ・マシンのシステム・アカウントを持っていません。

統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_INTEGRATED_LOGON

項目	値
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-206
SQLSTATE	28W03
Sybase エラー・コード	13690

考えられる原因

login_mode データベース・オプションに Integrated が設定されていますが、標準ログインを行おうとしました。オプション設定を変更するか、統合化ログインを使用してください。

動的メモリが足りません。

項目	値
定数	SQLE_DYNAMIC_MEMORY_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	S1001
ODBC 3 ステータス	HY001
重大度	17
SQLCODE	-78
SQLSTATE	08W26
Sybase エラー・コード	9119

考えられる原因

データベース・サーバが動的メモリを割り当てようとしたときに、エラーが発生しました。

同期オプション '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_SYNC_OPTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02

項目	値
パラメータ 1	同期オプションの名前
重大度	16
SQLCODE	-805
SQLSTATE	5RW33
Sybase エラー・コード	13815

考えられる原因

定義されていない同期オプションを削除しようとしてしました。

同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれています。

項目	値
定数	SQLE_BAD_SYNC_OPTION_VALUE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	同期オプションの名前
重大度	16
SQLCODE	-797
SQLSTATE	5RW32
Sybase エラー・コード	13807

考えられる原因

無効な値で同期オプションを設定しようとしてしました。

同期オプションが長すぎます。

項目	値
定数	SQLE_SYNC_OPTION_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02

項目	値
重大度	16
SQLCODE	-809
SQLSTATE	5RW34
Sybase エラー・コード	13819

考えられる原因

同期オプションのリストをデータベースのページ・サイズよりも長くすることはできません。

同期サーバがアップロードのコミットに失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_UPLOAD_FAILED_AT_SERVER
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-794
SQLSTATE	0AW09
Sybase エラー・コード	13804

考えられる原因

Ultra Light データベースを同期しようとしてしました。同期セッション中に完全なアップロード・ストリームが送信されましたが、統合データベースにコミットできませんでした。アップロードが失敗した理由は、同期ログ・ファイルにあります。

同期の情報が指定されていません。

項目	値
定数	SQLE_SYNC_INFO_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

項目	値
SQLCODE	-1111
SQLSTATE	WW081
Sybase エラー・コード	13403

考えられる原因

同期の情報を指定する必要があります。情報は同期の呼び出し時に直接指定するか、同期の前に SetSynchInfo を使用して指定します。Palm HotSync コンジットでは、終了前にアプリケーションで SetSynchInfo 呼び出しを使用しなかった場合、または SetSynchInfo が正常に終了しなかった場合に、同期時にこのエラーが発生します。

同期の情報が不完全か無効です。'%1' を確認してください。

項目	値
定数	SQLE_SYNC_INFO_INVALID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	正しく初期化されていないパラメータの名前
重大度	16
SQLCODE	-956
SQLSTATE	WW036
Sybase エラー・コード	13532

考えられる原因

同期の情報が不完全か無効です。示されたパラメータを修正してから、同期を再度実行してください。init_verify と示されている場合は、ULInitSynchInfo 関数が呼び出されていません。

同期メッセージ・タイプ '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_NOT_SYNC_TYPE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02

項目	値
パラメータ 1	同期メッセージ・タイプの名前
重大度	16
SQLCODE	-765
SQLSTATE	5RW11
Sybase エラー・コード	13775

考えられる原因

このデータベースで定義されていない同期メッセージ・タイプを参照しました。

同期処理ではテーブル '%1' にプライマリ・キーを含める必要があります。

項目	値
定数	SQLE_PK_NOT_IN_SYNC_ARTICLE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前
重大度	16
SQLCODE	-778
SQLSTATE	5RW17
Sybase エラー・コード	13788

考えられる原因

テーブルのプライマリ・キーを同期のエントリに含める必要があります。

同期処理に戻ることができませんでした。

項目	値
定数	SQLE_SYNC_NOT_REENTRANT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

項目	値
重大度	16
SQLCODE	-1110
SQLSTATE	WW080
Sybase エラー・コード	13404

考えられる原因

同期処理に戻ることができませんでした。2つの異なるスレッドが同時に同期の呼び出しを実行しようとした可能性があります。

読み込み専用データ・ベースに対しての修正は禁止されています。

項目	値
定数	SQLE_READ_ONLY_DATABASE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14
SQLCODE	-757
SQLSTATE	55W08
Sybase エラー・コード	13768

考えられる原因

読み込み専用と宣言されているデータベース上で更新操作を実行しようとしてしました。

読み込み専用のカーソルを更新しようとしてしました。

項目	値
定数	SQLE_READ_ONLY_CURSOR
ODBC 2 ステータス	S1009
ODBC 3 ステータス	HY092
重大度	16
SQLCODE	-633

項目	値
SQLSTATE	42W30
Sybase エラー・コード	7732

考えられる原因

読み込み専用と明示的に宣言されているカーソル上で、更新操作を実行しようとした。

内部ロールバック・ログが破損しています。

項目	値
定数	SQLE_LOG_CORRUPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	22
SQLCODE	-311
SQLSTATE	WI004
Sybase エラー・コード	932

考えられる原因

COMMIT または ROLLBACK の処理中に、内部ロールバック・ログに破損が発見されました。これは致命的な内部エラーです。

内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました : %1

項目	値
定数	SQLE_JAVA_VM_HEAP_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	内部関数はデバッグ用
重大度	16
SQLCODE	-165
SQLSTATE	WP008

項目	値
Sybase エラー・コード	13740

考えられる原因

Java 仮想マシンに割り当てられた領域の量が不十分なため、新規オブジェクトの割り当てを続行できません。次のように指定してサイズを増やしてください。SET OPTION PUBLIC.java_heap_size = nnnnnnnn

内部関数でネーム・スペースのヒープが足りなくなりました : %1

項目	値
定数	SQLE_NAMESPACE_HEAP_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	内部関数はデバッグ用
重大度	16
SQLCODE	-164
SQLSTATE	WP007
Sybase エラー・コード	13739

考えられる原因

Java の Namespace に割り当てた領域の量が不十分なため、Java クラスのロードを続行できません。次のように指定してサイズを増やしてください。SET OPTION PUBLIC.java_namespace_size = nnnnnnnn

内部用のスレッドが起動できませんでした。

項目	値
定数	SQLE_THREAD_START_FAILURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-626

項目	値
SQLSTATE	WW011
Sybase エラー・コード	13681

考えられる原因

このエラーは、Windows 95 固有のエラーです。外部関数の実行に必要なオペレーティング・システムのスレッドを開始できませんでした。

入力パラメータ・インデックスが範囲外です。

項目	値
定数	SQLE_BAD_PARAM_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-689
SQLSTATE	WJ005
Sybase エラー・コード	13717

考えられる原因

有効なパラメータの範囲は、1 から、準備された文または呼び出し可能な文に指定したホスト変数の数までです。

入力文字列は base64 でエンコードされていません。

項目	値
定数	SQLE_BASE64_DECODING_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-961
SQLSTATE	WW039

項目	値
Sybase エラー・コード	13528

考えられる原因

base64 の復号化中にエラーが発生しました。

認証に失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_AUTHENTICATION_FAILED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-218
SQLSTATE	08W48
Sybase エラー・コード	13621

考えられる原因

database_authentication オプションまたは connection_authentication オプションの設定が正しくありません。

認証違反です。

項目	値
定数	SQLE_AUTHENTICATION_VIOLATION
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-98
SQLSTATE	08W21
Sybase エラー・コード	13620

考えられる原因

特定のアプリケーションだけが使用できるように設定されたサーバに接続しようとした。

派生テーブル '%1' の select リストに '%2' と一致する式がありません。

項目	値
定数	SQLE_NO_MATCHING_SELECT_ITEM
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	派生テーブルの名前
パラメータ 2	一致する式がないエイリアスの名前
重大度	15
SQLCODE	-812
SQLSTATE	42W59
Sybase エラー・コード	13822

考えられる原因

派生テーブルの AS 句で指定したエイリアスには、派生テーブルの SELECT 文で一致する式がありません。select リストの各項目には、派生テーブルの AS 句に一致するエイリアスがあることを確認します。その逆も確認します。

非確定的な結果が返されました。

項目	値
定数	SQLE_NONDETERMINISTIC_RESULT
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
重大度	10
SQLCODE	122
SQLSTATE	01W18
Sybase エラー・コード	13883

考えられる原因

FIRST n または TOP n は、結果のサイズを制限するために SELECT 文で使用されます。また、結果を適切に定義するためには、文に ORDER BY を指定する必要があります。文に ORDER BY がない場合は、サーバは、要求された数のローが含まれていれば、どのような結果のサブセットでも返すことができます。

必要な演算子が含まれていません。

項目	値
定数	SQLE_REQUIRED_OPERATORS_EXCLUDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	18
SQLCODE	-969
SQLSTATE	WI011
Sybase エラー・コード	13521

考えられる原因

exclude_operators オプションによって必要なデータ・フロー演算子が除外されているため、データベース・サーバは、指定された要求に対して有効なアクセス・プランを作成できませんでした。必要な演算子を再び有効にして、文を実行してください。

不正な FOR XML EXPLICIT タグ値 : '%1'

項目	値
定数	SQLE_BAD_FOR_XML_EXPLICIT_TAG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	不正なタグ値
重大度	16
SQLCODE	-897
SQLSTATE	WX005
Sybase エラー・コード	13584

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT タグ値は、0 より大きく、256 より小さい値でなければなりません。また、Tag カラムでは NULL 値は使用できません。

不正な JAR ファイルです。

項目	値
定数	SQLE_BAD_JAR_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-730
SQLSTATE	WP010
Sybase エラー・コード	13737

考えられる原因

INSTALL JAVA 文に受け渡されるファイルが、有効な JAR ファイルではありませんでした。

不正な JDBC 結果セット・タイプです。

項目	値
定数	SQLE_JDBC_INVALID_RESULTSET_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-747
SQLSTATE	WJ017
Sybase エラー・コード	13760

考えられる原因

JDBC 文の作成時に、不正な結果セット・タイプが使用されました。

不正な JDBC 結果セットの同時実行性です。

項目	値
定数	SQLE_JDBC_INVALID_RESULTSET_CONCURRENCY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-748
SQLSTATE	WJ018
Sybase エラー・コード	13761

考えられる原因

JDBC 文の作成時に、不正な結果セットの同時実行性が使用されました。

不正なオプション '%1' を設定しています。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_OPTION_SETTING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効なオプションの名前
重大度	16
SQLCODE	-201
SQLSTATE	42W17
Sybase エラー・コード	5849

考えられる原因

SET 文のオプションに無効な値が指定されました。数値だけを許可するオプションや、On と Off の値だけを許可するオプションがあります。

不正なカーソル処理をしようとした。

項目	値
定数	SQLE_CURSOROP_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	07005
ODBC 3 ステータス	07005
重大度	16
SQLCODE	-187
SQLSTATE	09W02
Sybase エラー・コード	9526

考えられる原因

不正なカーソル処理をしようとした。たとえば、SELECT でも BATCH でもない文のカーソルを OPEN しています。

不正なカラム定義 : %1

項目	値
定数	SQLE_ILLEGAL_COLUMN_DEFINITION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ
重大度	16
SQLCODE	-1046
SQLSTATE	55W19
Sybase エラー・コード	13465

考えられる原因

許可されていない方法でカラムを定義しようとしています。

不正なカラム名 : '%1'

項目	値
定数	SQLE_BAD_FOR_XML_EXPLICIT_COLUMN_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラム名が不正である理由
重大度	16
SQLCODE	-899
SQLSTATE	WX007
Sybase エラー・コード	13582

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT カラムの名前は、感嘆符 (!) で区切られた最大 4 個のフィールドで構成できます。最初の 2 つのカラムの名前は、Tag と Parent でなければなりません。

不正なデータ変換

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_CONVERT
ODBC 2 ステータス	01S01
ODBC 3 ステータス	01S01
重大度	10
SQLCODE	103
SQLSTATE	01W03
Sybase エラー・コード	518

考えられる原因

データベースは、値を要求された型に変換できませんでした。変換しようとしている値は、挿入時、更新時、またはホストのバインド変数としてデータベースに提供された値か、データベースからホスト変数または SQLDA に取り出された値です。

不正なデータ変換：行 %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_CONVERT_LOAD_TABLE
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメータ 1	NULL が挿入されたカラムの名前
パラメータ 2	無効なデータ変換が発生したデータ・ファイルのロー番号
重大度	10
SQLCODE	124
SQLSTATE	01W01
Sybase エラー・コード	13886

考えられる原因

データベースは、値を要求された型に変換できませんでした。変換しようとしている値は、データ・ファイルのデータベースに指定され、LOAD TABLE を使用して挿入されました。カラムに NULL 値が挿入されています。

不正なパラメータです。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_PARAMETER
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	18
SQLCODE	-735
SQLSTATE	08W24
Sybase エラー・コード	5864

考えられる原因

パラメータを評価中にエラーが発生しました。

不正な比較です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_COMPARISON
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-710
SQLSTATE	52W25
Sybase エラー・コード	13749

考えられる原因

サポートされていない2つの引数を比較しようとしてしました。たとえば、オブジェクトのクラスが正しい compareTo メソッドをサポートしていないかぎりには、Java オブジェクトを他の Java オブジェクトと比較はできません。

不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ : '%1'

項目	値
定数	SQLE_BAD_FOR_XML_EXPLICIT_DIRECTIVE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	不明なディレクティブ
重大度	16
SQLCODE	-898
SQLSTATE	WX006
Sybase エラー・コード	13583

考えられる原因

有効な FOR XML EXPLICIT ディレクティブは、id、idref、idrefs、hide、element、xml、cdata です。

不明なバックアップ操作です。

項目	値
定数	SQLE_UNKNOWN_BACKUP_OPERATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-240
SQLSTATE	WB001
Sybase エラー・コード	3206

考えられる原因

db_backup への呼び出し中に、無効なバックアップ文操作が指定されました。

部分ダウンロードが見つかりませんでした。

項目	値
定数	SQLE_PARTIAL_DOWNLOAD_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1103
SQLSTATE	WW075
Sybase エラー・コード	13411

考えられる原因

同期しているユーザの部分ダウンロードが見つかりませんでした。このエラーは、存在しない部分ダウンロードから再開しようとしたとき、または存在しない部分ダウンロードをロールバックしようとしたときに発生する可能性があります。

復号化エラーです : %1

項目	値
定数	SQLE_DECRYPT_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	発生したエラーの説明
重大度	11
SQLCODE	-851
SQLSTATE	08W63
Sybase エラー・コード	13855

考えられる原因

復号化中にエラーが発生しました。

複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。

項目	値
定数	SQLE_ILLEGAL_COMPOSITE_ORDERBY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-966
SQLSTATE	42WAA
Sybase エラー・コード	13524

考えられる原因

RANGE キーワードを使用する Window 関数には、1つのカラムでのみ ORDER BY を指定できません。

複数の統合ユーザを定義することはできません。

項目	値
定数	SQLE_CONSOLIDATED_USER_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-289
SQLSTATE	5RW10
Sybase エラー・コード	13767

考えられる原因

データベースにすでに統合ユーザが存在するときに、統合パーミッションを付与しようとしたか、1つの文で複数のユーザに統合パーミッションを付与しようとした。

文が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-130
SQLSTATE	07W02
Sybase エラー・コード	13628

考えられる原因

次の操作を行うためにデータベースに渡された、文の識別子 (PREPARE によって生成されます) が無効です。

文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_NUMBER
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-864
SQLSTATE	42W71
Sybase エラー・コード	13869

考えられる原因

NUMBER 関数と IDENTITY 関数は、最も外側にある SELECT ブロックの select リストの中でのみ使用できます。サブクエリまたは述部の中では使用できません。

文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。

項目	値
定数	SQLE_NONDETERMINISTIC_FUNCTION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	エラーが発生したユーザ定義非決定的関数の名前
重大度	15
SQLCODE	-889
SQLSTATE	42W79
Sybase エラー・コード	13594

考えられる原因

非決定的関数は、CHECK 定数またはその他の種類の整合性制約に表示できません。クエリ、ビュー、または抽出テーブル内であれば、どこにでも表示できます。ただし、select リストのエイリアスの式に非決定的関数が含まれる場合、そのエイリアスはクエリの他の場所で参照できません。

文のサイズの制限値が無効です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_CURSOR_RANGE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-674
SQLSTATE	09W07
Sybase エラー・コード	13713

考えられる原因

FIRST n または TOP n は、結果のサイズを制限するために SELECT 文で使用されます。サイズ制限は定数で、1 ～ 32766 の整数にしてください。

文のサイズまたは複雑度がサーバの制限を超えています。

項目	値
定数	SQLE_SYNTACTIC_LIMIT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
重大度	19
SQLCODE	-890
SQLSTATE	54W01
Sybase エラー・コード	404

考えられる原因

文に、処理が不可能なサイズの構成が 1 つ以上含まれています。最大キャッシュ・サイズ、ページ・サイズ、またはスタック・サイズを増やすと、このエラーが解決する場合があります。内部の制限を超えないようにクエリを再作成することを検討してください。たとえば、サイズの大きい IN-list がクエリに含まれている場合は、IN-list の値をテンポラリ・テーブルに挿入することを検討します。次に、このテンポラリ・テーブルを、元の文の中の別のテーブルにジョインするクエリを再作成します。

文の実行がユーザによって中断させられました。

項目	値
定数	SQLE_INTERRUPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-299
SQLSTATE	57014
Sybase エラー・コード	3621

考えられる原因

文を実行中にキャンセルしました。データベースはロールバックなしで操作を停止できました。文が INSERT、UPDATE、または DELETE の場合、変更はすべてキャンセルされます。文がデータ定義文 (CREATE TABLE など) の場合、その文はキャンセルされますが、関連する動作として実行された COMMIT はキャンセルされません。

文を実行することができませんでした。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_EXECUTE_STMT
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	111
SQLSTATE	01W08
Sybase エラー・コード	590

考えられる原因

PREPARE ... WITH EXECUTE 文に、実行できない SQL 文を指定しました。出力 SQLDA を指定している場合は、その中に準備した文の DESCRIBE が格納されます。

文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。

項目	値
定数	SQLE_CHAR_FIELD_SIZE_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-1093
SQLSTATE	54W09
Sybase エラー・コード	13422

考えられる原因

宣言または変換で、バイト長が 32767 を超える文字型が指定されました。

文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。

項目	値
定数	SQLE_FAILED_TO_CONVERT_CHARSET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	入力文字列の文字セット
パラメータ 2	出力文字列の文字セット
重大度	16
SQLCODE	-1075
SQLSTATE	WC011
Sybase エラー・コード	13439

考えられる原因

サーバは、指定された 2 つの文字セット間で変換できませんでした。これは、dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていない場合に発生する可能性があります。

文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。

項目	値
定数	SQLE_UNSUPPORTED_CHARSET_AND_LANGUAGE
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	サポートできない文字セットの名前
パラメータ 2	サポートできない言語の名前
パラメータ 3	サーバが言語文字列を送信するために使用する言語の名前
重大度	10
SQLCODE	117
SQLSTATE	01W15
Sybase エラー・コード	13616

考えられる原因

アプリケーションが要求した文字セットは、アプリケーションが接続しているサーバではサポートされていません。アプリケーションが要求した言語もサポートされていません。言語文字列は指定した言語で送信されます。

文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。

項目	値
定数	SQLE_CANNOT_DUMP_STRING_HISTOGRAM
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	文字列データが含まれているカラムの名前
重大度	10
SQLCODE	132
SQLSTATE	01W23
Sybase エラー・コード	13585

考えられる原因

文字列が含まれているカラムのヒストグラムを取得しようとした。文字列情報のヒストグラムは、読み込み可能なフォーマットで出力できません。この結果、情報は取得されません。カラムの特定の値または範囲の情報を取得するには、ESTIMATE 関数の使用を検討してください。

文字列が長すぎます (%1)。

項目	値
定数	SQLE_STRING_PARM_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメータ 1	サーバで許可されている長さを超えている文字列
重大度	15
SQLCODE	-973
SQLSTATE	54W06
Sybase エラー・コード	13515

考えられる原因

文字列の長さが、サーバで許可されている長さを超えています。

文字列データの右側がトランケートされます。

項目	値
定数	SQLE_STRING_RIGHT_TRUNCATION
ODBC 2 ステータス	22001
ODBC 3 ステータス	22001
重大度	16
SQLCODE	-638
SQLSTATE	22001
Sybase エラー・コード	9502

考えられる原因

文字列データを割り当てるときに、スペースではない文字がトランケートされました。

閉じられた '%1' に対する操作は無効です。

項目	値
定数	SQLE_JDBC_OBJ_CLOSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	閉じたオブジェクトの Java クラス
重大度	16
SQLCODE	-696
SQLSTATE	WJ010
Sybase エラー・コード	13605

考えられる原因

閉じられた JDBC オブジェクトにアクセスしようとしました。

閉じられた '%1' に対する操作は無効です。

項目	値
定数	SQLE_JNAT_OBJ_CLOSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	閉じたオブジェクトの Java クラス
重大度	16
SQLCODE	-714
SQLSTATE	WJ014
Sybase エラー・コード	13609

考えられる原因

閉じられたネイティブ Java オブジェクトにアクセスしようとしました。

閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です。

項目	値
定数	SQLE_ULTRALITE_OBJ_CLOSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-908
SQLSTATE	55W14
Sybase エラー・コード	13575

考えられる原因

閉じられた Ultra Light オブジェクトにアクセスしようとしてしました。

変数 '%1' が見つかりません。

項目	値
定数	SQLE_VARIABLE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	見つからなかった変数の名前
重大度	15
SQLCODE	-260
SQLSTATE	42W14
Sybase エラー・コード	137

考えられる原因

作成されていない SQL 変数または削除された SQL 変数を削除しようとしたか、値を設定しようとしてしました。

埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサと、データベース・インタフェース・ライブラリのバージョンが適合しません。

項目	値
定数	SQLE_PP_DBLIB_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	08801
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	21
SQLCODE	-230
SQLSTATE	08W18
Sybase エラー・コード	13657

考えられる原因

実行プログラムが、データベース・インタフェース・ライブラリと一致しないバージョンの sqlpp で前処理された Embedded SQL のソース・ファイルを保有しています。

無効なエスケープ・シーケンス '%1'

項目	値
定数	SQLE_INVALID_ESCAPE_SEQ
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	22025
パラメータ 1	エスケープ文字
重大度	16
SQLCODE	-630
SQLSTATE	22025
Sybase エラー・コード	7705

考えられる原因

LIKE パターンで使用されているエスケープ文字が無効です。エスケープ文字に続く文字は、特殊文字の '%', '_', '[' またはエスケープ文字そのものです。

無効なエスケープ文字 '%1'

項目	値
定数	SQLE_INVALID_ESCAPE_CHAR
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	22019
パラメータ 1	無効なエスケープ文字
重大度	16
SQLCODE	-629
SQLSTATE	22019
Sybase エラー・コード	7707

考えられる原因

エスケープ文字の文字長は 1 バイトにしてください。

無効なデータベース・ページ・サイズです。

項目	値
定数	SQLE_PAGE_SIZE_INVALID
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14
SQLCODE	-644
SQLSTATE	08W32
Sybase エラー・コード	927

考えられる原因

無効なページ・サイズのデータベースを作成しようとしてしました。SQL Anywhere データベースのページ・サイズは、2048、4096、8192、16384、または 32768 バイトである必要があります。Ultra Light データベースのページ・サイズは、1024、2048、4096、8192、または 16384 バイトである必要があります。

無効なパスワード : %1

項目	値
定数	SQLE_INVALID_NEW_PASSWORD
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	パスワードが無効である理由、またはパスワードを検証する関数を呼び出せなかった理由
重大度	16
SQLCODE	-1044
SQLSTATE	28W11
Sybase エラー・コード	13467

考えられる原因

新しいユーザ ID の作成、またはパスワードの変更に失敗しました。verify_password_function オプションで指定した関数によってパスワードが無効になりました。

無効なバックアップ・パラメータ値です。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_BACKUP_PARM_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1045
SQLSTATE	WB015
Sybase エラー・コード	13466

考えられる原因

バックアップ操作に指定した 1 つまたは複数のパラメータに無効な値があります。

無効なバックアップ操作

項目	値
定数	SQLE_INVALID_BACKUP_OPERATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1021
SQLSTATE	WB013
Sybase エラー・コード	3206

考えられる原因

前回のバックアップ操作が原因で、指定したバックアップ操作は無効です。

無効なホスト変数です。

項目	値
定数	SQLE_VARIABLE_INVALID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	17
SQLCODE	-155
SQLSTATE	42W07
Sybase エラー・コード	7201

考えられる原因

C 言語インタフェースを使用して、データベースに無効なホスト変数を指定しました。変数をホスト変数として指定したか、SQLDA を通して指定した可能性があります。

無効なユーザ選択性の評価が指定されました。

項目	値
定数	SQLE_INVALID_USER_ESTIMATE

項目	値
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
重大度	10
SQLCODE	118
SQLSTATE	01W16
Sybase エラー・コード	13617

考えられる原因

リテラル定数でないか、0.0 から 100.0 (推定値はパーセントで指定されます) の範囲を超えたユーザ選択推定値を指定しました。推定値は無視されました。

無効な要求ログのフォーマット (行 %1)

項目	値
定数	SQLE_INVALID_REQUEST_LOG_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ログ・ファイル内の行番号
重大度	16
SQLCODE	-999
SQLSTATE	WW020
Sybase エラー・コード	13493

考えられる原因

要求ログ・ファイルのフォーマットが無効です。この要求ログ・ファイルはソフトウェアの古いバージョンを使って作成されている可能性があります。

戻り値が設定できません。

項目	値
定数	SQLE_RETVAL_CANNOT_BE_SET

項目	値
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-690
SQLSTATE	WJ006
Sybase エラー・コード	13601

考えられる原因

呼び出し可能な文にリターン・パラメータの設定値は使用できません。

要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。

項目	値
定数	SQLE_VALUE_IS_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1050
SQLSTATE	22030
Sybase エラー・コード	13461

考えられる原因

データベースから NULL である値を取り出し、NULL にはできない変数に割り当てようとした。

要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。

項目	値
定数	SQLE_FAILED_TO_START_CONVERTER_2_CHARSETS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

項目	値
パラメータ 1	1 番目の要求された文字セット・エンコードの名前
パラメータ 2	2 番目の要求された文字セット・エンコードの名前
重大度	16
SQLCODE	-891
SQLSTATE	WC008
Sybase エラー・コード	13592

考えられる原因

サーバは、指定された 2 つの文字セット間で変換できません。これは、dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていない場合に発生する可能性があります。

要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。

項目	値
定数	SQLE_FAILED_TO_START_CONVERTER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	要求された文字セット・エンコードの名前
パラメータ 2	データベースの文字セット・エンコードの名前
重大度	16
SQLCODE	-870
SQLSTATE	WC002
Sybase エラー・コード	13874

考えられる原因

サーバは、指定された接続文字セットをデータベース文字セットに変換できません。これは、dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていない場合に発生する可能性があります。

要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。

項目	値
定数	SQLE_NO_ROOM_TO_GROW_DBSPACE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	DB 領域の名前
重大度	16
SQLCODE	-1121
SQLSTATE	57W03
Sybase エラー・コード	13392

考えられる原因

ALTER DBSPACE 文を使用して DB 領域を拡張しようとしたが、指定した容量分拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。

第 2 章

Mobile Link サーバのエラー・メッセージ

目次

Mobile Link サーバのエラー・メッセージ (エラー・コード順)	494
五十音順のエラー・メッセージ・リスト	507

Mobile Link サーバのエラー・メッセージ (エラー・コード順)

エラー・コード	エラー・メッセージ
0	「エラーなし、または不明なエラー」 527 ページ
-10001	「プロトコル・エラー : %1!d!」 562 ページ
-10002	「統合データベース・サーバまたは ODBC エラー : %1!s!」 576 ページ
-10003	「メモリ割り付けが失敗しました。%1!lu! バイトを割り付けようとしてしました。」 564 ページ
-10004	「プロトコルのバージョンが一致しません。」 563 ページ
-10013	「バージョン '%1!s!' が ml_script_version テーブルに見つかりません。同期できません。」 559 ページ
-10016	「'%1!s!' を Unicode に変換できません。」 510 ページ
-10017	「プロトコル・エラー : テーブル '%1!s!' を含むパブリケーションがありません。」 562 ページ
-10018	「接続スクリプト %1!s! をフェッチしているときにエラーが発生しました。」 574 ページ
-10019	「テーブル・スクリプト %1!s!.%2!s! をフェッチしているときにエラーが発生しました。」 556 ページ
-10020	「スクリプトをフラッシュできません。」 547 ページ
-10021	「統合データベースでのデッドロック後に現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。」 577 ページ
-10022	「ml_subscription.progress に格納されている同期シーケンス番号は負です。この値を 0 に設定して、リモート ID '%1!s!' の同期処理を再度有効にしてください。」 520 ページ
-10023	「リモート・データベースがバックアップからリストアされたか、またはリモート ID '%1!s!' が別のリモート・データベースによって使用されている可能性があります。ml_subscription.progress を 0 に設定して、このリモート・データベースの同期処理を再度有効にしてください。」 568 ページ
-10024	「認識されないドメイン id %1!d! です。」 580 ページ
-10028	「統合データベースに接続できません。同期処理をアボートします。」 577 ページ
-10029	「NULL を使用できないカラムに NULL を設定しようとしています。」 524 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
-10030	「ネットワークの読み込みに失敗しました。リモート・クライアントからデータを読み込めません。」 559 ページ
-10031	「進行状況情報を統合データベースに格納しようとしていたときにエラーが発生しました。」 573 ページ
-10032	「クライアント・エラー %1!d! が発生し、アップロードに失敗しました。」 530 ページ
-10033	「ローが大きすぎます。サイズ (%1!d! バイト) が最大サイズ (%2!d! バイト) を超えています。」 569 ページ
-10034	「リモート・データベースからダウンロード確認がありません。」 569 ページ
-10035	「クライアント・エラー %1!d! が発生し、ダウンロードに失敗しました。」 530 ページ
-10038	「テーブル %1!s! (カラム #%2!d!) にダウンロードされた値は、リモート・スキーマ・タイプには大きすぎるか不正です。」 552 ページ
-10039	「スクリプトは NULL として定義できません。」 546 ページ
-10041	「内部エラー : BLOB の取得中に発生しました -- 読み込み」 579 ページ
-10047	「スクリプトで %1!d! パラメータを予期しましたが、%2!d! しか見つかりませんでした : %3!s!」 545 ページ
-10048	「スクリプトで最低 %1!d! のパラメータを予期しましたが、%2!d! しか見つかりませんでした : %3!s!」 545 ページ
-10050	「カーソルで %1!d! カラムを予期しましたが、%2!d! が見つかりました。」 529 ページ
-10051	「内部エラー : 誤ったファンクション '%1!s!' が呼び出されました。テクニカル・サポートに連絡してください。」 579 ページ
-10052	「%1!s! スクリプトが %2!d! を返しました。」 507 ページ
-10054	「ユーザ名 '%1!s!' を ml_user テーブルに挿入できません。」 566 ページ
-10055	「ユーザ %1!s! を認証できません。」 565 ページ
-10056	「ユーザ名 '%1!s!' が ml_user テーブルに見つかりません。」 566 ページ
-10057	「ユーザ %1!s! のパスワードは不正です。」 565 ページ
-10058	「ファイル %1!s! を開けません。」 561 ページ
-10060	「メモリの割り付けに失敗しました。」 564 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
-10061	「テーブル '%1s!' への挿入ローのアップロード中にエラーが発生しました。挿入したカラムの値は次のとおりです。」 555 ページ
-10062	「テーブル '%1s!' への削除ローのアップロード中にエラーが発生しました。削除されたカラムの値は次のとおりです。」 555 ページ
-10063	「テーブル '%1s!' への更新ローのアップロード中にエラーが発生しました。更新されたカラム値は次のとおりです。」 555 ページ
-10064	「トランザクションをロールバックできません :%1s!」 558 ページ
-10065	「トランザクションをコミットできません :%1s!-- ロールバックを試みません。」 557 ページ
-10066	「ODBC を初期化できません。」 524 ページ
-10067	「接続を割り付けることができません。」 574 ページ
-10071	「%2s! を使用してテーブル '%1s!' からフェッチできません。」 508 ページ
-10072	「%2s! を使用してテーブル '%1s!' に挿入できません。」 509 ページ
-10073	「%2s! を使用してテーブル '%1s!' から削除できません。」 508 ページ
-10074	「%2s! を使用してテーブル '%1s!' を更新できません。」 509 ページ
-10075	「必須 ODBC 関数 %1s! がドライバでサポートされていません。」 580 ページ
-10076	「Mobile Link サーバは、ml_scripts_modified テーブルを使用して統合データベースのタイムスタンプ精度を計算できませんでした。タイムスタンプ精度に関する警告は生成されません。」 522 ページ
-10077	「Mobile Link サーバは、modify_error_message スクリプトを使用してエラー・メッセージを変更できませんでした。」 522 ページ
-10081	「Mobile Link サーバの DLL または共有オブジェクトのバージョンが、データ・レイヤの DLL または共有オブジェクトのバージョンと一致しません。」 522 ページ
-10083	「ユーザ名 '%1s!' を ml_user_table から削除できません。」 567 ページ
-10084	「LANG: %1s! - データベース・ワーカ・スレッドの付加に失敗しました。」 519 ページ
-10085	「LANG: %1s! - データベース接続の割り付けに失敗しました。」 520 ページ
-10086	「DLL または共有オブジェクト '%1s!' (スクリプト言語 : %2s!) をロードできません。」 514 ページ
-10087	「DLL または共有オブジェクト ('%1s!') のバージョンの不一致。必要なバージョン : %2!d!、取得したバージョン : %3!d!」 514 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
-10088	「DLL (%1s!) からエントリ・ポイントをロードできません。」 514 ページ
-10089	「クライアントは、テーブル '%1s!' に対するトランケート要求を処理できません。」 531 ページ
-10090	「クライアントはクライアント・トランザクション・ログから統合プロセス・オフセットを見つけられません。」 532 ページ
-10091	「この接続は、以前のエラーのために中止されます。」 535 ページ
-10092	「テーブル %1s! に定義されたアップロード・データ・スクリプトがありません。アップロード・データが失われても同期処理を行う場合は、-fr コマンド・ライン・オプションを使用します。」 552 ページ
-10093	「テーブル %1s! に定義されたダウンロード・データ・スクリプトがありません。ダウンロード・データが失われても同期処理を行う場合は、-fr コマンド・ライン・オプションを使用します。」 553 ページ
-10094	「クライアントから %1!ld! 認証パラメータを予期していましたが、スクリプト %3!s! に対して %2!ld! を受信しました。」 531 ページ
-10099	「UNILIB 照合 %1!d! をロードできません : %2!s!」 524 ページ
-10100	「Mobile Link システム・テーブル '%1s!' が見つからないか、テーブル・カラムが見つかりません。」 523 ページ
-10105	「不正なストリーム指定 : %1!s!」 581 ページ
-10106	「不正なストリーム・タイプ : %1!s!」 581 ページ
-10107	「DLL または共有オブジェクトをロードできません : %1!s!」 515 ページ
-10108	「ストリーム %2!lu! の DLL または共有オブジェクト %1!s! をロードできません : %3!s!」 548 ページ
-10109	「1 つ以上のパラメータが無効なため起動できません。」 513 ページ
-10110	「通信ストリーム %1!lu! を初期化できません : %2!s!」 575 ページ
-10112	「バックグラウンド・スレッドを作成できません。」 560 ページ
-10117	「ストリーム・エラー : %1!s!」 549 ページ
-10118	「Java 例外を取得しました。タイプ : %1!s! 例外メッセージ : %2!s!」 517 ページ
-10119	「例外情報をダンプできません。例外処理中に例外を受け取りました。」 584 ページ
-10120	「%1!s! は ScriptExecutionException の認識できないサブクラスです。」 508 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
-10121	「バージョン・エラーのため Java VM をロードできません。」 559 ページ
-10122	「メモリ・エラーのため Java VM をロードできません。」 564 ページ
-10123	「不定のエラーのため Java VM をロードできません。」 582 ページ
-10124	「次の非デーモン・スレッドは破壊されました : %1!s!」 572 ページ
-10125	「スクリプト %1!s! のクラスおよびメソッド名を解析できません。」 536 ページ
-10126	「データベース・ワーカ・スレッドを Java VM に付加しているときにエラーが発生しました。」 551 ページ
-10127	「必要な Java クラス %1!s! をロードできませんでした。」 580 ページ
-10128	「Java クラス %2!s! に必要なメソッド '%1!s!' をロードできませんでした。」 517 ページ
-10130	「スクリプト '%1!s!.%2!s!' を実行するための引数が足りません。 %3!d! の引数が必要なのに対し、利用できるのは %4!d! だけです。」 543 ページ
-10131	「<void> またはオブジェクトを予期していましたが、代わりにタイプ '%1!s!' のプリミティブが返されました。」 510 ページ
-10132	「返されたクラス '%1!s!' は <code>ianywhere.ml.script.RowReader</code> または <code>java.lang.String</code> のサブクラスではありません。」 582 ページ
-10133	「解析できません。」 570 ページ
-10134	「 <code>java.lang.String</code> のインスタンスまたはサブクラスを予期していましたが、代わりにクラス '%1!s!' が見つかりました。」 518 ページ
-10135	「 <code>ianywhere.ml.script.RowReader</code> のインスタンスまたはサブクラスを予期していましたが、代わりにクラス '%1!s!' が見つかりました。」 516 ページ
-10136	「JVM 設定ファイル %1!s! 内に不正な行があります。行はすべて、「#」または「-」で始まる必要があります。」 519 ページ
-10137	「JVM 設定ファイル %1!s! 内に不正な行があります。行が長すぎます。」 519 ページ
-10138	「JVM 設定ファイル %1!s! にエントリがありません。」 518 ページ
-10139	「オプション '%1!s!' および '%2!s!' は同時に使用しないでください。」 528 ページ
-10140	「オプション '%1!s!' にはパスが必要です。」 528 ページ
-10141	「クラスパス '%1!s!' が長すぎます。」 534 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
-10142	「インストール・ディレクトリまたはクラスパス内に JAR ファイル '%1s!' が見つかりません。」 527 ページ
-10143	「共有コンポーネント・ディレクトリを見つけられません。JRE の格納場所がオプションで指定されていません。JRE がどこに格納されているかわかりません。」 571 ページ
-10144	「共有インストール・ディレクトリが不正です: %1s!」 570 ページ
-10145	「%1s! にある JRE にアクセスできません。」 507 ページ
-10146	「オプションが多すぎて、Java VM に送ることができません。」 529 ページ
-10147	「JVM 設定ファイル %1s! 内にエントリが多すぎます。」 518 ページ
-10148	「Java 例外」 517 ページ
-10149	「クラス '%1s!' のイニシャライザで例外が投げられました。エラーの説明: '%2s!' スタック・トレース: '%3s!'」 532 ページ
-10150	「クラス '%1s!' をロードしているときにリンク・エラーが発生しました。エラーの説明: '%2s!'」 534 ページ
-10151	「スクリプト・クラス '%1s!' にパブリック・メソッドがありませんでした。」 544 ページ
-10152	「スクリプトを解析できません。'%1s!' という名前の 2 つのメソッドがクラス '%2s!' 内に見つかりました。」 547 ページ
-10153	「クラス '%1s!' に適当なコンストラクタが見つかりませんでした。」 532 ページ
-10154	「クラス '%1s!' のコンストラクタで例外が投げられました。エラーの説明: '%2s!' スタック・トレース: '%3s!'」 533 ページ
-10155	「クラス '%1s!' のコンストラクタでシステム例外が投げられました。エラーの説明: '%2s!'」 533 ページ
-10156	「内部エラー: '%1s!'」 578 ページ
-10157	「タイプ '%2s!' の引数を持つメソッド '%1s!' を呼び出せませんでした。」 551 ページ
-10158	「メソッド '%1s!' で例外が投げられました。エラーの説明: '%2s!' スタック・トレース: '%3s!'」 563 ページ
-10159	「新規データベース接続を作成できません。」 573 ページ
-10160	「JDBC 接続を付加できません。」 518 ページ
-10161	「クラス '%1s!' の有効なコンストラクタが見つかりませんでした。」 534 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
-10162	「オプション '%1s!' は以前に、Mobile Link コマンド・ラインで値 '%2s!' を使用して定義されました。」 528 ページ
-10163	「オプション '%1s!' は無効であるか、Mobile Link コマンド・ラインで正しく指定されませんでした。」 529 ページ
-10164	「.NET Framework CLR バージョン %1s! をロードできません。」 511 ページ
-10165	「.NET CLR Host DLL をロードできません。」 510 ページ
-10166	「ファイル '%1s!' が見つかりません。」 561 ページ
-10167	「.NET CLR Host で予期しないエラーが発生しました。」 511 ページ
-10168	「ワーカを VM に付加できません。」 570 ページ
-10169	「ワーカを VM から分離できません。」 569 ページ
-10170	「スクリプトの実行に必要なメモリを割り付けることができません。」 546 ページ
-10171	「アセンブリ '%1s!' は、'%3s!' のバージョン %2s! に対してコンパイルされています。バージョン %4s! に対して再コンパイルしてください。」 526 ページ
-10172	「アセンブリ '%1s!' に '%2s!' が含まれていません。」 525 ページ
-10173	「スクリプト '%1s!' はタイプ '%2s!' のオブジェクトを返しますが、戻り値のタイプは 'System.Void' および 'System.String' のみがサポートされています。」 542 ページ
-10174	「.NET スクリプト VM には Mobile Link ODBC Bridge DLL のバージョン %1s! が必要ですが、バージョン %2s! が指定されています。」 511 ページ
-10175	「.NET スクリプト VM には Mobile Link Script DLL のバージョン %1s! が必要ですが、バージョン %2s! が指定されています。」 512 ページ
-10176	「.NET ドメイン設定ファイルが壊れています。」 513 ページ
-10177	「名前 '%1s!' は、有効な .NET 開始クラス名ではありません。」 583 ページ
-10178	「ドメイン '%1s!' はドメイン設定ファイルで指定されていません。」 557 ページ
-10179	「ドメイン '%1s!' にタイプ '%2s!' のアセンブリがありません。」 556 ページ
-10180	「.NET スクリプト VM をシャットダウンできません。」 512 ページ
-10181	「.NET スクリプト VM をシャットダウンできません。%1s! ワーカがまだ付加されています。」 512 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
-10182	「スクリプト '%1s!' に不正なフォーマットが使用されています。」 539 ページ
-10183	「スクリプト・バージョンごとに1つのドメインのみ使用できます。スクリプト '%2s!' がドメイン '%3s!' の使用を試みたとき、ドメイン '%1s!' は使用中でした。」 545 ページ
-10184	「スクリプト '%1s!' には %2s! パラメータが必要ですが、%3s! パラメータが指定されています。」 537 ページ
-10185	「スクリプト '%1s!' からタイプ '%2s!' のオブジェクトが返されましたが、このタイプは 'System.Void' または 'System.String' のサブタイプではありません。」 536 ページ
-10186	「スクリプト '%1s!' で同期エラーが報告されました。」 537 ページ
-10187	「.NET 開始クラス '%1s!' をロードできませんでした。」 513 ページ
-10188	「スクリプト '%1s!' でサーバ・エラーが報告されました。」 537 ページ
-10189	「スクリプト '%1s!' でエラーが発生しました。」 536 ページ
-10190	「スクリプト '%1s!' で致命的なエラーが報告されました。」 537 ページ
-10191	「.NET ドメイン設定ファイル '%1s!' が見つかりません。」 513 ページ
-10192	「ドメイン '%1s!' を作成できませんでした。」 557 ページ
-10193	「アセンブリ '%1s!' をドメイン '%2s!' にロードできません。」 526 ページ
-10194	「MLDBCommand.Close() を呼び出してから、SQL 文 '%1s!' を実行しようとしてしました。」 521 ページ
-10195	「Null SQL 文を作成しようとしてしました。MLDBCommand.CommandText の値を設定してから MLDBCommand.Prepare() を呼び出してください。」 523 ページ
-10196	「Null SQL 文を実行しようとしてしました。MLDBCommand.CommandText の値を設定してから MLDBCommand.Execute メソッドを呼び出してください。」 523 ページ
-10197	「MLDBCommand.Close() を呼び出してから、SQL 文 '%1s!' を実行しようとしてしました。」 521 ページ
-10198	「作成された SQL 文 '%1s!' には %2s! パラメータが必要ですが、パラメータ %3s! が指定されていません。」 572 ページ
-10199	「バウンド・パラメータを持つ SQL 文を実行してから MLDBCommand.Prepare() を呼び出してください。」 560 ページ
-10200	「作成された SQL 文 '%1s!' には %2s! パラメータが必要ですが、パラメータ %3s! が指定されています。」 571 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
-10201	「パラメータ %1!s! のバインドには、タイプ '%2!s!' の値が必要ですが、'%3!s!' が指定されました。」 560 ページ
-10202	「この接続のトランザクションは、コミットまたはロール・バックできません。」 535 ページ
-10203	「無効なハンドルを持つ接続を使用しようとしてしました。」 582 ページ
-10204	「スクリプト '%1!s!' は、'%2!s!' のメンバですが、スクリプト・バージョンでは %3!s! クラスのみ許可されています。」 540 ページ
-10205	「スクリプト '%1!s!' を実行できません。」 543 ページ
-10206	「'%1!s!'」 509 ページ
-10207	「認識されないイベント名 : %1!s!」 579 ページ
-10209	「Java VM 共有ライブラリをロードできません。共有ライブラリのパスおよび LD_PRELOAD が正しく設定されており、ダイナミック・ローダのバージョンでサポートされていることを確認してください。」 516 ページ
-10211	「テーブル %1!s!(カラム #%2!ld!) にダウンロードされた値に、変換できない文字が含まれています。」 553 ページ
-10212	「テンポラリ・ファイル '%1!s!' を開けません。」 556 ページ
-10213	「文字列 %1!s! を数値に変換できません。」 582 ページ
-10214	「!1!s! スクリプトから不正な戻り値 (%2!ld!) が返されました。デフォルトのアクション・コード (%3!ld!) を使用します。」 507 ページ
-10215	「不正なパラメータ '%1!s!' です。」 581 ページ
-10216	「テーブル %1!s! (カラム #%2!ld!) にダウンロードされた値は、無効なユニーク識別子の文字列です。」 552 ページ
-10217	「ストリーム %2!d! の無効なストリーム・パラメータ %1!s! : %3!s!」 548 ページ
-10218	「ストリーム %3!d! の無効な値 %1!s! のストリーム・パラメータ %2!s! : %4!s!」 549 ページ
-10219	「ストリーム %2!d! のストリーム・パラメータ %1!s! の無効なコンテキスト : %3!s!」 547 ページ
-10220	「upload_fetch または upload_fetch_columns スクリプトのいずれか 1 つしかテーブル '%1!s!' に定義できません。」 525 ページ
-10221	「DownloadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。」 515 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
-10222	「UploadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。」 525 ページ
-10223	「handle UploadData イベント・スクリプトを void にするか、null を返す必要があります。」 515 ページ
-10224	「テーブル '%1s!' には BLOB が含まれているため、カラム・レベルの競合を検出することはできません。」 554 ページ
-10225	「ユーザが指定したコードをサーバで実行中にエラーが発生しました。」 566 ページ
-10226	「スクリプト '%1s!' のパラメータ名が無効です (名前が短すぎるか長すぎます)。」 540 ページ
-10227	「スクリプト '%2s!' のシステム・パラメータ '%1s!' が不明です。」 544 ページ
-10228	「スクリプト '%2s!' のシステム・パラメータ '%1s!' が無効です。」 544 ページ
-10229	「システム・パラメータ %1s! に NULL が設定されています。」 535 ページ
-10230	「パラメータ %1d! に NULL が設定されています。」 560 ページ
-10231	「スクリプト '%1s!' はロー・データを処理できません。」 543 ページ
-10232	「名前付きロー・パラメータを使用するには、カラム名が ml_column テーブルで設定されている必要があります。」 583 ページ
-10233	「テーブル '%1s!' には '%2s!' という名前のカラムがありません。」 554 ページ
-10234	「スクリプト '%1s!' はプレイメージのロー・データを処理できません。」 542 ページ
-10235	「スクリプト '%1s!' には、無効な文字を含む名前付きパラメータが含まれています。」 539 ページ
-10236	「スクリプト '%1s!' には、名前付きパラメータを使用するための無効な構文が含まれています。」 539 ページ
-10237	「スクリプト '%1s!' は、入出力パラメータ '%2s!' を 2 回以上参照しています。」 541 ページ
-10238	「リモート ID '%1s!' で識別されるリモート・データベースはすでに同期しています。同じリモート ID を使用した同時同期処理は実行できません。」 568 ページ
-10239	「スクリプト '%1s!' には、無効なパラメータ参照が含まれています : '%2!d!'」 538 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
-10240	「スクリプト '%1s!' には、無効なユーザ・パラメータが含まれています : '%2s!'」 538 ページ
-10241	「スクリプト '%1s!' は、テーブル '%2s!' のカラム %3d! を参照していますが、テーブルには %4d! カラムしかありません。」 540 ページ
-10242	「スクリプト '%1s!' は、認証パラメータ %2!d! を参照していますが、%3!d! しかありません。」 541 ページ
-10243	「スクリプト '%1s!' は、不明な認証パラメータ '%2!s!' を参照していません。」 541 ページ
-10244	「Mobile Link サーバでエラーが発生したため、同期がアボートされました。」 521 ページ
-10245	「アップロード・テーブル %1s!(カラム #%2!d!) にはデータ型 '%3!s!' がありますが、ODBC ドライバは '%4!s!' をサポートしていません。」 526 ページ
-10246	「統合データベースでのスナップショット・アイソレーションで競合する更新を検出後に、現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。」 577 ページ
-10247	「スナップショットにトランザクションの独立性レベルを設定できません。」 549 ページ
-10248	「カーソルベースのアップロードはサポートされなくなりました。ステートメントベースのアップロードを行うようにテーブル %1s! のスクリプトを変更してください。」 530 ページ
-10249	「ファイル転送のルート・ディレクトリ '%1s!' が見つかりませんでした。」 562 ページ
-10250	「要求ファイルを転送できませんでした。転送ルートが設定されていません。」 583 ページ
-10251	「ユーザ '%2!s!' の要求ファイル '%1!s!' が見つかりませんでした。」 565 ページ
-10252	「転送用にファイル '%1!s!' を開けませんでした。」 576 ページ
-10253	「転送用にファイル '%1!s!' を読み込めませんでした。」 576 ページ
-10254	「スクリプトのバージョン '%1!s!' を追加できませんでした。」 546 ページ
-10255	「再起動可能な同期を開始できません。」 571 ページ
-10256	「同じリモート ID を持つ、新しい同期 <%1!d!> のために、この同期はキャンセルされました。」 578 ページ
-10257	「同じリモート ID を持つ、既存の同期 <%1!d!> のために、この同期は一時停止されました。」 578 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
-10258	「I/O 完了ポートを作成できません。」 516 ページ
-10259	「ネットワーク・アドレス '%!s!' はローカルのアドレスではありません。」 558 ページ
-10260	「リスナ・ソケットを作成できません (エラー: '%!d!')。」 567 ページ
-10261	「リスナ・ソケットをポートにバインドできません (エラー: '%!d!')。」 567 ページ
-10262	「ポートで受信できません。」 563 ページ
-10263	「ソケットを完了ポートに関連付けられませんでした。」 550 ページ
-10264	「接続ソケットを作成できません。」 574 ページ
-10265	「接続の受け入れを開始できません (エラー: '%!d!')。」 574 ページ
-10266	「ソケット '%!d!' でハード・クローズを実行できません。」 550 ページ
-10267	「ソケット削除要求を完了キューに通知できません。」 551 ページ
-10268	「受信ソケットでハード・クローズを実行できません。」 573 ページ
-10269	「リスナ削除要求を完了キューに通知できません。」 567 ページ
-10270	「完了ポートで待機できません。」 570 ページ
-10271	「ソケットを閉じられませんか。」 551 ページ
-10272	「ソケット・セレクトタ通知の UNIX パイプを作成できません。」 550 ページ
-10273	「アドレスを再利用できません。」 527 ページ
-10274	「ソケットをポーリングできません。」 550 ページ
-10275	「通知できません。」 575 ページ
-10276	「受信接続を受け入れられません。」 573 ページ
-10277	「通知パイプからの読み込み中にエラーが発生しました。」 575 ページ
-10278	「通知パイプでエラーが発生しました。」 575 ページ
-10279	「ネットワークの状態が不十分なため、接続が切断されました。」 558 ページ
-10280	「クライアント・テーブル '%!s!' のカラム数が ml_column で定義された値と一致していません。」 531 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
-10281	「テーブル '%1s!' で、ml_column テーブルでのカラム名が '%2s!' であるカラムのインデックスが、リモート・カラムの数よりも大きくなっています。」 554 ページ
-10282	「共有メモリ・ファイルを作成できません。」 571 ページ
-10283	「ホスト名 '%1s!' を解決できません (エラー: '%2d!')。」 563 ページ

五十音順のエラー・メッセージ・リスト

!1!s! スクリプトから不正な戻り値 (%2!ld!) が返されました。デフォルトのアクション・コード (%3!ld!) を使用します。

項目	値
定数	ERROR_HANDLER_BAD_RETURN
エラー・コード	-10214
パラメータ 1	不正な値を返すスクリプトの名前
パラメータ 2	スクリプトから返されたアクションの値
パラメータ 3	使用されるアクションの値

考えられる原因

呼び出されたエラー・ハンドラのスクリプトが許容値の範囲外の値を返しました。デフォルト値が使用されます。

%1!s! スクリプトが %2!ld! を返しました。

項目	値
定数	GENERIC_ERROR_HANDLER_RETURN
エラー・コード	-10052
パラメータ 1	ユーザ認証スクリプト名
パラメータ 2	スクリプトの戻り値

考えられる原因

ユーザ認証スクリプトが 3000 より大きな値を返しました。

%1!s! にある JRE にアクセスできません。

項目	値
定数	EL_JAVA_JRE_PATH_INCORRECT
エラー・コード	-10145
パラメータ 1	JRE のパス

考えられる原因

-jrepath オプションの引数を修正して、Mobile Link が必要な Java 仮想マシンをロードできるようにしてください。

%1!s! は ScriptExecutionException の認識できないサブクラスです。

項目	値
定数	EL_JAVA_UNKNOWN_SCRIPTEXECUTIONEXCEPTION
エラー・コード	-10120
パラメータ 1	クラス名

考えられる原因

指定したクラス名は、ScriptExecutionException の認識できないサブクラスです。指定できるサブクラス名には 'SynchronizationException' と 'ServerException' があります。

%2!s! を使用してテーブル '%1!s!' からフェッチできません。

項目	値
定数	FETCH_FROM
エラー・コード	-10071
パラメータ 1	テーブル名
パラメータ 2	スクリプト名

考えられる原因

Mobile Link サーバが統合データベースの指定されたテーブルからローを検索しているときに、エラーが発生しました。

%2!s! を使用してテーブル '%1!s!' から削除できません。

項目	値
定数	DELETE_FROM
エラー・コード	-10073
パラメータ 1	テーブル名
パラメータ 2	スクリプト名

考えられる原因

Mobile Link サーバが統合データベースの指定されたテーブルからローを削除しているときに、エラーが発生しました。

%2!s! を使用してテーブル '%1!s!' に挿入できません。

項目	値
定数	INSERT_INT0
エラー・コード	-10072
パラメータ 1	テーブル名
パラメータ 2	スクリプト名

考えられる原因

Mobile Link サーバが統合データベースの指定されたテーブルにローを挿入しているときに、エラーが発生しました。

%2!s! を使用してテーブル '%1!s!' を更新できません。

項目	値
定数	UPDATE
エラー・コード	-10074
パラメータ 1	テーブル名
パラメータ 2	スクリプト名

考えられる原因

Mobile Link サーバが統合データベースの指定されたテーブルに対してローを更新しているときに、エラーが発生しました。

'%1!s!'

項目	値
定数	EL_DNET_WRITE_STREAM_ERROR
エラー・コード	-10206
パラメータ 1	エラー・メッセージ

考えられる原因

.Net CLR、または同期中に呼び出されたメソッドによって生成される一般エラー・メッセージです。

'%1!s!' を Unicode に変換できません。

項目	値
定数	ERROR_CANNOT_CONVERT_TO_UNICODE
エラー・コード	-10016
パラメータ 1	変換される文字列

考えられる原因

Mobile Link サーバは、Unilib を使用して指定された文字列をユニコードに変換できませんでした。

<void> またはオブジェクトを予期していましたが、代わりにタイプ '%1!s!' のプリミティブが返されました。

項目	値
定数	EL_JAVA_EXPECTED_RETURN_OBJECT
エラー・コード	-10131
パラメータ 1	クラス名

考えられる原因

Java 同期論理を実装するメソッドは、<void> またはオブジェクトを返す必要があります。

.NET CLR Host DLL をロードできません。

項目	値
定数	EL_DNET_HOST_LOAD_FAIL
エラー・コード	-10165

考えられる原因

.NET CLR はロードを拒否しました。.NET CLR ユーティリティを使用してバインドとロードのログを記録して、問題を特定してください。

.NET CLR Host で予期しないエラーが発生しました。

項目	値
定数	EL_DNET_SERVER_ERROR_FAIL
エラー・コード	-10167

考えられる原因

Mobile Link は、ルーチン .NET 呼び出しの実行時にエラーを受け取りました。使用している .NET のインストール環境を確認してください。

.NET Framework CLR バージョン %1!s! をロードできません。

項目	値
定数	EL_DNET_CLR_LOAD_FAIL
エラー・コード	-10164
パラメータ 1	CLR バージョン

考えられる原因

この CLR バージョンがインストールされていることを確認してください。

.NET スクリプト VM には Mobile Link ODBC Bridge DLL のバージョン %1!s! が必要ですが、バージョン %2!s! が指定されています。

項目	値
定数	EL_DNET_ODBC_VER_MISMATCH
エラー・コード	-10174
パラメータ 1	必要なバージョン
パラメータ 2	指定したバージョン

考えられる原因

おそらくインストールの問題です。保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

.NET スクリプト VM には Mobile Link Script DLL のバージョン %1!s! が必要ですが、バージョン %2!s! が指定されています。

項目	値
定数	EL_DNET_SCRIPT_DLL_VER_MISMATCH
エラー・コード	-10175
パラメータ 1	必要なバージョン
パラメータ 2	指定したバージョン

考えられる原因

おそらくインストールの問題です。保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

.NET スクリプト VM をシャットダウンできません。

項目	値
定数	EL_DNET_VM_FINI_FAIL
エラー・コード	-10180

考えられる原因

Mobile Link サーバで .NET スクリプト VM を停止できませんでした。起動クラスによって実行されたシャットダウン処理が正常に完了しない可能性があります。

.NET スクリプト VM をシャットダウンできません。%1!s! ワーカーがまだ付加されています。

項目	値
定数	EL_DNET_WORKERS_NOT_DETACHED
エラー・コード	-10181
パラメータ 1	ワーカー・スレッドの数

考えられる原因

ワーカー・スレッドがまだ付加されているので、Mobile Link サーバで .NET スクリプト VM を停止できませんでした。シャットダウンに従っていないか、シャットダウンへの応答を遅らせている起動クラスがある可能性があります。

.NET ドメイン設定ファイル '%1s!' が見つかりません。

項目	値
定数	EL_DNET_DOMAIN_CONFIG_FILE_MISSING
エラー・コード	-10191
パラメータ 1	ファイル名

考えられる原因

指定されたドメイン設定ファイルが見つかりません。ファイルの場所と設定ファイルの設定を確認してください。

.NET ドメイン設定ファイルが壊れています。

項目	値
定数	EL_DNET_DOMAIN_CONFIG_FILE_CORRUPT
エラー・コード	-10176

考えられる原因

.NET 設定ファイルの内容にエラーがないか確認してください。

.NET 開始クラス '%1s!' をロードできませんでした。

項目	値
定数	EL_DNET_STARTCLASS_LOAD_FAIL
エラー・コード	-10187
パラメータ 1	クラス名

考えられる原因

Mobile Link サーバで、起動時にこのクラスをロードできませんでした。

1 つ以上のパラメータが無効なため起動できません。

項目	値
定数	NETIO_INVALID_PARAMETERS
エラー・コード	-10109

考えられる原因

コマンド・ライン・パラメータが無効であるため、アプリケーションを起動できませんでした。
マニュアルでアプリケーションのコマンド・ラインに関する説明を参照してください。

DLL ("%1s!") からエントリ・ポイントをロードできません。

項目	値
定数	EL_UNABLE_TO_LOAD_ENTRY_POINTS
エラー・コード	-10088
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前

考えられる原因

使用している Mobile Link サーバのインストール環境を確認してください。

DLL または共有オブジェクト "%1s!" (スクリプト言語 : "%2s!") をロードできません。

項目	値
定数	EL_UNABLE_TO_LOAD_LANG_DLL
エラー・コード	-10086
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前
パラメータ 2	スクリプト言語名

考えられる原因

スクリプト言語が有効であることを確認してください。現在のところ、Mobile Link サーバがサポートするスクリプト言語は、SQL (sql)、Java (java)、.NET (dnet) です。

DLL または共有オブジェクト ("%1s!") のバージョンの不一致。必要なバージョン : %2!d!、取得したバージョン : %3!d!

項目	値
定数	EL_WRONG_LANG_DLL_VERSION
エラー・コード	-10087
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前

項目	値
パラメータ 2	必要なバージョン番号
パラメータ 3	指定したバージョン番号

考えられる原因

使用している Mobile Link サーバのインストール環境を確認してください。

DLL または共有オブジェクトをロードできません : %!s!

項目	値
定数	CANNOT_LOAD_DLL
エラー・コード	-10107
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前

考えられる原因

この DLL または共有オブジェクトをロードできませんでした。正しいバージョンの DLL または共有オブジェクトが正しいロケーションにあることを確認してください。

DownloadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。

項目	値
定数	EL_JAVA_FAILED_ALLOC_DOWNLOAD_DATA
エラー・コード	-10221

考えられる原因

JAVA VM がメモリ不足です。Java VM に使用できるメモリ容量を増やしてみてください。

handle_UploadData イベント・スクリプトを void にするか、null を返す必要があります。

項目	値
定数	HANDLE_UPLOAD_DATA_SHOULD_BE_VOID
エラー・コード	-10223

考えられる原因

この `handle_UploadData` スクリプトを書き直し、戻り値のタイプを `void` にするか、戻り値を `null` にしてください。

I/O 完了ポートを作成できません。

項目	値
定数	CANNOT_CREATE_COMPLETION_PORT
エラー・コード	-10258

ianywhere.ml.script.RowReader のインスタンスまたはサブクラスを予期していましたが、代わりにクラス '%1!s!' が見つかりました。

項目	値
定数	EL_JAVA_EXPECTED_ROWREADER
エラー・コード	-10135
パラメータ 1	クラス名

Java VM 共有ライブラリをロードできません。共有ライブラリのパスおよび LD_PRELOAD が正しく設定されており、ダイナミック・ローダのバージョンでサポートされていることを確認してください。

項目	値
定数	EL_JAVA_VM_HP_ERROR
エラー・コード	-10209

考えられる原因

Mobile Link サーバで Java VM 共有ライブラリをロードできませんでした。Java VM 共有ライブラリがインストールされ、パスが正しく設定されているか、また LD_PRELOAD が正しく設定され、使用しているダイナミック・ローダのバージョンでサポートされているか確認してください。

Java クラス %2!s! に必要なメソッド '%1!s!' をロードできませんでした。

項目	値
定数	EL_JAVA_BOOT_CLASS_METH_LOAD_ERR
エラー・コード	-10128
パラメータ 1	メソッド名
パラメータ 2	クラス名

考えられる原因

これは内部の起動エラーです。保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

Java 例外

項目	値
定数	EL_JAVA_EXCEPTION
エラー・コード	-10148

Java 例外を取得しました。タイプ : %1!s!例外メッセージ : %2!s!

項目	値
定数	EL_JAVA_CAUGHT_JAVA_EXCEPTION_WITH_TYPE
エラー・コード	-10118
パラメータ 1	クラス名
パラメータ 2	エラー・メッセージ

考えられる原因

Java スクリプトが原因で例外が発生しました。例外の原因となった問題を解決するか、コードを変更して例外を回避してください。

java.lang.String のインスタンスまたはサブクラスを予期していましたが、代わりにクラス '%1s!' が見つかりました。

項目	値
定数	EL_JAVA_EXPECTED_STRING
エラー・コード	-10134
パラメータ 1	クラス名

考えられる原因

SQL スクリプトを返す Java 同期論理を実装するメソッドは、java.lang.String オブジェクトまたはサブクラスを返す必要があります。

JDBC 接続を付加できません。

項目	値
定数	EL_JAVA_JDBC_UNABLE_TO_ATTACH
エラー・コード	-10160

考えられる原因

JDBC 接続を作成するために ODBC 接続をラップできませんでした。

JVM 設定ファイル %1s! にエントリがありません。

項目	値
定数	EL_JAVA_NO_ENTRIES_IN_JVM_CFG
エラー・コード	-10138
パラメータ 1	設定ファイル名

考えられる原因

jvm.cfg ファイルが見つかった場合は、1 行以上あることが予期されます。jvm.cfg を削除するか設定してください。

JVM 設定ファイル %1s! 内にエントリが多すぎます。

項目	値
定数	EL_JAVA_TOO_MANY_ENTRIES_IN_JVM_CFG

項目	値
エラー・コード	-10147
パラメータ 1	設定ファイル

考えられる原因

jvm.cfg が破損している可能性があります。jvm.cfg ファイルの内容を確認してください。

JVM 設定ファイル %1!s! 内に不正な行があります。行が長すぎます。

項目	値
定数	EL_JAVA_LINE_TOO_LONG_IN_JVM_CFG
エラー・コード	-10137
パラメータ 1	設定ファイル名

考えられる原因

jvm.cfg 設定ファイルを解析できませんでした。行が最大長を超えています。このファイルの内容が有効であることを確認してください。

JVM 設定ファイル %1!s! 内に不正な行があります。行はすべて、「#」または「-」で始まる必要があります。

項目	値
定数	EL_JAVA_INVALID_LINE_IN_JVM_CFG
エラー・コード	-10136
パラメータ 1	設定ファイル名

考えられる原因

jvm.cfg 設定ファイルを解析できませんでした。このファイルの内容が有効であることを確認してください。

LANG: %1!s! - データベース・ワーカ・スレッドの付加に失敗しました。

項目	値
定数	EL_FAILED_TO_ATTACH_THREAD
エラー・コード	-10084

項目	値
パラメータ 1	スクリプト言語の名前

考えられる原因

Mobile Link サーバのデータベース・ワーカ・スレッドが、指定されたスクリプト言語を処理するのに使用される DLL または共有オブジェクトにスレッド自身を付加できませんでした。Mobile Link サーバのインストール環境に、必要な DLL または共有オブジェクトがすべて含まれていることを確認してください。

LANG: %!s! - データベース接続の割り付けに失敗しました。

項目	値
定数	EL_FAILED_TO_ALLOCATE_CONNECTION
エラー・コード	-10085
パラメータ 1	スクリプト言語の名前

考えられる原因

データベース・サーバに接続できませんでした。

ml_subscription.progress に格納されている同期シーケンス番号は負です。この値を 0 に設定して、リモート ID '%!s!' の同期処理を再度有効にしてください。

項目	値
定数	NEGATIVE_SEQUENCE_NUMBER_IN_CONSOLIDATED
エラー・コード	-10022
パラメータ 1	リモート ID

考えられる原因

統合データベースの ml_subscription テーブルに格納されているシーケンス番号が負の値です。この番号は、Mobile Link サーバによって管理されています。ほとんどの場合、この番号を直接修正しないでください。

MLDBCommand.Close() を呼び出してから、SQL 文 '%1s!' を実行しようとした。

項目	値
定数	EL_DNET_NO_EXECUTE_ON_CLOSED
エラー・コード	-10197
パラメータ 1	SQL 文

考えられる原因

データベース接続が閉じているときに SQL 文が実行されています。データベース接続が開いていることを確認してから、文を実行してください。

MLDBCommand.Close() を呼び出してから、SQL 文 '%1s!' を実行しようとした。

項目	値
定数	EL_DNET_NO_PREPARE_ON_CLOSED
エラー・コード	-10194
パラメータ 1	SQL 文

考えられる原因

データベース接続が閉じているときに SQL 文が準備されています。データベース接続が開いていることを確認してから、文を準備してください。

Mobile Link サーバでエラーが発生したため、同期がアボートされました。

項目	値
定数	DEFAULT_SERVER_ERROR
エラー・コード	-10244

考えられる原因

Mobile Link サーバでエラーが発生しました。このエラーの詳細については、Mobile Link サーバの出力ファイルを参照してください。

Mobile Link サーバの DLL または共有オブジェクトのバージョンが、データ・レイヤの DLL または共有オブジェクトのバージョンと一致しません。

項目	値
定数	DL_VERSION_MISMATCH
エラー・コード	-10081

考えられる原因

アップロード・データとダウンロード・データを処理する Mobile Link サーバの DLL または共有オブジェクトが、データベースと対話するために使用されるデータ・レイヤ DLL または共有オブジェクト (ODBC) のバージョンと一貫性がありません。使用している Mobile Link サーバのインストール環境を確認してください。

Mobile Link サーバは、ml_scripts_modified テーブルを使用して統合データベースのタイムスタンプ精度を計算できませんでした。タイムスタンプ精度に関する警告は生成されません。

項目	値
定数	UNKNOWN_CONSOLIDATED_TIMESTAMP_PRECISION
エラー・コード	-10076

Mobile Link サーバは、modify_error_message スクリプトを使用してエラー・メッセージを変更できませんでした。

項目	値
定数	ERROR_MODIFY_ERROR_MSG_SCRIPT
エラー・コード	-10077

考えられる原因

同期中にエラーが発生しましたが、Mobile Link サーバは指定されたスクリプトを使用してエラー・メッセージを修正できませんでした。modify_error_message スクリプトを確認してください。

Mobile Link システム・テーブル '%1!s!' が見つからないか、テーブル・カラムが見つかりません。

項目	値
定数	ML_TABLE_OR_COLUMN_MISSING
エラー・コード	-10100
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

統合データベースにテーブルまたはテーブル・カラムが見つかりません。Mobile Link テーブルがインストールされていないか、アップグレードが必要です。

Null SQL 文を作成しようとしてしました。MLDBCommand.CommandText の値を設定してから MLDBCommand.Prepare() を呼び出してください。

項目	値
定数	EL_DNET_NO_PREPARE_ON_NULL
エラー・コード	-10195

考えられる原因

null の SQL 文が準備されています。SQL 文が null ではないことを確認してから、準備してください。

Null SQL 文を実行しようとしてしました。MLDBCommand.CommandText の値を設定してから MLDBCommand.Execute メソッドを呼び出してください。

項目	値
定数	EL_DNET_NO_EXECUTE_ON_NULL
エラー・コード	-10196

考えられる原因

null の SQL 文が実行されています。SQL 文が null ではないことを確認してから、実行してください。

NULL を使用できないカラムに NULL を設定しようとしています。

項目	値
定数	NULL_FOR_NONNULL
エラー・コード	-10029

考えられる原因

Mobile Link サーバが、null 入力が必要なカラムに null をダウンロードしようとした。

ODBC を初期化できません。

項目	値
定数	ODBC_UNABLE_TO_INITIALIZE
エラー・コード	-10066

考えられる原因

Mobile Link サーバが、ODBC レイヤを初期化できませんでした。Mobile Link サーバを起動するのに十分なメモリがあることを確認し、推奨された ODBC ドライバで Mobile Link サーバを起動してください。

UNILIB 照合 %1!d! をロードできません : %2!s!

項目	値
定数	UNABLE_TO_LOAD_CID2
エラー・コード	-10099
パラメータ 1	Unilib 文字セット ID
パラメータ 2	Unilib エラー文字列

考えられる原因

Mobile Link サーバが Unilib コンバータを初期化できません。インストールが破損しているか、必要な照合が使用不可です。

upload_fetch または upload_fetch_columns スクリプトのいずれか 1 つしかテーブル '%1s!' に定義できません。

項目	値
定数	MULTIPLE_UPLOAD_FETCH_SCRIPTS
エラー・コード	-10220
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

Mobile Link サーバでは、これらのいずれか 1 つのスクリプトを使用して競合が検出されます。いずれか 1 つのスクリプトだけを定義してください。

UploadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。

項目	値
定数	EL_JAVA_FAILED_ALLOC_UPLOADED_TRANSACTION
エラー・コード	-10222

考えられる原因

JAVA VM がメモリ不足です。Java VM に使用できるメモリ容量を増やしてみてください。

アセンブリ '%1s!' に '%2s!' が含まれていません。

項目	値
定数	EL_DNET_SCRIPT_NOT_IN_ASM
エラー・コード	-10172
パラメータ 1	アセンブリ名
パラメータ 2	見つからないメソッド名

考えられる原因

メソッドは実装されているが、名前が間違っている場合は、名前を変更してください。メソッドがない場合は、アセンブリにメソッドを追加する必要があります。

アセンブリ '%1s!' は、'%3s!' のバージョン %2s! に対してコンパイルされていません。バージョン %4s! に対して再コンパイルしてください。

項目	値
定数	EL_DNET_SCRIPT_VER_MISMATCH
エラー・コード	-10171
パラメータ 1	アセンブリ名
パラメータ 2	アセンブリのバージョン
パラメータ 3	DLL 名
パラメータ 4	必要なアセンブリのバージョン

考えられる原因

表示されたバージョンの不一致を修正してから再実行してください。

アセンブリ '%1s!' をドメイン '%2s!' にロードできません。

項目	値
定数	EL_DNET_ASM_LOAD_FAIL
エラー・コード	-10193
パラメータ 1	アセンブリ名
パラメータ 2	ドメイン名

考えられる原因

指定されたアセンブリをロードできませんでした。.NET CLR ユーティリティを使用してバインドとロードのログを記録して、問題を特定してください。

アップロード・テーブル %1s!(カラム #%2!d!) にはデータ型 '%3s!' がありますが、ODBC ドライバは '%4s!' をサポートしていません。

項目	値
定数	DATATYPE_NOT_SUPPORTED_BY_DRIVER
エラー・コード	-10245
パラメータ 1	テーブル名

項目	値
パラメータ 2	カラムのインデックス
パラメータ 3	SQL Anywhere データ型
パラメータ 4	ODBC データ型

考えられる原因

アップロード・テーブルに、ODBC ドライバでサポートされていないデータ型のカラムがあります。Mobile Link サーバで、推奨される ODBC ドライバを使用していることを確認してください。

アドレスを再利用できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_REUSE_ADDRESS
エラー・コード	-10273

インストール・ディレクトリまたはクラスパス内に JAR ファイル '%!s!' が見つかりません。

項目	値
定数	EL_JAVA_JAR_NOT_FOUND
エラー・コード	-10142
パラメータ 1	JAR ファイル名

考えられる原因

見つからない JAR ファイルをインストールしてください。

エラーなし、または不明なエラー

項目	値
定数	NONE
エラー・コード	0

考えられる原因

このコードは、エラーが発生しなかったか、未知のエラーが発生したことを示します。Mobile Link サーバは、エラー番号を割り当てませんでした。

オプション '%1!s!' および '%2!s!' は同時に使用しないでください。

項目	値
定数	EL_JAVA_EXCLUSIVE_FLAGS
エラー・コード	-10139
パラメータ 1	オプション名
パラメータ 2	オプション名

考えられる原因

いずれか一方のオプションを使用するか、両方とも使用しないことを検討してください。両方とも使用することはできません。

オプション '%1!s!' にはパスが必要です。

項目	値
定数	EL_JAVA_FLAG_NEEDS_PATH
エラー・コード	-10140
パラメータ 1	オプション名

考えられる原因

このオプションに続いてパスを指定する必要があります。

オプション '%1!s!' は以前に、Mobile Link コマンド・ラインで値 '%2!s!' を使用して定義されました。

項目	値
定数	EL_DNET_OPTION_DEFINED
エラー・コード	-10162
パラメータ 1	オプションの名前
パラメータ 2	余分なオプションの値

考えられる原因

指定したオプションは、複数回指定できません。

オプション '%1s!' は無効であるか、Mobile Link コマンド・ラインで正しく指定されませんでした。

項目	値
定数	EL_DNET_INVALID_OPTION
エラー・コード	-10163
パラメータ 1	オプションの名前

考えられる原因

オプションの指定方法が間違っています。

オプションが多すぎて、Java VM に送ることができません。

項目	値
定数	EL_JAVA_TOO_MANY_OPTIONS
エラー・コード	-10146

考えられる原因

Java VM に渡されたオプションの数が多すぎます。コマンド・ライン引数の数を減らしてください。

カーソルで %1!ld! カラムを予期しましたが、%2!ld! が見つかりました。

項目	値
定数	ODBC_WRONG_NUM_COLUMNS
エラー・コード	-10050
パラメータ 1	想定されていたカラム数
パラメータ 2	見つかったカラム数

考えられる原因

アップロード・スクリプトまたはダウンロード・スクリプトで検出されたパラメータの数が、指定されたテーブルに対するカラム数またはプライマリ・キー・カラム数と一致しません。指定されたスクリプトに対するパラメータの数を確認してください。

カーソルベースのアップロードはサポートされなくなりました。ステートメントベースのアップロードを行うようにテーブル %1!s! のスクリプトを変更してください。

項目	値
定数	CURSORED_UPLOAD_NOT_SUPPORTED
エラー・コード	-10248
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

Mobile Link サーバでカーソルベースのアップロードがサポートされなくなりました。文ベースのアップロードを使用するようにアップロード・テーブル・スクリプトを書き直してください。

クライアント・エラー %1!d! が発生し、アップロードに失敗しました。

項目	値
定数	UPLOAD_FAILED
エラー・コード	-10032
パラメータ 1	クライアントが送信したエラー番号

考えられる原因

クライアントがアップロード中にリモート・サイトに問題があることを示したので、Mobile Link サーバは同期をアボートしました。

クライアント・エラー %1!d! が発生し、ダウンロードに失敗しました。

項目	値
定数	DOWNLOAD_FAILED_WITH_ERROR
エラー・コード	-10035
パラメータ 1	クライアントが送信したエラー番号

考えられる原因

クライアントがダウンロード中にリモート・サイトに問題があることを示した場合、Mobile Link サーバは同期をアボートします。

クライアント・テーブル '%1!s!' のカラム数が ml_column で定義された値と一致していません。

項目	値
定数	INVALID_NUMBER_OF_CLIENT_COLUMNS
エラー・コード	-10280
パラメータ 1	テーブルの名前

考えられる原因

クライアントからテーブルに対して送信されたカラムの数が ml_column で定義された数よりも多くなっています。ml_column が最新の状態であることを確認してください。

クライアントから %1!ld! 認証パラメータを予期していましたが、スクリプト %3!s! に対して %2!ld! を受信しました。

項目	値
定数	WRONG_AUTH_PARM_COUNT
エラー・コード	-10094
パラメータ 1	想定されていたパラメータ数
パラメータ 2	クライアントから渡されたパラメータ数
パラメータ 3	パラメータが必要なスクリプト

考えられる原因

クライアントから受信した認証パラメータの数が、予期した数と一致しません。クライアント・パラメータの数は、authenticate_parameters スクリプトが要求する数より 2 小さい数です。

クライアントは、テーブル '%1!s!' に対するトランケート要求を処理できません。

項目	値
定数	CLIENT_TOO_OLD_FOR_TRUNCATE
エラー・コード	-10089
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

download_delete_cursor スクリプトが、テーブルをトランケートすることを要求しています。このアクションを処理するには、クライアントを新しいバージョンに更新する必要があります。

クライアントはクライアント・トランザクション・ログから統合プロセス・オフセットを見つけられません。

項目	値
定数	CANNOT_FIND_PROG_OFFSET
エラー・コード	-10090

考えられる原因

統合データベースとリモート・データベースで進行オフセットが異なっていると、Mobile Link サーバは統合データベースからの進行オフセットを使用して再度同期をやり直すよう、クライアントに依頼する場合があります。しかし、古いトランザクション・ログが削除されたか、要求されたオフセットがまだ作成されていないため、要求された統合進行オフセットをリモート・データベースのトランザクション・ログで検出できません。この問題の原因となったソースを発見し、-ra または -rb オプションを使用して dbmlsync を再実行してください。

クラス '%1!s!' に適当なコンストラクタが見つかりませんでした。

項目	値
定数	EL_JAVA_NO_SUITABLE_CONSTRUCTOR
エラー・コード	-10153
パラメータ 1	クラス名

考えられる原因

インスタンスを作成するために Mobile Link が呼び出しできるパブリック・コンストラクタがユーザ指定クラスにあることを確認してください。

クラス '%1!s!' のイニシャライザで例外が投げられました。エラーの説明 : '%2!s!' スタック・トレース : '%3!s!'

項目	値
定数	EL_JAVA_USER_EXCEPTION_IN_INIT
エラー・コード	-10149

項目	値
パラメータ 1	クラス名
パラメータ 2	エラー・テキスト
パラメータ 3	スタック・トレース

考えられる原因

ユーザ指定のクラスのスタック初期化で例外がスローされました。スタック・トレースを確認し、問題を修正してください。

クラス '%1s!' のコンストラクタでシステム例外が投げられました。エラーの説明 : '%2s!'

項目	値
定数	EL_JAVA_SYSTEM_EXCEPTION_IN_CONSTRUCTOR
エラー・コード	-10155
パラメータ 1	クラス名
パラメータ 2	エラー・テキスト

考えられる原因

ユーザ・クラスのコンストラクタの呼び出し時にシステム例外がスローされました。スタック・トレースを確認し、エラーを修正してください。

クラス '%1s!' のコンストラクタで例外が投げられました。エラーの説明 : '%2s!' スタック・トレース : '%3s!'

項目	値
定数	EL_JAVA_USER_EXCEPTION_IN_CONSTRUCTOR
エラー・コード	-10154
パラメータ 1	クラス名
パラメータ 2	エラー・テキスト
パラメータ 3	スタック・トレース

考えられる原因

ユーザ・クラスのコンストラクタの呼び出し時にユーザ例外がスローされました。スタック・トレースを確認し、エラーを修正してください。

クラス '%1s!' の有効なコンストラクタが見つかりませんでした。

項目	値
定数	EL_DNET_NO_VALID_CONSTRUCTOR_ERROR
エラー・コード	-10161
パラメータ 1	クラス名

考えられる原因

Mobile Link サーバで、このクラスの有効なコンストラクタを見つけることができませんでした。

クラス '%1s!' をロードしているときにリンク・エラーが発生しました。エラーの説明: '%2s!'

項目	値
定数	EL_JAVA_LINKAGE_ERROR
エラー・コード	-10150
パラメータ 1	クラス名
パラメータ 2	エラー・テキスト

考えられる原因

Java VM がクラスをロードできませんでした。出力されたエラーの説明を確認し、問題を修正してください。

クラスパス '%1s!' が長すぎます。

項目	値
定数	EL_JAVA_CLASSPATH_TOO_LONG
エラー・コード	-10141
パラメータ 1	クラスパス

考えられる原因

クラスパスが長すぎます。長さが短くなるようにクラスパスを修正してください。

この接続のトランザクションは、コミットまたはロール・バックできません。

項目	値
定数	EL_DNET_TRANSACTS_NOT_ALLOWED
エラー・コード	-10202

考えられる原因

Mobile Link サーバによって制御されているデータベース接続でトランザクションのコミットまたはロールバックが試行されました。スクリプトとして呼び出されるメソッドから、Mobile Link サーバのデータベース接続をコミットまたはロールバックしないでください。

この接続は、以前のエラーのために中止されます。

項目	値
定数	CONNECTION_ABANDONED
エラー・コード	-10091

考えられる原因

アップロード・ストリームの処理中に発生したエラーが重大なため、今後の作業は無効になります。おそらく I/O エラーまたはプロトコルの問題が原因です。

システム・パラメータ %1!s! に NULL が設定されています。

項目	値
定数	SYSTEM_PARAMETER_NULL
エラー・コード	-10229
パラメータ 1	システム・パラメータ名

考えられる原因

システム・パラメータは変更できますが、NULL には設定できません。

スクリプト '%1s!' のクラスおよびメソッド名を解析できません。

項目	値
定数	EL_JAVA_SCRIPT_FORMAT_ERROR
エラー・コード	-10125
パラメータ 1	スクリプト名

考えられる原因

Java 同期スクリプトの正しいフォーマットは 'myPackage.myClass.myMethod' です。

スクリプト '%1s!' からタイプ '%2s!' のオブジェクトが返されましたが、このタイプは 'System.Void' または 'System.String' のサブタイプではありません。

項目	値
定数	EL_DNET_INVALID_RETURN_OBJ
エラー・コード	-10185
パラメータ 1	メソッド名
パラメータ 2	返されたオブジェクトのタイプ

考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに、予期しないタイプのオブジェクトが返されました。常に正しいタイプのオブジェクトを返すようにメソッドを変更してください。

スクリプト '%1s!' でエラーが発生しました。

項目	値
定数	EL_DNET_USER_SCRIPT_ERROR
エラー・コード	-10189
パラメータ 1	スクリプト

考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに ScriptExecutionException がトリガされました。

スクリプト '%1!s!' でサーバ・エラーが報告されました。

項目	値
定数	EL_DNET_SERVER_ERROR
エラー・コード	-10188
パラメータ 1	スクリプト

考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに ServerException がトリガされました。

スクリプト '%1!s!' で致命的なエラーが報告されました。

項目	値
定数	EL_DNET_FATAL_ERROR
エラー・コード	-10190
パラメータ 1	スクリプト

考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに FatalException がトリガされました。

スクリプト '%1!s!' で同期エラーが報告されました。

項目	値
定数	EL_DNET_SYNC_ERROR
エラー・コード	-10186
パラメータ 1	スクリプト

考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに SynchronizationException がトリガされました。

スクリプト '%1!s!' には %2!s! パラメータが必要ですが、%3!s! パラメータが指定されています。

項目	値
定数	EL_DNET_NUM_PARAMS_MISMATCH

項目	値
エラー・コード	-10184
パラメータ 1	スクリプト
パラメータ 2	メソッド・パラメータの必要な数
パラメータ 3	メソッド・パラメータの指定した数

考えられる原因

スクリプトによって呼び出されるメソッドには、この数のパラメータを指定できる必要があります。メソッドを変更してください。

スクリプト '%1!s!' には、無効なパラメータ参照が含まれています : '%2!d!'

項目	値
定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_NUMBER
エラー・コード	-10239
パラメータ 1	スクリプト名
パラメータ 2	パラメータ番号

考えられる原因

スクリプトに、0 であるか、大きすぎるパラメータへの数値参照が含まれます。

スクリプト '%1!s!' には、無効なユーザ・パラメータが含まれています : '%2!s!'

項目	値
定数	INVALID_NAMED_USER_PARAMETER
エラー・コード	-10240
パラメータ 1	スクリプト名
パラメータ 2	パラメータ番号

考えられる原因

スクリプトに、ユーザ・パラメータへの数値参照が含まれます。

スクリプト '%1!s!' には、無効な文字を含む名前付きパラメータが含まれています。

項目	値
定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_CHAR
エラー・コード	-10235
パラメータ 1	スクリプト名

考えられる原因

SQL Anywhere 識別子の命名規則に従う必要があります。

スクリプト '%1!s!' には、名前付きパラメータを使用するための無効な構文が含まれています。

項目	値
定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_SCRIPT
エラー・コード	-10236
パラメータ 1	スクリプト名

考えられる原因

スクリプトに、正しい形式の名前付きパラメータ・シーケンスが含まれません。スクリプト・パラメータを名前で参照するには、{ml parameter} のように、パラメータを中カッコで囲み、前に ml を付けます。たとえば、{ml s.action_code} のように指定します。

スクリプト '%1!s!' に不正なフォーマットが使用されています。

項目	値
定数	EL_DNET_INVALID_SCRIPT_NAME
エラー・コード	-10182
パラメータ 1	スクリプト

考えられる原因

スクリプトのフォーマットが無効です。正しいフォーマットは myDomain.myClass.myMethod または just myClass.myMethod です。

スクリプト '%1!s!' のパラメータ名が無効です (名前が短すぎるか長すぎます)。

項目	値
定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_LENGTH
エラー・コード	-10226
パラメータ 1	スクリプト名

考えられる原因

名前付きパラメータが検出されましたが、名前がないか、名前が長すぎます。

スクリプト '%1!s!' は、'%2!s!' のメンバですが、スクリプト・バージョンでは %3!s! クラスのみ許可されています。

項目	値
定数	EL_DNET_TOO_MANY_CLASSES_PER_VERSION
エラー・コード	-10204
パラメータ 1	メソッド名
パラメータ 2	クラス名
パラメータ 3	許可されているクラス数

考えられる原因

1つのスクリプト・バージョンで、この数よりも多いクラス数を明示的に参照することはできません。このエラーが発生した場合は、各イベントで使用しているすべてのメソッドを含むラッパ・クラスを作成してください。

スクリプト '%1!s!' は、テーブル '%2!s!' のカラム %3!d! を参照していますが、テーブルには %4!d! カラムしかありません。

項目	値
定数	INVALID_TABLE_COLUMN
エラー・コード	-10241
パラメータ 1	スクリプト名
パラメータ 2	テーブルの名前
パラメータ 3	パラメータ番号

項目	値
パラメータ 4	テーブル・カラムの数

考えられる原因

スクリプトに、0 であるか、大きすぎるパラメータへの参照が含まれます。

スクリプト '%1!s!' は、入出力パラメータ '%2!s!' を 2 回以上参照しています。

項目	値
定数	MULTI_USE_INOUT_PARAMETER
エラー・コード	-10237
パラメータ 1	スクリプト名
パラメータ 2	パラメータ名

考えられる原因

入出力パラメータは、スクリプトに 1 回だけ渡すことができます。

スクリプト '%1!s!' は、認証パラメータ %2!d! を参照していますが、%3!d! しかありません。

項目	値
定数	INVALID_AUTH_PARM_NUMBER
エラー・コード	-10242
パラメータ 1	スクリプト名
パラメータ 2	パラメータ番号
パラメータ 3	パラメータ数

考えられる原因

スクリプトに、存在しない認証パラメータへの参照が含まれます。

スクリプト '%1!s!' は、不明な認証パラメータ '%2!s!' を参照しています。

項目	値
定数	UNKNOWN_AUTH_PARM

項目	値
エラー・コード	-10243
パラメータ 1	スクリプト名
パラメータ 2	パラメータ名

考えられる原因

スクリプトに、存在しない認証パラメータへの参照が含まれます。

スクリプト '%1s!' はタイプ '%2s!' のオブジェクトを返しますが、戻り値のタイプは 'System.Void' および 'System.String' のみがサポートされています。

項目	値
定数	EL_DNET_INVALID_RETURN_TYPE
エラー・コード	-10173
パラメータ 1	メソッド名
パラメータ 2	返されたオブジェクトのタイプ

考えられる原因

メソッドは、予期しないタイプを返すように宣言されています。正しいタイプを返すようにメソッドを変更してください。

スクリプト '%1s!' はプレイメージのロー・データを処理できません。

項目	値
定数	SCRIPT_NO_OLD_ROW_DATA
エラー・コード	-10234
パラメータ 1	スクリプト名

考えられる原因

プレイメージのロー・データを参照する名前付きパラメータを使用できるのは、プレイメージのロー・データを処理するスクリプトだけです。

スクリプト '%1!s!' はロー・データを処理できません。

項目	値
定数	SCRIPT_NO_ROW_DATA
エラー・コード	-10231
パラメータ 1	スクリプト名

考えられる原因

ロー・データを参照する名前付きパラメータを使用できるのは、ロー・データを処理するスクリプトだけです。

スクリプト '%1!s!' を実行できません。

項目	値
定数	EL_DNET_SCRIPT_EXEC_FAIL
エラー・コード	-10205
パラメータ 1	スクリプト

考えられる原因

Mobile Link サーバで、このスクリプトを呼び出すことができませんでした。Mobile Link サーバのログで以前のエラーを確認してください。

スクリプト '%1!s!.%2!s!' を実行するための引数が足りません。%3!d! の引数が必要なのに対し、利用できるのは %4!d! だけです。

項目	値
定数	EL_JAVA_NOT_ENOUGH_PARMS
エラー・コード	-10130
パラメータ 1	クラス名
パラメータ 2	メソッド名
パラメータ 3	必要なパラメータ数
パラメータ 4	指定したパラメータ数

考えられる原因

マニュアルで、このスクリプトに関連するイベントに関する説明を参照してください。

スクリプト '%2!s!' のシステム・パラメータ '%1!s!' が不明です。

項目	値
定数	UNKNOWN_NAMED_SYSTEM_PARAMETER
エラー・コード	-10227
パラメータ 1	不明なシステム・パラメータ名
パラメータ 2	スクリプト名

考えられる原因

この名前付きシステム・パラメータは、有効なシステム・パラメータのリストにありません。

スクリプト '%2!s!' のシステム・パラメータ '%1!s!' が無効です。

項目	値
定数	INVALID_NAMED_SYSTEM_PARAMETER
エラー・コード	-10228
パラメータ 1	無効なシステム・パラメータ名
パラメータ 2	スクリプト名

考えられる原因

このスクリプトでは名前付きシステム・パラメータを使用できません。

スクリプト・クラス '%1!s!' にパブリック・メソッドがありませんでした。

項目	値
定数	EL_JAVA_NO_PUBLIC_METHODS
エラー・コード	-10151
パラメータ 1	クラス名

考えられる原因

Mobile Link によって呼び出すことができるように、スクリプト・クラスにはパブリック・メソッドが必要です。修正したクラスを指定してください。

スクリプト・バージョンごとに1つのドメインのみ使用できます。スクリプト '%2!s!' がドメイン '%3!s!' の使用を試みたとき、ドメイン '%1!s!' は使用中でした。

項目	値
定数	EL_DNET_ONE_DOMAIN_PER_VERSION
エラー・コード	-10183
パラメータ 1	ドメイン名
パラメータ 2	スクリプト
パラメータ 3	余分なドメイン名

考えられる原因

スクリプトが myDomain:myClass.myMethod の形式で、同じスクリプト・バージョンの別のスクリプトで別のドメイン名が使用されました。同じスクリプト・バージョンのスクリプトには同じドメインを使用してください。

スクリプトで %1!ld! パラメータを予期しましたが、%2!ld! しか見つかりませんでした : %3!s!

項目	値
定数	ODBC_WRONG_NUM_PARAMETERS
エラー・コード	-10047
パラメータ 1	想定されていたパラメータ数
パラメータ 2	見つかったパラメータ数
パラメータ 3	スクリプト名

考えられる原因

指定されたスクリプトで検出されたパラメータの数が多すぎます。指定されたスクリプトに対するパラメータの数を確認してください。

スクリプトで最低 %1!ld! のパラメータを予期しましたが、%2!ld! しか見つかりませんでした : %3!s!

項目	値
定数	ODBC_WRONG_NUM_PARAMETERS_AT_LEAST
エラー・コード	-10048

項目	値
パラメータ 1	想定されていたパラメータの最小数
パラメータ 2	見つかったパラメータ数
パラメータ 3	スクリプト名

考えられる原因

指定されたスクリプトで検出されたパラメータの数が十分ではありません。指定されたスクリプトに対するパラメータの数を確認してください。

スクリプトのバージョン '%1!s!' を追加できませんでした。

項目	値
定数	UNABLE_TO_ADD_VERSION
エラー・コード	-10254
パラメータ 1	バージョン文字列

考えられる原因

サーバでこのスクリプト・バージョンを自動的に追加できませんでした。このエラーは、通常はモニタを接続するときに発生します。モニタでは、for_ML_Monitor_only というスクリプト・バージョンが使用されます。データベースのパーミッションを確認するか、スクリプト・バージョンを直接追加してください。

スクリプトの実行に必要なメモリを割り付けることができません。

項目	値
定数	EL_DNET_MEM_ALLOC_FAIL
エラー・コード	-10170

考えられる原因

RAMを追加するか、他のプログラムを終了するか、.NET 同期スクリプトに必要なメモリを減らすことを検討してください。

スクリプトは NULL として定義できません。

項目	値
定数	CURSOR_SCRIPTS_MUST_BE_NON_NULL

項目	値
エラー・コード	-10039

考えられる原因

スクリプトは NULL または空の文字列として定義できません。NULL または空の文字列として定義されているスクリプトがないか、スクリプトの定義を確認してください。

スクリプトをフラッシュできません。

項目	値
定数	ERROR_FLUSH_SCRIPTS
エラー・コード	-10020

考えられる原因

Mobile Link サーバは、統合データベース・サーバに接続して ml_scripts_modified テーブルを問い合わせることによって、常に各同期の始めにキャッシュされたスクリプトを更新します。Mobile Link サーバが、スクリプトをフラッシュしているときに問題が発生しました。

スクリプトを解析できません。'%1!s!' という名前の 2 つのメソッドがクラス '%2!s!' 内に見つかりました。

項目	値
定数	EL_JAVA_DUPLICATE_METHODS
エラー・コード	-10152
パラメータ 1	メソッド名
パラメータ 2	クラス名

考えられる原因

ユーザ指定クラスで呼び出すメソッド名が指定された場合、そのクラスにはその名前のメソッドが 1 つのみ存在していなければなりません。メソッドのオーバーロードはサポートされていません。クラスを変更してください。

ストリーム %2!d! のストリーム・パラメータ %1!s! の無効なコンテキスト : %3!s!

項目	値
定数	BAD_STREAM_PARM_CONTEXT

項目	値
エラー・コード	-10219
パラメータ 1	パラメータ名
パラメータ 2	ストリーム番号
パラメータ 3	ストリーム指定

考えられる原因

指定したパラメータは、このストリームでは無効です。一部のパラメータはサーバ環境で指定できますが、クライアントのためにはできません。

ストリーム %2!d! の無効なストリーム・パラメータ %1!s! : %3!s!

項目	値
定数	BAD_STREAM_PARM
エラー・コード	-10217
パラメータ 1	パラメータ名
パラメータ 2	ストリーム番号
パラメータ 3	ストリーム指定

考えられる原因

指定したパラメータは、このストリームでは無効です。スペル・ミスがないか確認してください。

ストリーム %2!lu! の DLL または共有オブジェクト %1!s! をロードできません : %3!s!

項目	値
定数	CANNOT_LOAD_DLL_FOR_STREAM
エラー・コード	-10108
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前
パラメータ 2	ストリーム・タイプ
パラメータ 3	ストリーム名

考えられる原因

このストリームの DLL または共有オブジェクトをロードできませんでした。正しいバージョンの DLL または共有オブジェクトが正しいロケーションにあることを確認してください。

ストリーム %3!d! の無効な値 %1!s! のストリーム・パラメータ %2!s! : %4!s!

項目	値
定数	BAD_STREAM_PARM_VALUE
エラー・コード	-10218
パラメータ 1	パラメータ値
パラメータ 2	パラメータ名
パラメータ 3	ストリーム番号
パラメータ 4	ストリーム指定

考えられる原因

指定したパラメータの値は、このストリームでは無効です。

ストリーム・エラー : %1!s!

項目	値
定数	STREAM_ERROR
エラー・コード	-10117
パラメータ 1	エラー・メッセージ

考えられる原因

一般的なストリーム・エラーです。エラーの詳細は、メッセージの本文にあります。

スナップショットにトランザクションの独立性レベルを設定できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_SET_SNAPSHOT_ISOLATION
エラー・コード	-10247

考えられる原因

Mobile Link サーバでトランザクションの独立性レベルをスナップショットに設定できませんでした。Mobile Link サーバを統合データベースに接続するためのユーザ ID に、独立性レベルを変更するパーミッションがあることと、データベースでスナップショット・アイソレーションが許可されていることを確認してください。

ソケット '%1!ld!' でハード・クローズを実行できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_PERFORM_HARD_CLOSE_ON_SOCKET
エラー・コード	-10266
パラメータ 1	ソケット

ソケット・セレクト通知の UNIX パイプを作成できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_CREATE_UNIX_PIPE
エラー・コード	-10272

ソケットをポーリングできません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_POLL_SOCKET
エラー・コード	-10274

ソケットを完了ポートに関連付けられませんでした。

項目	値
定数	UNABLE_TO_ASSOCIATE_SOCKET_WITH_COMPL_PORT
エラー・コード	-10263

ソケットを閉じられません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_CLOSE_SOCKET
エラー・コード	-10271

ソケット削除要求を完了キューに通知できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_POST_SOCKET_DELETION_REQUEST
エラー・コード	-10267

タイプ '%2!s!' の引数を持つメソッド '%1!s!' を呼び出せませんでした。

項目	値
定数	EL_JAVA_WRONG_PARM_TYPE
エラー・コード	-10157
パラメータ 1	メソッド名
パラメータ 2	タイプ名

考えられる原因

この呼び出しで予期されている引数のタイプを判断するには、Mobile Link のマニュアルを参照してください。

データベース・ワーカ・スレッドを Java VM に付加しているときにエラーが発生しました。

項目	値
定数	EL_JAVA_THREAD_ATTACH_ERROR
エラー・コード	-10126

考えられる原因

これは内部の起動エラーです。保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

テーブル %1!s! (カラム #%2!ld!) にダウンロードされた値は、リモート・スキーマ・タイプには大きすぎるか不正です。

項目	値
定数	STRING_TOO_BIG
エラー・コード	-10038
パラメータ 1	テーブル名
パラメータ 2	カラムのインデックス

考えられる原因

指定されたテーブルのカラム幅が、統合データベースとリモート・データベースで一貫して定義されていない可能性があります。テーブルの定義を確認してください。

テーブル %1!s! (カラム #%2!ld!) にダウンロードされた値は、無効なユニーク識別子の文字列です。

項目	値
定数	INVALID_UUID_STRING
エラー・コード	-10216
パラメータ 1	テーブル名
パラメータ 2	カラムのインデックス

考えられる原因

Mobile Link サーバが文字列をユニークな識別子に変換できません。SQL Anywhere 以外の統合データベースでデータ型 CHAR または VARCHAR を使用して、リモート・データベースの UNIQUEIDENTIFIER をマップし、統合データベースの文字列が有効でユニークな識別子であることを確認してください。

テーブル %1!s! に定義されたアップロード・データ・スクリプトがありません。アップロード・データが失われても同期処理を行う場合は、-fr コマンド・ライン・オプションを使用します。

項目	値
定数	NO_UPLOAD_DATA_SCRIPT
エラー・コード	-10092

項目	値
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

テーブルのダウンロード・データ・スクリプトがない場合、アップロード・データを失う可能性があります。この状況を回避するため、同期はアボートされます。アップロード・データが失われてもかまわない場合は、-fr を使用して強制的に同期を継続できます。

テーブル %1!s! に定義されたダウンロード・データ・スクリプトがありません。ダウンロード・データが失われても同期処理を行う場合は、-fr コマンド・ライン・オプションを使用します。

項目	値
定数	NO_DOWNLOAD_DATA_SCRIPT
エラー・コード	-10093
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

テーブルのダウンロード・データ・スクリプトがなく、同期がダウンロードのみである場合、ダウンロード・データを失う可能性があります。この状況を回避するため、同期はアボートされます。ダウンロード・データが失われてもかまわない場合は、-fr を使用して強制的に同期を継続できます。

テーブル %1!s!(カラム #%2!ld!) にダウンロードされた値に、変換できない文字が含まれています。

項目	値
定数	DOWNLOAD_DATA_TRANS_ERROR
エラー・コード	-10211
パラメータ 1	テーブル名
パラメータ 2	カラム ID

考えられる原因

統合データベースで生成された文字データは、クライアントの文字セットに変換してからクライアントに送信する必要がありますが、Mobile Link サーバがデータを変換できませんでした。

テーブル '%1s!' で、ml_column テーブルでのカラム名が '%2s!' であるカラムのインデックスが、リモート・カラムの数よりも大きくなっています。

項目	値
定数	INVALID_REF_TO_ML_COLUMN_NAME
エラー・コード	-10281
パラメータ 1	テーブルの名前
パラメータ 2	ml_column テーブルのカラムの名前

考えられる原因

同期スクリプトに無効な名前付きパラメータ参照が含まれています。このスクリプトのバージョンやテーブルを ml_column テーブルで確認し、カラムの名前と順序がリモートからの名前や順序と一致するようにします。最も考えられる原因は、名前付きパラメータで無効なカラムが指定されたか、有効なカラム・エントリよりも前に ml_column テーブルに無効なエントリがあります。

テーブル '%1s!' には '%2s!' という名前のカラムがありません。

項目	値
定数	UNKNOWN_TABLE_COLUMN
エラー・コード	-10233
パラメータ 1	テーブルの名前
パラメータ 2	カラム名

考えられる原因

スクリプトで参照しているカラム名が、テーブルのカラム名のリストにありません。

テーブル '%1s!' には BLOB が含まれているため、カラム・レベルの競合を検出することはできません。

項目	値
定数	COLUMN_CONFLICT_DET_WITH_BLOB
エラー・コード	-10224
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

BLOB を含むテーブルには、カラム・レベルの競合検出を使用できません。BLOB を含むテーブルには、ロー・レベルの競合検出スクリプト `upload_fetch` を使用してください。

テーブル '%1!s!' への更新ローのアップロード中にエラーが発生しました。更新されたカラム値は次のとおりです。

項目	値
定数	UPDATED_ROW_ERROR
エラー・コード	-10063
パラメータ 1	スクリプト名

考えられる原因

Mobile Link サーバが更新されたローを統合データベースの指定されたテーブルにアップロードしているときに、エラーが発生しました。

テーブル '%1!s!' への削除ローのアップロード中にエラーが発生しました。削除されたカラムの値は次のとおりです。

項目	値
定数	DELETED_ROW_ERROR
エラー・コード	-10062
パラメータ 1	スクリプト名

考えられる原因

Mobile Link サーバが削除されたローを統合データベースの指定されたテーブルにアップロードしているときに、エラーが発生しました。

テーブル '%1!s!' への挿入ローのアップロード中にエラーが発生しました。挿入したカラムの値は次のとおりです。

項目	値
定数	INSERTED_ROW_ERROR
エラー・コード	-10061
パラメータ 1	スクリプト名

考えられる原因

Mobile Link サーバが挿入されたローを統合データベースの指定されたテーブルにアップロードしているときに、エラーが発生しました。

テーブル・スクリプト '%1s!.%2s!' をフェッチしているときにエラーが発生しました。

項目	値
定数	ERROR_FETCHING_TABLE_SCRIPT
エラー・コード	-10019
パラメータ 1	テーブル名
パラメータ 2	スクリプト名

考えられる原因

Mobile Link サーバが、テーブル・スクリプトをリフレッシュできませんでした。データベース・サーバが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

テンポラリ・ファイル '%1s!' を開けません。

項目	値
定数	CANNOT_OPEN_TEMP_FILE
エラー・コード	-10212
パラメータ 1	ファイル名

考えられる原因

Mobile Link サーバは中間データの保管にテンポラリ・ファイルを使用する場合があります。Mobile Link サーバにテンポラリ・ファイルを作成するパーミッションがあることを確認してください。

ドメイン '%1s!' にタイプ '%2s!' のアセンブリがありません。

項目	値
定数	EL_DNET_NO_ASM_CONTAINS_TYPE
エラー・コード	-10179
パラメータ 1	ドメイン名

項目	値
パラメータ 2	タイプ名

考えられる原因

指定したドメインでタイプが定義されていることを確認してください。

ドメイン '%1s!' はドメイン設定ファイルで指定されていません。

項目	値
定数	EL_DNET_DOMAIN_NOT_FOUND
エラー・コード	-10178
パラメータ 1	ドメイン名

考えられる原因

イベント・スクリプトのドメイン名は、設定済みのいずれのドメインにも一致しません。

ドメイン '%1s!' を作成できませんでした。

項目	値
定数	EL_DNET_CREATE_DOMAIN_FAIL
エラー・コード	-10192
パラメータ 1	ドメイン名

考えられる原因

.NET CLR は、示されたドメインの作成を拒否しました。ドメインの設定を修正してから再実行してください。

トランザクションをコミットできません : %1s!-- ロールバックを試みます。

項目	値
定数	UNABLE_TO_COMMIT
エラー・コード	-10065
パラメータ 1	スクリプト名

考えられる原因

Mobile Link サーバは、指定されたスクリプトのトランザクションをコミットできませんでした。常にデッドロックを避けるようにスクリプトを作成することをおすすめします。

トランザクションをロールバックできません : %1!s!

項目	値
定数	UNABLE_TO_ROLLBACK
エラー・コード	-10064
パラメータ 1	スクリプト名

考えられる原因

Mobile Link サーバが、トランザクションをロールバックできませんでした。

ネットワーク・アドレス '%1!s!' はローカルのアドレスではありません。

項目	値
定数	NOT_LOCAL_IP_ADDRESS
エラー・コード	-10259
パラメータ 1	ホスト名

ネットワークの状態が不十分なため、接続が切断されました。

項目	値
定数	CONNECTION_DROPPED_DUE_TO_IDLE_TIMEOUT
エラー・コード	-10279

考えられる原因

アクティビティがなかったため、Mobile Link サーバがこの接続を切断しました。リモートの場合は、ネットワーク接続が失われている可能性があります。

ネットワークの読み込みに失敗しました。リモート・クライアントからデータを読み込めません。

項目	値
定数	STREAM_READ_ERROR
エラー・コード	-10030

考えられる原因

Mobile Link サーバは、ネットワークの読み込みを完了できませんでした。ネットワークを確認してください。

バージョン '%1s!' が ml_script_version テーブルに見つかりません。同期できません。

項目	値
定数	VERSION_NOT_FOUND
エラー・コード	-10013
パラメータ 1	バージョン文字列

考えられる原因

クライアントが指定したバージョンが、統合データベースに存在しません。スクリプト・バージョンを作成してください。

バージョン・エラーのため Java VM をロードできません。

項目	値
定数	EL_JAVA_VM_VER_ERROR
エラー・コード	-10121

考えられる原因

Mobile Link サーバに Java VM をロードできませんでした。正しい Java VM がインストールされていることを確認してください。

バウンド・パラメータを持つ SQL 文を実行してから MLDBCommand.Prepare() を呼び出してください。

項目	値
定数	EL_DNET_NO_STMT_PREPARED_ON_BIND
エラー・コード	-10199

考えられる原因

準備されていない文にパラメータをバインドしようとしてしました。文を準備してからパラメータをバインドしてください。

バックグラウンド・スレッドを作成できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_CREATE_BACKGROUND_THREAD
エラー・コード	-10112

考えられる原因

Mobile Link サーバでバックグラウンド処理用のスレッドを作成できませんでした。メモリ不足が主な原因と考えられます。

パラメータ %1!d! に NULL が設定されています。

項目	値
定数	PARAMETER_N_NULL
エラー・コード	-10230
パラメータ 1	パラメータ番号

考えられる原因

パラメータは変更できますが、NULL には設定できません。

パラメータ %1!s! のバインドには、タイプ '%2!s!' の値が必要ですが、'%3!s!' が指定されました。

項目	値
定数	EL_DNET_PARAM_TYPE_MISMATCH

項目	値
エラー・コード	-10201
パラメータ 1	パラメータ番号
パラメータ 2	必要なタイプ
パラメータ 3	指定したタイプ

考えられる原因

指定したパラメータ・タイプが間違っています。パラメータを正しいタイプに変更してください。

ファイル %1!s! を開けません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_OPEN_TABLE_SCRIPT
エラー・コード	-10058
パラメータ 1	スクリプト名

考えられる原因

Mobile Link サーバが、指定されたテーブル・スクリプトの実行に失敗しました。スクリプトに有効な SQL が含まれていることを確認してください。

ファイル '%1!s!' が見つかりません。

項目	値
定数	EL_DNET_MDGHOST_DLL_NOT_FOUND
エラー・コード	-10166
パラメータ 1	ファイル名

考えられる原因

.NET スクリプトを起動するために必要ないずれかのファイルが見つかりませんでした。インストール環境と環境変数を確認してください。

ファイル転送のルート・ディレクトリ '%!s!' が見つかりませんでした。

項目	値
定数	FILETRANSFER_ROOT_DIR_NOT_FOUND
エラー・コード	-10249
パラメータ 1	ユーザが指定したルート・パス

考えられる原因

指定したパスがサーバで見つかりませんでした。指定したパスが正しいことを確認してください。

プロトコル・エラー : %!d!

項目	値
定数	PROTOCOL_ERROR
エラー・コード	-10001
パラメータ 1	エラー番号

考えられる原因

Mobile Link サーバは、クライアントが送信した要求を理解できません。クライアントが Mobile Link サーバより新しい場合、このエラーが発生することがあります。テクニカル・サポートに連絡してください。

プロトコル・エラー : テーブル '%!s!' を含むパブリケーションがありません。

項目	値
定数	INVALID_TABLE_PUBLICATION_COUNT_XX
エラー・コード	-10017
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

クライアントによってテーブルの同期が要求されています。しかし、そのテーブルはどのパブリケーションにも含まれていません。そのテーブルがリモート・データベースで削除されなかったことを確認してください。

プロトコルのバージョンが一致しません。

項目	値
定数	STREAM_INCORRECT_VERSION
エラー・コード	-10004

考えられる原因

Mobile Link サーバは、別のプロトコル・バージョンを使用してクライアントと通信していません。クライアントが Mobile Link サーバでサポートされていないバージョンを送信すると、このエラーが発生します。Mobile Link サーバの古いバージョンと通信するために、より新しいクライアント (DBMLSync または Ultra Light アプリケーション) を使用していないか確認してください。

ポートで受信できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_LISTEN_ON_PORT
エラー・コード	-10262

ホスト名 '%1!s!' を解決できません (エラー : '%2!d!')。

項目	値
定数	UNABLE_TO_RESOLVE_HOST_NAME
エラー・コード	-10283
パラメータ 1	ホスト名
パラメータ 2	エラー番号

考えられる原因

指定されたホスト名を解決できませんでした。OS 固有のエラー番号が表示されます。

メソッド '%1!s!' で例外が投げられました。エラーの説明 : '%2!s!' スタック・トレース : '%3!s!'

項目	値
定数	EL_JAVA_USER_EXCEPTION_IN_METHOD

項目	値
エラー・コード	-10158
パラメータ 1	メソッド名
パラメータ 2	エラー・テキスト
パラメータ 3	スタック・トレース

考えられる原因

ユーザ指定のコードでエラーが発生しました。例外情報を確認し、エラーを修正してください。

メモリ・エラーのため Java VM をロードできません。

項目	値
定数	EL_JAVA_VM_MEM_ERROR
エラー・コード	-10122

考えられる原因

Mobile Link サーバに Java VM をロードできませんでした。RAM を増やすか、他のプロセスを終了することでメモリを解放することを検討してください。

メモリの割り付けに失敗しました。

項目	値
定数	OUT_OF_MEMORY
エラー・コード	-10060

考えられる原因

使用しているシステムのメモリが不足しています。アプリケーションを閉じるか、システムにメモリを追加する必要があります。

メモリ割り付けが失敗しました。%1llu! バイトを割り付けようとしてしました。

項目	値
定数	MEMORY_ALLOCATION_FAILED
エラー・コード	-10003

項目	値
パラメータ 1	割り付けようとしていたバイト数

考えられる原因

使用しているシステムのメモリが不足しています。アプリケーションを閉じるか、システムにメモリを追加する必要があります。

ユーザ %1!s! のパスワードは不正です。

項目	値
定数	USER_BAD_PASSWORD
エラー・コード	-10057
パラメータ 1	ユーザ名

考えられる原因

リモートから送信されたパスワードは、指定されたユーザに対して無効です。パスワードでは大文字と小文字が区別されることに注意してください。

ユーザ %1!s! を認証できません。

項目	値
定数	ERROR_AUTHENTICATING
エラー・コード	-10055
パラメータ 1	ユーザ名

考えられる原因

Mobile Link サーバが、指定されたユーザを認証できませんでした。

ユーザ '%2!s!' の要求ファイル '%1!s!' が見つかりませんでした。

項目	値
定数	FILETRANSFER_FILE_NOT_FOUND
エラー・コード	-10251
パラメータ 1	ファイル名

項目	値
パラメータ 2	ユーザ名

考えられる原因

転送が要求されたファイルがサーバで見つかりませんでした。

ユーザが指定したコードをサーバで実行中にエラーが発生しました。

項目	値
定数	EL_FAILURE_IN_USER_CODE
エラー・コード	-10225

考えられる原因

ユーザが指定したコードを実行中にエラーが発生しました。サーバのログを確認し、ユーザが指定したコードを修正してください。

ユーザ名 '%1!s!' が ml_user テーブルに見つかりません。

項目	値
定数	USER_NOT_FOUND
エラー・コード	-10056
パラメータ 1	ユーザ名

考えられる原因

Mobile Link サーバが、ml_user テーブルからユーザを検出できませんでした。mluser を使用してこのユーザを ml_user テーブルに追加するか、-zu+ オプションで Mobile Link サーバを起動してください。

ユーザ名 '%1!s!' を ml_user テーブルに挿入できません。

項目	値
定数	ERROR_ADDING_USER
エラー・コード	-10054
パラメータ 1	ユーザ名

考えられる原因

Mobile Link サーバは、指定されたユーザを ml_user テーブルに追加できませんでした。統合データベース・サーバが稼働中で、Mobile Link ユーザが ml_user テーブルを修正するパーミッションを持っているか確認してください。

ユーザ名 '%1s!' を ml_user_table から削除できません。

項目	値
定数	ERROR_DELETING_USER
エラー・コード	-10083
パラメータ 1	削除するユーザの名前

考えられる原因

Mobile Link ユーザが有効であり、現在他のスレッドによって使用されていないことを確認してください。

リスナ・ソケットをポートにバインドできません (エラー : '%1d!')。

項目	値
定数	UNABLE_TO_BIND_LISTENER_PORT
エラー・コード	-10261
パラメータ 1	エラー番号

リスナ・ソケットを作成できません (エラー : '%1d!')。

項目	値
定数	UNABLE_TO_CREATE_LISTENER_SOCKET
エラー・コード	-10260
パラメータ 1	エラー番号

リスナ削除要求を完了キューに通知できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_POST_LISTENER_DELETION_REQUEST

項目	値
エラー・コード	-10269

リモート ID '%1s!' で識別されるリモート・データベースはすでに同期しています。同じリモート ID を使用した同時同期処理は実行できません。

項目	値
定数	REMOTEID_ALREADY_IN_USE
エラー・コード	-10238
パラメータ 1	リモート ID

考えられる原因

リモート ID で指定したリモート・データベースはすでに同期しています。後で同期を試行してください。

リモート・データベースがバックアップからリストアされたか、またはリモート ID '%1s!' が別のリモート・データベースによって使用されている可能性があります。ml_subscription.progress を 0 に設定して、このリモート・データベースの同期処理を再度有効にしてください。

項目	値
定数	SEQUENCE_NUMBER_TOO_SMALL
エラー・コード	-10023
パラメータ 1	リモート ID

考えられる原因

Mobile Link サーバは、同期を行う前に、クライアントが送信したシーケンス番号と統合データベースに格納されているシーケンス番号を比較して、それらが一致するかどうか確認します。リモート・データベースがバックアップからリストアされたり、最後の同期が中断されたりした場合、シーケンス番号は統合データベースのシーケンス番号より小さくなる可能性があります。ml_subscription.progress を 0 に設定して、このリモート・データベースの同期処理を再度有効にしてください。

リモート・データベースからダウンロード確認がありません。

項目	値
定数	NO_CONFIRMATION
エラー・コード	-10034

考えられる原因

クライアントが、ダウンロードした後に Mobile Link サーバへ確認ステータスを送信するはずでした。Mobile Link サーバは、この確認を受信しませんでした。このエラーは、同期が中断されたり、ネットワークに問題があると発生します。

ローが大きすぎます。サイズ (%1!ld! バイト) が最大サイズ (%2!ld! バイト) を超えています。

項目	値
定数	ROW_TOO_BIG
エラー・コード	-10033
パラメータ 1	ダウンロードする実際のロー・サイズ
パラメータ 2	クライアントで許容される最大ロー・サイズ

考えられる原因

Ultra Light アプリケーションがローのサイズを制限している可能性があります。統合データベースの同期テーブルのロー・サイズがこの制限を超えている場合、テーブルはダウンロードできません。同期テーブルを再設計してください。

ワーカを VM から分離できません。

項目	値
定数	EL_DNET_WORKER_DETACH_FAIL
エラー・コード	-10169

考えられる原因

これは内部のシャットダウン・エラーです。保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

ワーカを VM に付加できません。

項目	値
定数	EL_DNET_WORKER_ATTACH_FAIL
エラー・コード	-10168

考えられる原因

これは内部の起動エラーです。保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

解析できません。

項目	値
定数	EL_JAVA_GENERIC_ERROR
エラー・コード	-10133
パラメータ 1	メッセージ文字列

考えられる原因

Java 同期論理の一般エラーです。詳細は、メッセージの本文にあります。

完了ポートで待機できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_WAIT_ON_COMPLETION_PORT
エラー・コード	-10270

共有インストール・ディレクトリが不正です : %1!s!

項目	値
定数	EL_JAVA_SHARED_LOCATION_INCORRECT
エラー・コード	-10144
パラメータ 1	SQL Anywhere の共有ディレクトリ

考えられる原因

正しい場所を指すように共有コンポーネント環境変数を修正してください。

共有コンポーネント・ディレクトリを見つけられません。JRE の格納場所がオプションで指定されていません。JRE がどこに格納されているかわかりません。

項目	値
定数	EL_JAVA_COULD_NOT_FIND_JRE
エラー・コード	-10143

考えられる原因

正しい場所を指すように共有コンポーネント環境変数を設定するか、-jrepath オプションを使用して JRE の場所を指定してください。

共有メモリ・ファイルを作成できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_CREATE_SHARED_MEMORY
エラー・コード	-10282

考えられる原因

Mobile Link サーバは、指定された Mobile Link サーバ名を使用して共有メモリ・ファイルを作成できませんでした。ローカル・マシンで同名の Mobile Link サーバが実行中であるかどうかを確認してください。このエラーは Windows Vista でのみ発生する可能性があります。

再起動可能な同期を開始できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_RESTART_SYNC
エラー・コード	-10255

考えられる原因

クライアントから要求された再起動可能な同期を Mobile Link サーバで開始できませんでした。同期はすでに完了しているか、Mobile Link サーバが再起動された可能性があります。

作成された SQL 文 '%1!s!' には %2!s! パラメータが必要ですが、パラメータ %3!s! が指定されています。

項目	値
定数	EL_DNET_NUM_BOUND_PARAM_MISMATCH

項目	値
エラー・コード	-10200
パラメータ 1	SQL 文
パラメータ 2	必要なパラメータ数
パラメータ 3	指定したパラメータ数

考えられる原因

実行した文のパラメータ数が間違っています。正しい数のパラメータを指定してから文を実行してください。

作成された SQL 文 '%1s!' には %2s! パラメータが必要ですが、パラメータ %3s! が指定されていません。

項目	値
定数	EL_DNET_PARAM_NOT_BOUND
エラー・コード	-10198
パラメータ 1	SQL 文
パラメータ 2	必要なパラメータ数
パラメータ 3	指定したパラメータ数

考えられる原因

実行した文のパラメータ数が少なすぎます。正しい数のパラメータを指定してから文を実行してください。

次の非デーモン・スレッドは破壊されました : %1s!

項目	値
定数	EL_JAVA_THREADS_DESTROYED
エラー・コード	-10124
パラメータ 1	スレッド識別子のリスト

考えられる原因

これらの Java スレッドはシャットダウン中に強制的に破棄されました。ShutdownListener インタフェースを使用して、Mobile Link サーバのシャットダウン時にスレッドを正常に終了してください。

受信ソケットでハード・クローズを実行できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_CLOSE_LISTENER_SOCKET
エラー・コード	-10268

受信接続を受け入れられません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_ACCEPT_INCOMING_CONNECTION
エラー・コード	-10276

新規データベース接続を作成できません。

項目	値
定数	EL_JAVA_JDBC_UNABLE_TO_CONNECT
エラー・コード	-10159

考えられる原因

新しい JDBC ラップを作成するために必要な新しい ODBC 接続を作成できませんでした。

進行状況情報を統合データベースに格納しようとしていたときにエラーが発生しました。

項目	値
定数	TXN_LOG_COOKIE_UPDATE_ERROR
エラー・コード	-10031

考えられる原因

Mobile Link サーバは、同期ステータスを統合データベースに保存できません。データベース・サーバが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

接続スクリプト %1!s! をフェッチしているときにエラーが発生しました。

項目	値
定数	ERROR_FETCHING_CONNECTION_SCRIPT
エラー・コード	-10018
パラメータ 1	接続スクリプト名

考えられる原因

Mobile Link サーバが、接続スクリプトをリフレッシュできませんでした。データベース・サーバが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

接続ソケットを作成できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_CREATE_CONNECT_SOCKET
エラー・コード	-10264

接続の受け入れを開始できません (エラー : %1!d!)。

項目	値
定数	UNABLE_TO_START_ACCEPTING_CONNECT
エラー・コード	-10265
パラメータ 1	エラー番号

接続を割り付けることができません。

項目	値
定数	ODBC_UNABLE_TO_ALLOCATE_A_CONNECTION
エラー・コード	-10067

考えられる原因

Mobile Link サーバが、接続を割り付けられませんでした。Mobile Link サーバを起動するのに十分なメモリがあることを確認してください。また、データベース・サーバが稼働中で、ユーザ ID とパスワードが有効であることを確認してください。

通信ストリーム %1!lu! を初期化できません : %2!s!

項目	値
定数	UNABLE_TO_CREATE_STREAM
エラー・コード	-10110
パラメータ 1	ストリーム番号
パラメータ 2	ストリーム指定

考えられる原因

ストリームを初期化できませんでした。ストリーム名とストリーム・オプションが有効であることを確認してください。

通知できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_NOTIFY
エラー・コード	-10275

通知パイプからの読み込み中にエラーが発生しました。

項目	値
定数	ERROR_IN_READ_FROM_NOTIFICATION_PIPE
エラー・コード	-10277

通知パイプでエラーが発生しました。

項目	値
定数	ERROR_ON_NOTIFICATION_PIPE
エラー・コード	-10278

転送用にファイル '%1s!' を開けませんでした。

項目	値
定数	FILETRANSFER_OPEN_FAILED
エラー・コード	-10252
パラメータ 1	ファイル名

考えられる原因

転送が要求されたファイルはサーバで見つかりましたが、ファイルを開くことができませんでした。ファイルのパーミッションを確認してください。

転送用にファイル '%1s!' を読み込めませんでした。

項目	値
定数	FILETRANSFER_READ_FAILED
エラー・コード	-10253
パラメータ 1	ファイル名

考えられる原因

転送が要求されたファイルはサーバで見つかりましたが、ファイルを読み込むことができませんでした。ファイルのパーミッションを確認してください。

統合データベース・サーバまたは ODBC エラー : %1s!

項目	値
定数	ERROR_SQL_ERROR
エラー・コード	-10002
パラメータ 1	データベース・サーバまたは ODBC ドライバによって送信される実際のエラー・メッセージ

考えられる原因

これは、構文エラーなどの SQL エラーである可能性があります。

統合データベースでのスナップショット・アイソレーションで競合する更新を検出後に、現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。

項目	値
定数	CANNOT_RETRY_AFTER_CONFLICT_UPDATE
エラー・コード	-10246

考えられる原因

Mobile Link サーバが現在のトランザクションをリトライしましたが、依然として競合する更新の問題が発生しています。統合データベースに対して実行中の開いているトランザクションをすべてコミットし、同期の実行を再試行してください。

統合データベースでのデッドロック後に現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。

項目	値
定数	CANNOT_RETRY_AFTER_DEADLOCK
エラー・コード	-10021

考えられる原因

Mobile Link サーバが現在のトランザクションをリトライしましたが、依然としてデッドロック問題が発生しています。同期論理を再設計するか、Mobile Link サーバのコマンド・ライン・オプション `-r` を使用してください。

統合データベースに接続できません。同期処理をアポートします。

項目	値
定数	UNABLE_TO_CONNECT_TO_CONSOLIDATED
エラー・コード	-10028

考えられる原因

Mobile Link サーバは、統合データベースへ接続できませんでした。データベース・サーバが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

同じリモート ID を持つ、既存の同期 <%1!d!> のために、この同期は一時停止されました。

項目	値
定数	SYNC_PAUSED_FOR_OLD_SYNC_WITH_REMOTE_ID
エラー・コード	-10257
パラメータ 1	同期 ID

考えられる原因

既存の同期 <%1!d!> と同じリモートから新しい同期が開始されました。サーバによって既存の同期がキャンセルされ、この同期が一時的に停止されました。

同じリモート ID を持つ、新しい同期 <%1!d!> のために、この同期はキャンセルされました。

項目	値
定数	SYNC_STOPPED_FOR_NEW_SYNC_WITH_REMOTE_ID
エラー・コード	-10256
パラメータ 1	同期 ID

考えられる原因

この同期と同じリモートから新しい同期が開始されました。リモートは接続が切断されたはずなので、この接続はサーバによってキャンセルされました。

内部エラー : '%1!s!'

項目	値
定数	EL_JAVA_INTERNAL_ERROR
エラー・コード	-10156
パラメータ 1	エラー・テキスト

考えられる原因

Java 内部エラーが発生しました。出力されたエラー情報を確認し、問題を修正してください。

内部エラー：BLOB の取得中に発生しました -- 読み込み

項目	値
定数	BLOB_READ_ERROR
エラー・コード	-10041

考えられる原因

Mobile Link サーバが、メモリまたはテンポラリ・ファイルからアップロード・データを検索できません。これは内部エラーです。保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

内部エラー：誤ったファンクション '%1s!' が呼び出されました。テクニカル・サポートに連絡してください。

項目	値
定数	INTERNAL_ERR_WRONG_FUNC_IS_CALLED
エラー・コード	-10051
パラメータ 1	関数名

考えられる原因

これは内部エラーです。保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

認識されないイベント名 : %1s!

項目	値
定数	UNKNOWN_EVENT
エラー・コード	-10207
パラメータ 1	認識されないイベントの名前

考えられる原因

Mobile Link サーバでは、接続イベントとテーブル・イベントだけが認識され、これらのイベントは ml_connection_script と ml_table_script のテーブルに格納されています。すべての接続イベントとテーブル・イベントが有効であることを確認してください。

認識されないドメイン id %1!d! です。

項目	値
定数	ERROR_UNSUPPORTED_DOMAIN_ID
エラー・コード	-10024
パラメータ 1	ドメイン ID

考えられる原因

クライアントが要求したドメイン ID (データ型) がサポートされていません。使用している Mobile Link サーバが最新のものであるか確認してください。

必須 ODBC 関数 %1!s! がドライバでサポートされていません。

項目	値
定数	ODBC_MISSING_REQUIRED_FUNCTION
エラー・コード	-10075
パラメータ 1	ODBC 関数の名前

考えられる原因

Mobile Link サーバは、ODBC ドライバから関数を検出できませんでした。推奨された ODBC ドライバを使用して Mobile Link サーバを起動してください。

必要な Java クラス %1!s! をロードできませんでした。

項目	値
定数	EL_JAVA_BOOT_CLASS_LOAD_ERR
エラー・コード	-10127
パラメータ 1	クラス名

考えられる原因

これは内部の起動エラーです。保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

不正なストリーム・タイプ : %1!s!

項目	値
定数	BAD_STREAM_TYPE
エラー・コード	-10106
パラメータ 1	ストリーム・タイプ

考えられる原因

このストリーム・タイプを認識できません。有効な名前は、'tcpip'、'http'、'tls'、'https' です。

不正なストリーム指定 : %1!s!

項目	値
定数	BAD_STREAM_SPEC
エラー・コード	-10105
パラメータ 1	ストリーム名

考えられる原因

ストリーム名が間違っ指定されました。マニュアルで -x スイッチと -xo スイッチに関する説明を参照してください。

不正なパラメータ '%1!s!' です。

項目	値
定数	INVALID_STREAM_PARAMETER
エラー・コード	-10215
パラメータ 1	無効なパラメータの名前

考えられる原因

通信プロトコルに 1 つまたは複数の無効なパラメータが検出されました。コマンド・ライン・オプションを調べて、プロトコル・オプションがすべて有効かどうか確認してください。

不定のエラーのため Java VM をロードできません。

項目	値
定数	EL_JAVA_VM_LOAD_ERROR
エラー・コード	-10123

考えられる原因

Mobile Link サーバに Java VM をロードできませんでした。理由は以前の出力に表示されています。

文字列 %1s! を数値に変換できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_CONVERT_STR_TO_NUMERIC
エラー・コード	-10213
パラメータ 1	変換される文字列

考えられる原因

Mobile Link サーバが文字列を数値に変換できません。これは内部エラーです。保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

返されたクラス '%1s!' は ianywhere.ml.script.RowReader または java.lang.String のサブクラスではありません。

項目	値
定数	EL_JAVA_INVALID_RETURN_OBJECT
エラー・コード	-10132
パラメータ 1	クラス名

考えられる原因

適切な型を返すようにクラスを変更してください。

無効なハンドルを持つ接続を使用しようとしてしました。

項目	値
定数	EL_DNET_INVALID_CONN_HANDLE

項目	値
エラー・コード	-10203

考えられる原因

接続ハンドルが有効であることを確認してから使用してください。

名前 '%1!s!' は、有効な .NET 開始クラス名ではありません。

項目	値
定数	EL_DNET_INVALID_STARTCLASS_NAME
エラー・コード	-10177
パラメータ 1	開始クラス名

考えられる原因

開始クラス名の形式が不正です。名前を修正してから再実行してください。

名前付きロー・パラメータを使用するには、カラム名が ml_column テーブルで設定されている必要があります。

項目	値
定数	NO_COLUMN_NAMES
エラー・コード	-10232

考えられる原因

名前付きパラメータ機能を使用するには、スクリプトで使用するリモート・カラム名を ml_column テーブルで定義する必要があります。

要求ファイルを転送できませんでした。転送ルートが設定されていません。

項目	値
定数	FILETRANSFER_ROOT_DIR_NOT_SET
エラー・コード	-10250

考えられる原因

サーバがクライアントのファイル転送要求を受け取りましたが、サーバで転送のルート・ディレクトリが設定されていません。

例外情報をダンプできません。例外処理中に例外を受け取りました。

項目	値
定数	EL_JAVA_EXCEPTION_WHILE_PROCESSING_EXCEPTION
エラー・コード	-10119

考えられる原因

Java スクリプトが原因で例外が発生しましたが、続いて例外が発生したので、Mobile Link サーバで例外情報を表示できませんでした。

第 3 章

Mobile Link サーバの警告メッセージ

目次

Mobile Link 同期サーバの警告メッセージの概要	586
Mobile Link サーバの警告メッセージ (コード順)	587
五十音順の警告メッセージ・リスト	591

Mobile Link 同期サーバの警告メッセージの概要

警告メッセージは、Mobile Link 同期サーバのメッセージ・ログに書き込まれます。

各警告には、1 ～ 5 のレベルが割り当てられます。次の表は、各レベルの説明を示します。

レベル	説明
1	Mobile Link 同期サーバの起動または停止時に発生するサーバ・レベルまたは高い ODBC レベルの警告
2	同期の開始および終了時に発生する同期レベルとユーザ・レベルの警告
3	スキーマ・レベル (パブリケーションとテーブルを含む) の警告
4	スクリプト・レベルと低い ODBC レベルの警告
5	テーブル・レベルとロー・レベルの警告

Mobile Link サーバの警告メッセージ (コード順)

警告コード	レベル	警告メッセージ
10001	1	「データベース最大接続数が %1!lu! に設定されました(データベース・ワーカ・スレッド数+1 以上に指定します)。」 596 ページ
10003	1	「ODBC アイソレーション・レベル (%1!s!) はサポートされません。」 599 ページ
10004	1	「ODBC 関数 %1!s! がドライバでサポートされていません。」 598 ページ
10005	1	「ODBC 文のオプション %1!s! は %2!s! (%3!lu!) から %4!s! (%5!lu!) に変更されています。」 599 ページ
10006	1	「ODBC 文のオプション %1!s! は %2!lu! から %3!lu! に変更されています。」 599 ページ
10007	2	「統合データベースでのデッドロック後に begin_connection トランザクションをリトライします。」 600 ページ
10009	2	「Mobile Link テーブル '%1!s!' が破損しています。」 598 ページ
10010	2	「handle_error スクリプトが定義されていません。エラー動作はデフォルト・アクション・コード (%1!ld!) に従います。」 598 ページ
10012	2	「統合データベースとリモート・データベース間で、最後に同期をとった時点が一致しません。既知の最後の同期時点から始まる新規アップロードの送信をリモート・データベースに要求しています。」 604 ページ
10014	4	「カーソルのパラメータとして多くても %1!ld! 個を予期しましたが、%2!ld! 個見つかりました。」 594 ページ
10015	3	「テーブル '%1!s!' には少なくとも 1 つのタイムスタンプ・カラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、アップロードされるタイムスタンプの精度が失われ、ダウンロード・フィルタリングが無効になる場合があります。」 602 ページ
10016	3	「テーブル '%1!s!' には少なくとも 1 つのタイムスタンプ・カラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、ダウンロードされるタイムスタンプの精度が失われ、データの一貫性が失われる場合があります。」 602 ページ
10017	3	「統合データベースとリモート・データベースでタイムスタンプの精度が異なります。統合データベースのタイムスタンプ精度は秒の小数点以下第 %1!d! 位、リモート・データベースのタイムスタンプ精度は小数点第 %2!d! 位です。」 604 ページ
10018	3	「タイムスタンプ精度の不一致を解決するには、リモート・データベースの DEFAULT_TIMESTAMP_INCREMENT オプションを %1!d! に、TRUNCATE_TIMESTAMP_VALUES を 'On' に設定してください。」 607 ページ

警告コード	レベル	警告メッセージ
10019	3	「リモート・データベースでは、統合データベースのタイムスタンプ精度を一致させることができません。アプリケーション、スキーマ、スクリプト側で精度の不一致に対処するロジックを用意する必要があります。」 606 ページ
10020	3	「タイムスタンプ精度の不一致は、アップロード時の競合の検出に影響を及ぼす場合があります。-zp オプションを使用すると、Mobile Link サーバは最も低い精度のタイムスタンプを使用して競合の検出を行います。」 606 ページ
10021	3	「リモート・データベースと統合データベースでタイムスタンプ精度が異なります。競合を検出するために、精度の低い側よりも高い精度のタイムスタンプ値が使用されました。-zp オプションの使用を検討してください。」 605 ページ
10022	3	「パブリケーション '%1s!' は、いずれのテーブルでも参照されていません。」 600 ページ
10023	3	「アップロードはロールバックされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。」 608 ページ
10024	3	「テーブル '%1s!' には、ml_table テーブルのエントリがありません。」 603 ページ
10032	2	「クライアントの同期ログを格納するファイルを開けません。ファイル名は '%1s!' です。」 610 ページ
10033	2	「リモート・クライアントの同期ログを読み込んでいるときにエラーが発生しました。」 593 ページ
10034	2	「リモート同期ログを含むローカル・ファイルに書き込めません。」 611 ページ
10035	2	「リモート・クライアントの同期ログが不完全なまま終了しています。トランケートされたと思われます。」 605 ページ
10036	2	「クライアント同期ログは、Mobile Link サーバ出力ファイルまたはコンソールに表示されます。」 594 ページ
10037	5	「更新されたローを無視しています (新しい値)。」 595 ページ
10038	5	「更新されたローを無視しています (古い値)。」 596 ページ
10039	2	「マルチ・ロー操作時にエラーが検出されたので、ロールバックを実行してからシングル・ロー・モードで再試行してください。」 594 ページ
10040	2	「テーブル %2!s! へのデータのアップロードで、%1!lu! ローが無視されました。」 591 ページ
10041	2	「アップロードはコミットされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。」 607 ページ

警告コード	レベル	警告メッセージ
10043	4	「統合データベースから現在のタイムスタンプを決定できません。」 610 ページ
10044	5	「テーブル '%1s!' のローは、統合データベースからなくなっているのに、更新できませんでした。」 592 ページ
10045	2	「統合データベースでのデッドロック後にアップロードをリトライします。」 602 ページ
10048	2	「統合データベースでのデッドロック後に begin_synchronization トランザクションをリトライします。」 601 ページ
10049	2	「統合データベースのデッドロック後に end_synchronization トランザクションをリトライします。」 601 ページ
10050	4	「%1s!」 591 ページ
10051	1	「認識されない ODBC ドライバ '%1s!' です。ODBC ドライバは、種類によって機能と品質が大幅に異なります。このドライバには同期に必要な機能がありません。ユーザ自身の責任でご使用ください。」 612 ページ
10055	2	「クライアントから %1d! 認証パラメータが提供されましたが、authenticate_parameters スクリプトがありません。」 603 ページ
10056	4	「テーブル %1s! に定義されたダウンロード・データ・スクリプトがありません。同期処理を行うと、ダウンロード・データが失われる場合があります。」 608 ページ
10057	4	「テーブル %1s! に定義されたアップロード・データ・スクリプトがありません。同期処理を行うと、アップロード・データが失われる場合があります。」 608 ページ
10064	1	「未知のユーザは自動的に追加されます (authenticate_user スクリプトがない場合)。」 611 ページ
10066	1	「mlstop では、このサーバを停止できません。」 596 ページ
10068	5	「%1s!」 591 ページ
10069	5	「テーブル '%1s!' 用の upload_insert スクリプトがないため、このテーブルのすべての挿入ローが無視されます。」 593 ページ
10070	5	「テーブル '%1s!' 用の upload_update スクリプトがないため、このテーブルのすべての更新ローが無視されます。」 593 ページ
10071	5	「テーブル '%1s!' 用の upload_delete スクリプトがないため、このテーブルのすべての削除ローが無視されます。」 592 ページ
10072	5	「テーブル '%1s!' の更新ローは、競合する更新であるため無視されます。」 607 ページ

警告コード	レベル	警告メッセージ
10073	1	「Windows XP ファイアウォールが有効であり、Mobile Link サーバが例外リストにありません。リモート・マシンのクライアントはこのサーバに接続できません。」 612 ページ
10074	4	「統合データベースからダウンロード・タイムスタンプをフェッチできません。」 610 ページ
10075	1	「ORACLE テーブル 'v_\$transaction' にアクセスできません。タイムスタンプベースのダウンロードを利用する場合は、データの損失を防ぐためにアクセスが必要です。」 609 ページ
10076	5	「テーブル '%1s!' の競合検出スクリプトは定義されていますが、競合解決スクリプトは定義されていません。」 592 ページ
10077	1	「古い ODBC ドライバ '%1s!' を使用して作成した DSN を使用していません。 http://www.iAnywhere.jp/developers/technotes/odbc_mobilink.html で説明されている推奨ドライバを使用して作成した DSN を使用してください。」 612 ページ
10078	1	「Microsoft SQL Server 仮想テーブル 'sys.dm_tran_active_transactions' にアクセスできません。Mobile Link サーバは、スナップショット・アイソレーションを使用しません。」 609 ページ
10079	1	「コマンド・ライン・オプション '%1s!' が無視されました。」 604 ページ
10080	5	「統合データベースでの競合する更新後にアップロードをリトライしません。」 601 ページ
10081	3	「統合データベースからテーブル '%1s!' のカラムのデータ型を取得できません。」 611 ページ
10082	1	「Mobile Link サーバがメモリ・ページをスワップしました : ページ・アウト %1d!、ページ・イン %2d!、同時ページ %3d!」 597 ページ
10083	1	「Mobile Link サーバは、同時同期上の制限により、同期を読み込んでいるネットワークを停止しています。」 597 ページ
10084	1	「Mobile Link サーバは、同時同期数の変更によって、同期を読み込んでいるネットワークを再スタートしました。」 597 ページ
10085	1	「テーブル '%1s!' で、ml_column テーブルのエントリ数が、リモート・テーブルのカラム数よりも大きくなっています。」 595 ページ
10086	1	「ODBC ドライバ '%1s!' は推奨されていません。」 605 ページ

五十音順の警告メッセージ・リスト

テーブル %2!s! へのデータのアップロードで、%1!lu! ローが無視されました。

項目	値
定数	IGNORED_ROWS_FOR_TABLE
エラー・コード	10040
パラメータ 1	無視されたローの合計数
パラメータ 2	テーブル名

考えられる原因

Mobile Link サーバは、統合データベースに適用されなかったすべてのアップロード・ローを無視されたローとして数えます。これは、クライアントからアップロードされる挿入、更新、削除があっても、リストされているテーブルの `upload_insert`、`upload_update`、`upload_delete` スクリプトが統合データベースにない場合か、このテーブルにデータをアップロード中にエラーが発生しても `handle_error` または `handle_odbc_error` が 1000 を返した場合に発生します。

%1!s!

項目	値
定数	WARN_SQL_SUCCESS_WITH_INFO
エラー・コード	10050
パラメータ 1	ODBC ドライバからのメッセージ

考えられる原因

Mobile Link サーバからの ODBC 呼び出しは成功しましたが、ODBC ドライバは警告メッセージを表示しました。このメッセージを回避する方法は、特定の警告に依存します。

'%1!s!'

項目	値
定数	EL_DNET_WRITE_STREAM_WARNING
エラー・コード	10068
パラメータ 1	警告メッセージ

考えられる原因

.Net CLR によって生成された警告メッセージです。

テーブル '%1!s!' の競合検出スクリプトは定義されていますが、競合解決スクリプトは定義されていません。

項目	値
定数	NO_CONFLICT_RESOLVE_SCRIPT
エラー・コード	10076
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

テーブルに競合解決スクリプトがなかった場合、Mobile Link サーバではそのテーブルの競合検出スクリプトが呼び出されません。このテーブルに競合解決スクリプトを定義するか、テーブルの競合検出スクリプトを削除してください。

テーブル '%1!s!' のローは、統合データベースからなくなっているため、更新できませんでした。

項目	値
定数	UPDATE_NO_ROW
エラー・コード	10044
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

統合データベース内のテーブルに元のローがないため、update 文が失敗しました。

テーブル '%1!s!' 用の upload_delete スクリプトがないため、このテーブルのすべての削除ローが無視されます。

項目	値
定数	NO_SCRIPT_IGNORE_DELETE
エラー・コード	10071
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

クライアントが特定のテーブルの削除ローを送信しても、対応する `upload_delete` スクリプトが統合データベースに定義されていない場合に、Mobile Link サーバがこの警告メッセージを発行します。

テーブル '%1!s!' 用の `upload_insert` スクリプトがないため、このテーブルのすべての挿入ローが無視されます。

項目	値
定数	NO_SCRIPT_IGNORE_INSERT
エラー・コード	10069
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

クライアントが特定のテーブルの挿入ローを送信しても、対応する `upload_insert` スクリプトが統合データベースに定義されていない場合に、Mobile Link サーバがこの警告メッセージを発行します。

テーブル '%1!s!' 用の `upload_update` スクリプトがないため、このテーブルのすべての更新ローが無視されます。

項目	値
定数	NO_SCRIPT_IGNORE_UPDATE
エラー・コード	10070
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

クライアントが特定のテーブルの更新ローを送信しても、対応する `upload_update` スクリプトが統合データベースに定義されていない場合に、Mobile Link サーバがこの警告メッセージを発行します。

リモート・クライアントの同期ログを読み込んでいるときにエラーが発生しました。

項目	値
定数	ERROR_READING_ERROR_LOG
エラー・コード	10033

考えられる原因

Mobile Link サーバは、クライアントからリモート・エラー・ログを取得できませんでした。この警告を回避するには、実行中のクライアントを強制終了しないで、ネットワーク接続に異常がないかどうかを確認してください。

クライアント同期ログは、Mobile Link サーバ出力ファイルまたはコンソールに表示されます。

項目	値
定数	ERROR_LOG_TO_OUTPUT_LOG
エラー・コード	10036

考えられる原因

同期中にクライアント側でエラーが発生した場合、クライアントはサーバに出力ファイルを送信し、サーバはコマンド・ライン・オプション `-e` または `-et` を使用して指定されたファイルにこの出力ファイルを保存します。しかし、Mobile Link サーバが書き込み時にこのファイルを開けなかった場合、この警告メッセージが表示され、リモート・ログはサーバの出力ファイルまたはコンソールに書き込まれます。この警告を回避するには、Mobile Link サーバにそのファイルへの書き込み権限があることを確認してください。

マルチ・ロー操作時にエラーが検出されたので、ロールバックを実行してからシングル・ロー・モードで再試行してください。

項目	値
定数	RETRY_AFTER_MULTIPLE_ROW
エラー・コード	10039

考えられる原因

Mobile Link サーバがマルチ・ロー・モードを使用してアップロード・ストリームを適用したときに、エラーが検出されました。アップロード・ストリームをロールバックし、シングル・ロー・モードを使用してアップロード・トランザクションを再試行します。

カーソルのパラメータとして多くても %1!d! 個を予期しましたが、%2!d! 個見つかりました。

項目	値
定数	ODBC_EXTRA_PARAMETERS
エラー・コード	10014

項目	値
パラメータ 1	想定されていたパラメータの最大数
パラメータ 2	見つかったパラメータ数

考えられる原因

Mobile Link サーバには、各カーソル・スクリプトについてパラメータの最大数が決まっています。指定したカーソル・スクリプトのパラメータの数がパラメータの最大数より多い場合、サーバはこの警告を表示します。

テーブル '%1!s!' で、ml_column テーブルのエントリ数が、リモート・テーブルのカラム数よりも大きくなっています。

項目	値
定数	TOO_MANY_ML_COLUMN_ENTRIES
エラー・コード	10085
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

この警告は、指定されたテーブルで ml_column テーブルに余計なカラム・エントリがあることを示します。これは、(1) 同期スクリプトが名前付きパラメータによってカラム名を参照していて、(2) テーブルのカラム数よりも大きいインデックスのカラム名を参照している場合にかぎり、問題になります。この場合は、この警告後にエラーが発行されます。

更新されたローを無視しています (新しい値)。

項目	値
定数	IGNORING_UPDATED_ROW_NEW_VALUES
エラー・コード	10037

考えられる原因

競合する更新がありますが、統合データベースでそのテーブル用に定義された upload_new_row_insert スクリプトまたは new_row_cursor スクリプトがありません。

更新されたローを無視しています (古い値)。

項目	値
定数	IGNORING_UPDATED_ROW_OLD_VALUES
エラー・コード	10038

考えられる原因

競合する更新がありますが、統合データベースでそのテーブル用に定義された upload_old_row_insert スクリプトまたは old_row_cursor スクリプトがありません。

データベース最大接続数が %1!!u! に設定されました(データベース・ワーカ・スレッド数 + 1 以上に指定します)。

項目	値
定数	MAX_DB_CONNECTIONS_SET_TO
エラー・コード	10001
パラメータ 1	接続の最大数

考えられる原因

Mobile Link サーバはデータベース・ワーカ・スレッドごとに1つの接続を確立し、ステータス管理用にもう1つの接続を確立します。したがって、接続の最大数は、データベース・ワーカ・スレッド数+1以上にしてください。

mlstop では、このサーバを停止できません。

項目	値
定数	NO_DBMLSTOP
エラー・コード	10066

考えられる原因

同じ名前の別のサーバが現在実行中のため、mlstop を使って Mobile Link サーバを停止できません。

Mobile Link サーバは、同時同期上の制限により、同期を読み込んでいるネットワークを停止しています。

項目	値
定数	PLACED_SYNCHRONIZATION_IN_BACKLOG
エラー・コード	10083

考えられる原因

同時同期が最大数を越えた場合、Mobile Link サーバは新しい同期接続をすべて中断します。この制限は、-sm オプションを使用して設定されます。

Mobile Link サーバがメモリ・ページをスワップしました：ページ・アウト %1!d!、ページ・イン %2!d!、同時ページ %3!d!

項目	値
定数	SWAPPED_LOTS_OF_PAGES
エラー・コード	10082
パラメータ 1	スワップ・アウトされたページの合計数
パラメータ 2	スワップ・インされたページの合計数
パラメータ 3	同時にディスク内にあるページの最大数

考えられる原因

Mobile Link サーバは、キャッシュ・メモリに収まらなかったときにディスクに書き出す場合があります。この場合、これがパフォーマンスの問題であるかどうかをユーザが判断できるように、ログに警告メッセージが出力されます。-cm オプションでサーバのキャッシュ・メモリのサイズを制御できます。

Mobile Link サーバは、同時同期数の変更によって、同期を読み込んでいるネットワークを再スタートしました。

項目	値
定数	RESTARTED_SYNCHRONIZATION_IN_BACKLOG
エラー・コード	10084

考えられる原因

Mobile Link サーバは、同時同期の制限によって停止された同期の読み込みを再開します。この制限は、-sm オプションを使用して設定されます。

Mobile Link テーブル '%1!s!' が破損しています。

項目	値
定数	TABLE_DAMAGED
エラー・コード	10009
パラメータ 1	Mobile Link システム・テーブル名

考えられる原因

Mobile Link サーバは、リストされたテーブルから情報を取得できませんでした。そのテーブルが存在し、データベース・サーバが実行されていることを確認してください。

handle_error スクリプトが定義されていません。エラー動作はデフォルト・アクション・コード (%1!ld!) に従います。

項目	値
定数	NO_ERROR_HANDLER
エラー・コード	10010
パラメータ 1	エラー・アクション・コード

考えられる原因

同期中に Mobile Link サーバでエラーが発生しました。しかし、統合データベースには定義された handle_error スクリプトがありません。サーバは、そのエラーに対してデフォルトのアクションを実行します。この警告を回避するには、handle_error スクリプトを定義してください。

ODBC 関数 %1!s! がドライバでサポートされていません。

項目	値
定数	ODBC_MISSING_FUNCTION
エラー・コード	10004
パラメータ 1	ODBC 関数名

考えられる原因

この関数は、Mobile Link サーバが動作するのに必要です。ODBC ドライバを更新してください。

ODBC アイソレーション・レベル (%1!s!) はサポートされません。

項目	値
定数	ODBC_MISSING_REQUIRED_ISOLATION_LEVEL
エラー・コード	10003
パラメータ 1	要求された独立性レベル

考えられる原因

要求された独立性レベルは、統合データベースではサポートされていません。他のレベルが適切かどうか判断してください。

ODBC 文のオプション %1!s! は %2!lu! から %3!lu! に変更されています。

項目	値
定数	OPTION_CHANGED_2
エラー・コード	10006
パラメータ 1	ODBC 文オプションの名前
パラメータ 2	設定の元の値
パラメータ 3	設定の新しい値

考えられる原因

オプションが ODBC ドライバによって変更されています。この変更は望ましくありません。

ODBC 文のオプション %1!s! は %2!s! (%3!lu!) から %4!s! (%5!lu!) に変更されています。

項目	値
定数	OPTION_CHANGED_1
エラー・コード	10005
パラメータ 1	ODBC 文オプションの名前
パラメータ 2	設定の元の名前
パラメータ 3	設定の元の値
パラメータ 4	設定の新しい名前

項目	値
パラメータ 5	設定の新しい値

考えられる原因

オプションが ODBC ドライバによって変更されています。この変更は望ましくありません。

パブリケーション '%1s!' は、いずれのテーブルでも参照されていません。

項目	値
定数	WARN_PUB_NO_TABLE
エラー・コード	10022
パラメータ 1	パブリケーション名

考えられる原因

Mobile Link 同期クライアントは、アップロード・データ、アップロード・テーブル、パブリケーションなどのアップロード・ストリームを送信します。これらのパブリケーションはすべて、1 つ以上のアップロード・テーブルによって参照される必要があります。アップロード・テーブルによって参照されないパブリケーションがある場合、サーバはこの警告を表示します。この問題が発生した場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

統合データベースでのデッドロック後に begin_connection トランザクションをリトライします。

項目	値
定数	RETRY_BC_AFTER_DEADLOCK
エラー・コード	10007

考えられる原因

統合データベースの begin_transaction のトランザクションで、デッドロックが発生しました。この警告を回避するには、デッドロックが発生させないように begin_connection スクリプトを書き直してください。

統合データベースでのデッドロック後に `begin_synchronization` トランザクションをリトライします。

項目	値
定数	RETRY_BS_AFTER_DEADLOCK
エラー・コード	10048

考えられる原因

Mobile Link サーバが `begin_synchronization` スクリプトを実行したときに、デッドロックが発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。

統合データベースのデッドロック後に `end_synchronization` トランザクションをリトライします。

項目	値
定数	RETRY_ES_AFTER_DEADLOCK
エラー・コード	10049

考えられる原因

Mobile Link サーバが `end_synchronization` スクリプトを実行したときに、デッドロックが発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。

統合データベースでの競合する更新後にアップロードをリトライします。

項目	値
定数	RETRY_AFTER_CONFLICT_UPDATE
エラー・コード	10080

考えられる原因

Mobile Link サーバが、スナップショット・アイソレーションでアップロード・ストリームを適用しているときに競合する更新が発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。この警告を回避するには、この統合データベースに接続している他のすべてのアプリケーションで開いているすべてのトランザクションをコミットしてください。

統合データベースでのデッドロック後にアップロードをリトライします。

項目	値
定数	RETRY_AFTER_DEADLOCK
エラー・コード	10045

考えられる原因

Mobile Link サーバがアップロード・ストリームを適用したときに、デッドロックが発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。この警告を回避するには、同期スクリプト間の競合を解消してください。同期スクリプトと他のアプリケーション間で競合が発生している場合もあります。

テーブル '%!s!' には少なくとも 1 つのタイムスタンプ・カラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、ダウンロードされるタイムスタンプの精度が失われ、データの一貫性が失われる場合があります。

項目	値
定数	LOSING_DOWNLOAD_TIMESTAMP_PRECISION
エラー・コード	10016
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

リモート・データベースは少なくとも 1 つのタイムスタンプ・カラムを持つテーブルを同期していますが、リモート・データベースのタイムスタンプ精度は統合データベースのタイムスタンプ精度よりも低くなっています。ダウンロードされた値は、リモート・データベースに格納されると正確さを失います。この状況によって、統合データベースとリモート・データベースの間で、同期されたタイムスタンプ・データが事実上異なることとなります。このデータ整合性の問題を回避するには、使用している同期システムに関連するすべてのデータベースでタイムスタンプ精度を揃える必要があります。

テーブル '%!s!' には少なくとも 1 つのタイムスタンプ・カラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、アップロードされるタイムスタンプの精度が失われ、ダウンロード・フィルタリングが無効になる場合があります。

項目	値
定数	LOSING_UPLOAD_TIMESTAMP_PRECISION
エラー・コード	10015

項目	値
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

リモート・データベースは少なくとも1つのタイムスタンプ・カラムを持つテーブルを同期していますが、リモート・データベースのタイムスタンプ精度は統合データベースのタイムスタンプ精度よりも高くなっています。アップロードされた値は、統合データベースに格納されると正確さを失います。Mobile Link サーバは、アップロード・ローとダウンロード・ローを比較し、冗長なダウンロード・ローをフィルタします。精度が失われるため、事実上の相違が生じてダウンロード・フィルタリングが無効になる場合があります。この状況は、ダウンロードのパフォーマンスに影響する可能性があります。このパフォーマンスの低下を回避するには、使用している同期システムに関連するすべてのデータベースでタイムスタンプ精度を揃える必要があります。

テーブル '%1!s!' には、ml_table テーブルのエントリがありません。

項目	値
定数	TABLE_NO_ENTRY
エラー・コード	10024
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

テーブル ml_table、ml_table_script、ml_script には、同期に参加する各テーブル用のスクリプトが含まれています。Mobile Link サーバは、スクリプトを持たない、またはテーブル ml_table にエントリがないすべての同期テーブルについてこの警告を表示します。

クライアントから %1!d! 認証パラメータが提供されましたが、authenticate_parameters スクリプトがありません。

項目	値
定数	NO_AUTH_PARAMS_SCRIPT
エラー・コード	10055
パラメータ 1	認証パラメータの数

考えられる原因

Mobile Link 同期クライアントは、リストされた数の同期パラメータを送信しました。しかし、統合データベースには定義された同期パラメータがありません。この警告を回避するには、同期サーバにある authenticate_parameters スクリプトを定義してください。または、クライアントから同期パラメータを送信しないでください。

コマンド・ライン・オプション '%1!s!' が無視されました。

項目	値
定数	CMD_SWITCH_IGNORED
エラー・コード	10079
パラメータ 1	コマンド・ライン・オプション

考えられる原因

Mobile Link サーバがコマンド・ライン・オプションを無視しました。コマンド・ライン・オプションを適用できるかどうかを確認してください。

統合データベースとリモート・データベース間で、最後に同期をとった時点が一致しません。既知の最後の同期時点から始まる新規アップロードの送信をリモート・データベースに要求しています。

項目	値
定数	TXN_LOG_COOKIE_MISMATCH
エラー・コード	10012

考えられる原因

各同期の後、Mobile Link サーバはシステム・テーブルにリモート終了ログ・オフセットを格納し、新しい同期が発生するとこれらの終了ログ・オフセットをリモート開始オフセットと比較します。終了オフセットが開始オフセットと一致しない場合は、サーバはこの警告を表示し、オフセットの不一致に関する情報をクライアントに通知します。

統合データベースとリモート・データベースでタイムスタンプの精度が異なります。統合データベースのタイムスタンプ精度は秒の小数点以下第 %1!d! 位、リモート・データベースのタイムスタンプ精度は小数点第 %2!d! 位です。

項目	値
定数	LOSING_TIMESTAMP_PRECISION
エラー・コード	10017
パラメータ 1	秒の小数点以下第何位という形式で表した統合データベースのタイムスタンプ精度
パラメータ 2	秒の小数点以下第何位という形で表した、リモート・データベースのタイムスタンプ精度

考えられる原因

リモート・データベースと統合データベースの間で、タイムスタンプ精度の整合性が失われています。パフォーマンスの低下またはデータの不整合を避けるために、両データベースの精度を揃えてください。

ODBC ドライバ '%!s!' は推奨されていません。

項目	値
定数	DD_DRIVER_IS_DEPRECATED
エラー・コード	10086
パラメータ 1	ODBC ドライバ名

考えられる原因

ODBC ドライバが非推奨であり、今後のリリースでは Mobile Link サーバでサポートされなくなる可能性があります。Mobile Link サーバでサポートされている適切な ODBC ドライバをマニュアルで確認してください。

リモート・データベースと統合データベースでタイムスタンプ精度が異なります。競合を検出するために、精度の低い側よりも高い精度のタイムスタンプ値が使用されました。-zp オプションの使用を検討してください。

項目	値
定数	SUSPICIOUS_TIMESTAMP_DIFFERENCE
エラー・コード	10021

考えられる原因

-zp コマンド・ライン・オプションが使用されていない場合に、許容できるタイムスタンプの違いに基づいて、アップロードの競合が検出されました。使用している同期システムに関連するデータベースの精度を揃えないと決定した場合、-zp スイッチを使用して、Mobile Link サーバを起動できます。-zp コマンド・ライン・オプションが使用されている場合、Mobile Link サーバは、2つのデータベース間で精度が低い方より小さいタイムスタンプの違いによって発生した競合は許容します。

リモート・クライアントの同期ログが不完全なまま終了しています。トランケートされたと思われます。

項目	値
定数	ERROR_LOG_TRUNCATED

項目	値
エラー・コード	10035

考えられる原因

Mobile Link サーバは、クライアントからリモート・エラー・ログを完全には取得できませんでした。そのため、リモート・エラー・ログはトランケートされた可能性があります。この警告を回避するには、実行中のクライアントを強制終了しないで、ネットワーク接続に異常がないかどうかを確認してください。

リモート・データベースでは、統合データベースのタイムスタンプ精度を一致させることができません。アプリケーション、スキーマ、スクリプト側で精度の不一致に対処するロジックを用意する必要があります。

項目	値
定数	REMOTE_CANNOT_MATCH_CONSOLIDATE_TIMESTAMP_PRECISION
エラー・コード	10019

考えられる原因

統合データベースのタイムスタンプ精度が、リモート・データベースにより達成可能な精度より高いことが分かりました。可能であれば統合データベースのタイムスタンプ精度を低くして、リモート・データベースと統合データベースの間のタイムスタンプ・データの不整合を回避します。それ以外の場合、同期スキーマにおけるタイムスタンプの同期を回避するか、実質的な相違を検出する競合検出スクリプトを作成するか、`-zp` コマンド・ライン・オプションを使用して競合を許容する必要があります。また、使用しているアプリケーションが不整合を処理できる必要があります。

タイムスタンプ精度の不一致は、アップロード時の競合の検出に影響を及ぼす場合があります。-zp オプションを使用すると、Mobile Link サーバは最も低い精度のタイムスタンプを使用して競合の検出を行います。

項目	値
定数	MAY_USE_AUTO_TIMESTAMP_TOLERANCE
エラー・コード	10020

考えられる原因

タイムスタンプ精度が、リモート・データベースと統合データベースの間に一致していないことが検出されました。Mobile Link サーバが2つのデータベースのローを比較するときに、精度の不一致はアップロード競合検出に影響する場合があります。使用している同期システムに関連す

るデータベースの精度を揃えないと決定した場合、-zp スイッチを使用して、Mobile Link サーバを起動できます。-zp コマンド・ライン・オプションが使用されている場合、Mobile Link サーバは、2つのデータベース間で精度が低い方より小さいタイムスタンプの違いによって発生した競合は許容します。

タイムスタンプ精度の不一致を解決するには、リモート・データベースの DEFAULT_TIMESTAMP_INCREMENT オプションを %!d! に、TRUNCATE_TIMESTAMP_VALUES を 'On' に設定してください。

項目	値
定数	REMOTE_MAY_MATCH_CONSOLIDATE_TIMESTAMP_PRECISION
エラー・コード	10018
パラメータ 1	秒の小数点以下第何位という形式で表した統合データベースのタイムスタンプ精度

考えられる原因

これは、タイムスタンプ精度を揃える方法を通知する警告です。SQL Anywhere クライアント・データベースまたは Ultra Light クライアント用の SQL Anywhere リファレンス・データベースでタイムスタンプ精度を調整します。精度を調整してから、Ultra Light クライアントを再生成する必要があります。

テーブル '%!s!' の更新ローは、競合する更新であるため無視されます。

項目	値
定数	NO_CONFLICT_SCRIPT_IGNORE_UPDATE
エラー・コード	10072
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

競合アップデートが発生しましたが、このテーブルに競合解決のスキプトが定義されていません。

アップロードはコミットされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。

項目	値
定数	LOSE_COMMITTED_UPLOAD

項目	値
エラー・コード	10041

考えられる原因

これは、主にテスト用に使用される内部警告ですが、テクニカル・サポート契約の一部です。

アップロードはロールバックされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。

項目	値
定数	LOSE_UPLOAD
エラー・コード	10023

考えられる原因

これは、主にテスト用に使用される内部警告ですが、テクニカル・サポート契約の一部です。

テーブル %1!s! に定義されたダウンロード・データ・スクリプトがありません。同期処理を行うと、ダウンロード・データが失われる場合があります。

項目	値
定数	WARN_NO_DOWNLOAD_DATA_SCRIPT
エラー・コード	10056
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

リストされたテーブルは、ダウンロード専用同期に関連しています。しかし、統合データベースには、このテーブル用のダウンロード・スクリプトがありません。この警告を回避するには、統合データベースでこのテーブル用のダウンロード・スクリプトを定義するか、常に完全な同期を行ってください。

テーブル %1!s! に定義されたアップロード・データ・スクリプトがありません。同期処理を行うと、アップロード・データが失われる場合があります。

項目	値
定数	WARN_NO_UPLOAD_DATA_SCRIPT
エラー・コード	10057

項目	値
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

リストされたテーブルは同期に関係しますが、リモート・データでこのテーブルに変更がありました。しかし、統合データベースには、このテーブル用のアップロード・スクリプトがありません。この警告を回避するには、統合データベースでこのテーブル用のアップロード・スクリプトを定義するか、Mobile Link 同期クライアント以外のアプリケーションを使用してリモート・データベースに変更を行わないでください。

Microsoft SQL Server 仮想テーブル 'sys.dm_tran_active_transactions' にアクセスできません。Mobile Link サーバは、スナップショット・アイソレーションを使用しません。

項目	値
定数	MSS_SNAPSHOT_PERMISSION
エラー・コード	10078

考えられる原因

Mobile Link サーバで同期時にスナップショット・アイソレーションを使用するには、特定の仮想テーブルにアクセスする必要があります。Mobile Link サーバと Microsoft SQL Server の接続に使用するユーザ ID に、'sys.dm_tran_active_transactions' テーブルにアクセスするパーミッションがあることを確認してください。

ORACLE テーブル 'v_\$transaction' にアクセスできません。タイムスタンプベースのダウンロードを利用する場合は、データの損失を防ぐためにアクセスが必要です。

項目	値
定数	ORACLE_VTXN_PERMISSION
エラー・コード	10075

考えられる原因

ORACLE の非ブロッキング読み込み機能が原因で、ダウンロードのフィルタ用に生成されたタイムスタンプが正しくない可能性があります。Mobile Link サーバと ORACLE データベースの接続に使用するユーザ ID に、v_\$transaction テーブルにアクセスするパーミッションがあることを確認してください。

統合データベースから現在のタイムスタンプを決定できません。

項目	値
定数	ODBC_UNABLE_TO_GET_TIMESTAMP
エラー・コード	10043

考えられる原因

Mobile Link サーバは、統合データベースから現在のタイムスタンプを取得できませんでした。データベース・サーバが実行中であり、ネットワーク接続に異常がないかどうか確認してください。

統合データベースからダウンロード・タイムスタンプをフェッチできません。

項目	値
定数	ODBC_UNABLE_TO_GET_DOWNLOAD_TIMESTAMP
エラー・コード	10074

考えられる原因

Mobile Link サーバは、統合データベースからダウンロード・タイムスタンプを取得できませんでした。データベース・サーバが実行中であり、ネットワーク接続に異常がないかどうか確認してください。

クライアントの同期ログを格納するファイルを開けません。ファイル名は '%1!s!' です。

項目	値
定数	ERROR_OPENING_ERROR_LOG
エラー・コード	10032
パラメータ 1	ファイル名

考えられる原因

Mobile Link サーバは、-e または -et オプションによって指定されたローカルのリモート・ログ・ファイルを開けませんでした。ファイル名およびパスが有効で、ファイルが書き込み可能であることを確認してください。

統合データベースからテーブル '%1!s!' のカラムのデータ型を取得できません。

項目	値
定数	UNABLE_TO_RETRIEVE_DATA_TYPES
エラー・コード	10081
パラメータ 1	テーブル名

考えられる原因

Mobile Link サーバで、SQLDescribeParam を使用して、統合データベースからこのテーブルのカラムのデータ型を取得できませんでした。したがって、サーバでは、統合データベース内のこのテーブルのデータ型は、リモート・データベースで定義されているデータ型と同じであると見なされます。

リモート同期ログを含むローカル・ファイルに書き込めません。

項目	値
定数	ERROR_WRITING_ERROR_LOG
エラー・コード	10034

考えられる原因

Mobile Link サーバは、リモート・エラー・ログをローカル・ファイルに書き込めませんでした。この警告を回避するには、-e または -et オプションによって指定されたファイル名およびパスが有効で、ファイルが書き込み可能であることを確認してください。

未知のユーザは自動的に追加されます (authenticate_user スクリプトがない場合)。

項目	値
定数	REPORT_AUTO_ADD_USERS
エラー・コード	10064

考えられる原因

これは、Mobile Link サーバのコマンド・ライン・オプション -zu+ が使用されるときのお知らせメッセージです。

認識されない ODBC ドライバ '%1s!' です。ODBC ドライバは、種類によって機能と品質が大幅に異なります。このドライバには同期に必要な機能がありません。ユーザ自身の責任でご使用ください。

項目	値
定数	DRIVER_IS_NOT_RECOMMENDED
エラー・コード	10051
パラメータ 1	ODBC ドライバのファイル名

考えられる原因

Mobile Link サーバは、一連の ODBC ドライバを使用して十分なテストを行っています。しかし、現在使用している ODBC ドライバはリストにありません。この警告を回避するには、推奨された ODBC ドライバを使用して Mobile Link サーバを実行してください。

Windows XP ファイアウォールが有効であり、Mobile Link サーバが例外リストにありません。リモート・マシンのクライアントはこのサーバに接続できません。

項目	値
定数	XP_FIREWALL_ENABLED
エラー・コード	10073

考えられる原因

Windows XP ファイアウォールが有効になり、Mobile Link サーバが例外リストにないか、例外リストにあっても無効になっています。この設定では、リモート・クライアントがサーバに接続できません。

古い ODBC ドライバ '%1s!' を使用して作成した DSN を使用しています。http://www.ianywhere.jp/developers/technotes/odbc_mobilink.html で説明されている推奨ドライバを使用して作成した DSN を使用してください。

項目	値
定数	DRIVER_IS_OUT_OF_DATE
エラー・コード	10077
パラメータ 1	ドライバ名

考えられる原因

古い ODBC ドライバを使用しています。古い ODBC ドライバは、新しい機能がなく、またバグ・フィックスが不十分である可能性があります。最新の推奨ドライバを使用してください。

第 4 章

Mobile Link 通信エラー・メッセージ

目次

Mobile Link 通信エラー・メッセージの概要	616
通信エラー・メッセージ (コード順)	617
通信エラー・メッセージ (定数順)	623
五十音順のエラー・メッセージ・リスト	632

Mobile Link 通信エラー・メッセージの概要

エラー・メッセージは、Mobile Link 同期サーバと Mobile Link SQL Anywhere クライアントのメッセージ・ログに書き込まれます。エラー・コードは、`stream_error` パラメータの `ss_error_code` メンバで Ultra Light クライアントに返されます。

通信エラー・メッセージ(コード順)

エラー・コード	エラー・メッセージ
0	「エラーなし、または不明なエラー」 641 ページ
1	「不正なパラメータ '%1s!' です。」 667 ページ
2	「パラメータ値 '%1s!' は符号なし整数ではありません。」 651 ページ
3	「パラメータ値 '%1s!' は符号なし整数値または範囲ではありません。範囲の形式は NNN-NNN です。」 652 ページ
4	「パラメータ値 '%1s!' は有効なブール値ではありません。値を 0 または 1 に指定します。」 652 ページ
5	「パラメータ値 '%1s!' は有効な 16 進数値ではありません。」 652 ページ
6	「十分なメモリを割り付けることができません。」 658 ページ
7	「パラメータ文字列 '%1s!' を解析できません。」 653 ページ
8	「%1s! バイトを読み込めません。」 633 ページ
9	「%1s! バイトを書き込めません。」 632 ページ
10	「終了書き込みが失敗しました。」 658 ページ
11	「終了読み込みが失敗しました。」 658 ページ
12	「この機能は実装されていません。」 642 ページ
13	「この操作を行うとブロッキングが発生します。」 642 ページ
14	「乱数を生成できません。」 671 ページ
15	「乱数ジェネレータを初期化できません。」 670 ページ
16	「乱数ジェネレータにシードを設定できません。」 670 ページ
17	「乱数オブジェクトを作成できません。」 670 ページ
18	「シャットダウン時にエラーが発生しました。」 644 ページ
19	「接続キューからデキューできません。」 663 ページ
20	「不正なルート証明書です。」 668 ページ
21	「認識されない組織 '%1s!' です。」 666 ページ
24	「信用されないサーバ証明書です。」 663 ページ
25	「セキュリティ・コンテキストを複製できません。」 645 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
26	「ネットワーク・レイヤをセキュリティ・レイヤに付加できません。」 650 ページ
33	「証明書ファイル '%1s!' を開けません。」 659 ページ
34	「証明書を読み込めません。」 661 ページ
35	「プライベート・キーを読み込めません。」 654 ページ
36	「プライベート・キーを設定できません。」 654 ページ
37	「証明書有効期日をフェッチできません。」 661 ページ
38	「証明書をコピーできません。」 660 ページ
39	「証明書を証明書チェーンに追加できません。」 660 ページ
40	「信用された証明書ファイル '%1s!' を見つけられません。」 662 ページ
41	「信用された証明書ファイル '%1s!' から読み込み中にエラーが発生しました。」 662 ページ
42	「信用された証明書が %1s! で見つかりません。」 661 ページ
43	「証明書を割り付けることができません。」 660 ページ
44	「証明書をインポートできません。」 659 ページ
48	「信用された証明書を追加できません。」 662 ページ
49	「プライベート・キー・オブジェクトを作成できません。」 653 ページ
50	「証明書が失効しました。」 659 ページ
51	「認識されない組織単位 '%1s!' です。」 666 ページ
52	「認識されない共通名 '%1s!' です。」 665 ページ
53	「ハンドシェイク・エラー」 653 ページ
54	「認識されない HTTP バージョン: %1s!」 665 ページ
57	「ホスト名 '%1s!' を見つけられませんでした。」 655 ページ
58	「TCP/IP ソケットを作成できません。」 639 ページ
59	「UDP ソケットを作成できません。」 640 ページ
60	「ポート %1s! にソケットをバインドできません。」 655 ページ
61	「ソケット・レイヤをクリーンアップできません。」 645 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
62	「ソケットを閉じられません。」 648 ページ
63	「ソケットを接続できません。」 648 ページ
64	「ソケットのローカル名を取得できません。」 647 ページ
65	「ソケットのオプション番号 %!s! を取得できません。」 646 ページ
66	「ソケットのオプション番号 %!s! を設定できません。」 647 ページ
67	「ソケットで受信できません。バックログは %!s! です。」 646 ページ
68	「ソケットをシャットダウンできません。」 648 ページ
69	「ソケットのステータスを選択できません。」 647 ページ
70	「ソケット・レイヤを初期化できません。」 645 ページ
71	「localhost を判別できません。」 639 ページ
72	「アドレスからホストを取得できません。」 640 ページ
73	「ネットワーク・インタフェース・ライブラリをロードできません。」 650 ページ
74	「不正なポート番号 %!s! です。値は 0 ～ 65535 でなければなりません。」 667 ページ
75	「ActiveSync 同期をアプリケーション側から開始できません。」 635 ページ
76	「ActiveSync プロバイダがインストールされていません。」 635 ページ
77	「%!s! は未知の内容タイプです。」 635 ページ
78	「クライアント ID は HTTP ヘッダでは使用できません。」 641 ページ
79	「指定された HTTP バッファ・サイズは有効な範囲を超えています。」 657 ページ
80	「HTTP 本文に余分なデータが見つかりました : %!s!」 639 ページ
81	「エンコードされた CR LF の読み込みに失敗しました。」 641 ページ
82	「CR LF の読み込みに失敗しました。」 636 ページ
83	「この同期で次の HTTP 要求を待機中にタイムアウトが発生しました。」 642 ページ
84	「エンコードされたチャンク長の読み込みに失敗しました。」 641 ページ
85	「チャンク長を解析中に予期しない文字が読み込まれました。%!s!」 649 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
86	「エラー・ステータスが返されました :%1!s!」 640 ページ
87	「未知の転送エンコードです :%1!s!」 668 ページ
88	「cookie を解析できません :%1!s!」 636 ページ
89	「リモートからの予期されたデータですが、現在の要求は POST ではありません。」 656 ページ
200	「不正な活性タイムアウト値 %1!s! です。値は 0 - 65535 でなければなりません。」 668 ページ
201	「%1!s! バイトを読み込もうとしてタイムアウトが発生しました。」 633 ページ
202	「%1!s! バイトを書き込もうとしてタイムアウトが発生しました。」 633 ページ
203	「自動ダイヤルアップはこのマシンではサポートされません。」 658 ページ
204	「%1!s! へのダイヤル接続に失敗しました。」 634 ページ
205	「サーバ証明書が指定されていません。」 643 ページ
206	「サーバ証明書のパスワードが入力されていません。」 643 ページ
207	「信用されたルート証明書が指定されていません。」 661 ページ
208	「暗号化されていないサーバ・キーに対してパスワードが指定されました。」 657 ページ
209	「HTTP 認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。」 638 ページ
210	「HTTP プロキシ認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。」 637 ページ
211	「HTTP 認証に失敗しました。」 638 ページ
212	「HTTP プロキシの認証に失敗しました。」 637 ページ
213	「ユーザ ID が指定されていません。」 656 ページ
214	「パスワードが指定されていません。」 651 ページ
215	「HTTP 認証アルゴリズムがサポートされていません :%1!s!」 638 ページ
216	「HTTP ヘッダの解析エラーです :%1!s!」 637 ページ
217	「HTTP サーバの認証に失敗しました。」 637 ページ
218	「操作が中断されました。」 664 ページ
219	「無効な HTTP 文字です。」 668 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
220	「内部エラー (%1s!) です。」 664 ページ
221	「システム証明書ストアを開けませんでした。」 644 ページ
222	「システム証明書ストアから証明書をインポートできませんでした。」 643 ページ
223	「システム証明書ストアに証明書がありませんでした。」 644 ページ
224	「ライブラリ %1s! をロードできませんでした。」 656 ページ
225	「関数 %1s! が見つかりませんでした。」 657 ページ
226	「無効な同期プロトコルです : %1s!» 669 ページ
227	「内部プロトコルがロードされませんでした : %1s!» 665 ページ
228	「サーバ・エラー %1s! です。」 643 ページ
229	「パラメータがありません : %1s!» 651 ページ
230	「%1s! を書き込み用に開けませんでした。」 634 ページ
231	「プロトコル・エラー」 654 ページ
232	「無効な圧縮型です : %1s!» 669 ページ
233	「%1s! に指定した値が範囲から外れています。」 632 ページ
234	「予期しない要求タイプです : %1s!» 670 ページ
235	「不正なセッション cookie (ML_SESSION_ID) 値です : %1s!» 667 ページ
236	「ヘッダを復号化しているときに予期しない HTTP ステータス %1u! になりました。」 655 ページ
237	「予期しない内部 HTTP 要求タイプ %1u! です。」 669 ページ
238	「内部エラー : %1s! が %2!d! を返しました。」 664 ページ
239	「ECC 暗号化は、FIPS に準拠していません。」 636 ページ
240	「認識できない TLS タイプ %1s! です。」 666 ページ
241	「接続試行がタイムアウトしました。」 663 ページ
242	「セキュア・ストリームの FIPS は明示的に無効になっていますが、-fips オプションが有効になっています。」 645 ページ
243	「ダウンロードしたファイルのローカル・パス %1s! が無効です。」 649 ページ

エラー・コード	エラー・メッセージ
244	「%1!s! は未知のセッション・キー・タイプです。」 634 ページ
245	「ネットワーク・インタフェース・ライブラリが不正か破損しています : %1!」 649 ページ
248	「ネットワーク・インタフェース・ライブラリのバージョンが一致しません。予期されたバージョンは %1!u!.%2!u! ですが、バージョン %3!u!.%4!u! が見つかりました。」 650 ページ

通信エラー・メッセージ (定数順)

定数	エラー・メッセージ
ACTSYNC_NO_PORT	「ActiveSync 同期をアプリケーション側から開始できません。」 635 ページ
ACTSYNC_NOT_INSTALLED	「ActiveSync プロバイダがインストールされていません。」 635 ページ
CONNECT_TIMEOUT	「接続試行がタイムアウトしました。」 663 ページ
COULD_NOT_OPEN_FILE_FOR_WRITE	「%1!s! を書き込み用に開けませんでした。」 634 ページ
CREATE_RANDOM_OBJECT	「乱数オブジェクトを作成できません。」 670 ページ
DEQUEUEING_CONNECTION	「接続キューからデキューできません。」 663 ページ
DUN_DIAL_FAILED	「%1!s! へのダイヤル接続に失敗しました。」 634 ページ
DUN_NOT_SUPPORTED	「自動ダイヤルアップはこのマシンではサポートされません。」 658 ページ
END_READ	「終了読み込みが失敗しました。」 658 ページ
END_WRITE	「終了書き込みが失敗しました。」 658 ページ
GENERATE_RANDOM	「乱数を生成できません。」 671 ページ
HTTP_AUTHENTICATION_FAILED	「HTTP 認証に失敗しました。」 638 ページ
HTTP_AUTHENTICATION_REQUIRED	「HTTP 認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。」 638 ページ
HTTP_BAD_STATUS_CODE	「エラー・ステータスが返されました: %1!s!」 640 ページ

定数	エラー・メッセージ
HTTP_BUFFER_SIZE_OUT_OF_RANGE	「指定された HTTP バッファ・サイズは有効な範囲を超えています。」 657 ページ
HTTP_CHUNK_LEN_BAD_CHARACTER	「チャンク長を解析中に予期しない文字が読み込まれました。%!s!」 649 ページ
HTTP_CHUNK_LEN_ENCODED_MISSING	「エンコードされたチャンク長の読み込みに失敗しました。」 641 ページ
HTTP_CLIENT_ID_NOT_SET	「クライアント ID は HTTP ヘッダでは使用できません。」 641 ページ
HTTP_CONTENT_TYPE_NOT_SPECIFIED	「%!s! は未知の内容タイプです。」 635 ページ
HTTP_CRLF_ENCODED_MISSING	「エンコードされた CR LF の読み込みに失敗しました。」 641 ページ
HTTP_CRLF_MISSING	「CR LF の読み込みに失敗しました。」 636 ページ
HTTP_EXPECTED_POST	「リモートからの予期されたデータですが、現在の要求は POST ではありません。」 656 ページ
HTTP_EXTRA_DATA_END_READ	「HTTP 本文に余分なデータが見つかりました : %!s!」 639 ページ
HTTP_HEADER_PARSE_ERROR	「HTTP ヘッダの解析エラーです : %!s!」 637 ページ
HTTP_INTERNAL_HEADER_STATE	「ヘッダを復号化しているときに予期しない HTTP ステータス %!u! になりました。」 655 ページ
HTTP_INTERNAL_REQUEST_TYPE	「予期しない内部 HTTP 要求タイプ %!u! です。」 669 ページ
HTTP_INVALID_CHARACTER	「無効な HTTP 文字です。」 668 ページ

定数	エラー・メッセージ
HTTP_INVALID_SESSION_KEY	「%!s! は未知のセッション・キー・タイプです。」 634 ページ
HTTP_MALFORMED_SESSION_COOKIE	「不正なセッション cookie (ML_SESSION_ID) 値です: %!s!」 667 ページ
HTTP_NO_CONTD_CONNECTION	「この同期で次の HTTP 要求を待機中にタイムアウトが発生しました。」 642 ページ
HTTP_NO_PASSWORD	「パスワードが指定されていません。」 651 ページ
HTTP_NO_USERID	「ユーザ ID が指定されていません。」 656 ページ
HTTP_PROXY_AUTHENTICATION_FAILED	「HTTP プロキシの認証に失敗しました。」 637 ページ
HTTP_PROXY_AUTHENTICATION_REQUIRED	「HTTP プロキシ認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。」 637 ページ
HTTP_SERVER_AUTH_FAILED	「HTTP サーバの認証に失敗しました。」 637 ページ
HTTP_UNABLE_TO_PARSE_COOKIE	「cookie を解析できません: %!s!」 636 ページ
HTTP_UNKNOWN_TRANSFER_ENCODING	「未知の転送エンコードです: %!s!」 668 ページ
HTTP_UNSUPPORTED_AUTH_ALGORITHM	「HTTP 認証アルゴリズムがサポートされていません: %!s!」 638 ページ
HTTP_VERSION	「認識されない HTTP バージョン: %!s!」 665 ページ
INCONSISTENT_FIPS	「セキュア・ストリームの FIPS は明示的に無効になっていますが、-fips オプションが有効になっています。」 645 ページ
INIT_RANDOM	「乱数ジェネレータを初期化できません。」 670 ページ
INTERNAL	「内部エラー (%!s!) です。」 664 ページ

定数	エラー・メッセージ
INTERNAL_API	「内部エラー : %1s! が %2!d! を返しました。」 664 ページ
INTERNAL_PROTOCOL_NOT_LOADED	「内部プロトコルがロードされませんでした : %1s!」 665 ページ
INTERRUPTED	「操作が中断されました。」 664 ページ
INVALID_COMPRESSION_TYPE	「無効な圧縮型です : %1s!」 669 ページ
INVALID_LOCAL_PATH	「ダウンロードしたファイルのローカル・パス %1s! が無効です。」 649 ページ
INVALID_NETWORK_LIBRARY	「ネットワーク・インタフェース・ライブラリが不正か破損しています : %1!」 649 ページ
INVALID_SYNC_PROTOCOL	「無効な同期プロトコルです : %1s!」 669 ページ
LIBRARY_ENTRY_POINT_NOT_FOUND	「関数 %1s! が見つかりませんでした。」 657 ページ
LOAD_LIBRARY_FAILURE	「ライブラリ %1s! をロードできませんでした。」 656 ページ
LOAD_NETWORK_LIBRARY	「ネットワーク・インタフェース・ライブラリをロードできません。」 650 ページ
MEMORY_ALLOCATION	「十分なメモリを割り付けることができません。」 658 ページ
MISSING_PARAMETER	「パラメータがありません : %1s!」 651 ページ
NETWORK_LIBRARY_VERSION_MISMATCH	「ネットワーク・インタフェース・ライブラリのバージョンが一致しません。予期されたバージョンは %1!u!.%2!u! ですが、バージョン %3!u!.%4!u! が見つかりました。」 650 ページ

定数	エラー・メッセージ
NO_ECC_FIPS	「ECC 暗号化は、FIPS に準拠していません。」 636 ページ
NONE	「エラーなし、または不明なエラー」 641 ページ
NOT_IMPLEMENTED	「この機能は実装されていません。」 642 ページ
PARAMETER	「不正なパラメータ '%!s!' です。」 667 ページ
PARAMETER_NOT_BOOLEAN	「パラメータ値 '%!s!' は有効なブール値ではありません。値を 0 または 1 に指定します。」 652 ページ
PARAMETER_NOT_HEX	「パラメータ値 '%!s!' は有効な 16 進数値ではありません。」 652 ページ
PARAMETER_NOT_UINT32	「パラメータ値 '%!s!' は符号なし整数ではありません。」 651 ページ
PARAMETER_NOT_UINT32_RANGE	「パラメータ値 '%!s!' は符号なし整数値または範囲ではありません。範囲の形式は NNN-NNN です。」 652 ページ
PARSE	「パラメータ文字列 '%!s!' を解析できません。」 653 ページ
PROTOCOL_ERROR	「プロトコル・エラー」 654 ページ
READ	「%!s! バイトを読み込めません。」 633 ページ
READ_TIMEOUT	「%!s! バイトを読み込もうとしてタイムアウトが発生しました。」 633 ページ
SECURE_ADD_CERTIFICATE	「証明書を証明書チェーンに追加できません。」 660 ページ
SECURE_ADD_TRUSTED_CERTIFICATE	「信用された証明書を追加できません。」 662 ページ

定数	エラー・メッセージ
SECURE_CERTIFICATE_COMMON_NAME	「認識されない共通名 '%1s!' です。」 665 ページ
SECURE_CERTIFICATE_COMPANY_NAME	「認識されない組織 '%1s!' です。」 666 ページ
SECURE_CERTIFICATE_COMPANY_UNIT	「認識されない組織単位 '%1s!' です。」 666 ページ
SECURE_CERTIFICATE_COUNT	「信用された証明書が %1s! で見つかりません。」 661 ページ
SECURE_CERTIFICATE_EXPIRED	「証明書が失効しました。」 659 ページ
SECURE_CERTIFICATE_EXPIRY_DATE	「証明書有効期日をフェッチできません。」 661 ページ
SECURE_CERTIFICATE_FILE_NOT_FOUND	「証明書ファイル '%1s!' を開けません。」 659 ページ
SECURE_CERTIFICATE_NOT_TRUSTED	「信用されないサーバ証明書です。」 663 ページ
SECURE_CERTIFICATE_ROOT	「不正なルート証明書です。」 668 ページ
SECURE_CREATE_CERTIFICATE	「証明書を割り付けることができません。」 660 ページ
SECURE_CREATE_PRIVATE_KEY_OBJECT	「プライベート・キー・オブジェクトを作成できません。」 653 ページ
SECURE_DUPLICATE_CONTEXT	「セキュリティ・コンテキストを複製できません。」 645 ページ
SECURE_EXPORT_CERTIFICATE	「証明書をコピーできません。」 660 ページ
SECURE_HANDSHAKE	「ハンドシェイク・エラー」 653 ページ
SECURE_IMPORT_CERT_FROM_SYSTEM_STORE	「システム証明書ストアから証明書をインポートできませんでした。」 643 ページ
SECURE_IMPORT_CERTIFICATE	「証明書をインポートできません。」 659 ページ

定数	エラー・メッセージ
SECURE_NO_CERTS_IN_SYS_STORE	「システム証明書ストアに証明書がありませんでした。」 644 ページ
SECURE_NO_SERVER_CERTIFICATE	「サーバ証明書が指定されていません。」 643 ページ
SECURE_NO_SERVER_CERTIFICATE_PASSWORD	「サーバ証明書のパスワードが入力されていません。」 643 ページ
SECURE_NO_TRUSTED_ROOTS	「信用されたルート証明書が指定されていません。」 661 ページ
SECURE_OPEN_SYSTEM_CERT_STORE	「システム証明書ストアを開けませんでした。」 644 ページ
SECURE_READ_CERTIFICATE	「証明書を読み込めません。」 661 ページ
SECURE_READ_PRIVATE_KEY	「プライベート・キーを読み込めません。」 654 ページ
SECURE_REDUNDANT_SERVER_CERTIFICATE_PASSWORD	「暗号化されていないサーバ・キーに対してパスワードが指定されました。」 657 ページ
SECURE_SET_IO	「ネットワーク・レイヤをセキュリティ・レイヤに付加できません。」 650 ページ
SECURE_SET_PRIVATE_KEY	「プライベート・キーを設定できません。」 654 ページ
SECURE_TRUSTED_CERTIFICATE_FILE_NOT_FOUND	「信用された証明書ファイル "%1s!" を見つけられませんでした。」 662 ページ
SECURE_TRUSTED_CERTIFICATE_READ	「信用された証明書ファイル "%1s!" から読み込み中にエラーが発生しました。」 662 ページ
SEED_RANDOM	「乱数ジェネレータにシードを設定できません。」 670 ページ
SERVER_ERROR	「サーバ・エラー %1s! です。」 643 ページ

定数	エラー・メッセージ
SHUTTING_DOWN	「シャットダウン時にエラーが発生しました。」 644 ページ
SOCKET_BIND	「ポート %!s! にソケットをバインドできません。」 655 ページ
SOCKET_CLEANUP	「ソケット・レイヤをクリーンアップできません。」 645 ページ
SOCKET_CLOSE	「ソケットを閉じられません。」 648 ページ
SOCKET_CONNECT	「ソケットを接続できません。」 648 ページ
SOCKET_CREATE_TCPIP	「TCP/IP ソケットを作成できません。」 639 ページ
SOCKET_CREATE_UDP	「UDP ソケットを作成できません。」 640 ページ
SOCKET_GET_HOST_BY_ADDR	「アドレスからホストを取得できません。」 640 ページ
SOCKET_GET_NAME	「ソケットのローカル名を取得できません。」 647 ページ
SOCKET_GET_OPTION	「ソケットのオプション番号 %!s! を取得できません。」 646 ページ
SOCKET_HOST_NAME_NOT_FOUND	「ホスト名 "%!s!" を見つけれませんでした。」 655 ページ
SOCKET_LISTEN	「ソケットで受信できません。バックログは %!s! です。」 646 ページ
SOCKET_LIVENESS_OUT_OF_RANGE	「不正な活性タイムアウト値 %!s! です。値は 0 ～ 65535 でなければなりません。」 668 ページ
SOCKET_LOCALHOST_NAME_NOT_FOUND	「localhost を判別できません。」 639 ページ

定数	エラー・メッセージ
SOCKET_PORT_OUT_OF_RANGE	「不正なポート番号 %!s! です。値は 0 ～ 65535 でなければなりません。」 667 ページ
SOCKET_SELECT	「ソケットのステータスを選択できません。」 647 ページ
SOCKET_SET_OPTION	「ソケットのオプション番号 %!s! を設定できません。」 647 ページ
SOCKET_SHUTDOWN	「ソケットをシャットダウンできません。」 648 ページ
SOCKET_STARTUP	「ソケット・レイヤを初期化できません。」 645 ページ
UNEXPECTED_HTTP_REQUEST_TYPE	「予期しない要求タイプです: %!s!」 670 ページ
UNRECOGNIZED_TLS_TYPE	「認識できない TLS タイプ %!s! です。」 666 ページ
VALUE_OUT_OF_RANGE	「%!s! に指定した値が範囲から外れています。」 632 ページ
WOULD_BLOCK	「この操作を行うとブロッキングが発生します。」 642 ページ
WRITE	「%!s! バイトを書き込めません。」 632 ページ
WRITE_TIMEOUT	「%!s! バイトを書き込もうとしてタイムアウトが発生しました。」 633 ページ

五十音順のエラー・メッセージ・リスト

%1!s! に指定した値が範囲から外れています。

項目	値
定数	VALUE_OUT_OF_RANGE
エラー・コード	233
パラメータ 1	パラメータの名前

考えられる原因

指定した値が、パラメータに許可される値の範囲内ではありませんでした。マニュアルでパラメータの説明を参照して、値に許可される範囲を確認してください。

%1!s! バイトを書き込めません。

項目	値
定数	WRITE
エラー・コード	9
パラメータ 1	書き込めなかったバイト数

考えられる原因

指定されたバイト数をネットワーク・レイヤに書き込むことができません。書き込みは、より規模の大きいネットワーク操作の一部として行われます。たとえば、ネットワーク・レイヤによっては、サブ・レイヤを設定して、ここで上位レイヤの基本操作の一部として読み込みと書き込みを行います。書き込みエラーの原因は、通常は次のいずれかです。1) ネットワークに、書き込みを失敗させる問題が生じた。もう一度接続と操作を行ってください。2) 接続がタイムアウトした。もう一度接続と操作を行ってください。3) 反対側の接続が完全に終了した。クライアントかサーバ(またはその両方)のエラー・ログを参照して、接続が削除された理由を調べてください。出力されたエラー・ログを調べて原因を解明し、もう一度操作を行ってください。4) 接続の反対側で処理がアボートされた。クライアントかサーバ(またはその両方)のエラー出力ログを参照して、処理がアボートされた理由を調べてください。通常の方法以外のやり方で処理が停止された場合は、出力ログにエラーは記録されません。もう一度接続と操作を行ってください。5) システム・リソースが不足しており、書き込みを実行できない。システム・リソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。再度行ってもうまくいかない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

%1!s! バイトを書き込もうとしてタイムアウトが発生しました。

項目	値
定数	WRITE_TIMEOUT
エラー・コード	202
パラメータ 1	書き込めなかったバイト数

考えられる原因

ネットワーク・レイヤによって指定されたバイト数を指定時間内に書き込めませんでした。ネットワークが正常に機能しており、受信側アプリケーションがまだ動作中であることを確認してください。

%1!s! バイトを読み込めません。

項目	値
定数	READ
エラー・コード	8
パラメータ 1	読み込めなかったバイト数

考えられる原因

ネットワーク・レイヤによって指定されたバイト数を読み込めませんでした。読み込みは、より規模の大きいネットワーク操作の一部として行われます。たとえば、ネットワーク・レイヤによっては、サブ・レイヤを設定して、ここで上位レイヤの基本操作の一部として読み込みと書き込みを行います。読み込みエラーの原因は、通常は次のいずれかです。1) ネットワークに、読み込みを失敗させる問題が生じた。もう一度接続と操作を行ってください。2) 接続がタイムアウトした。もう一度接続と操作を行ってください。3) 反対側の接続が完全に終了した。クライアントかサーバ(またはその両方)のエラー・ログを参照して、接続が削除された理由を調べてください。出力されたエラー・ログを調べて原因を解明し、もう一度操作を行ってください。4) 接続の反対側で処理がアボートされた。クライアントかサーバ(またはその両方)のエラー出力ログを参照して、処理がアボートされた理由を調べてください。通常の方法以外のやり方で処理が停止された場合は、出力ログにエラーは記録されません。もう一度接続と操作を行ってください。5) システム・リソースが不足しており、読み込みを実行できない。システム・リソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。再度行ってもうまくいかない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

%1!s! バイトを読み込もうとしてタイムアウトが発生しました。

項目	値
定数	READ_TIMEOUT

項目	値
エラー・コード	201
パラメータ 1	読み込めなかったバイト数

考えられる原因

ネットワーク・レイヤによって指定されたバイト数を指定時間内に読み込めませんでした。ネットワークが正常に機能しており、送信側アプリケーションがまだ動作中であることを確認してください。

%!s! へのダイヤル接続に失敗しました。

項目	値
定数	DUN_DIAL_FAILED
エラー・コード	204

考えられる原因

指定したダイヤルアップ・ネットワークに自動ダイヤルアップで接続を確立できませんでした。

%!s! を書き込み用には開けませんでした。

項目	値
定数	COULD_NOT_OPEN_FILE_FOR_WRITE
エラー・コード	230
パラメータ 1	ファイルの名前

考えられる原因

指定したファイルを書き込み用に開くことができませんでした。このファイルが正しいファイルであること、またファイルが他のアプリケーションで使用されていないことを確認してください。

'%!s!' は未知のセッション・キー・タイプです。

項目	値
定数	HTTP_INVALID_SESSION_KEY
エラー・コード	244

項目	値
パラメータ 1	セッション・キー・タイプ

考えられる原因

未知のセッション・キー・タイプが指定されました。マニュアルを参照し、サポートされるセッション・キー・タイプに変更してください。

'%1!s!' は未知の内容タイプです。

項目	値
定数	HTTP_CONTENT_TYPE_NOT_SPECIFIED
エラー・コード	77
パラメータ 1	内容タイプ

考えられる原因

未知の内容タイプが指定されました。マニュアルを参照し、サポートされる内容タイプに変更してください。

ActiveSync プロバイダがインストールされていません。

項目	値
定数	ACTSYNC_NOT_INSTALLED
エラー・コード	76

考えられる原因

ActiveSync プロバイダがインストールされていません。dbasinst を実行して ActiveSync プロバイダをインストールしてください (詳細についてはマニュアルを参照してください)。

ActiveSync 同期をアプリケーション側から開始できません。

項目	値
定数	ACTSYNC_NO_PORT
エラー・コード	75

考えられる原因

ActiveSync 同期を開始できるのは、ActiveSync だけです。開始するには、クレードル内にデバイスを置くか、ActiveSync マネージャの [同期] を選択します。アプリケーションから同期を開始するには、TCP/IP ソケットの同期ストリームを使用してください。

cookie を解析できません : '%1!s!'

項目	値
定数	HTTP_UNABLE_TO_PARSE_COOKIE
エラー・コード	88
パラメータ 1	set cookie ヘッダ

考えられる原因

破損している set cookie ヘッダを判別してください。

CR LF の読み込みに失敗しました。

項目	値
定数	HTTP_CRLF_MISSING
エラー・コード	82

考えられる原因

使用しているプロキシが Mobile Link と互換性がない可能性があります。設定を確認してください。

ECC 暗号化は、FIPS に準拠していません。

項目	値
定数	NO_ECC_FIPS
エラー・コード	239

考えられる原因

この圧縮処理を行うことができませんでした。保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

HTTP サーバの認証に失敗しました。

項目	値
定数	HTTP_SERVER_AUTH_FAILED
エラー・コード	217

考えられる原因

サーバから送信された認証情報ヘッダに不正な値が含まれているため、認証に失敗しました。正規の HTTP サーバに接続していることを確認してください。

HTTP プロキシの認証に失敗しました。

項目	値
定数	HTTP_PROXY_AUTHENTICATION_FAILED
エラー・コード	212

考えられる原因

入力したユーザ ID とパスワードがプロキシ・サーバで拒否されました。正しく入力したかどうか確認してください。入力した場合は、正しいアクセス権があることをシステム管理者に確認してください。

HTTP プロキシ認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。

項目	値
定数	HTTP_PROXY_AUTHENTICATION_REQUIRED
エラー・コード	210

考えられる原因

HTTP プロキシが HTTP 認証を要求しました。HTTP 同期パラメータ `http_proxy_userid` と `http_proxy_password` を使用してユーザ ID とパスワードを指定してください。

HTTP ヘッダの解析エラーです : %1!s!

項目	値
定数	HTTP_HEADER_PARSE_ERROR
エラー・コード	216

考えられる原因

HTTP ヘッダを解析しようとしてエラーが発生しました。ヘッダの形式が間違っている可能性があります。

HTTP 認証アルゴリズムがサポートされていません : %1!s!

項目	値
定数	HTTP_UNSUPPORTED_AUTH_ALGORITHM
エラー・コード	215

考えられる原因

サーバが要求した HTTP ダイジェスト認証アルゴリズムは、サポートされていません。サポートされているのは「MD5」と「MD5-sess」だけです。

HTTP 認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。

項目	値
定数	HTTP_AUTHENTICATION_REQUIRED
エラー・コード	209

考えられる原因

HTTP サーバまたはゲートウェイが HTTP 認証を要求しました。HTTP 同期パラメータ http_userid と http_password を使用してユーザ ID とパスワードを指定してください。

HTTP 認証に失敗しました。

項目	値
定数	HTTP_AUTHENTICATION_FAILED
エラー・コード	211

考えられる原因

入力したユーザ ID とパスワードは拒否されました。正しく入力したかどうか確認してください。入力した場合は、正しいアクセス権があることをシステム管理者に確認してください。

HTTP 本文に余分なデータが見つかりました : %!s!

項目	値
定数	HTTP_EXTRA_DATA_END_READ
エラー・コード	80
パラメータ 1	余分なデータの最初の数文字

考えられる原因

HTTP 本文に余分なデータが追加されています。このデータは、プロキシ・エージェントによって追加された可能性があります。プロキシを削除してください。

localhost を判別できません。

項目	値
定数	SOCKET_LOCALHOST_NAME_NOT_FOUND
エラー・コード	71

考えられる原因

ネットワーク・レイヤが "localhost" の IP アドレスを判別できませんでした。次の点を確認してください。1) ドメイン・ネーム・サーバ (DNS) またはそれに相当するものが使用できる。DNS が使用できない場合には、代わりに localhost の IP 番号を明示的に指定してみます (通常は 127.0.0.1)。2) HOSTS ファイルに、"localhost" 名を IP 番号にマッピングするエントリが入っている。3) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

TCP/IP ソケットを作成できません。

項目	値
定数	SOCKET_CREATE_TCPIP
エラー・コード	58

考えられる原因

ネットワーク・レイヤが TCP/IP ソケットを作成できませんでした。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されている。2) ソケット・レイヤは適切に初期化されている。5) オープンしているソケット数について、デバイスに制限が設けられている場合は、その値に達していないことを確認する。6) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

UDP ソケットを作成できません。

項目	値
定数	SOCKET_CREATE_UDP
エラー・コード	59

考えられる原因

ネットワーク・レイヤが UDP ソケットを作成できませんでした。次の点を確認してください。

- 1) マシンがネットワークに接続されている。
- 2) ソケット・レイヤは適切に初期化されている。
- 3) `client_port` オプションが使用された場合は、指定したポートがまだ使用されていないことを確認する。クライアント・ポートを1つだけ指定した場合は、NNN-NNN などの範囲を使用することを検討してください。範囲が指定されていた場合は、その範囲を広げるか、別の範囲にすることを検討してください。
- 4) `client_port` オプションが使用された場合は、ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。
- 5) オープンしているソケット数について、デバイスに制限が設けられている場合は、その値に達していないことを確認する。
- 6) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

アドレスからホストを取得できません。

項目	値
定数	SOCKET_GET_HOST_BY_ADDR
エラー・コード	72

考えられる原因

ネットワーク・レイヤが、IP アドレスを使用してホスト名を取得できませんでした。このエラーは、パブリケーション時に定義されましたが使用されませんでした。

エラー・ステータスが返されました : '%1s!'

項目	値
定数	HTTP_BAD_STATUS_CODE
エラー・コード	86
パラメータ 1	読み込まれたステータス行

考えられる原因

ステータス行を調べて失敗の原因を判別してください。

エラーなし、または不明なエラー

項目	値
定数	NONE
エラー・コード	0

考えられる原因

このコードは、ネットワーク・エラーが発生しなかったか、未知のネットワーク・エラーが発生したことを示します。

エンコードされた CR LF の読み込みに失敗しました。

項目	値
定数	HTTP_CRLF_ENCODED_MISSING
エラー・コード	81

考えられる原因

使用しているプロキシが Mobile Link と互換性がない可能性があります。設定を確認してください。

エンコードされたチャンク長の読み込みに失敗しました。

項目	値
定数	HTTP_CHUNK_LEN_ENCODED_MISSING
エラー・コード	84

考えられる原因

固定長の HTTP 本文を使用してください。

クライアント ID は HTTP ヘッダでは使用できません。

項目	値
定数	HTTP_CLIENT_ID_NOT_SET
エラー・コード	78

考えられる原因

クライアント ID が HTTP クライアント・コードに渡されませんでした。修正プログラムについては、弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

この機能は実装されていません。

項目	値
定数	NOT_IMPLEMENTED
エラー・コード	12

考えられる原因

実装されていない内部機能が要求されました。保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

この操作を行うとブロッキングが発生します。

項目	値
定数	WOULD_BLOCK
エラー・コード	13

考えられる原因

ブロッキングが不要または予期されないところで、要求された操作がブロックした可能性があります。

この同期で次の HTTP 要求を待機中にタイムアウトが発生しました。

項目	値
定数	HTTP_NO_CONTD_CONNECTION
エラー・コード	83

考えられる原因

リモート・サイトから送信される次の HTTP 要求の待機中に、サーバがタイムアウトになりました。この要求がサーバに届かなかった原因を判別するか、永続的な接続を試みてください。

サーバエラー %1!s! です。

項目	値
定数	SERVER_ERROR
エラー・コード	228
パラメータ 1	サーバによってレポートされたエラー

考えられる原因

サーバによってエラーがレポートされました。詳細については、Mobile Link の管理者にお問い合わせください。

サーバ証明書が指定されていません。

項目	値
定数	SECURE_NO_SERVER_CERTIFICATE
エラー・コード	205

考えられる原因

サーバの証明書が指定されていません。通信のセキュリティを保護するには、サーバの証明書が必要です。指定するファイルには、サーバの証明書とプライベート・キーが含まれる必要があります。

サーバ証明書のパスワードが入力されていません。

項目	値
定数	SECURE_NO_SERVER_CERTIFICATE_PASSWORD
エラー・コード	206

考えられる原因

サーバ証明書のパスワードが入力されていません。サーバの暗号化されたプライベート・キーを復号化するには、パスワードが必要です。

システム証明書ストアから証明書をインポートできませんでした。

項目	値
定数	SECURE_IMPORT_CERT_FROM_SYSTEM_STORE

項目	値
エラー・コード	222

考えられる原因

システム証明書ストアから証明書をインポートできませんでした。

システム証明書ストアに証明書がありませんでした。

項目	値
定数	SECURE_NO_CERTS_IN_SYS_STORE
エラー・コード	223

考えられる原因

システム証明書ストアで証明書が見つかりませんでした。

システム証明書ストアを開けませんでした。

項目	値
定数	SECURE_OPEN_SYSTEM_CERT_STORE
エラー・コード	221

考えられる原因

システム証明書ストアを開けませんでした。

シャットダウン時にエラーが発生しました。

項目	値
定数	SHUTTING_DOWN
エラー・コード	18

考えられる原因

シャットダウン中、Mobile Link サーバがネットワーク・レイヤでエラーを検出しました。シャットダウン時に保留になっているネットワーク操作が影響を受けた可能性があります。

セキュア・ストリームの FIPS は明示的に無効になっていますが、-fips オプションが有効になっています。

項目	値
定数	INCONSISTENT_FIPS
エラー・コード	242

考えられる原因

Mobile Link サーバのコマンド・ラインで -fips スイッチを使用するには、すべてのセキュア・ストリームが FIPS に準拠している必要があります。セキュア・ストリームに fips オプションが設定されていない場合は、自動的に FIPS 準拠 (fips=y など) になります。セキュア・ストリームから fips オプションを削除するか、fips=y で有効にしてください。

セキュリティ・コンテキストを複製できません。

項目	値
定数	SECURE_DUPLICATE_CONTEXT
エラー・コード	25

考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、セキュリティ・コンテキストを複製できませんでした。システム・リソースを解放して、もう一度操作を行ってください。

ソケット・レイヤをクリーンアップできません。

項目	値
定数	SOCKET_CLEANUP
エラー・コード	61

考えられる原因

ネットワーク・レイヤがソケット・レイヤをクリーンアップできませんでした。これは、すべての接続が終了した後にだけ発生するエラーです。したがって現在の接続には影響しません。

ソケット・レイヤを初期化できません。

項目	値
定数	SOCKET_STARTUP

項目	値
エラー・コード	70

考えられる原因

ネットワーク・レイヤがソケット・レイヤを初期化できませんでした。次の点を確認してください。1) ソケット・レイヤが適切にインストールされている。正しいネットワーク・インタフェース・ライブラリが存在し、アクセス可能になっていなければなりません。2) ネットワークにマシンが接続されており、ネットワークからの応答がある。3) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

ソケットで受信できません。バックログは %1s! です。

項目	値
定数	SOCKET_LISTEN
エラー・コード	67
パラメータ 1	要求されたリスナ・バックログ

考えられる原因

サーバがソケットで受信できません。バックログとは、ある一定期間に保留中になっている可能性がある、キューイングされた接続要求の最大数のことです。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 現在のマシンでソケット・リスナが動作するのを妨げるファイアウォールやその他の制限事項がない。3) マシンに制限がある場合、バックログ設定が制限内に収まっている。4) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

ソケットのオプション番号 %1s! を取得できません。

項目	値
定数	SOCKET_GET_OPTION
エラー・コード	65
パラメータ 1	検索中のソケット・オプション

考えられる原因

ネットワーク・レイヤがソケット・オプションを取得できませんでした。このエラーは、接続が失われたことを示す最初の徴候であると考えられます。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

ソケットのオプション番号 %1!s! を設定できません。

項目	値
定数	SOCKET_SET_OPTION
エラー・コード	66
パラメータ 1	設定中のソケット・オプション

考えられる原因

ネットワーク・レイヤがソケット・オプションを設定できませんでした。このエラーは、接続が失われたことを示す最初の徴候であると考えられます。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

ソケットのステータスを選択できません。

項目	値
定数	SOCKET_SELECT
エラー・コード	69

考えられる原因

ネットワーク・レイヤで、読み込みまたは書き込み可能状態のソケットに対して待ち状態に入ろうとするエラーが発生しました。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

ソケットのローカル名を取得できません。

項目	値
定数	SOCKET_GET_NAME
エラー・コード	64

考えられる原因

ネットワーク・レイヤがソケットのローカル名を判別できませんでした。TCP/IP 接続には、各接続の両端にポート専用が付加されたソケットがあります。ソケットのローカル名にはこのポート番号が含まれており、これは、接続時にネットワークによって割り当てられます。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの

応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

ソケットをシャットダウンできません。

項目	値
定数	SOCKET_SHUTDOWN
エラー・コード	68

考えられる原因

ネットワーク・レイヤがソケットをシャットダウンできませんでした。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

ソケットを接続できません。

項目	値
定数	SOCKET_CONNECT
エラー・コード	63

考えられる原因

ネットワーク・レイヤがソケットを接続できませんでした。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されている。2) ソケット・レイヤは適切に初期化されている。3) 適切なホスト・マシンとポートが指定されている。4) ホスト・サーバが正常に稼働しており、適切なポートで受信している。5) ホスト・マシンが、適切なソケット・タイプ (TCP/IP と UDP) で受信を行っている。6) client_port オプションが使用された場合は、ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。7) オープンしているソケット数について、デバイスに制限が設けられている場合は、その値に達していないことを確認する。8) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

ソケットを閉じられません。

項目	値
定数	SOCKET_CLOSE
エラー・コード	62

考えられる原因

ネットワーク・レイヤがソケットを閉じることができませんでした。フラッシュされなかった保留中の書き込みが原因で、ネットワーク・セッションが不完全なまま終了した可能性があります(または、終了していない可能性があります)。次の点を確認してください。1) ネットワーク接続のどちらか一方の側でエラーが発生した。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。

ダウンロードしたファイルのローカル・パス %!s! が無効です。

項目	値
定数	INVALID_LOCAL_PATH
エラー・コード	243
パラメータ 1	ローカル・パス

考えられる原因

ダウンロードされたファイルのローカル・パスが無効です。詳細については、マニュアルを参照してください。

チャンク長を解析中に予期しない文字が読み込まれました。%!s!

項目	値
定数	HTTP_CHUNK_LEN_BAD_CHARACTER
エラー・コード	85
パラメータ 1	予期しない文字

考えられる原因

固定長の HTTP 本文を使用してください。

ネットワーク・インタフェース・ライブラリが不正か破損しています : %!

項目	値
定数	INVALID_NETWORK_LIBRARY
エラー・コード	245
パラメータ 1	ネットワーク・ライブラリのパス

考えられる原因

指定されたネットワーク・インタフェース DLL または共有オブジェクトがロードできませんでした。不正か破損している可能性があります。

ネットワーク・インタフェース・ライブラリのバージョンが一致しません。予期されたバージョンは %1!u!.%2!u! ですが、バージョン %3!u!.%4!u! が見つかりました。

項目	値
定数	NETWORK_LIBRARY_VERSION_MISMATCH
エラー・コード	248
パラメータ 1	想定されていたメジャー・バージョン
パラメータ 2	想定されていたマイナー・バージョン
パラメータ 3	見つかったメジャー・バージョン
パラメータ 4	見つかったマイナー・バージョン

考えられる原因

バージョンが間違っているため、ネットワーク・インタフェース DLL または共有オブジェクトがロードできませんでした。

ネットワーク・インタフェース・ライブラリをロードできません。

項目	値
定数	LOAD_NETWORK_LIBRARY
エラー・コード	73

考えられる原因

ネットワーク・インタフェース・ライブラリを検出してロードすることができませんでした (またはそのいずれか)。次の点を確認してください。1) ソケット・レイヤが適切にインストールされている。適切なネットワーク・インタフェース・ライブラリ (または DLL か共有オブジェクト) が存在しており、アクセス可能になっていなければなりません。2) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

ネットワーク・レイヤをセキュリティ・レイヤに付加できません。

項目	値
定数	SECURE_SET_IO

項目	値
エラー・コード	26

考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤをネットワーク・レイヤに付加できませんでした。システム・リソースを解放してもう一度操作を行ってください。

パスワードが指定されていません。

項目	値
定数	HTTP_NO_PASSWORD
エラー・コード	214

考えられる原因

HTTP 認証にユーザ ID が入力されましたが、パスワードが入力されていません。認証には両方が必要です。

パラメータがありません : %1!s!

項目	値
定数	MISSING_PARAMETER
エラー・コード	229
パラメータ 1	見つからないパラメータの名前

考えられる原因

必要なパラメータが指定されていません。

パラメータ値 '%1!s!' は符号なし整数ではありません。

項目	値
定数	PARAMETER_NOT_UINT32
エラー・コード	2
パラメータ 1	不正なパラメータ値

考えられる原因

ネットワーク・パラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメータ値は、符号なし整数ではありません。パラメータ指定の違反箇所を探して、パラメータ値を符号なしの整数に変更してください。

パラメータ値 '%!s!' は符号なし整数値または範囲ではありません。範囲の形式は NNN-NNN です。

項目	値
定数	PARAMETER_NOT_UINT32_RANGE
エラー・コード	3
パラメータ 1	不正なパラメータ値

考えられる原因

ネットワーク・パラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメータ値は、符号なし整数値または範囲のいずれでもありません。パラメータ指定の違反箇所を探して、パラメータ値を符号なしの整数値か範囲に変更してください。符号なし範囲の形式は NNN-NNN です。

パラメータ値 '%!s!' は有効な 16 進数値ではありません。

項目	値
定数	PARAMETER_NOT_HEX
エラー・コード	5
パラメータ 1	不正なパラメータ値

考えられる原因

ネットワーク・パラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメータ値は、16 進数値 (基数 16) ではありません。パラメータ指定の違反箇所を探して、パラメータ値を 16 進数値に変更してください。

パラメータ値 '%!s!' は有効なブール値ではありません。値を 0 または 1 に指定します。

項目	値
定数	PARAMETER_NOT_BOOLEAN

項目	値
エラー・コード	4
パラメータ 1	不正なパラメータ値

考えられる原因

ネットワーク・パラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメータ値はブール値ではありません。パラメータ指定の違反箇所を探して、パラメータ値を 0 (off または False に対応) または 1 (on または True に対応) に変更してください。

パラメータ文字列 '%!s!' を解析できません。

項目	値
定数	PARSE
エラー・コード	7
パラメータ 1	解析できなかったパラメータ文字列

考えられる原因

ネットワーク・パラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。オプションで、カッコ内にパラメータの全リストを入力できます。入力された文字列はこの表記規則に従っていません。文字列を検査して、フォーマット上の問題を修正してからもう一度操作を行ってください。

ハンドシェイク・エラー

項目	値
定数	SECURE_HANDSHAKE
エラー・コード	53

考えられる原因

安全なハンドシェイクに失敗しました。次の点を確認してください。1) クライアントでは、正しいホスト・マシンとポート番号が指定されている。2) サーバでは、正しいポート番号が指定されている。3) クライアントとサーバの両方で、正しい証明書ファイルが指定されている。

プライベート・キー・オブジェクトを作成できません。

項目	値
定数	SECURE_CREATE_PRIVATE_KEY_OBJECT

項目	値
エラー・コード	49

考えられる原因

プライベート・キーを読み込む前に、セキュア・ネットワーク・レイヤがプライベート・キーのオブジェクトを作成できませんでした。システム・リソースの不足が主な原因と考えられます。システム・リソースを解放してもう一度操作を行ってください。

プライベート・キーを設定できません。

項目	値
定数	SECURE_SET_PRIVATE_KEY
エラー・コード	36

考えられる原因

プライベート・キーを使用できませんでした。次の点を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

プライベート・キーを読み込めません。

項目	値
定数	SECURE_READ_PRIVATE_KEY
エラー・コード	35

考えられる原因

証明書ファイルからプライベート・キーを読み込めませんでした。次の点を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

プロトコル・エラー

項目	値
定数	PROTOCOL_ERROR
エラー・コード	231

考えられる原因

予期しない値またはトークンが読み込まれました。

ヘッダを復号化しているときに予期しない HTTP ステータス %!lu! になりました。

項目	値
定数	HTTP_INTERNAL_HEADER_STATE
エラー・コード	236
パラメータ 1	ヘッダの内部ステータス

考えられる原因

HTTP ヘッダを復号化できませんでした。これは通常は起こるはずのない内部エラーです。保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

ポート %!s! にソケットをバインドできません。

項目	値
定数	SOCKET_BIND
エラー・コード	60
パラメータ 1	ポート番号

考えられる原因

ネットワーク・レイヤが、指定ポートにソケットをバインドできませんでした。次の項目を確認してください。1) (サーバのみ) ポートがまだ使用されていないことを確認する。ポートが使用中の場合は、そのポートで受信しているアプリケーションを停止するか、別のポートを指定してください。2) (サーバのみ) ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。3) (クライアントのみ) `client_port` オプションが使用された場合は、指定したポートがまだ使用されていないことを確認する。クライアント・ポートを1つだけ指定した場合は、NNN-NNNなどの範囲を使用することを検討してください。範囲が指定されていた場合は、その範囲を広げるか、別の範囲にすることを検討してください。4) (クライアントのみ) `client_port` オプションが使用された場合は、ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。

ホスト名 '%!s!' を見つけられませんでした。

項目	値
定数	SOCKET_HOST_NAME_NOT_FOUND
エラー・コード	57

項目	値
パラメータ 1	ホスト名

考えられる原因

指定されたホスト名が見つかりませんでした。次の点を確認してください。1) ホスト名が正しく指定されている。2) ホストがアクセス可能である。多くのシステムには、名前を指定したホストへのアクセスを検証できる ping ユーティリティが組み込まれています。3) ドメイン・ネーム・サーバ (DNS) またはそれに相当するものが使用できる。DNS を使用できない場合は、ホスト名の代わりにホストの IP 番号 (例: NNN.NNN.NNN.NNN) を指定してみてください。4) HOSTS ファイルに、ホスト名を IP 番号にマッピングするエントリが入っている。

ユーザ ID が指定されていません。

項目	値
定数	HTTP_NO_USERID
エラー・コード	213

考えられる原因

HTTP 認証にパスワードが入力されましたが、ユーザ ID が入力されていません。認証には両方が必要です。

ライブラリ %!s! をロードできませんでした。

項目	値
定数	LOAD_LIBRARY_FAILURE
エラー・コード	224

考えられる原因

パスでダイナミック・ライブラリを見つけることができませんでした。同期に TLS 暗号化を使用しようとしている場合は、適切なライセンスを取得していることを確認してください。

リモートからの予期されたデータですが、現在の要求は POST ではありません。

項目	値
定数	HTTP_EXPECTED_POST
エラー・コード	89

考えられる原因

使用しているプロキシが Mobile Link と互換性がない可能性があります。設定を確認してください。

暗号化されていないサーバ・キーに対してパスワードが指定されました。

項目	値
定数	SECURE_REDUNDANT_SERVER_CERTIFICATE_PASSWORD
エラー・コード	208

考えられる原因

サーバのプライベート・キーがパスワードで暗号化されていないのに、パスワードが指定されました。

関数 %!s! が見つかりませんでした。

項目	値
定数	LIBRARY_ENTRY_POINT_NOT_FOUND
エラー・コード	225

考えられる原因

指定されたライブラリのエン트리・ポイントが見つかりませんでした。

指定された HTTP バッファ・サイズは有効な範囲を超えています。

項目	値
定数	HTTP_BUFFER_SIZE_OUT_OF_RANGE
エラー・コード	79

考えられる原因

HTTP バッファ・サイズを修正してください。有効なバッファ・サイズは正の値で、ホスト・プラットフォームにとって大きすぎないように指定してください。

自動ダイヤルアップはこのマシンではサポートされません。

項目	値
定数	DUN_NOT_SUPPORTED
エラー・コード	203

考えられる原因

システム・サポートが十分でないため、ダイヤルアップに失敗しました。PocketPC では cellcore.dll を使用し、Windows では IE 4.0 以降の wininet.dll を使用する必要があります。他のプラットフォームではダイヤルアップはサポートされていません。

終了書き込みが失敗しました。

項目	値
定数	END_WRITE
エラー・コード	10

考えられる原因

ネットワークへの一連の書き込みを完了できません。参照：WRITE

終了読み込みが失敗しました。

項目	値
定数	END_READ
エラー・コード	11

考えられる原因

ネットワークからの一連の読み込みを完了できません。参照：READ

十分なメモリを割り付けることができません。

項目	値
定数	MEMORY_ALLOCATION
エラー・コード	6

考えられる原因

ネットワーク・レイヤで十分なバイト数の記憶領域を割り付けることができませんでした。システム・メモリを解放してもう一度操作を行ってください。システム・メモリを解放する方法は、オペレーティング・システムとその設定方法によって異なります。最も簡単な方法は、アクティブな処理の数を減らすことです。詳細については、使用しているオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

証明書が失効しました。

項目	値
定数	SECURE_CERTIFICATE_EXPIRED
エラー・コード	50

考えられる原因

証明書チェーンにある証明書の有効期限が切れています。有効期限が切れていない新しい証明書を手入して、再度操作を行ってください。

証明書ファイル '%1!s!' を開けません。

項目	値
定数	SECURE_CERTIFICATE_FILE_NOT_FOUND
エラー・コード	33
パラメータ 1	証明書ファイル名

考えられる原因

証明書ファイルを開けられませんでした。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。5) 証明書ファイルを開こうとしているプログラムにファイルを読み込む権限がある。この項目は、ユーザ・パーミッションかファイル・パーミッション (またはその両方) を持つオペレーティング・システムだけに適用されます。

証明書をインポートできません。

項目	値
定数	SECURE_IMPORT_CERTIFICATE
エラー・コード	44

考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、証明書をインポートできませんでした。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。

証明書をコピーできません。

項目	値
定数	SECURE_EXPORT_CERTIFICATE
エラー・コード	38

考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、証明書をコピーできませんでした。システム・リソースを解放してもう一度操作を行ってください。

証明書を割り付けることができません。

項目	値
定数	SECURE_CREATE_CERTIFICATE
エラー・コード	43

考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、証明書用の記憶領域を割り付けることができませんでした。システム・リソースを解放してもう一度操作を行ってください。

証明書を証明書チェーンに追加できません。

項目	値
定数	SECURE_ADD_CERTIFICATE
エラー・コード	39

考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、証明書チェーンに証明書を追加できませんでした。システム・リソースを解放してもう一度操作を行ってください。

証明書を読み込めません。

項目	値
定数	SECURE_READ_CERTIFICATE
エラー・コード	34

考えられる原因

証明書ファイルを読み込めませんでした。次の点を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

証明書有効期日をフェッチできません。

項目	値
定数	SECURE_CERTIFICATE_EXPIRY_DATE
エラー・コード	37

考えられる原因

証明書の有効期日を読み込むことができませんでした。次の点を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

信用されたルート証明書が指定されていません。

項目	値
定数	SECURE_NO_TRUSTED_ROOTS
エラー・コード	207

考えられる原因

信用できるルート証明書が指定されていません。通信のセキュリティを保護するには、信用できるルート証明書が少なくとも1つ必要です。

信用された証明書が %1!s! で見つかりません。

項目	値
定数	SECURE_CERTIFICATE_COUNT
エラー・コード	42

考えられる原因

指定したファイルに証明書が入っていません。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。

信用された証明書ファイル '%1!s!' から読み込み中にエラーが発生しました。

項目	値
定数	SECURE_TRUSTED_CERTIFICATE_READ
エラー・コード	41
パラメータ 1	信用された証明書ファイル名

考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、信用された証明書ファイルを読み込むことができませんでした。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。5) 証明書ファイルを開こうとしているプログラムにファイル参照の権限がある。この項目は、ユーザ・パーミッションかファイル・パーミッション(またはその両方)を持つオペレーティング・システムだけに適用されます。

信用された証明書ファイル '%1!s!' を見つけられません。

項目	値
定数	SECURE_TRUSTED_CERTIFICATE_FILE_NOT_FOUND
エラー・コード	40
パラメータ 1	信用された証明書ファイル名

考えられる原因

証明書ファイルが見つかりませんでした。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。5) 証明書ファイルを開こうとしているプログラムにファイル参照の権限がある。この項目は、ユーザ・パーミッションかファイル・パーミッション(またはその両方)を持つオペレーティング・システムだけに適用されます。

信用された証明書を追加できません。

項目	値
定数	SECURE_ADD_TRUSTED_CERTIFICATE

項目	値
エラー・コード	48

考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、証明書チェーンに信用された証明書を追加できませんでした。システム・リソースの不足が主な原因と考えられます。システム・リソースを解放してもう一度操作を行ってください。

信用されないサーバ証明書です。

項目	値
定数	SECURE_CERTIFICATE_NOT_TRUSTED
エラー・コード	24

考えられる原因

サーバの証明書は信用される権限保持者によって署名されていません。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 信用されるルート証明書のクライアント側のリストに、サーバ側のルート証明書が含まれている。

接続キューからデキューできません。

項目	値
定数	DEQUEUEING_CONNECTION
エラー・コード	19

考えられる原因

キューイングされている接続(同期)要求を取得しようとしているときに、Mobile Link サーバでエラーが発生しました。システム・リソースを解放してください。問題が解決しなければ、Mobile Link サーバを再起動してください。

接続試行がタイムアウトしました。

項目	値
定数	CONNECT_TIMEOUT
エラー・コード	241

考えられる原因

接続試行がタイムアウトになりました。サーバが指定のホストとポートで実行されていないか、タイムアウト値を大きくして接続の試行に使用できる時間を増やす必要があります。

操作が中断されました。

項目	値
定数	INTERRUPTED
エラー・コード	218

考えられる原因

現在の操作は呼び出し元によって中断されました。

内部エラー (%!s!) です。

項目	値
定数	INTERNAL
エラー・コード	220
パラメータ 1	内部エラー・コード

考えられる原因

ネットワーク・レイヤで内部エラーが発生しました。保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

内部エラー : %!s! が %2!ld! を返しました。

項目	値
定数	INTERNAL_API
エラー・コード	238
パラメータ 1	内部 API の名前
パラメータ 2	内部エラー・コード

考えられる原因

ネットワーク・レイヤで内部エラーが発生しました。保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

内部プロトコルがロードされませんでした : %1!s!

項目	値
定数	INTERNAL_PROTOCOL_NOT_LOADED
エラー・コード	227

考えられる原因

同期プロトコルをロードできませんでした。Ultra Light を使用している場合は、適切な ULEnable メソッドを呼び出していることを確認してください。

認識されない HTTP バージョン : %1!s!

項目	値
定数	HTTP_VERSION
エラー・コード	54
パラメータ 1	要求された HTTP バージョン

考えられる原因

要求された HTTP バージョンはサポートされていません。マニュアルを調べて、サポート対象の HTTP バージョンを指定してください。パブリケーション時のサポート対象 HTTP バージョンは 1.0 と 1.1 です。

認識されない共通名 '%1!s!' です。

項目	値
定数	SECURE_CERTIFICATE_COMMON_NAME
エラー・コード	52
パラメータ 1	共通名

考えられる原因

指定された共通名は証明書チェーンに存在しません。次の点を確認してください。1) 共通名が正しく入力されている。2) 適切な証明書ファイルが指定されている。3) 証明書チェーンに共通名が存在している。readcert ユーティリティを使用して上記を確認できます。

認識されない組織 '%1s!' です。

項目	値
定数	SECURE_CERTIFICATE_COMPANY_NAME
エラー・コード	21
パラメータ 1	組織名

考えられる原因

指定された組織名は証明書チェーンに存在しません。次の点を確認してください。1) 組織名が正しく入力されている。2) 適切な証明書ファイルが指定されている。3) 証明書チェーンに組織名が存在している。readcert ユーティリティを使用して上記を確認できます。

認識されない組織単位 '%1s!' です。

項目	値
定数	SECURE_CERTIFICATE_COMPANY_UNIT
エラー・コード	51
パラメータ 1	組織単位名

考えられる原因

指定された組織単位は証明書チェーンに存在しません。次の点を確認してください。1) 会社名が正しく入力されている。2) 適切な証明書ファイルが指定されている。3) 証明書チェーンに会社名が存在している。readcert ユーティリティを使用して上記を確認できます。

認識できない TLS タイプ %1s! です。

項目	値
定数	UNRECOGNIZED_TLS_TYPE
エラー・コード	240
パラメータ 1	TLS タイプ

考えられる原因

TLS タイプが無効です。有効なタイプについては、マニュアルを参照してください。

不正なセッション cookie (ML_SESSION_ID) 値です : %1!s!

項目	値
定数	HTTP_MALFORMED_SESSION_COOKIE
エラー・コード	235
パラメータ 1	cookie の値

考えられる原因

同期セッションの管理用の HTTP cookie が破損しています。cookie が破損している箇所を特定してください。クライアント・エラーか、HTTP の中間が正しく動作していないことが主な原因と考えられます。

不正なパラメータ '%1!s!' です。

項目	値
定数	PARAMETER
エラー・コード	1
パラメータ 1	不正なパラメータ値

考えられる原因

ネットワーク・パラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このコードは、不正なパラメータ値を示しています。該当するパラメータ名について説明したマニュアルを参照して、パラメータ値を修正してください。

不正なポート番号 %1!s! です。値は 0 ～ 65535 でなければなりません。

項目	値
定数	SOCKET_PORT_OUT_OF_RANGE
エラー・コード	74
パラメータ 1	ポート番号

考えられる原因

不正なポート番号を指定しています。ポート番号は、0 ～ 65535 の間の整数にしてください。

不正なルート証明書です。

項目	値
定数	SECURE_CERTIFICATE_ROOT
エラー・コード	20

考えられる原因

チェーンのルート証明書が不正です。このエラーは、パブリケーション時に定義されましたが使用されませんでした。

不正な活性タイムアウト値 %1s! です。値は 0 ～ 65535 でなければなりません。

項目	値
定数	SOCKET_LIVENESS_OUT_OF_RANGE
エラー・コード	200
パラメータ 1	活性タイムアウト値

考えられる原因

無効な活性タイムアウト値が指定されました。活性タイムアウト値は、0 ～ 65535 の間の整数にしてください。

未知の転送エンコードです : '%1s!'

項目	値
定数	HTTP_UNKNOWN_TRANSFER_ENCODING
エラー・コード	87
パラメータ 1	未知のエンコード

考えられる原因

未知の転送エンコードがどのように生成されているかを判別してください。

無効な HTTP 文字です。

項目	値
定数	HTTP_INVALID_CHARACTER

項目	値
エラー・コード	219

考えられる原因

HTTP ヘッダで予期しない文字が読み込まれました。ヘッダの形式が間違っているか、通信先から HTTP が送信されていない可能性があります。

無効な圧縮型です : %1!s!

項目	値
定数	INVALID_COMPRESSION_TYPE
エラー・コード	232
パラメータ 1	無効な圧縮型

考えられる原因

指定した圧縮型が認識されませんでした。

無効な同期プロトコルです : %1!s!

項目	値
定数	INVALID_SYNC_PROTOCOL
エラー・コード	226

考えられる原因

指定したプロトコルは有効な同期プロトコルではありません。

予期しない内部 HTTP 要求タイプ %1!u! です。

項目	値
定数	HTTP_INTERNAL_REQUEST_TYPE
エラー・コード	237
パラメータ 1	内部 HTTP 要求タイプ

考えられる原因

HTTP 要求タイプを判別できませんでした。これは通常は起こるはずのない内部エラーです。保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

予期しない要求タイプです : %!s!

項目	値
定数	UNEXPECTED_HTTP_REQUEST_TYPE
エラー・コード	234
パラメータ 1	HTTP 要求タイプ

考えられる原因

この HTTP 要求タイプはこの時点では予期されていませんでした。Mobile Link クライアントではない HTTP クライアントが主な原因と考えられます。

乱数オブジェクトを作成できません。

項目	値
定数	CREATE_RANDOM_OBJECT
エラー・コード	17

考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、乱数生成オブジェクトを作成できませんでした。システム・リソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

乱数ジェネレータにシードを設定できません。

項目	値
定数	SEED_RANDOM
エラー・コード	16

考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、乱数ジェネレータにシードを設定できませんでした。システム・リソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

乱数ジェネレータを初期化できません。

項目	値
定数	INIT_RANDOM
エラー・コード	15

考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、乱数ジェネレータを初期化できませんでした。システム・リソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

乱数を生成できません。

項目	値
定数	GENERATE_RANDOM
エラー・コード	14

考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤでは乱数が必要ですが、それを生成できませんでした。システム・リソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

第 5 章

SQL プリプロセッサ・エラー・メッセージ

目次

SQL プリプロセッサ・エラー・メッセージ (メッセージ値順)	674
五十音順のエラー・メッセージ・リスト	677

SQL プリプロセッサ・エラー・メッセージ (メッセージ値順)

メッセージ値	メッセージ
2601	「サブスクリプト値 %!ld! が大きすぎます。」 685 ページ
2602	「hosttype にはポインタ配列を使用できません。」 679 ページ
2603	「CHAR 型でサポートされる配列は 1 次元配列だけです。」 678 ページ
2604	「VARCHAR 型には長さの指定が必要です。」 681 ページ
2605	「VARCHAR 型の配列はサポートされません。」 682 ページ
2606	「VARCHAR 型のホスト変数をポインタとすることはできません。」 682 ページ
2607	「VARCHAR 型のホスト変数は初期化できません。」 681 ページ
2608	「FIXCHAR 型には長さの指定が必要です。」 679 ページ
2609	「FIXCHAR 型の配列はサポートされません。」 679 ページ
2610	「この型の配列はサポートされません。」 684 ページ
2611	「DECIMAL 型には精度を指定する必要があります。」 678 ページ
2612	「DECIMAL 型の配列は許可されません。」 678 ページ
2613	「不明なホスト変数の型です。」 691 ページ
2614	「無効な整数です。」 692 ページ
2615	「ホスト変数 %!s! は C の文字列型でなければなりません。」 686 ページ
2617	「シンボル %!s! はすでに定義されています。」 685 ページ
2618	「無効な型の SQL 文変数です。」 692 ページ
2619	「インクルード・ファイル %!s! が見つかりません。」 682 ページ
2620	「ホスト変数 %!s! は認識できません。」 687 ページ
2621	「指示変数 %!s! は認識できません。」 689 ページ
2622	「指示変数 %!s! の型が無効です。」 688 ページ
2623	「%!s! に無効な型のホスト変数があります。」 677 ページ
2625	「ホスト変数 %!s! に 2 つの異なる定義があります。」 686 ページ
2626	「文 %!s! が準備されていません。」 691 ページ

メッセージ値	メッセージ
2627	「カーソル '%1s!' が宣言されていません。」 683 ページ
2628	「文 '%1s!' は認識できません。」 691 ページ
2629	「このカーソルではホスト変数を使用できません。」 683 ページ
2630	「ホスト変数が、DECLARE および OPEN で 2 回指定されました。」 687 ページ
2631	「'%1s!' にホスト・リストまたは USING 句を指定してください。」 677 ページ
2633	「SELECT 文に INTO 句がありません。」 680 ページ
2636	「不正な Embedded SQL 構文です。」 690 ページ
2637	「文字列リテラルの終わりに引用符がありません。」 691 ページ
2639	「トークンが長すぎます。」 686 ページ
2640	「'%1s!' ホスト変数は整数型でなければなりません。」 677 ページ
2642	「同じ種類 (INTO または USING) の SQLDA が 2 つ指定されています。」 690 ページ
2646	「静的カーソルは記述できません。」 689 ページ
2647	「マクロは再定義できません。」 687 ページ
2648	「配列の次元が正しくありません。」 690 ページ
2649	「記述子のインデックスが正しくありません。」 688 ページ
2650	「SET DESCRIPTOR に対する不正なフィールドです。」 680 ページ
2651	「SET DESCRIPTOR 文ですでに使用されたフィールドです。」 681 ページ
2652	「データの値はホスト変数でなければなりません。」 685 ページ
2660	「INTO 句は DECLARE カーソルでは許可されません - 無視されます。」 680 ページ
2661	「認識できない SQL 構文です。」 690 ページ
2662	「不明な SQL 関数 '%1s!' です。」 690 ページ
2663	「SQL 関数 '%1s!' に対する引数の数が正しくありません。」 681 ページ
2664	「静的文の名前は、2 つのスレッドで使用する場合、正しく機能しません。」 689 ページ
2665	「ホスト変数 '%1s!' が再定義されています。」 686 ページ

メッセージ値	メッセージ
2666	「構文に許可されない言語の拡張機能が検出されました。」 688 ページ
2667	「構文に言語の拡張機能が検出されました。」 688 ページ
2680	「DECLARE SECTION 文と INCLUDE SQLCA 文がありません。」 679 ページ
2681	「テンポラリ・ファイルを開けません。」 685 ページ
2682	「テンポラリ・ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。」 685 ページ
2683	「出力ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。」 689 ページ
2690	「このカーソルのホスト変数の数が不一致です。」 684 ページ
2691	「このカーソルのホスト変数のタイプが不一致です。」 684 ページ
2692	「このカーソルのインジケータ変数が不一致です。」 684 ページ
2694	「カーソル '%!s!' に対する OPEN はありません。」 683 ページ
2695	「カーソル '%!s!' に対する FETCH または PUT はありません。」 683 ページ
2696	「ホスト変数 '%!s!' は異なるインジケータですすでに使用されています。」 687 ページ
2697	「LONG BINARY/LONG VARCHAR のサイズ制限は、Ultra Light では 65535 です。」 680 ページ
2698	「WCHAR 型および TCHAR 型のホスト変数はサポートされません。」 682 ページ
2699	「char、WCHAR、および TCHAR の文字列パラメータを混合することはできません。」 678 ページ

五十音順のエラー・メッセージ・リスト

この項では、SQL プリプロセッサが生成するメッセージをリストします。設定するコマンド・ライン・オプションによって、各メッセージはエラー、警告、または非準拠フラグです。非準拠フラグ自体もエラーまたは警告です。

☞ SQL プリプロセッサとコマンド・ライン・オプションの詳細については、「[SQL プリプロセッサ](#)」『[SQL Anywhere サーバ - プログラミング](#)』を参照してください。

%!s! にホスト・リストまたは USING 句を指定してください。

項目	値
メッセージ値	2631

考えられる原因

指定された文には、ホスト変数がホスト変数リストまたは SQLDA から指定される必要があります。

'%!s!' に無効な型のホスト変数があります。

項目	値
メッセージ値	2623

考えられる原因

プリプロセッサが文字列型のホスト変数を期待している場所に、文字列型ではないホスト変数が使われました。

'%!s!' ホスト変数は整数型でなければなりません。

項目	値
メッセージ値	2640

考えられる原因

整数型のホスト変数だけが許可される文中で、整数型ではないホスト変数を使用しました。

CHAR 型でサポートされる配列は 1 次元配列だけです。

項目	値
メッセージ値	2603

考えられる原因

ホスト変数を文字の配列として宣言しようとしてしまいました。これはホスト変数の型としては許可されません。

char、WCHAR、および TCHAR の文字列パラメータを混合することはできません。

項目	値
メッセージ値	2699

考えられる原因

1 つの文で、すべて char 文字列、すべて WCHAR 文字列、またはすべて TCHAR 文字列ではないパラメータを使用しようとしてしまいました。1 つの文の文字列パラメータ (INTO パラメータと USING パラメータを除く) はすべて同じ型の文字列である必要があります。リテラル文字列は char 文字列として処理されます。

DECIMAL 型には精度を指定する必要があります。

項目	値
メッセージ値	2611

考えられる原因

DECL_DECIMAL マクロを使用して、パックされた 10 進数のホスト変数を宣言するときは、精度を指定する必要があります。小数点以下の桁数はオプションです。

DECIMAL 型の配列は許可されません。

項目	値
メッセージ値	2612

考えられる原因

ホスト変数を DECIMAL の配列として宣言しようとしてしまいました。DECIMAL 型の配列は、ホスト変数の型としては許可されません。

DECLARE SECTION 文と INCLUDE SQLCA 文がありません。

項目	値
メッセージ値	2680

考えられる原因

EXEC SQL INCLUDE SQLCA 文がソース・ファイルにありません。

FIXCHAR 型には長さの指定が必要です。

項目	値
メッセージ値	2608

考えられる原因

DECL FIXCHAR マクロを使用して FIXCHAR 型のホスト変数を宣言しましたが、長さを指定していませんでした。

FIXCHAR 型の配列はサポートされません。

項目	値
メッセージ値	2609

考えられる原因

ホスト変数を FIXCHAR の配列として宣言しようとしていました。これはホスト変数の型としては許可されません。

hosttype にはポインタ配列を使用できません。

項目	値
メッセージ値	2602

考えられる原因

ポインタの配列をホスト変数として使用しました。これは許可されません。

INTO 句は DECLARE カーソルでは許可されません - 無視されます。

項目	値
メッセージ値	2660

考えられる原因

DECLARE CURSOR 文で INTO 句を使用しました。INTO 句は無視されます。

LONG BINARY/LONG VARCHAR のサイズ制限は、Ultra Light では 65535 です。

項目	値
メッセージ値	2697

考えられる原因

Ultra Light で DECL_LONGBINARY または DECL_LONGVARCHAR を使用する場合、配列の最大サイズは 64 KB です。

SELECT 文に INTO 句がありません。

項目	値
メッセージ値	2633

考えられる原因

Embedded Static SELECT 文は指定しましたが、結果のための INTO 句は指定しませんでした。

SET DESCRIPTOR に対する不正なフィールドです。

項目	値
メッセージ値	2650

考えられる原因

SET DESCRIPTOR 文に不正なキーワードまたは未知のキーワードがあります。使用できるキーワードは、TYPE、PRECISION、SCALE、LENGTH、INDICATOR、DATA のいずれかです。

SET DESCRIPTOR 文ですすでに使用されたフィールドです。

項目	値
メッセージ値	2651

考えられる原因

単一の SET DESCRIPTOR 文で、同じキーワードが 2 回以上使用されました。

SQL 関数 '%!s!' に対する引数の数が正しくありません。

項目	値
メッセージ値	2663

考えられる原因

SQL 関数のパラメータ数が正しくありません。これがデータベース・サーバに送信されると、エラーになる可能性があります。

VARCHAR 型には長さの指定が必要です。

項目	値
メッセージ値	2604

考えられる原因

DECL_VARCHAR または DECL_BINARY マクロを使用して、VARCHAR または BINARY ホスト変数を宣言しましたが、配列のサイズを指定しませんでした。

VARCHAR 型のホスト変数は初期化できません。

項目	値
メッセージ値	2607

考えられる原因

VARCHAR または BINARY データ型のホスト変数に、C 変数イニシャライザは指定できません。この変数は、通常の C プログラム・コードで初期化する必要があります。

VARCHAR 型のホスト変数をポインタとすることはできません。

項目	値
メッセージ値	2606

考えられる原因

ホスト変数を VARCHAR または BINARY のポインタとして宣言しようとしていました。これはホスト変数の型としては許可されません。

VARCHAR 型の配列はサポートされません。

項目	値
メッセージ値	2605

考えられる原因

ホスト変数を VARCHAR または BINARY の配列として宣言しようとしていました。これはホスト変数の型としては許可されません。

WCHAR 型および TCHAR 型のホスト変数はサポートされません。

項目	値
メッセージ値	2698

考えられる原因

ホスト変数を WCHAR 文字列または TCHAR 文字列として宣言しようとしていました。これらは Windows プラットフォームの Ultra Light だけでサポートされます。

インクルード・ファイル '%!s!' が見つかりません。

項目	値
メッセージ値	2619

考えられる原因

指定されたインクルード・ファイルが見つかりませんでした。プリプロセッサはインクルード・ファイルを探すのに、INCLUDE 環境変数を使用することに注意してください。

カーソル '%1!s!' が宣言されていません。

項目	値
メッセージ値	2627

考えられる原因

Embedded SQL カーソル名を最初に宣言 (DECLARE) せずに、(FETCH、OPEN、CLOSE など) 使用しました。

カーソル '%1!s!' に対する FETCH または PUT はありません。

項目	値
メッセージ値	2695

考えられる原因

カーソルが宣言されて開かれましたが、使用されませんでした。

カーソル '%1!s!' に対する OPEN はありません。

項目	値
メッセージ値	2694

考えられる原因

カーソルが宣言され、開かれずに使用されたことが考えられます。

このカーソルではホスト変数を使用できません。

項目	値
メッセージ値	2629

考えられる原因

指定されたカーソルの DECLARE 文では、ホスト変数は許可されません。ホスト変数を通してカーソル名を与える場合は、完全な動的 SQL を使用して文を作成してください。作成された文中にはホスト変数があってもかまいません。

このカーソルのインジケータ変数が不一致です。

項目	値
メッセージ値	2692

考えられる原因

以前にカーソルで使用していないインジケータ変数を使用しました。または、以前にカーソルで使用したインジケータ変数を使用していません。カーソルに対して一貫したインジケータ変数を使用してください。

このカーソルのホスト変数のタイプが不一致です。

項目	値
メッセージ値	2691

考えられる原因

使用したホスト変数の型や長さが、以前にカーソルで使用したものと異なります。カーソルに対して一貫したホスト変数の型を使用してください。

このカーソルのホスト変数の数が不一致です。

項目	値
メッセージ値	2690

考えられる原因

ホスト変数の数が以前にカーソルで使用した数と異なっています。カーソルに対して同じ数のホスト変数を使用してください。

この型の配列はサポートされません。

項目	値
メッセージ値	2610

考えられる原因

サポートされていない型のホスト変数の配列を宣言しようとしてしました。

サブスクリプト値 %1!ld! が大きすぎます。

項目	値
メッセージ値	2601

考えられる原因

インデックスを付けようとしたホスト変数が、大きすぎる値を持つ配列でした。

シンボル '%1!s!' はすでに定義されています。

項目	値
メッセージ値	2617

考えられる原因

ホスト変数を 2 回定義しました。

データの値はホスト変数でなければなりません。

項目	値
メッセージ値	2652

考えられる原因

ホスト変数として宣言されていない変数を SET DESCRIPTOR 文で使用しようとしてしました。

テンポラリ・ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

項目	値
メッセージ値	2682

考えられる原因

テンポラリ・ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

テンポラリ・ファイルを開けません。

項目	値
メッセージ値	2681

考えられる原因

テンポラリ・ファイルを開こうとしたときにエラーが発生しました。

トークンが長すぎます。

項目	値
メッセージ値	2639

考えられる原因

SQL プリプロセッサの最大トークン長は 2 KB です。これより長いトークンはエラーになります。Embedded SQL コマンドの定数文字列 (このエラーが主に発生する場所) では、長い文字列を作成するには文字列の連結を使用してください。

ホスト変数 '%!s!' が再定義されています。

項目	値
メッセージ値	2665

考えられる原因

同一のホスト変数を、異なるホストの型で再定義しています。プリプロセッサに関しては、ホスト変数はグローバルです。型が異なる 2 つのホスト変数には同じ名前を使用できません。

ホスト変数 '%!s!' に 2 つの異なる定義があります。

項目	値
メッセージ値	2625

考えられる原因

同じモジュール中で、同じホスト変数名に対して 2 つの異なる型が定義されています。ホスト変数名は C モジュールに対してグローバルであることに注意してください。

ホスト変数 '%!s!' は C の文字列型でなければなりません。

項目	値
メッセージ値	2615

考えられる原因

Embedded SQL 文 (カーソル名、オプション名など) 中で、C 文字列が要求されましたが、違う型の値が渡されました。

ホスト変数 '%1!s!' は異なるインジケータですすでに使用されています。

項目	値
メッセージ値	2696

考えられる原因

同じ文の中で、異なるインジケータ変数を使用して同じホスト変数が複数回使用されています。これはサポートされていません。

ホスト変数 '%1!s!' は認識できません。

項目	値
メッセージ値	2620

考えられる原因

DECLARE SECTION で宣言されなかったホスト変数を、文の中で使用しました。

ホスト変数が、DECLARE および OPEN で 2 回指定されました。

項目	値
メッセージ値	2630

考えられる原因

DECLARE 文と OPEN 文の両方でカーソルにホスト変数を指定しました。静的の場合は、DECLARE 文でホスト変数を指定してください。動的の場合は、OPEN で指定してください。

マクロは再定義できません。

項目	値
メッセージ値	2647

考えられる原因

ヘッダ・ファイルで、プリプロセッサ・マクロが 2 回定義されていることが考えられます。

記述子のインデックスが正しくありません。

項目	値
メッセージ値	2649

考えられる原因

ALLOCATE DESCRIPTOR 文で変数が 1 つも割り付けられていません。

構文に許可されない言語の拡張機能が検出されました。

項目	値
メッセージ値	2666

考えられる原因

現在のフラグ・レベル (-e スイッチで設定) でサポートされていない SQL Anywhere の機能を使用しました。

構文に言語の拡張機能が検出されました。

項目	値
メッセージ値	2667

考えられる原因

現在のフラグ・レベル (-w スイッチで設定) でサポートされていない SQL Anywhere の機能を使用しました。

指示変数 '%!s!' の型が無効です。

項目	値
メッセージ値	2622

考えられる原因

インジケータ変数の型は short int である必要があります。これとは違う型が使われました。

指示変数 '%1!s!' は認識できません。

項目	値
メッセージ値	2621

考えられる原因

DECLARE SECTION で宣言されなかったインジケータ変数を、文の中で使用しました。

出力ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。

項目	値
メッセージ値	2683

考えられる原因

出力ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。

静的カーソルは記述できません。

項目	値
メッセージ値	2646

考えられる原因

静的カーソルを記述しました。カーソルを記述するときは、ホスト変数にカーソル名を指定してください。

静的文の名前は、2つのスレッドで使用する場合、正しく機能しません。

項目	値
メッセージ値	2664

考えられる原因

静的文の名前を使って、`リリエントランシ・オプション`で前処理を行いました。静的文の名前は静的変数を生成し、それはデータベースによって入力されます。2つのスレッドが同じ文を使うと、この変数の競合が生じます。文識別子には静的な名前ではなく、ローカルなホスト変数を使用してください。

同じ種類 (INTO または USING) の SQLDA が 2 つ指定されています。

項目	値
メッセージ値	2642

考えられる原因

この文に 2 つの INTO DESCRIPTOR 句または 2 つの USING DESCRIPTOR 句を指定しました。

認識できない SQL 構文です。

項目	値
メッセージ値	2661

考えられる原因

データベース・サーバに送信されるとエラーになる可能性のある SQL 文を使用しました。

配列の次元が正しくありません。

項目	値
メッセージ値	2648

考えられる原因

配列の次元が負の値になっています。

不正な Embedded SQL 構文です。

項目	値
メッセージ値	2636

考えられる原因

Embedded SQL 文 (OPEN、DECLARE、FETCH など) に構文エラーがあります。

不明な SQL 関数 '%1s!' です。

項目	値
メッセージ値	2662

考えられる原因

プリプロセッサが認識できない SQL 関数を使用しました。これがデータベース・サーバに送信されると、エラーになる可能性があります。

不明なホスト変数の型です。

項目	値
メッセージ値	2613

考えられる原因

SQL プリプロセッサが理解できないデータ型で、ホスト変数を宣言しました。

文 '%!s!' が準備されていません。

項目	値
メッセージ値	2626

考えられる原因

Embedded SQL 文名を最初に準備 (PREPARE) せずに実行 (EXECUTE) しました。

文 '%!s!' は認識できません。

項目	値
メッセージ値	2628

考えられる原因

存在しない Embedded SQL 文を削除しようとしてしました。

文字列リテラルの終わりに引用符がありません。

項目	値
メッセージ値	2637

考えられる原因

Embedded SQL 文中で文字列リテラルを指定しましたが、文字列を囲む引用符の後ろの方が行の最後またはファイルの最後までに見つかりません。

無効な型の SQL 文変数です。

項目	値
メッセージ値	2618

考えられる原因

文識別子として使われるホスト変数の型は `a_sql_statement_number` になります。他の型のホスト変数を使用しようとしていました。

無効な整数です。

項目	値
メッセージ値	2614

考えられる原因

Embedded SQL 文 (フェッチ・オフセット、ホスト変数配列インデックスなど) 中で、整数が要求されましたが、プリプロセッサは入力された内容を整数に変換できませんでした。

索引

I

iAnywhere デベロッパー・コミュニティ
 ニュースグループ, xiii
install-dir
 マニュアルの使用方法, x

P

PDF
 マニュアル, vi

S

samples-dir
 マニュアルの使用方法, x
SQL Anywhere
 マニュアル, vi
SQLCODE
 値, 2
 エラー・メッセージ, 3
sqlpp ユーティリティ
 エラー・メッセージ, 673
SQLSTATE
 エラー・メッセージ, 41
Sybase エラー・コード
 エラー・メッセージ, 74

あ

アイコン
 マニュアルで使用, xi

え

エラー
 Mobile Link サーバ, 493
 Mobile Link 通信, 616
 SQL Anywhere サーバ, 2
 SQL プリプロセッサ (sqlpp), 673
 コード (Mobile Link サーバ), 493
 コード (Mobile Link 通信), 616
 コード (SQL Anywhere), 2
 コード (SQL プリプロセッサ), 673
 メッセージ (Mobile Link サーバ), 493
 メッセージ (Mobile Link 通信), 616
 メッセージ (SQL Anywhere), 2

 メッセージ (SQL プリプロセッサ), 673
エラー・コード, v
 (参照 エラー・メッセージ)
 (参照 警告コード)
 Mobile Link サーバのエラー・メッセージ, 494
 通信エラー・メッセージ, 617
エラー・メッセージ, v
 (参照 エラー・コード)
 Mobile Link サーバ, 493
 Mobile Link 通信, 616
 SQL Anywhere サーバ, 2
 SQL プリプロセッサ (sqlpp), 673

お

オンライン・マニュアル
 PDF, vi

き

規則
 表記, viii
 マニュアルでのファイル名, x

け

警告
 Mobile Link サーバ, 586
警告コード, v
 (参照 エラー・コード)
 Mobile Link サーバの警告メッセージ, 587

さ

サポート
 ニュースグループ, xiii

し

詳細情報の検索/フィードバックの提供
 テクニカル・サポート, xiii

て

定数
 通信エラー・メッセージ, 623
テクニカル・サポート
 ニュースグループ, xiii
デベロッパー・コミュニティ
 ニュースグループ, xiii

と

トラブルシューティング
 ニュースグループ, xiii

に

ニュースグループ
 テクニカル・サポート, xiii

は

バグ
 フィードバックの提供, xiii

ひ

表記
 規則, viii

ふ

フィードバック
 提供, xiii
 マニュアル, xiii

へ

ヘルプ
 テクニカル・サポート, xiii
ヘルプへのアクセス
 テクニカル・サポート, xiii

ま

マニュアル
 SQL Anywhere, vi